

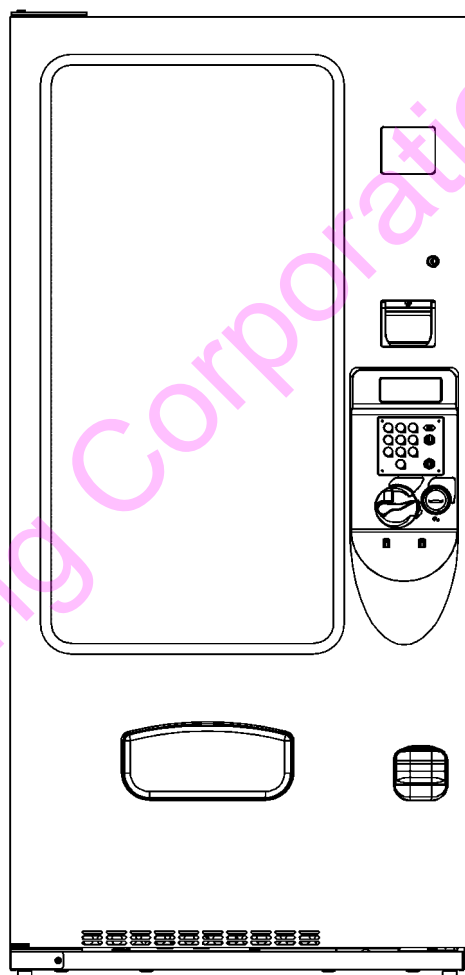


技術マニュアル 本体編

富士電機汎用食品自動販売機

形名 FNX115NR
FNX118NR
FNX121NR

このたびは弊社製品をお買いあげいただきありがとうございました。
お求めの弊社製品を正しく使っていただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。
なお、お読みになったあとは、必ず保存してください。
弊社製品の正しい製品知識と取扱により、末永くご愛用いただきますようお願い申し上げます。



FNX115NR

また、本機に関連する技術マニュアルは下記の構成となっています。

技術マニュアル	本体編	-----	MZ09-005c
技術マニュアル	リモコン編	-----	MZ09-006

もくじ

1. 安全上のご注意.....	1 - 0 1	7. リモコン	
2. 製品の仕様		リモコン各部の名称とはたらき.....	7 - 0 1
本体仕様.....	2 - 0 1	テンキーボタンによる	
機能仕様.....	2 - 0 8	設定データの確認.....	7 - 0 2
冷却系仕様.....	2 - 0 9	カウンタ値の確認のしかた.....	7 - 0 3
外形寸法.....	2 - 1 0	基本的な操作のしかた.....	7 - 0 4
内部構造図.....	2 - 1 1	専用キーの機能項目とデータ範囲...	7 - 0 7
3. 据付け		モードキーの機能項目と	
設置・立上げの作業手順.....	3 - 0 1	データ範囲.....	7 - 1 1
設置スペース.....	3 - 0 2	8. 主要機構	
機械の据付け.....	3 - 0 3	搬送機構全体構成図.....	8 - 0 1
メインドアロックの交換.....	3 - 0 6	動作ステップ.....	8 - 0 2
4. 販売準備		販売タイムチャート.....	8 - 0 3
機械の立ち上げ.....	4 - 0 1	搬送機構部.....	8 - 0 4
販売商品サイズの確認.....	4 - 0 3	ダブルスパイラル式ラック.....	8 - 0 5
商品の充てん方法.....	4 - 0 4	コンベア式ラック.....	8 - 0 6
リモコンスイッチの使い方.....	4 - 2 1	9. 制御関連	
賞味期限管理機能.....	4 - 2 3	制御部構成図.....	9 - 0 1
メインコントロールボックスの		各制御部概要.....	9 - 0 2
名称とはたらき.....	4 - 3 4	互換性一覧.....	9 - 0 3
自己診断機能.....	4 - 3 7	10. 故障診断	
LED照明対応.....	4 - 4 3	点検/クリアキーによる操作.....	10 - 0 1
カバー(金銭部)対応.....	4 - 4 6	故障コード一覧表.....	10 - 0 5
ランプボタンテンキー対応.....	4 - 4 9	プリンタによる	
ユニバーサル対応.....	4 - 5 3	異常内容印字の内容.....	10 - 1 0
取出口ロック対応.....	4 - 5 8	11. 電気部品の定格	
5. 棚位置の変更		販売装置.....	11 - 0 1
棚位置変更.....	5 - 0 1	冷却装置.....	11 - 0 2
6. 定期的清掃と点検		リレーボード.....	11 - 0 3
保守・点検時期と内容.....	6 - 0 1	12. 電気回路図	
お金の回収.....	6 - 0 1	端子早見表.....	12 - 0 1
訪問時の清掃.....	6 - 0 2	シーケンス.....	12 - 0 3
1ヶ月毎の清掃.....	6 - 0 3	結線図.....	12 - 0 5
点検のしかた.....	6 - 0 4	配線系統図.....	12 - 0 7
長期間ご使用にならないときは.....	6 - 0 5		

本書中の記号について

このサービスマニュアルの単位につきましてはSI単位{参考値}で表示しておりますので、製品の銘板等と多少異なる場合があります。

表示例 : 炭酸ガス圧0.5MPa{5kg/cm²G}

【製造年月】

自動販売機正面下部に、機番の上3桁で製造年月日を表示してあります。
上1桁目で製造した西暦年の下1桁を表し、上2, 3桁目で製造年月を表します。
2009年12月製造は 912...となります。

1 . 安全上のご注意

安全に関する重要な内容です。お読みいただき必ずお守りください。

「⚠ 警告」は、取扱いを誤った場合に、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

「⚠ 注意」は、取扱いを誤った場合に、人が障害を負う危険が想定される場合および、物的損害のみの発生が想定される内容です。

⚠ 警告



開梱、据付け、移動は、専門の自動販売機据付け技術者またはお買上げ先に依頼してください。

不完全な据付けは転倒事故、感電、火災、火傷などの恐れがあります。

据付けは、JIS基準、日本自動販売機工業会自主基準を遵守してください。

不完全な据付けは、事故発生の恐れがあります。

修理は専門の修理技術者またはお買上げ先に依頼してください。

修理部品は純正部品をご使用ください。

修理に不備があると感電、火災、けがの恐れがあります。



下記のような水気のある設置場所ではアースを必ず接続してください。

a 魚屋、八百屋、クリーニング店の作業場などの水を取り扱う土間、洗車場、洗い場、またはこれらの付近の水滴が飛散する場所

b 簡易な地下室のように常時水が漏出し、または結露するような場所

c その他上記に類する場所

アースは、ガス管や水道管、電話回線のアース、避雷針などに接続しないでください。

不完全なアースは感電の恐れがあります。



雨水のかかる場所、湿気の多い所、水のかかり易い場所での据付け・使用はしないでください。

・雨水のかかる場所で使用すると、漏電・感電の恐れがあります。

・湿気の多い所や水のかかり易い場所に据付けると絶縁低下から漏電・感電の恐れがあります。

内部にラッカー、ペイント、シンナー、可燃性スプレーなどの可燃物を入れないでください。

爆発や火災の恐れがあります。

上に乗ったり、揺すったり、傾けたりしないでください。

転倒事故の恐れがあります。

水分、泥、ごみ等を完全に除去して絶縁が回復していることを確認してから修理専門技術者が組立ててください。

感電や火災の恐れがあります。

子供達の遊び場に放置しないでください。

転倒事故によるけがの恐れがあります。



濡れた手で内部のスイッチを操作しないでください。

感電の恐れがあります。

重いものを乗せたり、加工したり、引っぱったりしないでください。

破損して、感電や火災の恐れがあります。

安全上のご注意

⚠ 警告



無断で自動販売機を改造しないでください。
事故発生の恐れがあります。



シンナーなどの可燃物や可燃性ガスを自動販売機近くで使用しないでください。
爆発や火災の恐れがあります。



異臭・発煙・発火等の異常時は、直ちに電源プラグを抜き、専門の修理技術者またはお買上げ先に連絡してください。
異常のまま運転を続けると感電、火災の恐れがあります。

⚠ 注意



つぎのような場所に据付けるときは、お買上げ先にご相談ください。
・潮風や腐食性ガスにさらされる場所
・揺れや振動の多い場所
つぎのような場所に設置するときには、法律に適合しなければなりません。
適合条件が不明なときには、所轄の官庁にご相談ください。
・避難用の道路及び施設
扉を開けるときは、通行車両や通行人の妨げにならないようにしてください。
注意して開けないと通行人のけがや車両による人身事故の恐れがあります。
外扉を開けたときは、必ず扉ストッパで固定してください。
固定しないと不意に扉が閉じてけがの恐れがあります。
中身商品は食品衛生法に従った日常衛生管理をしてください。
不適正な日常衛生管理は事故の発生の恐れがあります。
屋内設置機で湿度の高い時期は蒸発皿にたまった水を捨ててください。
床面がぬれることがあります。
6か月に1度および震度5以上の地震が発生したときは据付け面のがたつきや固定金具のゆるみなどを点検してください。
異常がある場合は専門の据付け技術者または、お買上げ先へ修理を依頼してください。
不完全な据付け状態のまま使用すると転倒事故の恐れがあります。
警告表示類は常に正しく読めるように清掃や貼り替えをしてください。
見にくくなると事故発生の恐れがあります。
扉が自由に開閉できる状態で保管しないでください。
事故発生の恐れがあります。
自動販売機を廃棄するときは、専門の業者またはお買上げ先へ依頼してください。
放置による環境汚染や事故発生の恐れがあります。
この製品はフロン回収・破壊法第一種特定製品です。
(1)フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
(2)この製品を廃棄する場合にはフロン類の回収が必要です。
(3)フロン回収時には専門の回収業者またはお買上げ先へ依頼してください。
放置による環境汚染の原因になります。

安全上のご注意

⚠ 注意



国内で使用する目的で設計されています。
 国外で使用すると、電源電圧が異なり、発火、発煙、焼損の恐れがあります。
 販売可能商品として指定された商品以外は収納しないでください。
 変形や液もれしている商品は収納しないでください。
 指定外の商品を収納すると、事故発生の恐れがあります。



電源コンセントは他の製品と共用しないでください。
 延長コードの使用やたこ足配線は、火災の恐れがあります。
 電源容量は必ず機器の定格に合わせてください。
 許容電圧・電流の小さい電源を使用すると、火災の恐れがあります。
 電源コードは束ねて使用しないでください。
 発熱して火災や感電の恐れがあります。
 電源プラグは1年に1度定期的に点検し、ほこりを拭き取り、根元まで確実に差し込んでください。
 ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の恐れがあります。



雨や雪の中で扉を開けたときは、内部の電気部品に雨水・雪がかからないようにしてください。
 感電の恐れがあります。
 電源コードの被覆が溶けることがありますので熱器具を近づけないでください。
 火災、感電の恐れがあります。
 電気部品は水をかけたり、水洗いしないでください。
 感電の恐れがあります。
 漏電しゃ断器は月に1回以上テストボタンを押して電源が切れることを確認してください。
 切れない場合は専門の修理技術者またはお買上げ先へ修理を依頼してください。
 使用を続けると感電の恐れがあります。
 蛍光管、グロー球、白熱球を交換するときは必ず電源を切り、管球が冷えてから行ってください。
 感電、火傷の恐れがあります。
 漏電しゃ断器がたびたび動作したときは、専門の修理技術者またはお買上げ先へ修理を依頼してください。
 使用を続けると感電や火災の恐れがあります。



内部の動作部に触れないでください。
 けがの恐れがあります。



扉を閉めるときは指をはさまないように注意してください。
 けがの恐れがあります。
 凝縮器を清掃するときは、厚手の手袋を着用し、柄の長いブラシで清掃してください。
 凝縮器の金属端面に触れるとけがの恐れがあります。

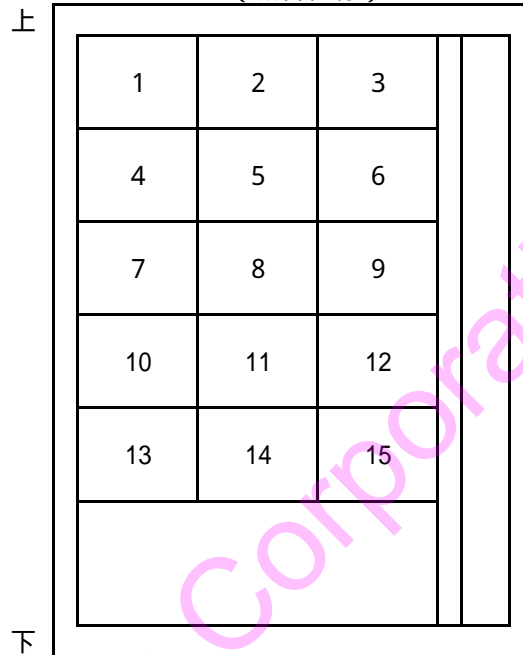
2. 製品の仕様

本体仕様

種類	汎用 食品自動販売機(弱冷専用機)
形式	FNX115NR
外形寸法(mm)	高さ1834×幅856×奥行837(最大奥行852+背面スペース20)[mm]
製品質量	252kg
選択種類	押釦テンキー(0~9,購入,訂正)
販売装置	

《ラック構成》

(顧客仕様)



ラック種類	ラック幅	棚数とコラム																
		1段目			2段目			3段目			4段目			5段目				
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
ダブルスライド式ラック	標準(174mm)																	
	幅広(209mm)																	
	幅狭(139mm)																	
シングルスライド式ラック	標準(86mm)																	
	幅狭(68.5mm)																	
コンベア式ラック	標準(174mm)																	
	幅狭(139mm)																	

：設定可能なコラム

：標準出荷時のコラム設定

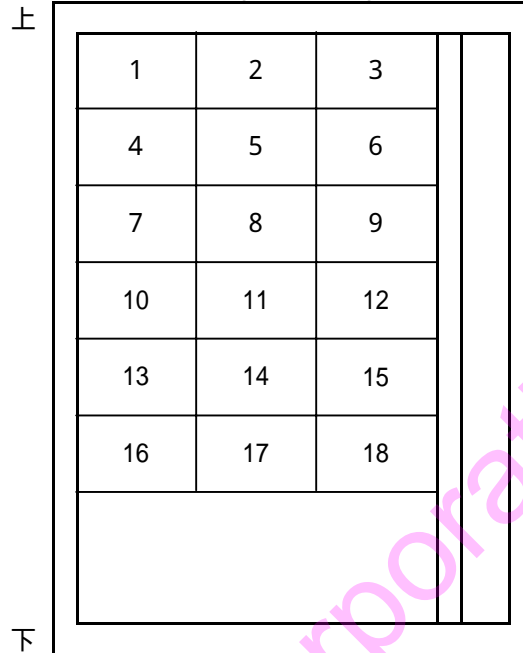
本仕様は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

本体仕様

種類	汎用 食品自動販売機(弱冷専用機)
形式	FNX118NR
外形寸法(mm)	高さ1834×幅856×奥行837(最大奥行852+背面スペース20)[mm]
製品質量	252kg
選択種類	押釦テンキー(0~9, 購入, 訂正)
販売装置	

《ラック構成》

(顧客仕様)



ラック種類	ラック幅	棚数とコラム																	
		1段目			2段目			3段目			4段目			5段目					
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15			
ダブルスライド式ラック	3列/棚	標準(174mm)																	
		幅広(209mm)																	
		幅狭(139mm)																	
シングルスライド式ラック	6列/棚	標準(86mm)																	
		幅狭(68.5mm)																	
コンベア式ラック	3列/棚	標準(174mm)																	
		幅狭(139mm)																	

ラック種類	ラック幅	棚数とコラム			
		6段目			
		16	17	18	
ダブルスライド式ラック	3列/棚	標準(174mm)			
		幅広(209mm)			
		幅狭(139mm)			
シングルスライド式ラック	6列/棚	標準(86mm)			
		幅狭(68.5mm)			
コンベア式ラック	3列/棚	標準(174mm)			
		幅狭(139mm)			

: 設定可能なコラム

: 標準出荷時のコラム設定

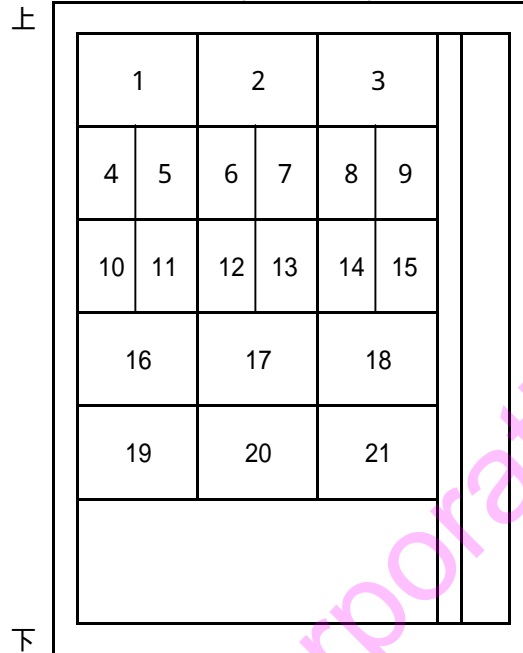
本仕様は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

本体仕様

種類	汎用 食品自動販売機(弱冷専用機)
形式	F N X 1 2 1 N R
外形寸法 (mm)	高さ 1 8 3 4 × 幅 8 5 6 × 奥行 8 3 7 (最大奥行 8 5 2 + 背面スペース 2 0) [mm]
製品質量	2 5 2 kg
選択種類	押釦テンキー(0 ~ 9, 購入, 訂正)
販売装置	

《ラック構成》

(顧客仕様)



ラック種類	ラック幅	棚数とコラム														
		1段目			2段目						3段目					
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
ダブルスライド式ラック	3列/棚	標準(174mm)														
		幅広(209mm)														
		幅狭(139mm)														
シングルスライド式ラック	6列/棚	標準(86mm)														
		幅狭(68.5mm)														
コンベア式ラック	3列/棚	標準(174mm)														
		幅狭(139mm)														

ラック種類	ラック幅	棚数とコラム						
		4段目			5段目			
		16	17	18	19	20	21	
ダブルスライド式ラック	3列/棚	標準(174mm)						
		幅広(209mm)						
		幅狭(139mm)						
シングルスライド式ラック	6列/棚	標準(86mm)						
		幅狭(68.5mm)						
コンベア式ラック	3列/棚	標準(174mm)						
		幅狭(139mm)						

: 設定可能なコラム

: 標準出荷時のコラム設定

本仕様は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

本体仕様

収容本数一覧

< 5 段仕様時 >

ダブルスパイラル式ラック (3列/棚)						
販売商品				ラック設定		
	厚さ(奥行)(mm)		商品質量	ラック幅 (mm)	スパイラル ピッチ(mm)	1コラム当りの 収容数(個)
	箱物	袋物				
幅:130~164mm 高さ:160mm以下	販売不可(10~17)	20~21(12~21)	600g以下 ただし1コラム当り 総質量2.5kg以下 1棚当り 1段目:6kg以下 2~5段目:7.5kg以下	174 (標準)	30	15
	20~26(18~26)	22~32				10
	27~32	33~40				8
	33~51	41~63				5
幅:165~199mm 高さ:160mm以下	販売不可(10~17)	20~21(12~21)		209 (幅広)	30	15
	20~26(18~26)	22~32				10
	27~32	33~40				8
	33~51	41~63				5
幅:77~129mm 高さ:160mm以下	販売不可(10~17)	20~21(12~21)		139 (幅狭)	30	15
	20~26(18~26)	22~32				10
	27~32	33~40				8
	33~51	41~63				5

< 6 段仕様時 >

ダブルスパイラル式ラック (3列/棚)						
販売商品				ラック設定		
	厚さ(奥行)(mm)		商品質量	ラック幅 (mm)	スパイラル ピッチ(mm)	1コラム当りの 収容数(個)
	箱物	袋物				
幅:130~164mm 高さ:110mm以下	販売不可(10~17)	20~21(12~21)	600g以下 ただし1コラム当り 総質量2.5kg以下 1棚当り 1段目:6kg以下 2~5段目:7.5kg以下	174 (標準)	30	15
	20~26(18~26)	22~32				10
	27~32	33~40				8
	33~51	41~63				5
幅:165~199mm 高さ:110mm以下	販売不可(10~17)	20~21(12~21)		209 (幅広)	30	15
	20~26(18~26)	22~32				10
	27~32	33~40				8
	33~51	41~63				5
幅:77~129mm 高さ:110mm以下	販売不可(10~17)	20~21(12~21)		139 (幅狭)	30	15
	20~26(18~26)	22~32				10
	27~32	33~40				8
	33~51	41~63				5

・上記表の販売商品の厚さ(奥行)の()内の数値はバンドエンドセンサ無効時の販売可能寸法です。

[!] 販売商品の厚さ(奥行)が20mmより小さい場合、バンドエンドセンサ有効設定では販売できません。その際は、モード0 - 64にて対象コラムをバンドエンドセンサ無効に設定ください。

[!] 販売商品の形状・包装形態等により、収容可能な寸法は上記表と異なる場合があります。

本仕様は改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

本体仕様

収容本数一覧

< 5 段仕様時 >

シングルスパイラル式ラック(6列/棚)						
販売商品				ラック設定		
	厚さ(奥行)(mm)		商品質量	ラック幅 (mm)	スパイラル ピッチ(mm)	1コラム当りの 収容数(個)
	箱物	袋物				
幅:60~76mm 高さ:160mm以下	販売不可(10~17)	20~21(12~21)	600g以下 ただし1コラム当り 総質量1.25kg以下 1棚当り 1段目:6kg以下 2~5段目:7.5kg以下	86 (標準)	30	15
	20~26(18~26)	22~32			45	10
	27~32	33~40			56	8
	33~51	41~63			87	5
幅:20~59mm 高さ:160mm以下	販売不可(10~17)	20~21(12~21)		68.5 (幅狭)	30	15
	20~26(18~26)	22~32			45	10
	27~32	33~40			56	8
	33~51	41~63			87	5

< 6 段仕様時 >

シングルスパイラル式ラック(6列/棚)						
販売商品				ラック設定		
	厚さ(奥行)(mm)		商品質量	ラック幅 (mm)	スパイラル ピッチ(mm)	1コラム当りの 収容数(個)
	箱物	袋物				
幅:60~76mm 高さ:110mm以下	販売不可(10~17)	20~21(12~21)	600g以下 ただし1コラム当り 総質量1.25kg以下 1棚当り 1段目:6kg以下 2~5段目:7.5kg以下	86 (標準)	30	15
	20~26(18~26)	22~32			45	10
	27~32	33~40			56	8
	33~51	41~63			87	5
幅:20~59mm 高さ:110mm以下	販売不可(10~17)	20~21(12~21)		68.5 (幅狭)	30	15
	20~26(18~26)	22~32			45	10
	27~32	33~40			56	8
	33~51	41~63			87	5

・上記表の販売商品の厚さ(奥行)の()内の数値はバンドエンドセンサ無効時の販売可能寸法です。

[!] 販売商品の厚さ(奥行)が20mmより小さい場合、バンドエンドセンサ有効設定では販売できません。その際は、モード0 - 64にて対象コラムをバンドエンドセンサ無効に設定ください。

[!] 販売商品の形状・包装形態等により、収容可能な寸法は上記表と異なる場合があります。

ラック変換部品一覧

< ダブル/シングルスパイラル式ラック >

種類	取付位置	スパイラル ピッチ(mm)	図面番号	備考	
スパイラル	右側	30	YDF40F4A783 C01	黒線 4本	
		45	YDF40F4A781 C01	黒線 1本	
		56	YDF40F4A777 C01	黒線 2本	
		87	YDF40F4A779 C01	黒線 3本	
	左側	30	YDF40F4A782 C01	赤線 4本	
		45	YDF40F4A780 C01	赤線 1本	
		56	YDF40F4A776 C01	赤線 2本	
		87	YDF40F4A778 C01	赤線 3本	
仕切板	—	—	YDF40T3A768 C01	—	
アタッチメント(縦型カップ商品)	—	—	YDF40X4A794 C01	—	
商品受け台 (シングルスパイラル・左側コラム)	左側	—	YDF40Z5A810 C01	—	
ラック棚(1段分)	ダブルスパイラル	—	—	YDF40X3A726 C01	—
	シングルスパイラル	—	—	(YDF40X3A829 C01)	本体配線交換が必要です

[!] シングルラックへの交換は本体配線まで含めた交換が必要になります。

本仕様は改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

本体仕様

収容本数一覧

< 5 段仕様時 >

コンペア式ラック(3列/棚)						
販 売 商 品				ラ ッ ク 設 定		
幅 (mm)	高さ (mm)	奥行 (mm)	商品質量	ラック幅 (mm)	搬出 メカコード	1ラック当りの 収容数(個)
170mm以下	140mm以下	~ 39	600g以下 ただし1コム当り 総質量2.5kg以下 1棚当り 2~5段目:7.5kg以下	174 (標準)	1 2	1 0
		~ 79			1 3	5
		~ 118			1 4	3
		~ 157			1 5	2
130mm以下	140mm以下	~ 39		139 (幅狭)	1 2	1 0
		~ 79			1 3	5
		~ 118			1 4	3
		~ 157			1 5	2

< 6 段仕様時 >

コンペア式ラック(3列/棚)						
販 売 商 品				ラ ッ ク 設 定		
幅 (mm)	高さ (mm)	奥行 (mm)	商品質量	ラック幅 (mm)	搬出 メカコード	1ラック当りの 収容数(個)
170mm以下	90mm以下	~ 39	600g以下 ただし1コム当り 総質量2.5kg以下 1棚当り 2~5段目:7.5kg以下	174 (標準)	1 2	1 0
		~ 79			1 3	5
		~ 118			1 4	3
		~ 157			1 5	2
130mm以下	90mm以下	~ 39		139 (幅狭)	1 2	1 0
		~ 79			1 3	5
		~ 118			1 4	3
		~ 157			1 5	2

[!] 販売商品の形状・包装形態等により、搬出メカコード、収容可能な寸法は上記表と異なる場合があります。

ラック変換部品一覧

< コンペア式ラック >

種 類	取付位置	図 面 番 号	備 考
仕切板	—	YDF40T3A768 C01	—
ラック棚(1段分) コンペア式ラック	—	YDF40X3A836 C01	—

本仕様は改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

本体仕様

制御方法	リモコン・ビューデザイン VTS - S	
使用硬貨	4金種(10円, 50円, 100円, 500円)	
釣銭硬貨	4金種(10円, 50円, 100円, 500円), SUB(10円, 100円)	
価格設定範囲	¥10 ~ ¥9990 (¥10毎)	
価格設定数	15価格	
釣銭保留枚数	¥10: 約82枚, ¥50: 約72枚, ¥100: 約75枚, ¥500: 約55枚, SUBチューブ: 約82枚(¥10使用時), 約72枚(¥50使用時), 約75枚(¥100使用時)	
ビルバリデータ (オプション)	受入枚数: 千円紙幣 1枚(1枚エスクロ) 収容枚数: 千円紙幣 約100枚	
定 格	電源	単相 100V 50/60Hz (コンセント容量: 15A)
	消費電力	201/201W
	電熱装置(取出口ヒータ)	17W, AC100V
運転種類	1種類(C専用機)	
圧縮機	レシプロ75W相当	
照明	LED照明(LEDモジュール)(オプション可) (電照板上部: 1箇所) (電照板右側: 1箇所)	
外 観	扉	外扉: 縦型集中操作部, ペアガラスはめ込み, ワンタッチドアロック
	選択ボタン	押釦テンキー(0~9, 購入, 訂正)
	表示	販売可能・売切・釣銭切れ(¥10/¥100)・販売中・準備中
	日付表示	デジタル表示器にコラム別表示(待機時の押釦テンキー操作による)
付属品	1) アンカーボルト一式 2) 押釦操作ステッカー	
オプション	1) ビルバリデータ 2) 光ACS 3) プリンタ 4) LED照明(一括手配番号: YDF58Z4A089 C01) 5) カバー(金銭部)(一括手配番号: YDF58Z4A090 C01) 6) 押テンキーユニット(LEDランプ付)(一括手配番号: YDF58Z4A091 C01) 7) 取出口ロック(一括手配番号: YDF58Z4A092 C01) オプション部品は, 組合せにより取り付けられない場合があります。	

本仕様は改良のため予告なく変更することがありますので, ご了承ください。

機能仕様

リモコン	V T S - S	
金銭処理機構	使用貨幣	4WAY (10円, 50円, 100円, 500円)
	釣銭硬貨	10円・50円・100円・500円, SUB (10円, 100円)
	価格設定範囲	10円~9990円
	金額表示器	DL - 5 L - 8 C
売上額集計	1.期間 2.コラム別 3.グループ別 4.トータル 5.テスト	
売上数集計	1.期間 2.コラム別 3.グループ別 4.トータル 5.テスト 6.リセット	
漏電しゃ断器	定格100 - 200V, 50 / 60Hz, 30A	
庫内温度表示	リモコン表示で確認	
品質保持期限表示	販売待機時に押釦テンキー (販売コラム + 決定キー) を押し金額表示器に表示 ・フレッシュナビスイッチによる設定必要	
メインコントロールボックス	版数管理 「BA5185」 図面番号 「YDF51X3A113 C01」 プログラム仕様図番 「YDF50Z4A048 C01」 ファイル名称 (09SMFD (Dopa対応))	
リモコン	版数管理 「BA5186」 図面番号 「YDF51X3A115 C01」 ・キー操作により各種設定, 確認等 (扉前面押釦併用) ・デジタル表示器にデータを表示 ・省エネ切替スイッチ (照明, ファン, 照明+ファン) ・照明スイッチ 1回路 ・フレッシュナビスイッチ ・冷却モードスイッチ	
本体スレーブボックス	シングルスパイラル仕様無時	シングルスパイラル仕様有時
	ボックス銘板「本体スレーブ」	
	版数管理「BA5189」 図面番号「YDF51X2A114 C01」 プログラム仕様図番 「YDF50Z4A047 C01」 ファイル名称 (09HASH) ・冷却の制御 ・冷却, 搬出機構の故障検知	版数管理「BA5190」 図面番号「YDF51X2A114 C02」 ・搬出機構の制御 ・売切検知
電源ボックス	形 式 「PS - A221」 版数管理 「BK5188」 図面番号 「YDF51X4A116 C01」	
デジタル表示器	形 式 「DL - 5 L - 8 C」 ・デジタル表示器 (5桁) ・販売中表示 (オレンジ) ・お札中止表示 ・10円 / 100円釣銭切れ表示 ・フォトスイッチ (内蔵式)	
省エネ制御	・設定はキーボードの操作—省エネモード設定による。	

本仕様は改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

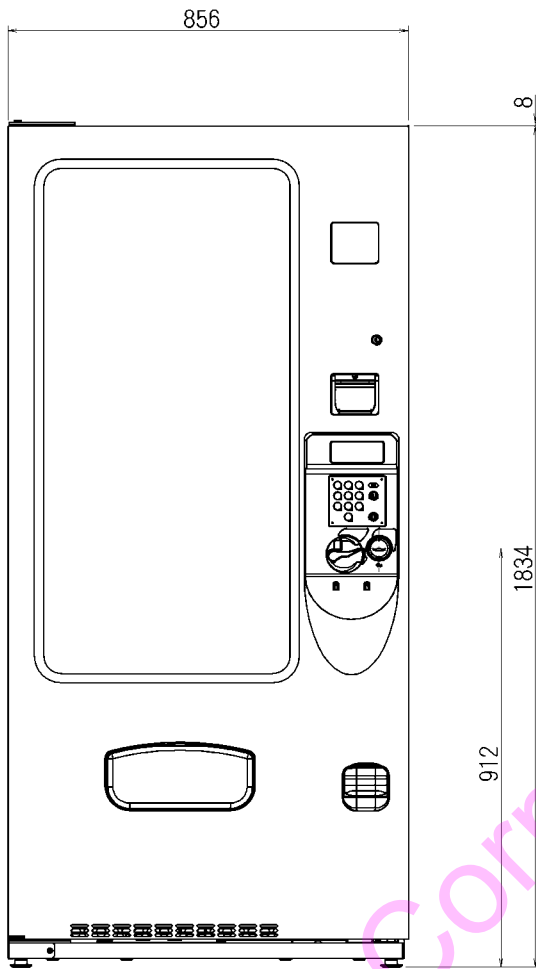
冷却系仕様

電源	単相 100V 50/60Hz 15A				
圧縮機	形式	SB43C90RA00-MOMS			
	ユニットコード	30235			
	呼称出力	75W相当(レシプロ4.33cm ³)			
	起動方式	分相始動			
運転コンデンサ	15 μ F, 180VAC				
起動リレー	無接点リレー, 4R7MD				
モータプロテクタ	5TM762NFBYY-53				
冷媒	制御方式	キャピラリ制御方式			
	封入量	0.15kg(R-134a)			
凝縮器用モータ	ブラシレスDCファンモータ×1個 ・出力: 7W(DC24V) ・形式: DR-738-519				
蒸発器用モータ	ブラシレスDCファンモータ×2個 ・出力: 3.9W(DC24V) ・形式: 3610KL-05W-B57-EQ2				
電子サーモ設定値		O N	OFF	レベル	備考
	C	22	17	5	ラック5段設定時
	C	22	16	5	ラック6段設定時

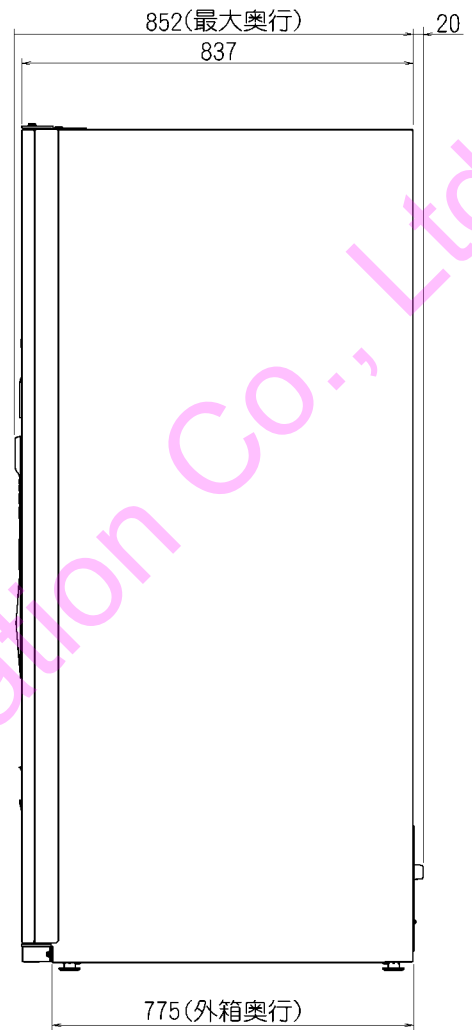
本仕様は改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

外形寸法

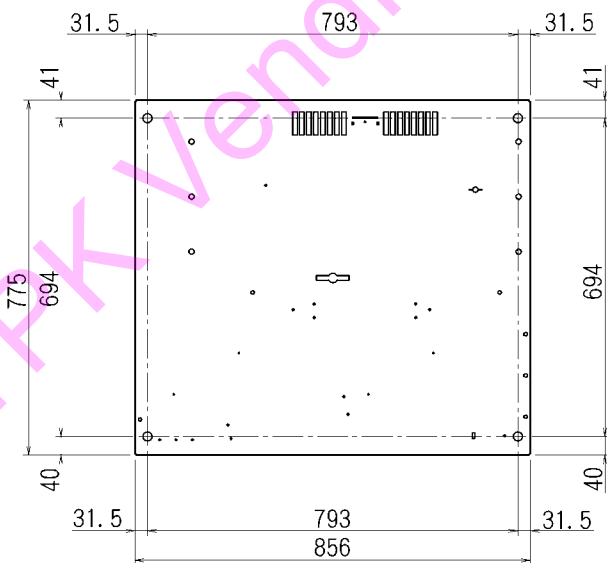
YDF90Z2A009 C01



正面図

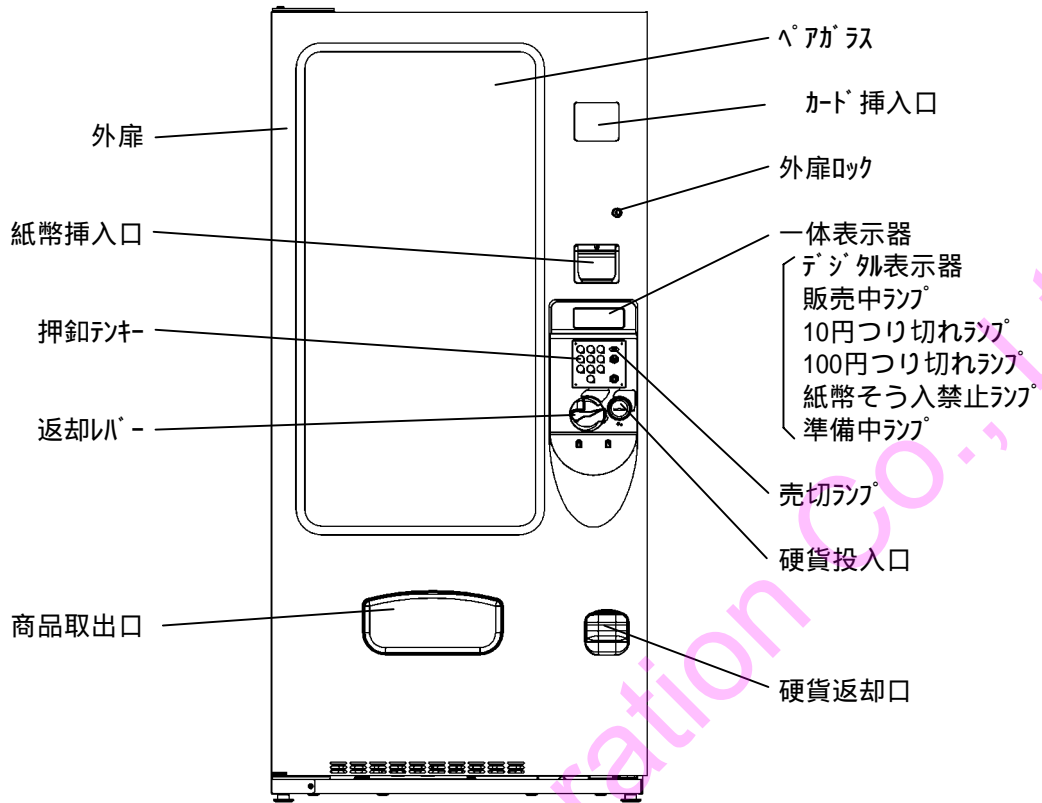


側面図

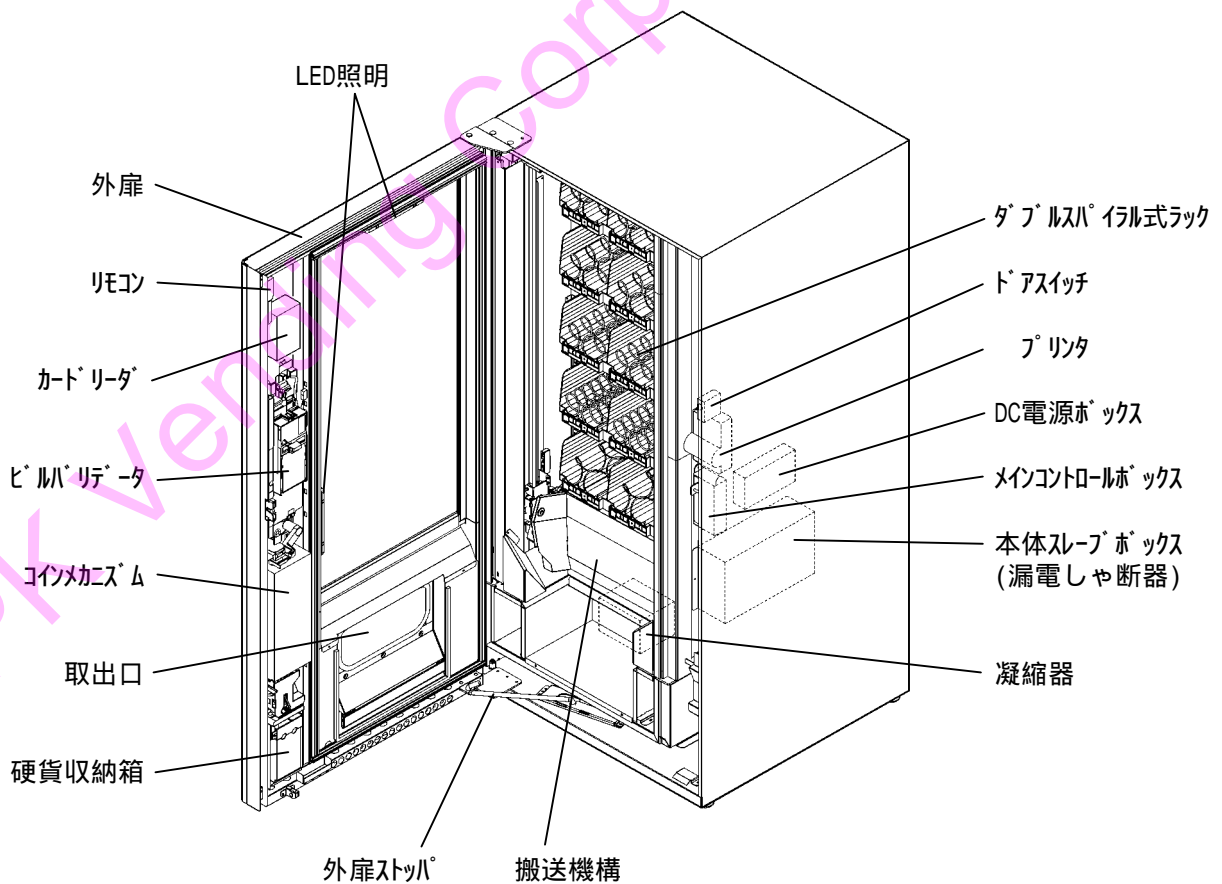


レベルングスクリュー位置

内部構造図



正面図



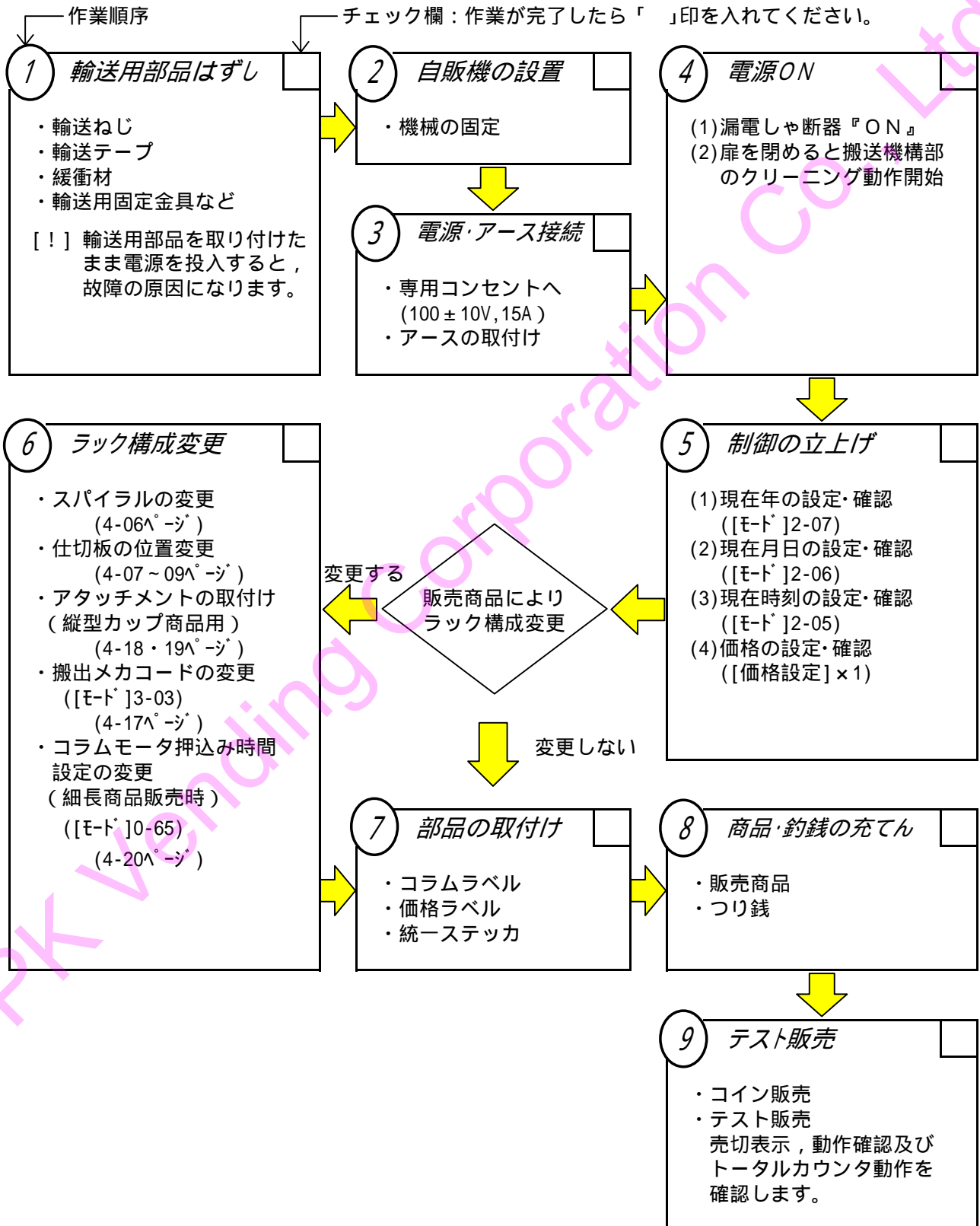
扉開放図

印は、オプション部品です。

3. 据付け

設置・立上げの作業手順

設置・立上げに必要な作業内容と作業順序を示します。作業のくわしい内容は本文をご覧ください。

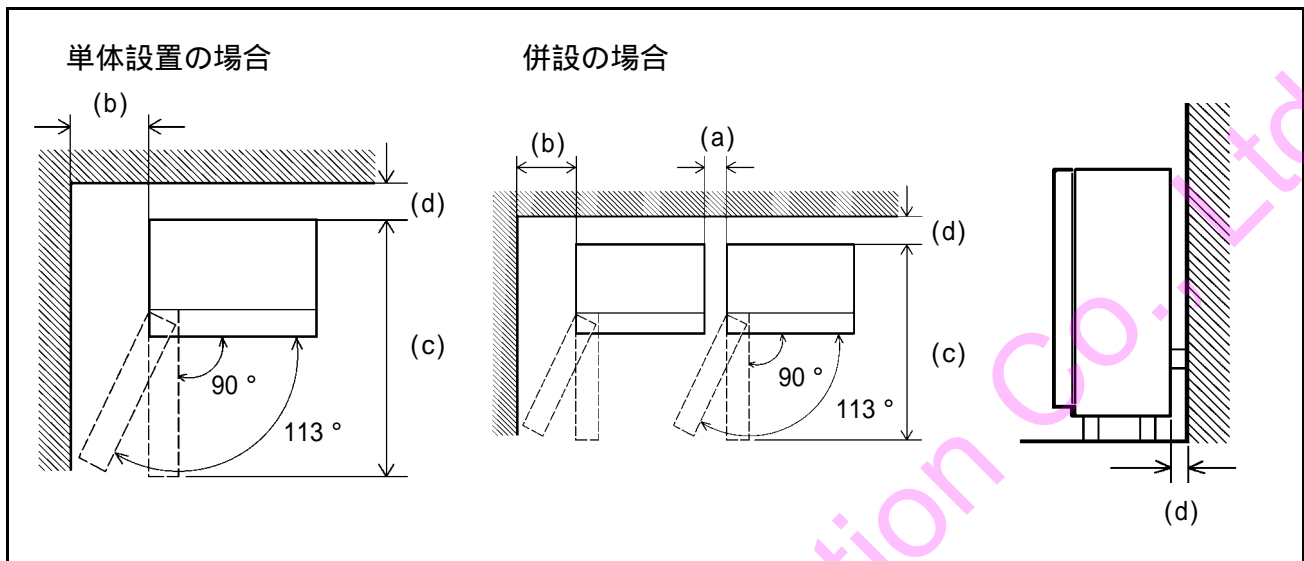


以上で作業完了です。

設置スペース

下記に記載の据付けスペースを確保するとともに、通風口をふさがらないでください。
通風が悪いと性能低下の恐れがあります。

(1)必要なスペース



自動販売機の据付け場所は、扉開閉および通気のため、つぎに示すスペースを確保してください。

扉開閉のために必要なスペース

(a)自動販売機 相互間(左右)	113° に開いた時	20 mm以上
	90° に開いた時	20 mm以上
(b)左側の壁	113° に開いた時	332 mm以上
	90° に開いた時	30 mm以上
(c)自動販売機の 占有スペース	113° に開いた時	1652 mm以上
	90° に開いた時	1652 mm以上

背面スペース

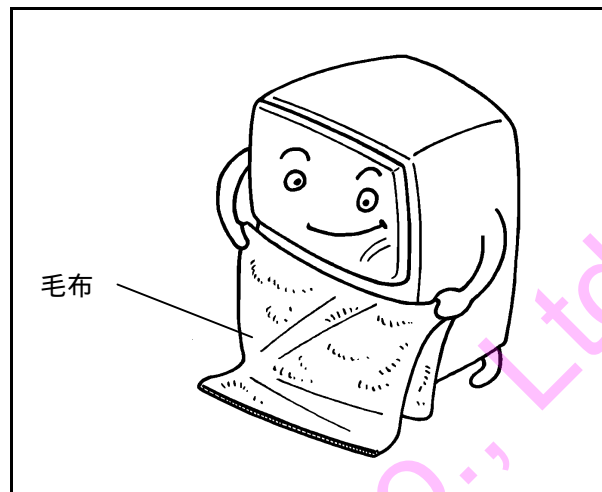
(d)背面のスペース	20 mm以上
------------	---------

機械の据付け

(1) 輸送・運搬時のご注意

輸送は正規の梱包状態で行ってください。
「はだか」での輸送は雨水の浸入によるトラブルや、傷つきの原因となるおそれがあります。

梱包を開いた後、据付け場所に運搬するときは、毛布などを敷いて塗装面に傷がつかないようにしてください。

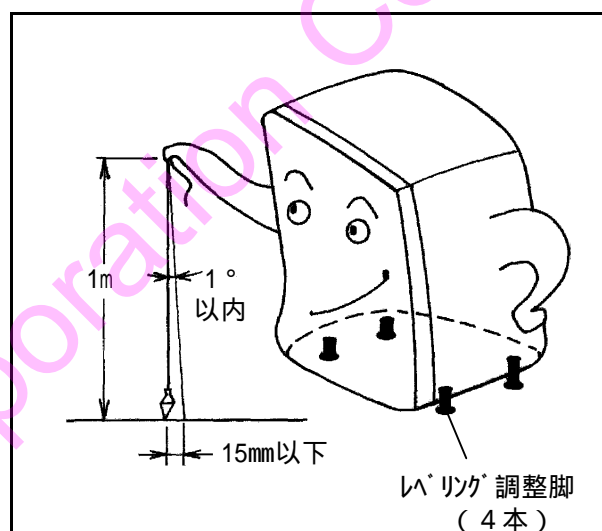


(2) レベリング調整

底面には、4個のレベリング調整脚（荷重を受ける）が付いています。

4個のレベリング調整脚を回して、機械の傾きを前後左右とも1°以内に調整してください。

[!] 機械の傾きは、機械の転倒及び誤動作の原因となることがあります。



(3) 機械の固定（転倒防止）

設置場所の状況に応じて、つぎのいずれかの方法または、これらと同等以上の効果が認められる方法で転倒防止を行ってください。

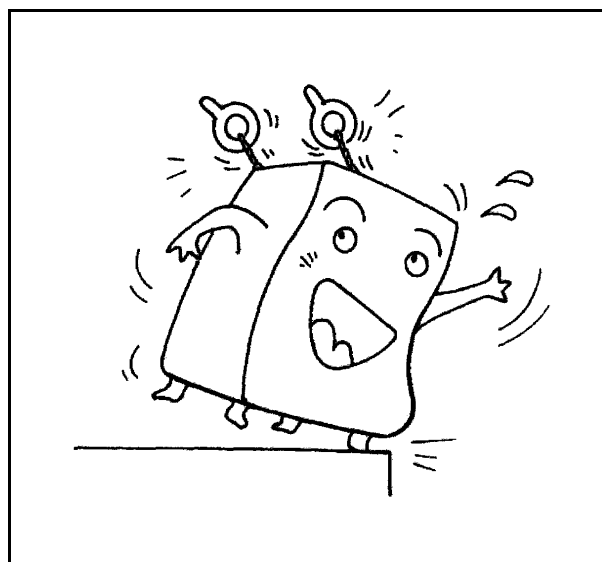
くわしい内容は、付属の説明書および「(9) 据付け仕様」を参照ください。

固定金具を用いて、機械の脚を固定する。

機械の背面にあるボルト・ナットを利用して、チェーンで壁面に連結する。

機械の脚部に「据付用鉄板」を固定する。

[!] 据付け後はたえず基礎のガタつき・ゆるみ等の点検を行ってください。



(4) 転倒防止用鉄板を使用する場合

自動販売機の前脚から転倒防止用鉄板端面までの寸法（A寸法）は下記を参照ください。

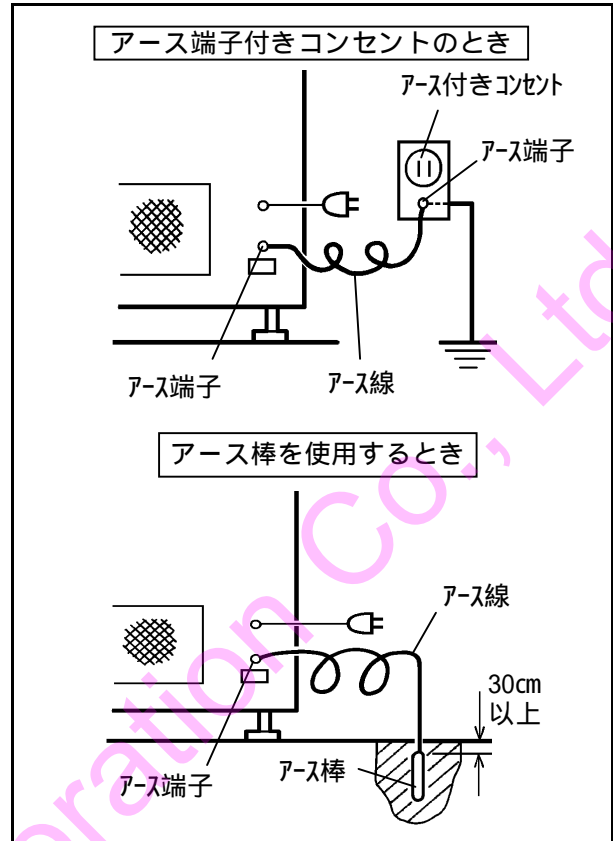
転倒防止用鉄板は裏表紙に掲載してある最寄りの弊社サービス機関窓口にご用命ください。

機械の据付け

(5)アース(接地)

アースの取付けかたは、右図を参考にしてください。

据付け場所を変更するときは、再度アースの取付けをしてください。

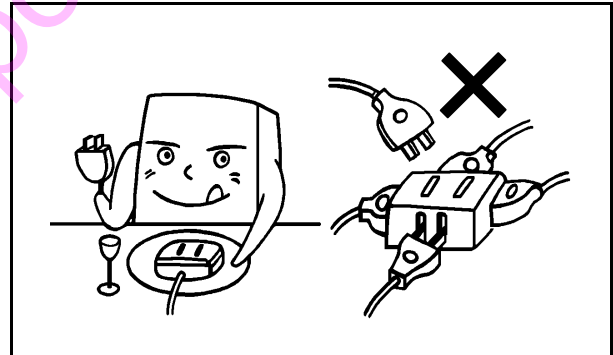


(6)電源

電源は必ず専用コンセントからとってください。

電源電圧は、90～100Vを確保してください。
電流容量は、15A以上が必要です。電圧が低い場合は電力会社にご相談ください。

[!] タコ足配線はしないでください。火災、電圧降下の原因となります。

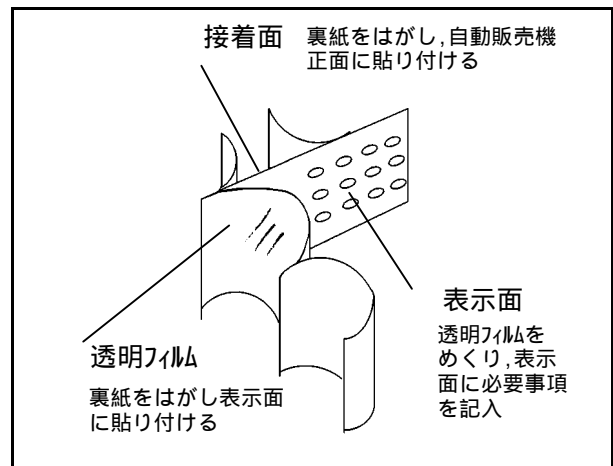


(7)統一ステッカーの貼付け

つぎの手順で、自動販売機正面の見やすい位置に統一ステッカーを貼付けてください。

付属の自動販売機統一ステッカーに、管理者名、連絡先住所、連絡先電話番号を黒色の油性フェルトペンで記入してください。

貼付面に汚れがあれば、清浄にした後、右図の番号順に貼付けてください。



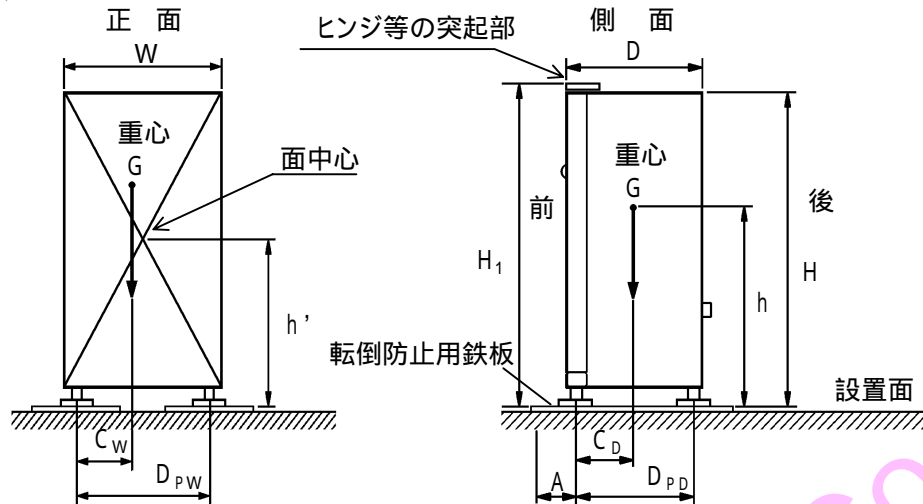
(8)転倒防止用鉄板を使用する場合

自動販売機の前脚から転倒防止用鉄板端面までの寸法（A寸法）は下記を参照ください。

転倒防止用鉄板は裏表紙に掲載してある最寄りの弊社サービス機関窓口にご用命ください。

機械の据付け

(9)据付け仕様



	商品なし	商品満載
G : 製品質量	kg	252
h : 重心高さ	mm	867
C_D : 重心から前側の脚の中心部までの距離	mm	285
C_W : 重心から左側の脚の中心部までの距離	mm	
D_{PD} : 前後の脚の距離	mm	694
D_{PW} : 左右の脚の距離	mm	
h' : 面中心の高さ	mm	953
$H \times W \times D$: 外形寸法	mm	1834 × 856 × 837
H_1 : 突起部を含む高さ	mm	1,842

A , h , h' は最大高さとなるレベリングスクリュの高さを45mmにした時の値です。
 また商品満載時の質量は、最大質量の商品を装填したものです。
 レベリングスクリュを縮めた場合や転倒防止用鉄板(おもりの搭載)を使用した場合は重心高さが改善されるため別途計算してください。
 A 寸法は設置条件に合わせて別途計算し、適切な設置をしてください。
 自販機内におもり等を用いて A 寸法を改善する際には、扉を開いた時の前倒れには十分な注意をしてください。

下記は上表の“商品満載”時のデータにて算出しています。

	A寸法 (mm)
前転倒角度10度を満足する為の寸法 A_0	A寸法 : - 鉄板型式 : -
地階および1階	A寸法 : 156 鉄板型式 : 1100型
2階以上	据付施工は別途協議
最上階および屋上	据付施工は別途協議
$A_U = 2h - C$	
C は前倒れに対する A 寸法として $C = C_D$ で算出しています。後倒れ・横倒れによる危険が想定される場合は別途計算するか、当社にご相談ください。	
$W > D$ の場合、 C_W および D_{PW} は省略、また A_1 、 A_0 の場合、 A_0 は省略する場合があります。	
鉄板型式の記号は据付基準マニュアル参照。	

A_0 は、扉開、ラック引出しなどの最悪条件下での電安法の前転倒角度を満足するための A 寸法です。

必要となる据付の概要(地震力により自販機脚部に生じる地上面における引張荷重について)

後側脚部について(前方転倒への対応)

- ・固定金具：E型 × 1 枚
 (固定金具の引張荷重 1 枚: 468 [N], 2 枚: _____ [N])
- ・M10あと施工アンカー: 1 本 最小へりあき寸法: 40 mm以上
- ・M12あと施工アンカー: 1 本 最小へりあき寸法: 50 mm以上
 (アンカーの引張荷重 1 本: 937 [N], 2 本: _____ [N])

前側脚部について(後方転倒への対応)

- ・固定金具：E型 × 1 枚
 (固定金具の引張荷重 1 枚: 189 [N], 2 枚: _____ [N])
- ・M10あと施工アンカー: 1 本 最小へりあき寸法: 40 mm以上
- ・M12あと施工アンカー: 1 本 最小へりあき寸法: 50 mm以上
 (アンカーの引張荷重 1 本: 378 [N], 2 本: _____ [N])

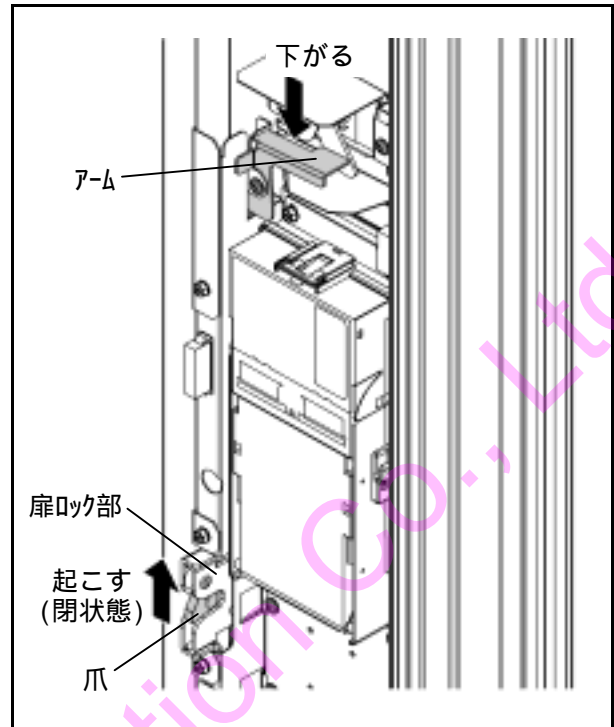
固定金具とあと施工アンカーの必要数量が異なるときは多い方の数に合わせています。
 基本的には4箇所固定を推奨します。

メインドアロックの交換

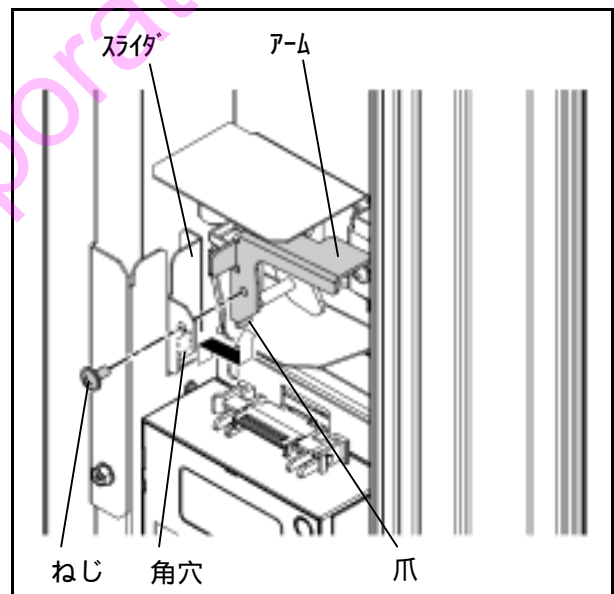
お客さまの方でご用意いただいたメインドアロックを現地で交換するときにはつぎの手順をお願いします。

(1) ロック機構の交換

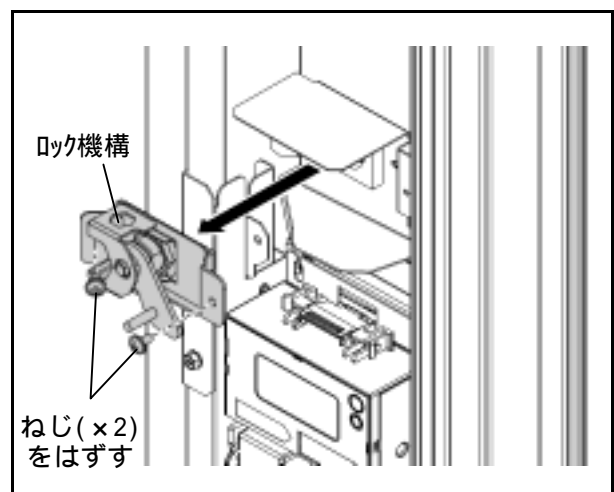
右図のように扉ロック部の爪を起こして閉状態にするとアームが下がります。



ねじ1本をはずした後、アームを少し上に持ち上げ、下部の爪をスライダの角穴より抜き、右方向に取りはずします。



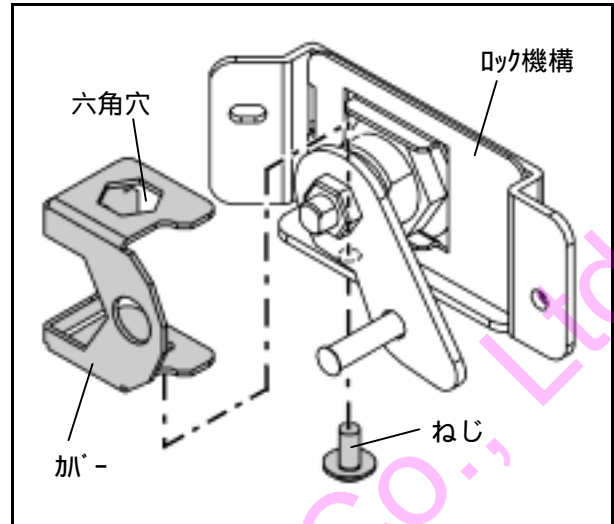
ねじ2本をはずし、ロック機構を取りはずします。



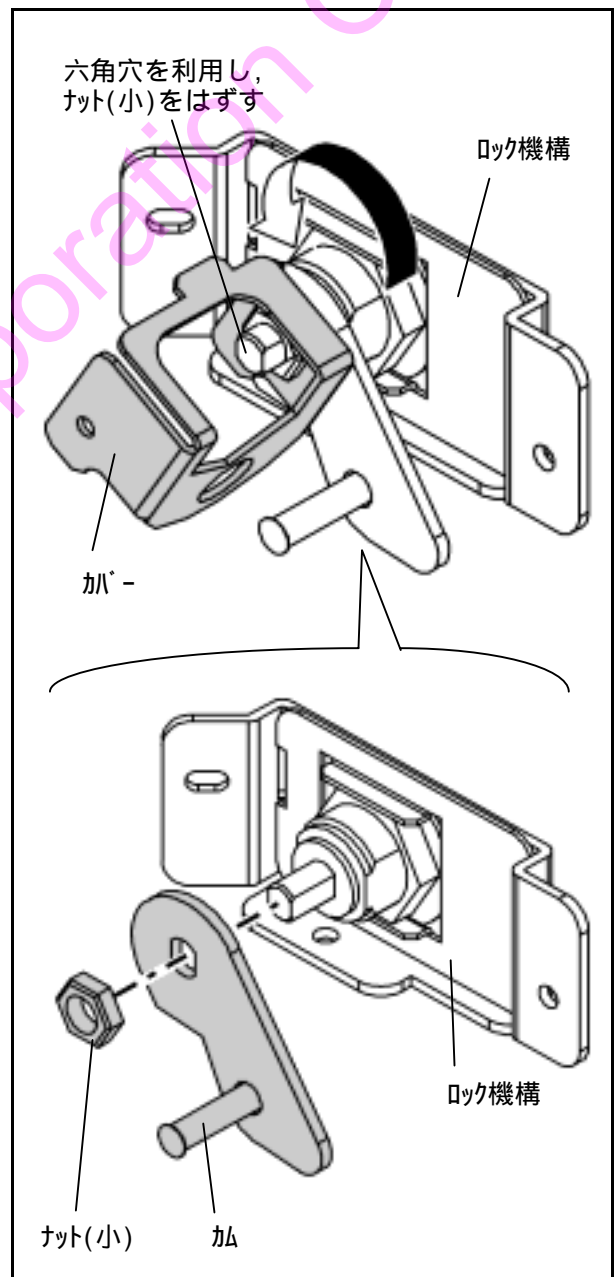
メインドアロックの交換

(1) ロック機構の交換(つづき)

取付金下部のねじ1本をはずし、カバーを取りはずします。



右図のようにナット(小)をはずし、カムをメインドアロックより取りはずします。その際、カバー上部の六角穴を利用してナット(小)を取りはずしてください。



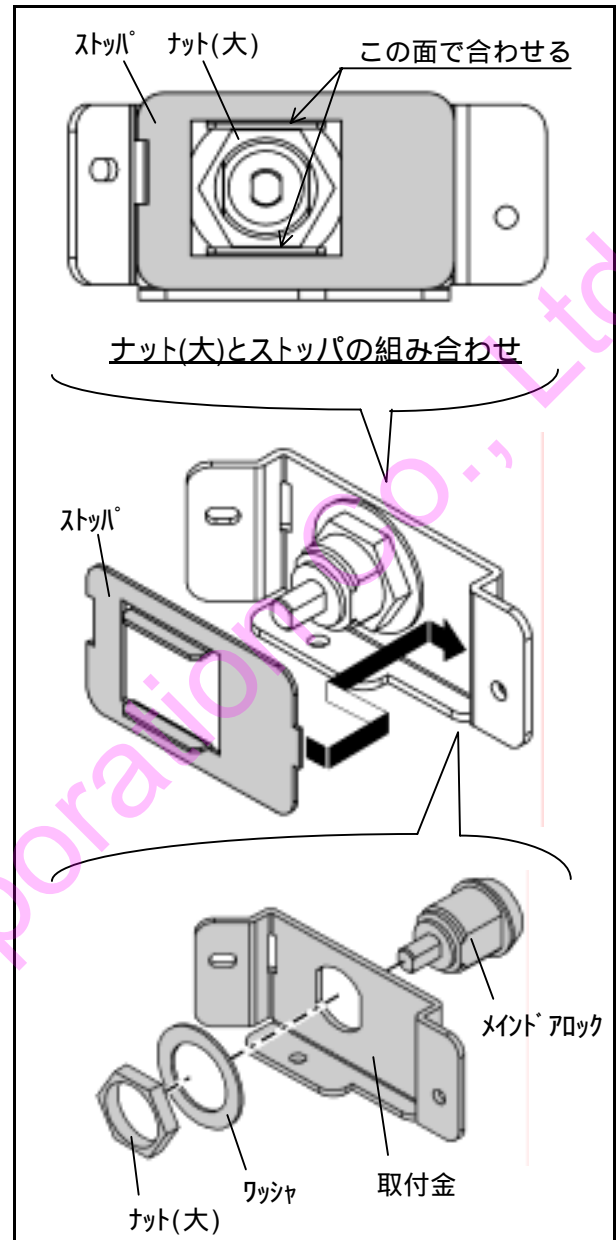
メインドアロックの交換

(1) ロック機構の交換(つづき)

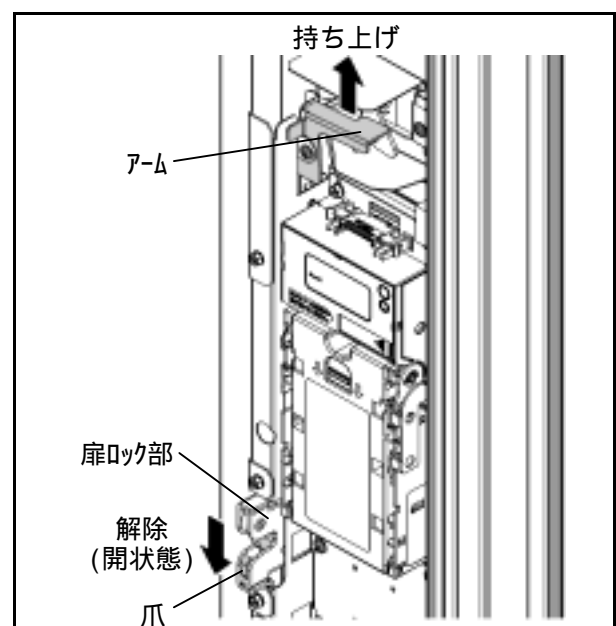
ストップをはずし、ナット(大)を取りはずすとメインドアロックと取付金、ワッシャがはずれます。(ナット(大)は手でゆるめることができます)

ご用意いただいたメインドアロックと交換し、
～ の逆手順でロック機構を組立て取付けます。

その際、ストップ角穴の内面にナット(大)の上下面が合うように少し緩めて位置合わせた状態で、ストップの爪を取付金の角穴に差し込み取付けます。



アームを手で持ちあげてください。扉ロック部が解除(開状態)になります。

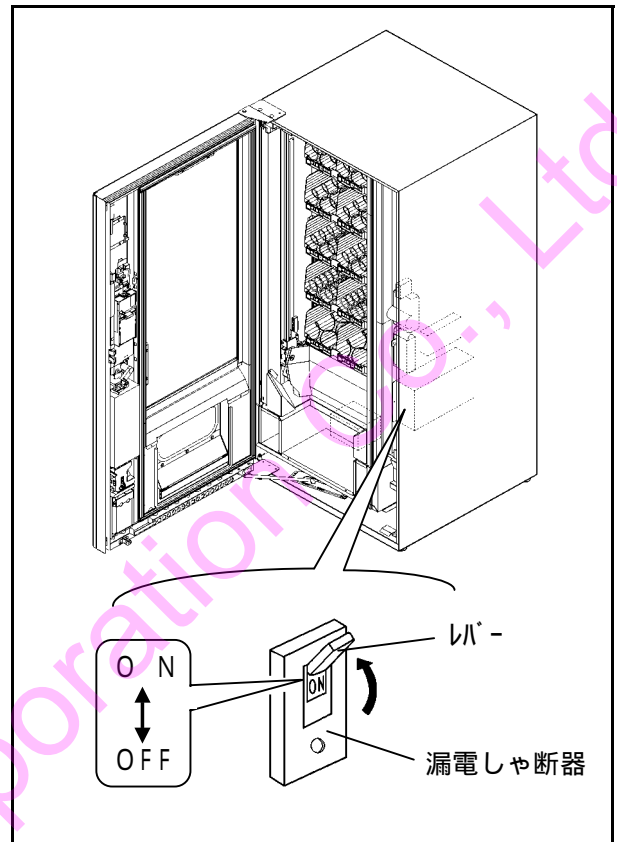


4 . 販売準備

機械の立ち上げ

(1)電源スイッチの操作

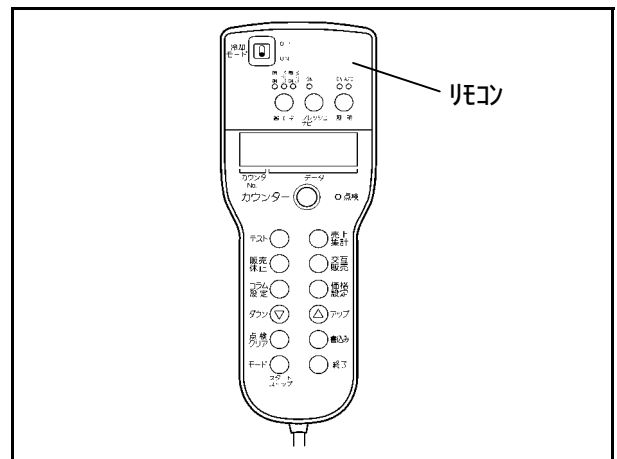
漏電しゃ断器のレバーをON側にする。



(2)制御の立ち上げ

つぎの項目の設定・確認を行います。

- [モード] 2 - 0 7 : 「現在年の設定」
- [モード] 2 - 0 6 : 「現在月日の設定」
- [モード] 2 - 0 5 : 「現在時刻の設定」
- [価格設定] × 1 : 「価格の設定」



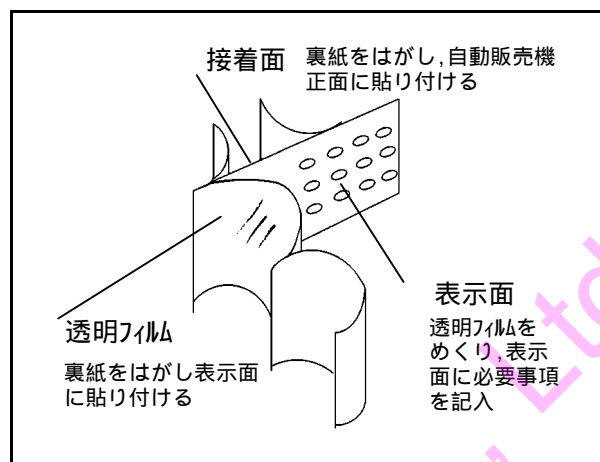
機械の立ち上げ

(3)統一ステッカーの貼付け

つぎの手順で、自動販売機正面の見易い位置に統一ステッカーを貼付けてください。

付属の自動販売機統一ステッカーに、管理者名、連絡先住所、連絡先電話番号を黒色の油性フェルトペンで記入してください。

貼付面に汚れがあれば、清浄にした後、右図の番号順に貼付けてください。

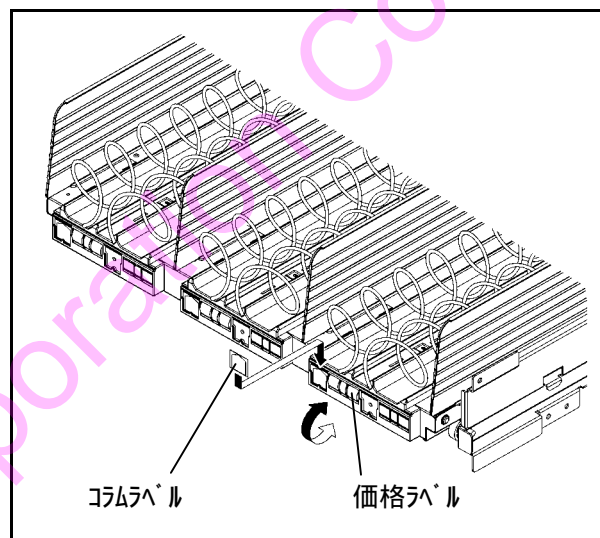


(4)コラムラベルの差し込み

付属のコラムラベルを右図のように差し込みます。

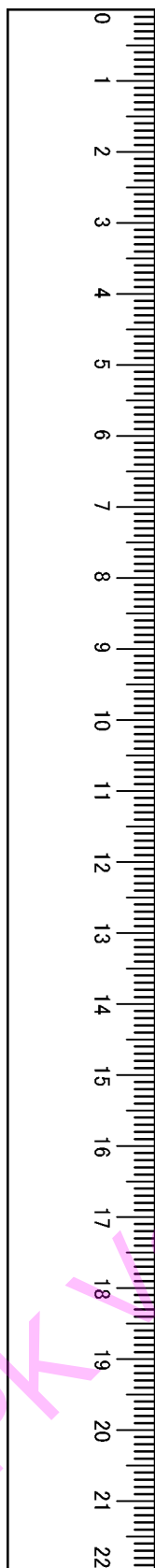
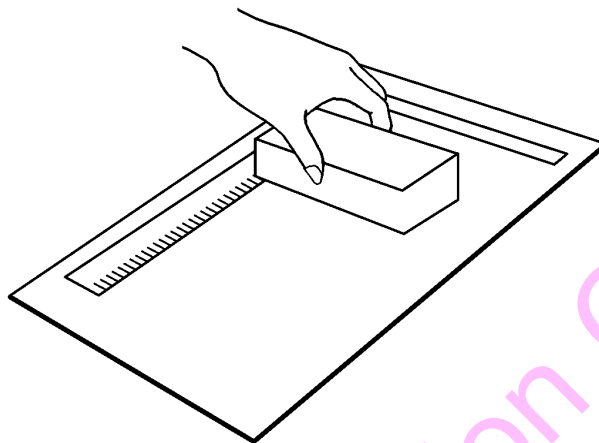
(5)価格ラベルの見直し

価格に合わせて各ラックの価格ラベルを上下に回して価格表示を見直します。



販売商品サイズの確認

販売商品のサイズによって、ラック棚部の仕切板の位置やスパイラル等の設定変更が必要な場合があります。
販売商品のサイズがわからない場合は、左のものさしに商品をあてがってサイズをご確認ください。



商品の充てん方法

(1)ラックの引き出し

外扉を90°以上開きます。

シングルスパイラル式ラック
ダブルスパイラル式ラック

仕様により2パターンのラック棚があります。

下部にレバーが無い場合

ラックの前面下部中央を持ち、前方を少し持ち上げながらラック全体を手前に引き出します。

下部にレバーがある場合(水平出し)

ラック棚下部中央のレバーを手前にスライドさせたままラック全体を手前に引き出します。レバーをスライドさせることでロックがはずれます。

手前を少し持ち上げながら引き出す

ラック全体

<レバーが無い場合>

引き出す

ラック全体

レバー

<レバーがある場合>
ラックを下より見る

[!] スパイラルを持ってラックを引き出すことはおやめください。

[!] 上1~2段目は、ラックを一番手前まで引き出すと斜めに傾きます。最後まで手を離さず、ゆっくりと引き出してください。急激に引き出すと破損する恐れがあります。

[!] ラックをセットする時は手で持って静かに押ししてください。勢いをつけて押しとラックが破損する恐れがあります。

[!] 最上段のラック棚への商品充てん作業の際は天井にガイドがありますので注意しておこなってください。

上1~2段目

ガイド

上3段目以降

必ずラックの前面下部を持って手前に引き出す。

商品の充てん方法

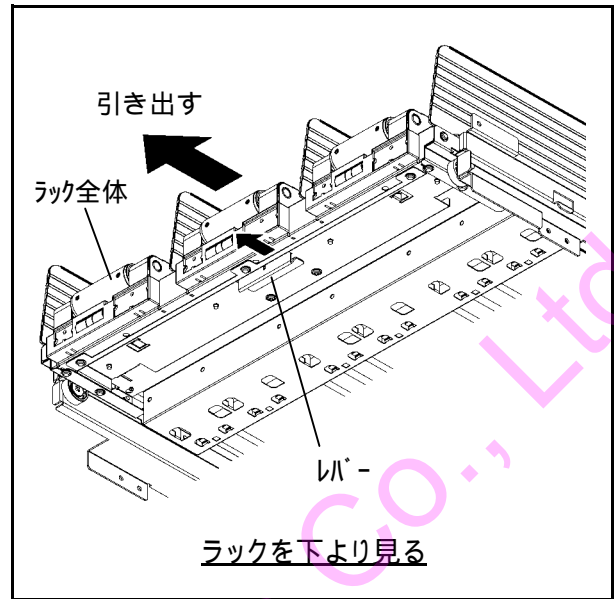
(1) ラックの引き出し(つづき)

コンベア式ラック

ラック棚下部中央のレバーを手前にスライドさせたままラック全体を手前に引き出します。レバーをスライドさせることでロックがはずれます。

[!] ラックをセットする時は手で持って静かに押ししてください。勢いをつけて押すとラックが破損する恐れがあります。

[!] ラックを収納する際はロックが掛かる位置まで確実にラックを押し込んでください



商品の充てん方法

(2)スパイラルの変更

販売商品によりピッチの異なるスパイラルに変更する必要があります。

スパイラルの後先端の差し込み位置が上になる様、スパイラルを回転させます。

ストッパーを図のように手前にはずします。

上にスパイラルを抜きます。

同じようにスパイラルの後先端を差し込み穴に挿入し、図のようにストッパーを取付けます。

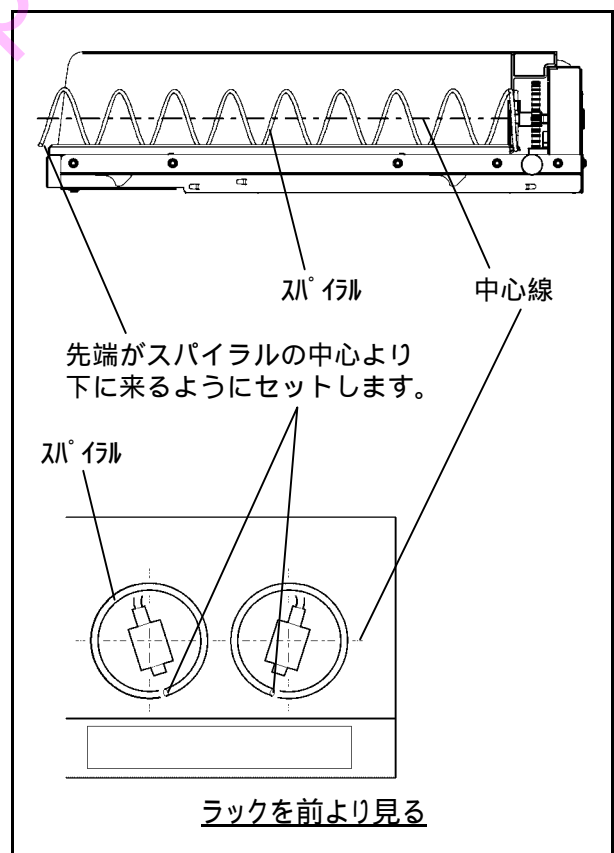
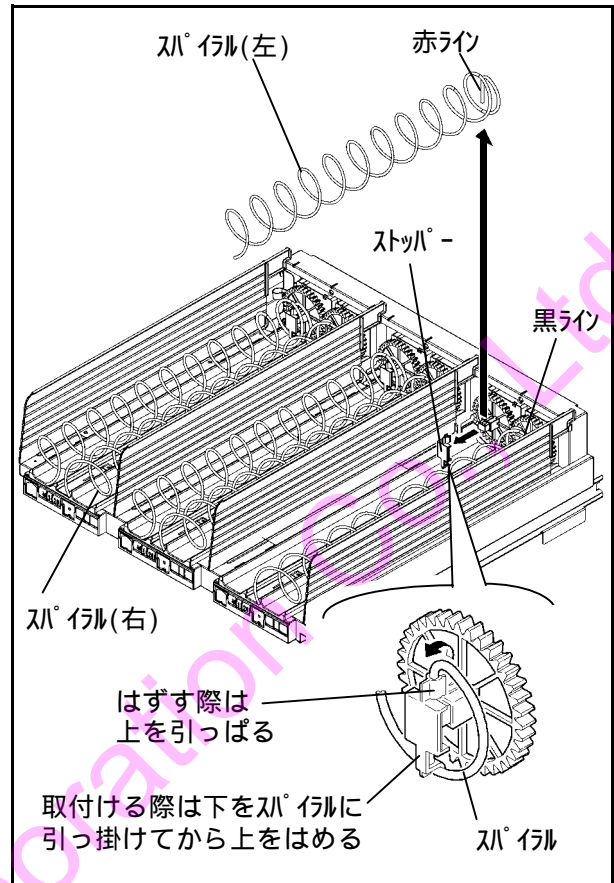
スパイラルの先端先端がスパイラルの中心より下にくるようにスパイラルを回してください。

[!] 先端がスパイラルの中心より上にあると、商品がラック先端からはみ出して、販売トラブルの原因になります。

スパイラルの種別については下表を参考にしてください。

取付位置	スパイラルピッチ	ライン	本数
右側	30mm	黒	4本
	45mm		1本
	56mm		2本
	87mm		3本
左側	30mm	赤	4本
	45mm		1本
	56mm		2本
	87mm		3本

[!] シングルスパイラル式ラックには、左側用のスパイラルを取付けてください。右側用スパイラルでは販売できません。



商品の充てん方法

(3)仕切板の位置変更

ダブルスパイラル式ラック

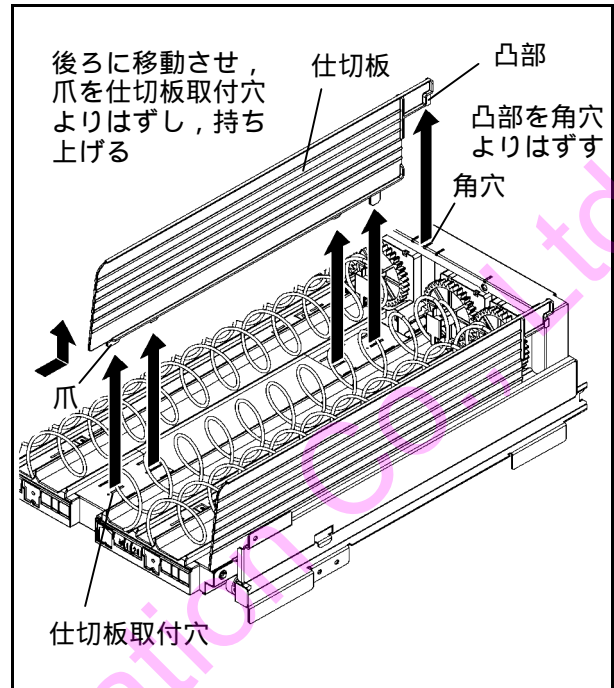
販売商品の大きさにより仕切板の取付位置を変更する必要があります。

仕切板の奥側から持ち上げ、凸部を角穴よりはずします。

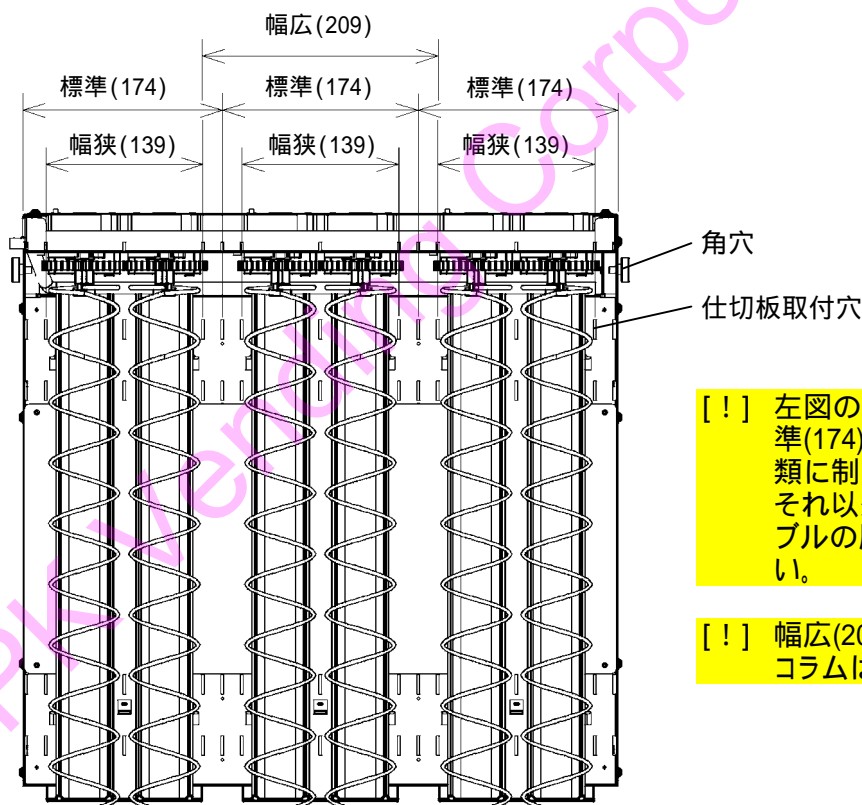
仕切板を後ろに移動させて手前側の爪を仕切板取付穴よりはずしてから持ち上げ、取りはずします。

変更する取付位置の仕切板取付穴に仕切板手前側の爪を差し込み、手前に移動させることで確実にセットします。

仕切板の奥側の凸部をラック後ろの角穴に差し込みます。



ダブルスパイラル式ラック(3列ノ棚)



[!] 左図のように仕切板の取付位置は標準(174)、幅広(209)、幅狭(139)の3種類に制限されています。それ以外での組合わせでの販売はトラブルの原因となりますのでご注意ください。

[!] 幅広(209)で使用する場合は、両端のコラムは必ず幅狭(139)で使用ください。

ラックを上より見る ()の数字はmm

商品の充てん方法

(3)仕切板の位置変更(つづき)

シングルスパイラル式ラック

販売商品の大きさにより仕切板の取付位置を変更する必要があります。

仕切板の奥側から持ち上げ、凸部を角穴よりはずします。

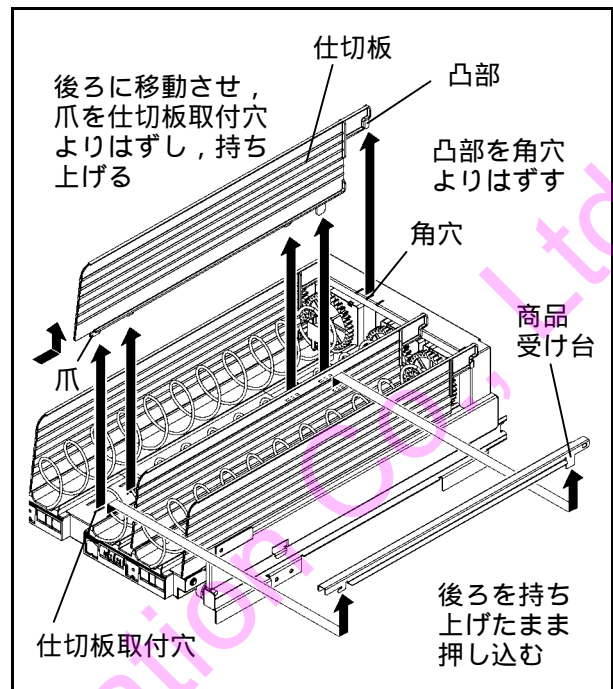
仕切板を後ろに移動させて手前側の爪を仕切板取付穴よりはずして持ち上げ、取りはずします。

左側コラムを「幅狭」に設定する場合、左側コラムに取り付けてある商品受け台を取りはずす必要があります。商品受け台を後ろ側に押し込んだ後、上に取りはずします。

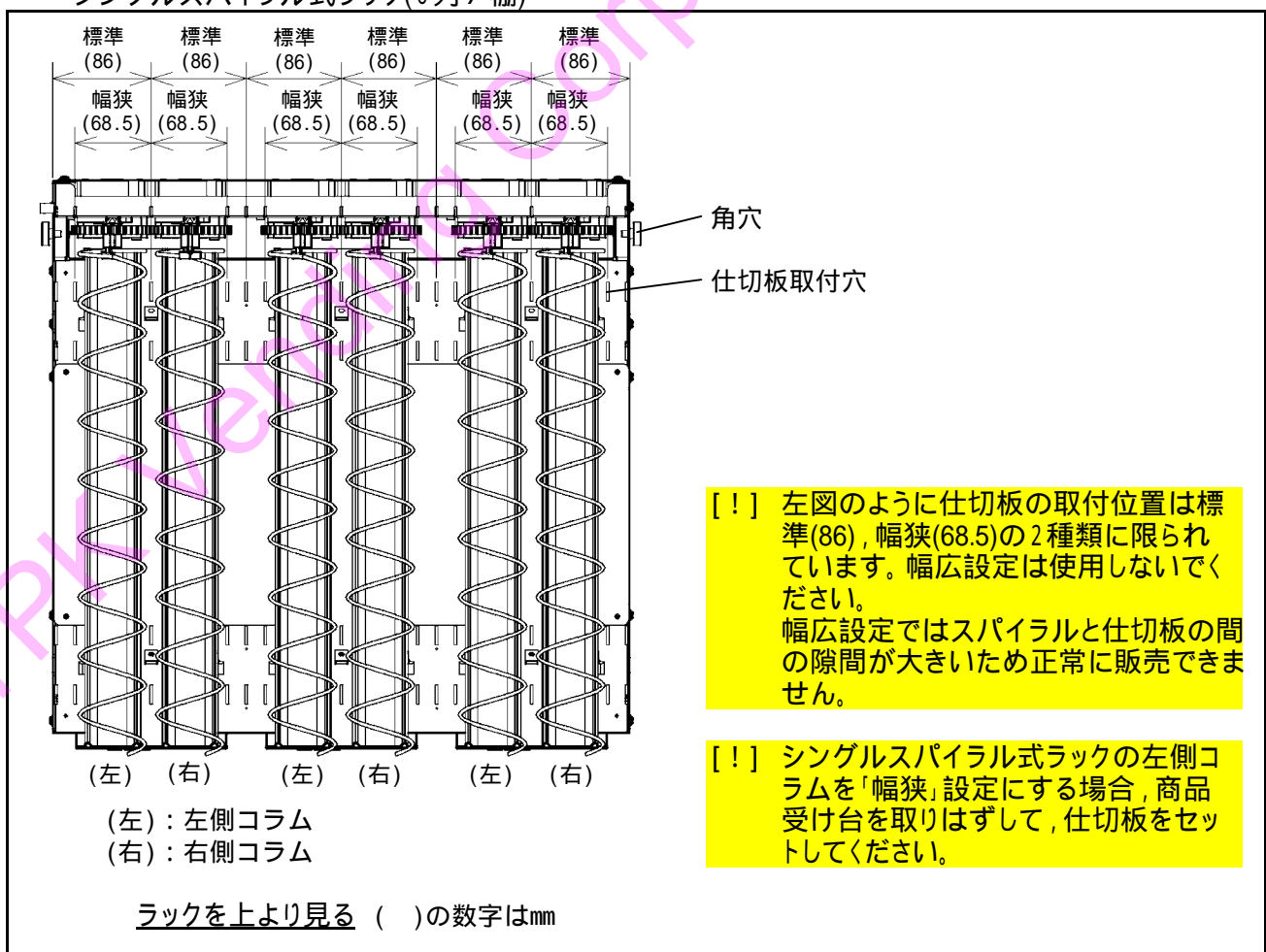
変更する取付位置の仕切板取付穴に仕切板手前側の爪を差し込み、手前に移動させることで確実にセットします。

仕切板の奥側の凸部をラック後ろの角穴に差し込みます。

仕切板を「標準」に設定する場合、仕切板の左側に商品受け台を取付ける必要があります。と逆手順で取付けます。



シングルスパイラル式ラック(6列/棚)



【!】左図のように仕切板の取付位置は標準(86)、幅狭(68.5)の2種類に限られています。幅広設定は使用しないでください。幅広設定ではスパイラルと仕切板の間の隙間が大きいため正常に販売できません。

【!】シングルスパイラル式ラックの左側コラムを「幅狭」設定にする場合、商品受け台を取りはずして、仕切板をセットしてください。

商品の充てん方法

(3)仕切板の位置変更(つづき)

コンベア式ラック

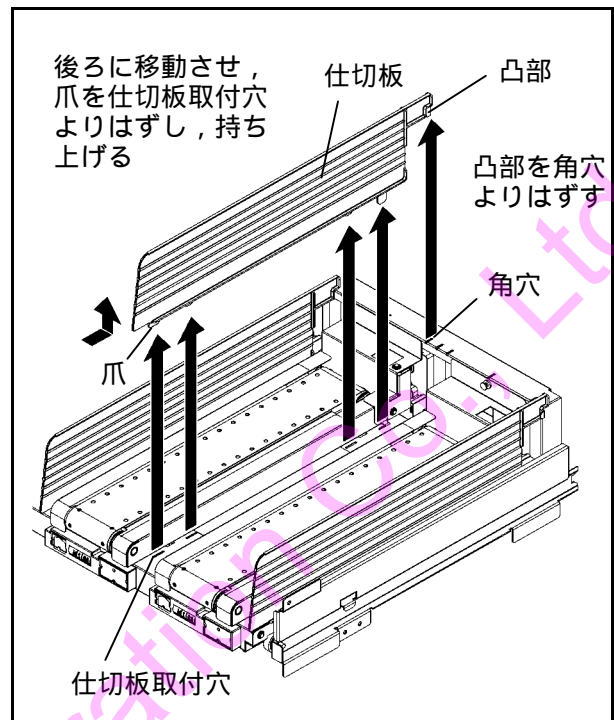
販売商品の大きさにより仕切板の取付位置を変更する必要があります。

仕切板の奥側から持ち上げ、凸部を角穴よりはずします。

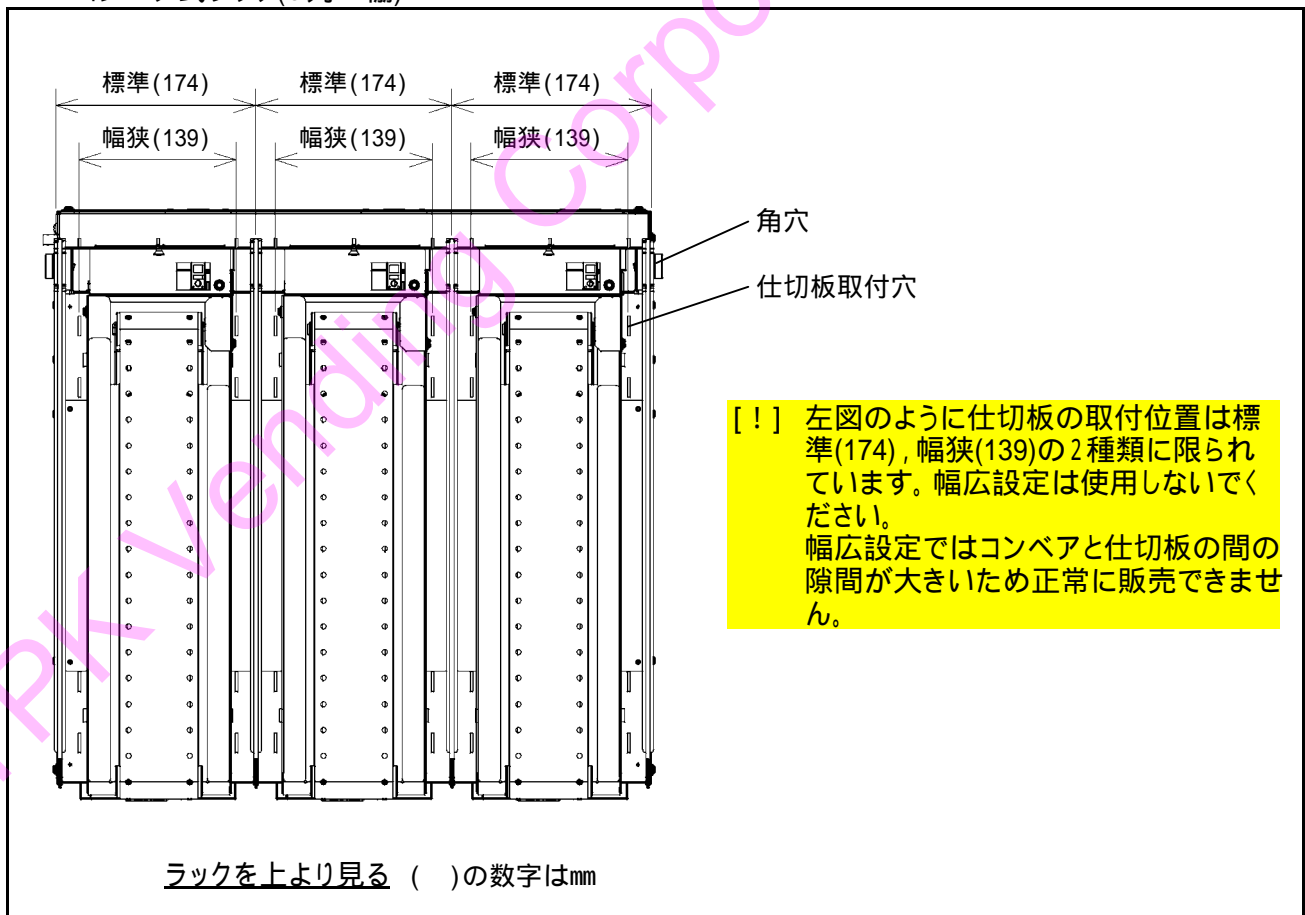
仕切板を後ろに移動させて手前側の爪を仕切板取付穴よりはずしながら持ち上げ、取りはずします。

変更する取付位置の仕切板取付穴に仕切板手前側の爪を差し込み、手前に移動させることで確実にセットします。

仕切板の奥側の凸部をラック後ろの角穴に差し込みます。



コンベア式ラック(3列/棚)

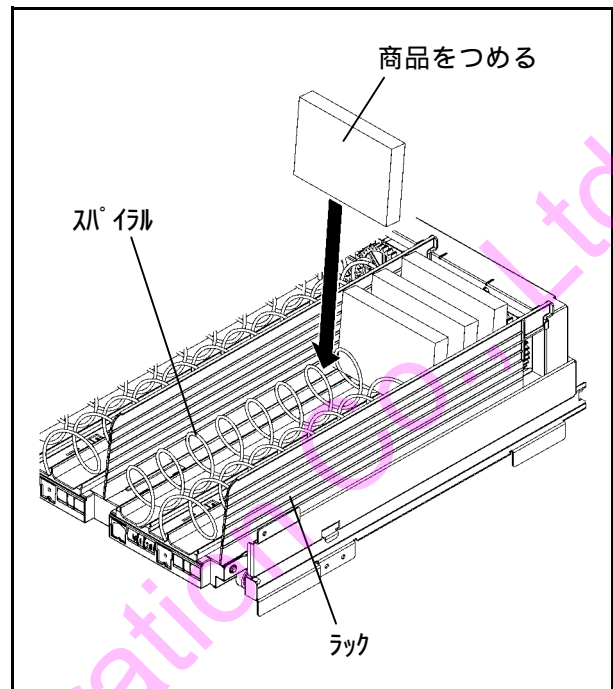


商品の充てん方法

(4) ラックへの商品の充てん

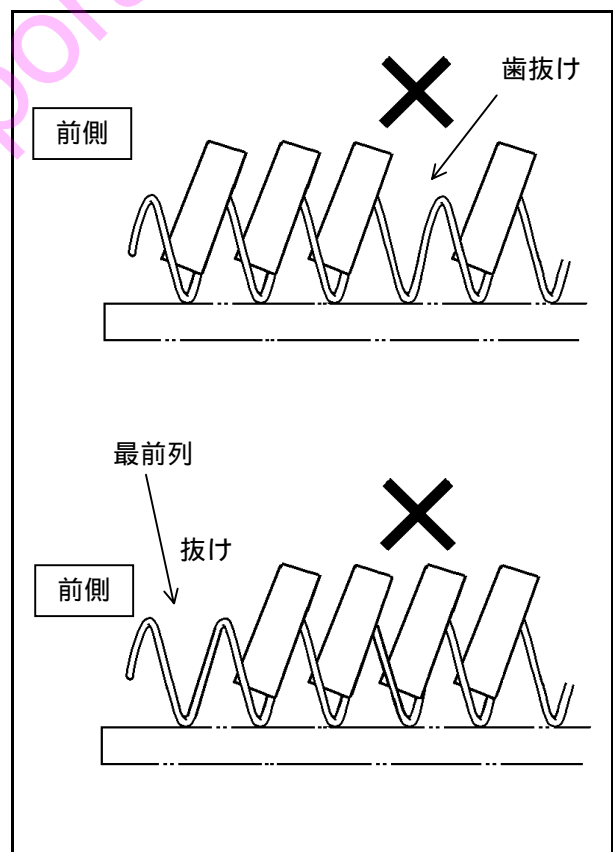
ダブルスパイラル式ラック
シングルスパイラル式ラック

選択ボタンに対応した商品をラックに充てんします。



商品は奥側から順に歯抜けや最前列が抜けないように収納してください。

[!] 歯抜けで収容すると、売切れ(バンドエンドセンサあり設定の場合)や、空売り(バンドエンドセンサなし設定の場合)になります。



商品の充てん方法

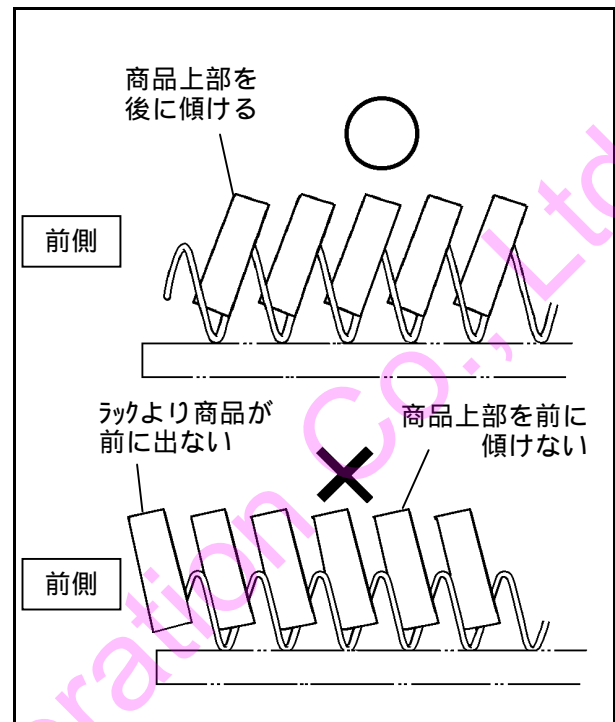
(4)ラックへの商品の充てん(つづき)

ダブルスパイラル式ラック
シングルスパイラル式ラック

井型商品を除く全ての商品は、右図のように商品の上部を後に傾けるように収納してください。

商品がラックより前に出ないように収納してください。

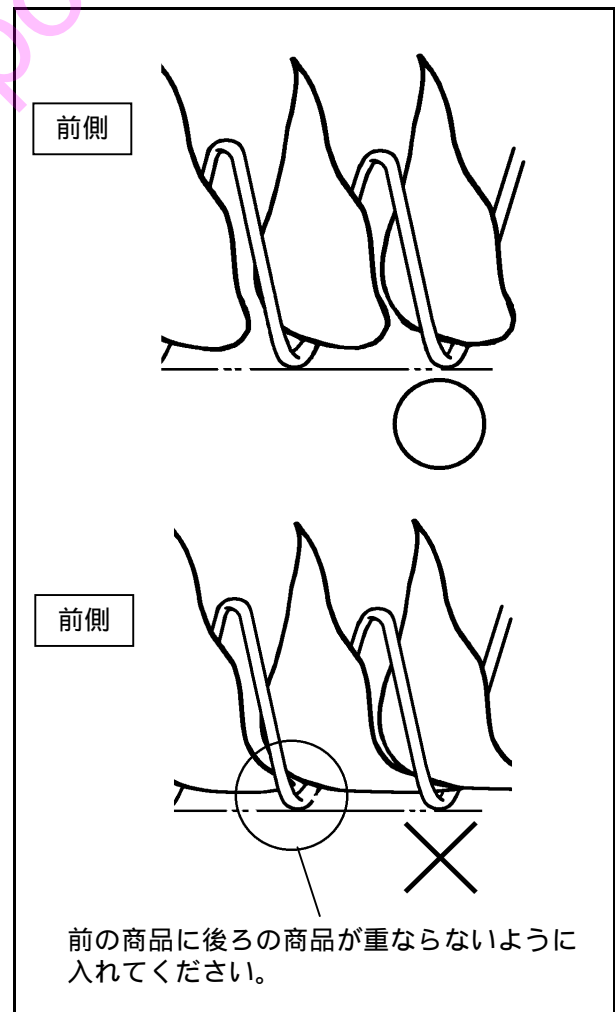
[!] ラックより商品が前に出ますと搬送機構の動作トラブルの原因となります。



袋に入った商品を充てんするときには、前の商品に後ろの商品が重ならないように充てんしてください。

[!] 袋同士が重なっていると商品の2個落ちなどの販売トラブルの原因になります。

隣のラックの商品同士がぶつからないように充てんしてください。



商品の充てん方法

(4)ラックへの商品の充てん(つづき)

ダブルスパイラル式ラック
シングルスパイラル式ラック

商品によっては袋のとじ代やしわがスパイラルに引っかかるものがあります。とじ代やしわがスパイラルにからまないように注意して充てんするようにしてください。

[!] とじ代やしわがスパイラルに引っかかっていると、商品の2個落ちなどの販売トラブルの原因になります。

ラック幅より大きい商品は、充てんしないでください。

[!] ラック幅より大きい商品は、販売トラブルの原因となります。

袋に引っ掛け穴がある場合はスパイラルに引っ掛かるのを防止するため、袋を折りたたみテープで固定してください。

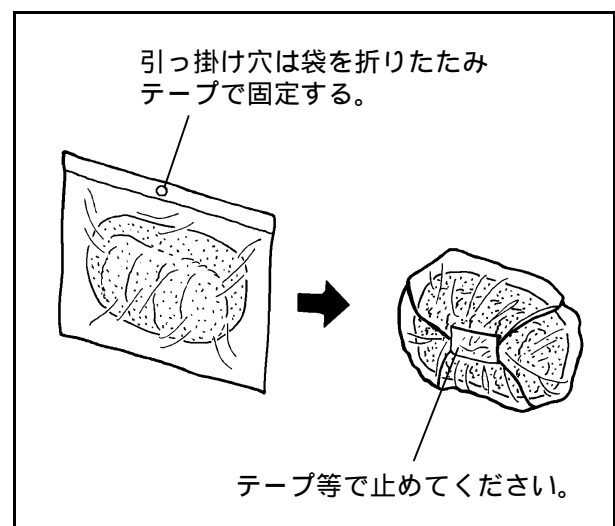
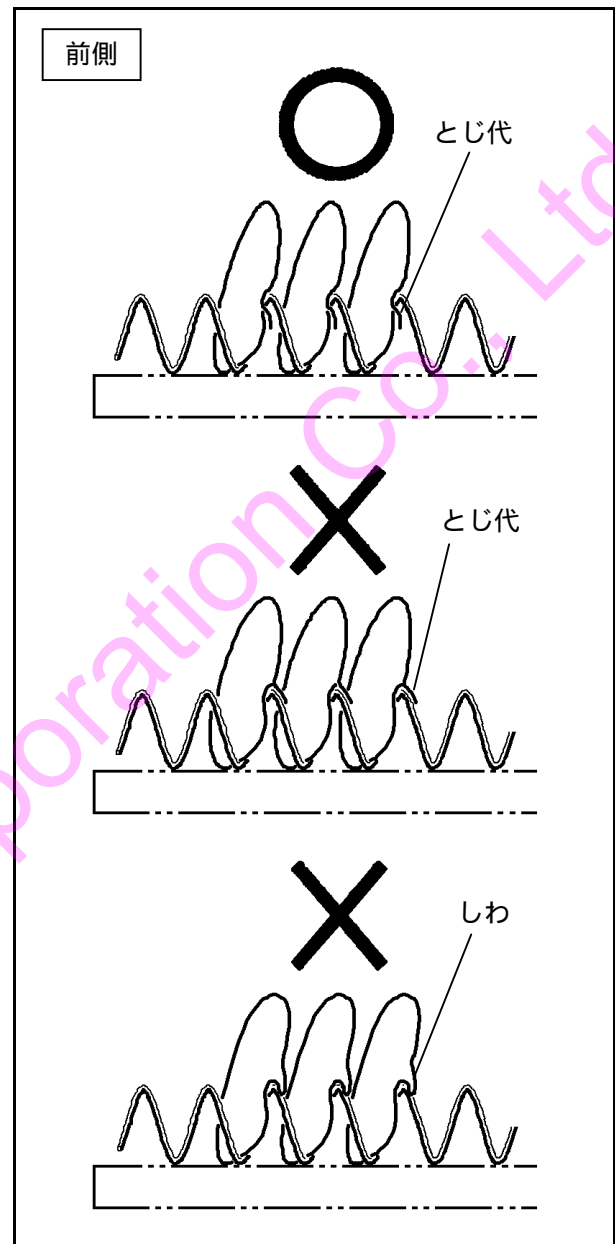
中身に比べて袋が極端に大きい場合は、袋の余った部分をテープ等で止めてから充てんしてください。

[!] 袋がスパイラルにからみついた場合、商品の2個落ちなどの販売トラブルの原因になります。

商品とスパイラルの間に5mm程度隙間があることを確認してください。

[!] 商品を無理に詰めると、商品を販売出来ない場合があります。

[!] 著しく露のついた商品は補充しないでください。販売不具合が生じる場合があります。

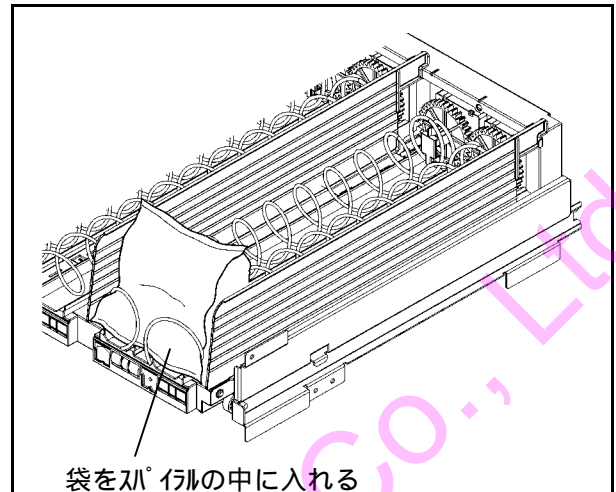


商品の充てん方法

(4) ラックへの商品の充てん(つづき)

ダブルスパイラル式ラック

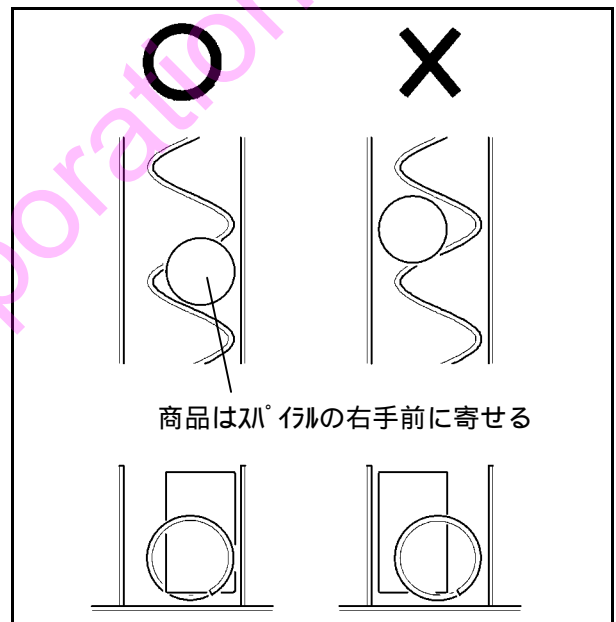
中身にくらべて袋の大きい商品は袋の下部両端をスパイラルの中に入れて充てんしてください。



シングルスパイラル式ラック

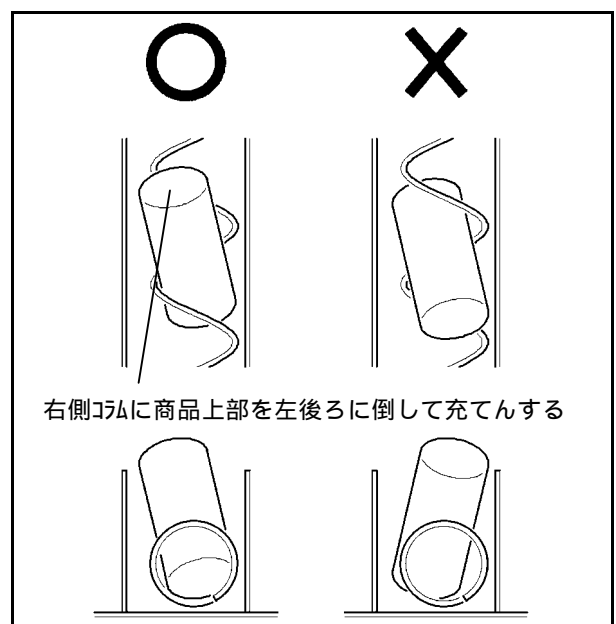
円筒容器商品で背の低いもの(直径55mm以下で安定して直立するもの)はスパイラルの右手前に寄せて充てんしてください。

[!] スパイラルの左奥に寄せて充てんすると、ラック内で商品が転倒して正常に販売できません。



円筒容器(背の高いもの)商品は右側コラムで商品上部を左後ろに倒して充てんしてください。

[!] 商品上部が手前に倒して充てんしたり、左側コラムに充てんすると販売トラブルの原因となります。



背の高い商品は確実に後ろに傾けて充てんし、テスト販売を行って前に倒れてこないことを確認してください。

[!] 最前列の商品が前に倒れてラック前端より前に出ますと搬送機構の動作トラブルや販売トラブルの原因となります。

商品の充てん方法

(4)ラックへの商品の充てん(つづき)

シングルスパイラル式ラック

薄い商品を標準幅の右側コラムで販売する場合は、スパイラルと仕切板の間から商品がすり抜けないことを確認してください。
すり抜けてしまう場合は、左側コラムで販売してください。

[!] 薄い商品を右側コラムで販売すると、商品がスパイラルと仕切板の間からすり抜けて2個落ちなどの販売トラブルの原因になります。

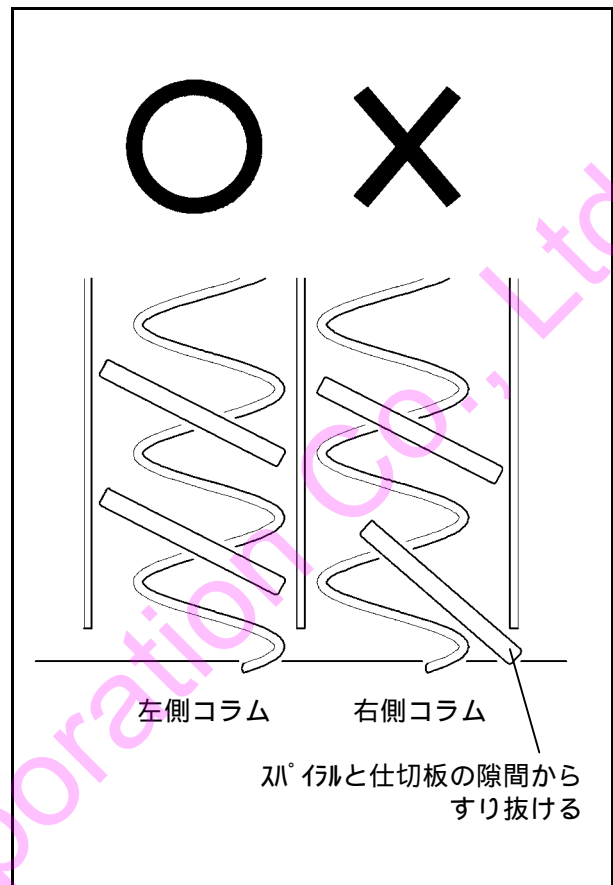
[!] 商品の厚みが20mmより小さい場合はバンドエンドセンサ無効設定で販売してください。

商品とスパイラルの間隙がない場合には、左端のコラム以外で販売してください。

[!] 商品がスパイラルに巻き込まれるように左側に傾くため、搬送機構に当たって販売トラブルの原因となります。

袋の中に小さい中身商品が複数入っている商品は右側コラムで販売してください。

[!] 商品によっては、中身商品の重心バランスが一定でないため、販売できない場合があります。



商品の充てん方法

(4)ラックへの商品の充てん(つづき)

コンベア式ラックへの商品の充てん

商品の奥行寸法と、コンベア式ラックの両側面にあるローディングラベルの奥行方向に並んでいる線の間隔とを見比べて、間隔が商品寸法に一番近く、かつ、商品寸法よりも大きい列の番号(2~5)を選びます。

商品が線と線の間収まるように、商品をコンベアベルトの上に並べてください。

(商品と商品の間は詰めないでください。)

特にラックの最前列の商品は線より後になるように商品を置いてください。

[!] 商品間とはどんな小さな商品でもローディングラベルの「2」の間隔以上詰めないでください。

[!] 商品が線をまたいで並べられた場合、次販売商品がラック先端からはみ出して販売トラブルの原因になります。

[!] 商品同士が重ならないように充てんしてください。重ねて充てんすると商品の2個落ちなどの販売トラブルの原因になります。

[!] 商品より長いはしやストローを取付けた物を販売すると、販売時に折れる場合がありますのでご注意ください。

[!] ローディングラベルの最も奥の番号の縦位置より後には商品を充てんしないでください。販売トラブルの原因になります。

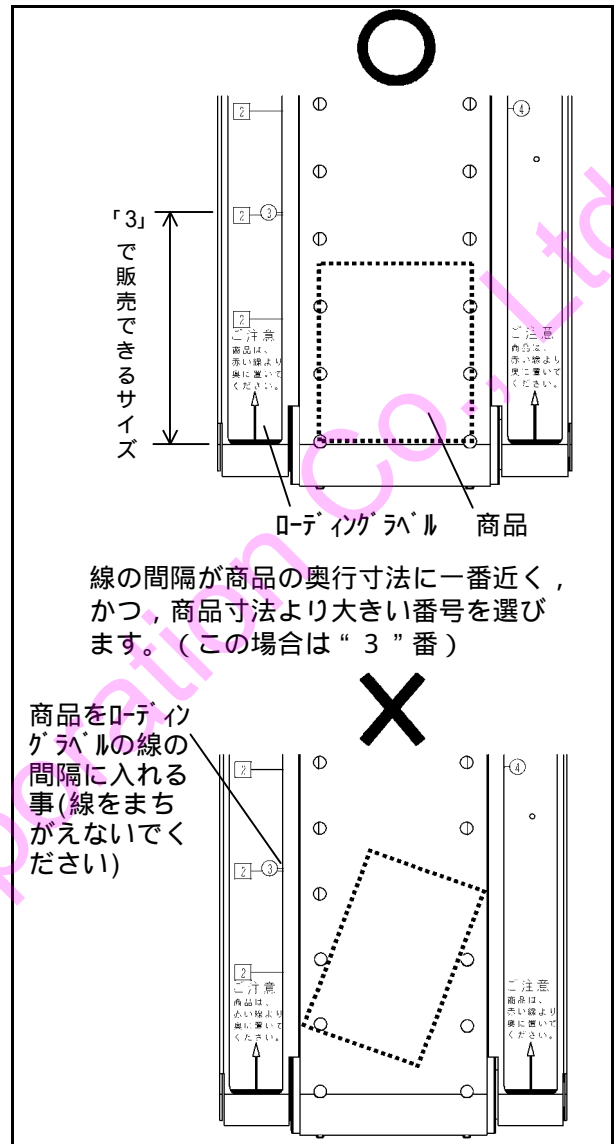
リモコンの[モード]3-03にて番号(2~5)に対応した搬出メカコード(12~15)に設定してください。

番号	奥行寸法(mm)	搬出メカコード
2	~ 39	12
3	~ 79	13
4	~ 118	14
5	~ 157	15

[!] 商品寸法よりも狭い間隔の搬出メカコードを設定して販売した場合、次販売商品がラック先端からはみ出して、販売トラブルの原因になります。

[!] 販売商品の形状により、搬出メカコード、収納数は異なる場合があります。

メインドアが開いている状態でテンキーボタンを使って各コラムの価格設定、搬出メカコードならびに賞味期限設定を簡単に確認することができます。



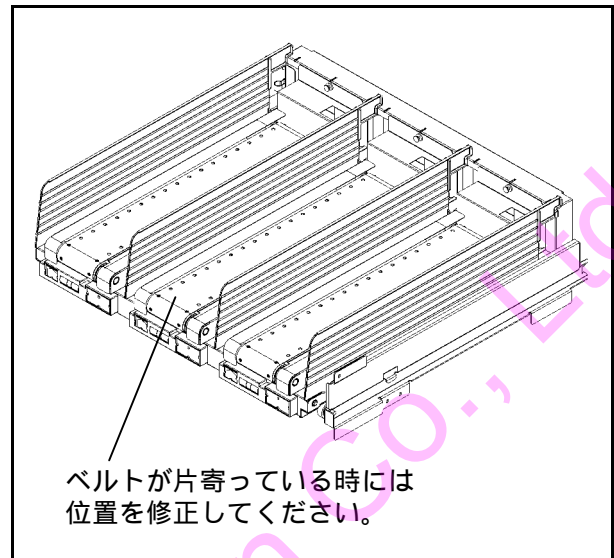
商品の充てん方法

(4) ラックへの商品の充てん(つづき)

コンベア式ラックへの商品充てん時の注意

コンベアベルトが左右どちらかに片寄っている場合は、ベルトの中央とプーリの中央が一致するようにベルトの位置を修正してください。

[!] ベルトが片寄ったままの状態で使用し続けると販売トラブルの原因になります。

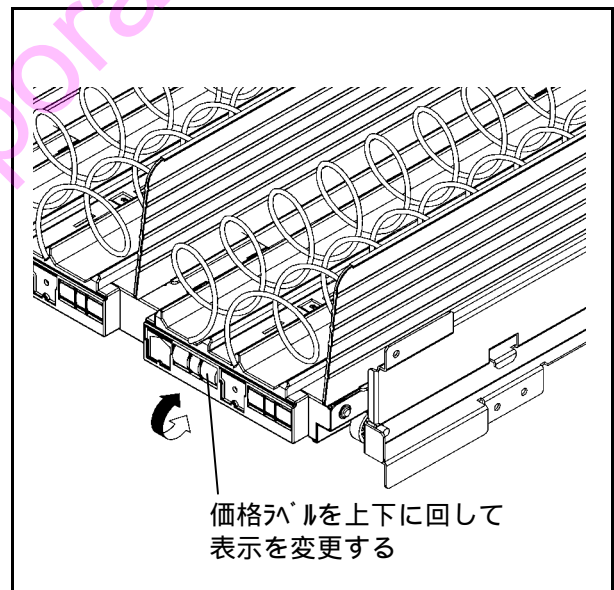


ダブルスパイラル式ラック
シングルスパイラル式ラック
コンベア式ラック

(5) 価格の変更

リモコンの[価格設定]キーを使って、設定および変更します。

設定・変更した価格に合わせて各ラックの価格ラベルを上下に回して価格表示を見直します。



商品の充てん方法

(6) 井型商品の販売方法

ダブルスパイラル式ラック

井型商品を販売する場合は、スパイラルピッチや仕切板取付位置の変更以外に搬出メカコードの見直しを行う必要があります。

リモコンの[モード]3 - 03 : 「搬出メカコードの設定」にて「16」に設定し、井型商品を販売する対象コラムに設定します。

- ・メカコード「16」: 井型商品

リモコンの[テスト]キーにて「コラムモータ単品テスト」を対象コラムで行います。コラムモータが約1回転半回り、通常の販売待機位置より約180°回転した位置で停止します。

[!] コラムモータ単品テスト中は駆動部にふれないでください。
けがの恐れがあります。

[!] コラムモータ単品テストを実施しないと搬送機構トラブルまたは2個落ちなどの販売トラブルの原因となります。

[!] スパイラルの先端が上を向くので他のコラムの商品が引っ掛かる恐れがあります。
井型商品は最上段のラックで販売することをお勧めします。

商品上部を前に傾けながらうつ伏せにし、ラックに充てんします。

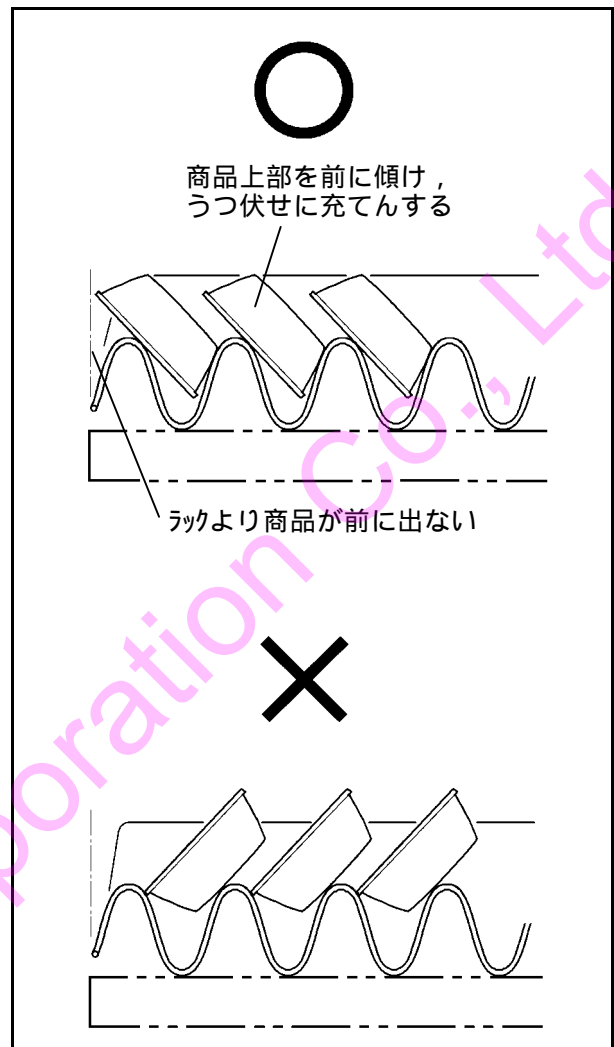
[!] ラックより商品が前に出ますと搬送機構の動作トラブルの原因となります。

[!] 商品の大きさによっては取出口から取り出せない場合があります。取り出せることを確認した上で充てんしてください。

< 井型商品以外の販売方法に戻す場合 >

[モード]3 - 03 : 「搬出メカコードの設定」にて商品に合った搬出メカコードを、対象コラムに設定します。

[テスト]キーにて対象コラムのコラムモータ単品テスト販売を行います。



商品の充てん方法

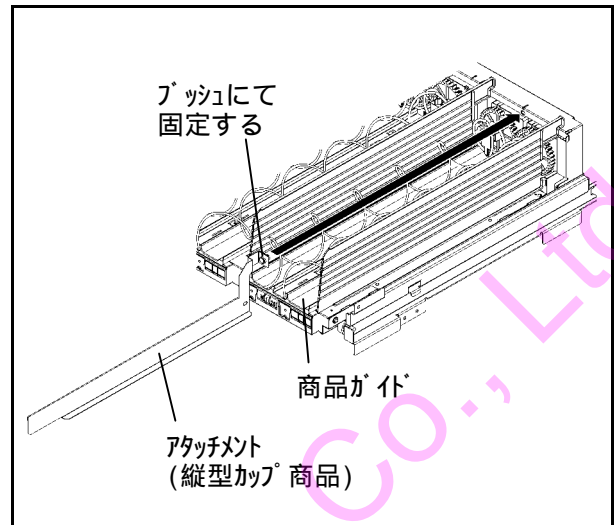
(7)縦型カップ商品の販売方法

ダブルスパイラル式ラック

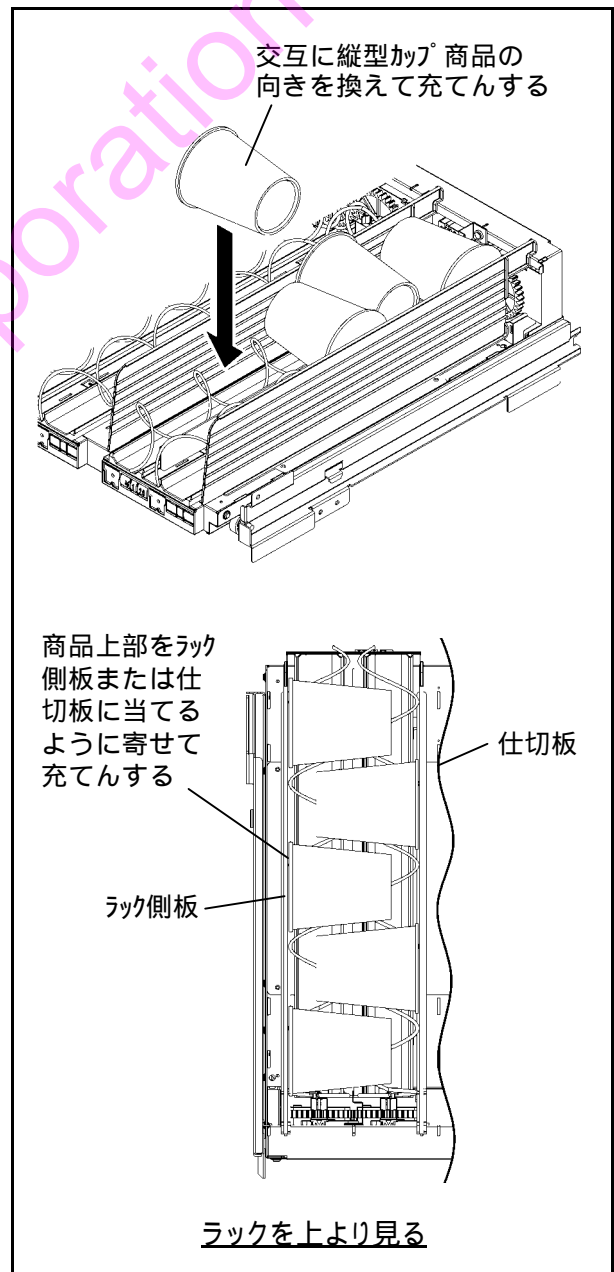
縦型カップ商品を販売する場合、スパイラルピッチや仕切板取付位置の変更以外につきのアタッチメントを取付ける必要があります。

- ・スパイラルピッチ.....87mmピッチを使用
- ・仕切板取付位置.....幅狭(139mm)に設定

アタッチメント(縦型カップ商品)を商品ガイドの上に置き、ラック背板にブッシュにて固定します。



縦型カップ商品をラックに交互に向きを換えて横に寝かして充てんします。その際、商品上部をラックの側板または仕切板に当てるように寄せて充てんします。



商品の充てん方法

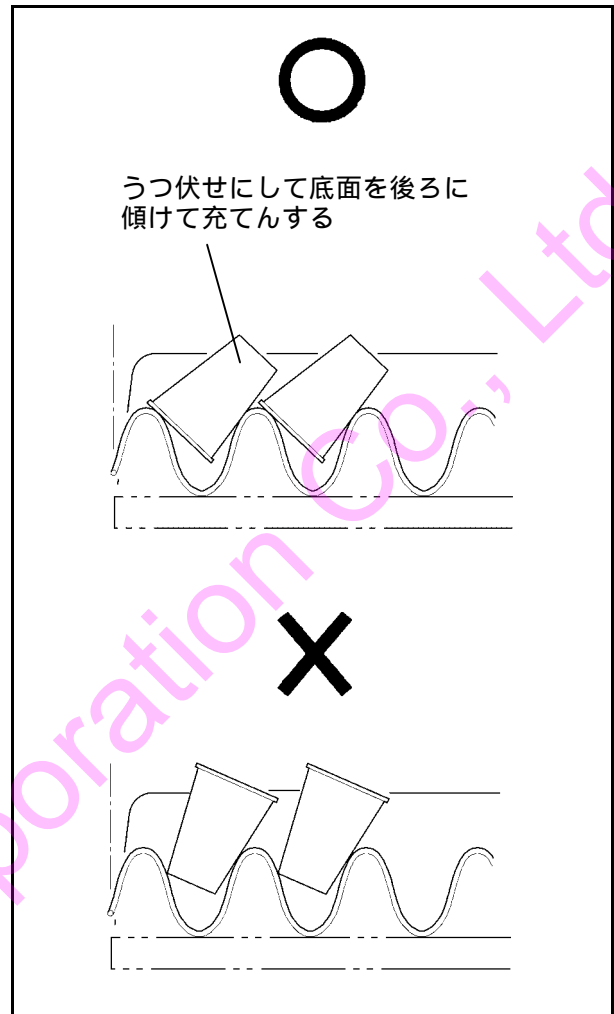
(7)縦型カップ商品の販売方法(つづき)

シングルスパイラル式ラック

縦型カップ商品を販売する場合、スパイラルピッチや仕切板取付位置の変更を行う必要があります。

- ・スパイラルピッチ.....87mmピッチを使用
- ・仕切板取付位置.....標準(86.6mmまたは93.1mm)に設定

うつ伏せにして底面を後ろに傾けてラックに充てんします。



商品の充てん方法

(8)細長商品の販売方法

シングルスパイラル式ラック

細長商品(ガムや筒状商品など)を販売する場合は、スパイラルピッチや仕切板取付位置の変更以外にスパイラル待機位置設定の見直しを行う必要があります。

[!] 仕切板取付位置は「幅狭」に設定して販売を行ってください。

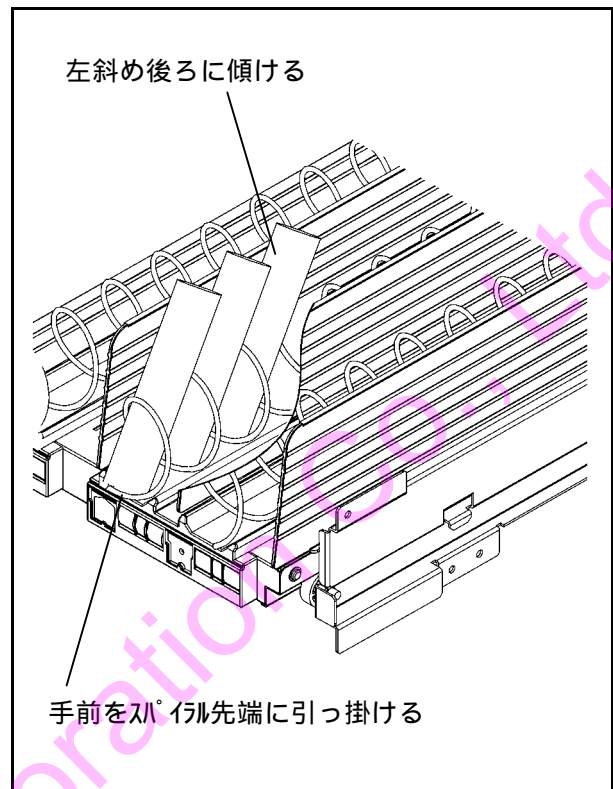
スパイラルの後先端の差し込み位置が上になるようにスパイラルを回転させます。

ストッパーを手前にはずします。

上にスパイラルを抜きます。

リモコンの[モード]0 - 65 : 「コラムモータ押し込み時間設定」にて押し込み時間を一度「10」に設定し、細長商品を販売する対象コラムに設定します。

リモコンの[テスト]キーにて「コラムモータ単品テスト」を対象コラムで行います。コラムモータが約1回転半回り、通常の販売待機位置より約180°回転した位置で停止します。



[!] コラムモータ単品テスト中は駆動部にふれないでください。けがの恐れがあります。

[!] コラムモータ単品テストを実施しないと搬送機構トラブルまたは2個落ちなどの販売トラブルの原因となります。

先程と同じようにスパイラルの後先端を上より差し込み穴に挿入し、ストッパーを取付けます。

再度、[モード]0 - 65 : 「コラムモータ押し込み時間設定」にて押し込み時間を「7」に設定し、対象コラムを設定します。

再度、[テスト]キーにて「コラムモータ単品テスト」を対象コラムで行います。

図のように商品の手前をスパイラル先端部に引っ掛け、左斜め後ろに傾けて充てんします。

[!] 商品の厚みが20mmより小さい場合は、リモコンの[モード]0 - 64 : 「ベンドエンドセンサ無効設定」を行ってください。

リモコンスイッチの使い方

リモコンの各スイッチにはつぎの機能があります。

(1) 照明スイッチ

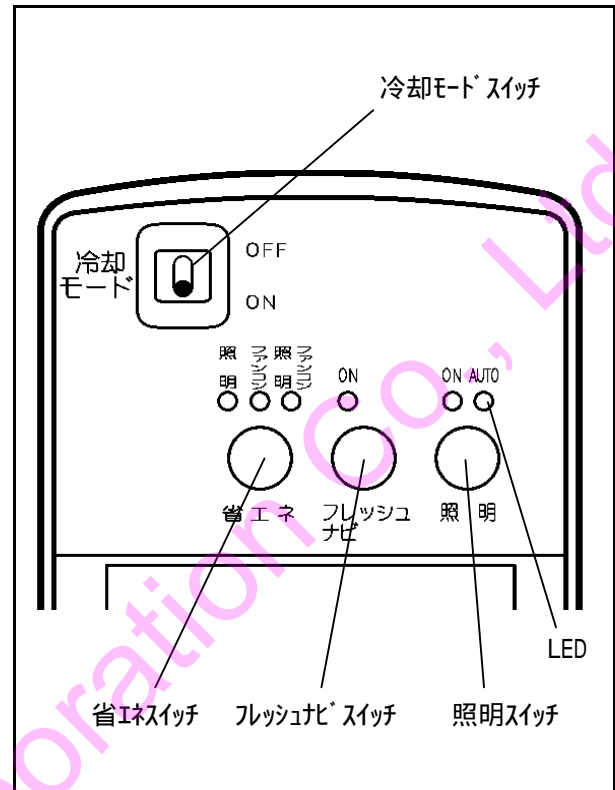
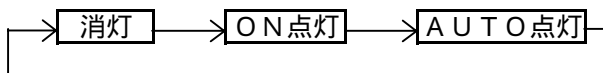
照明スイッチで照明器具（オプション）の点灯設定を3段階に切替えられます。

LED「ON」点灯..... 照明は常時点灯します。

LED消灯..... 照明は常時消灯します。

LED「AUTO」点灯..... 照明器具自動点滅器（フォトセンサ）と省エネタイマにより自動的に点灯/消灯します。

[!] 照明スイッチを押すとLED表示が下記のように変化します。

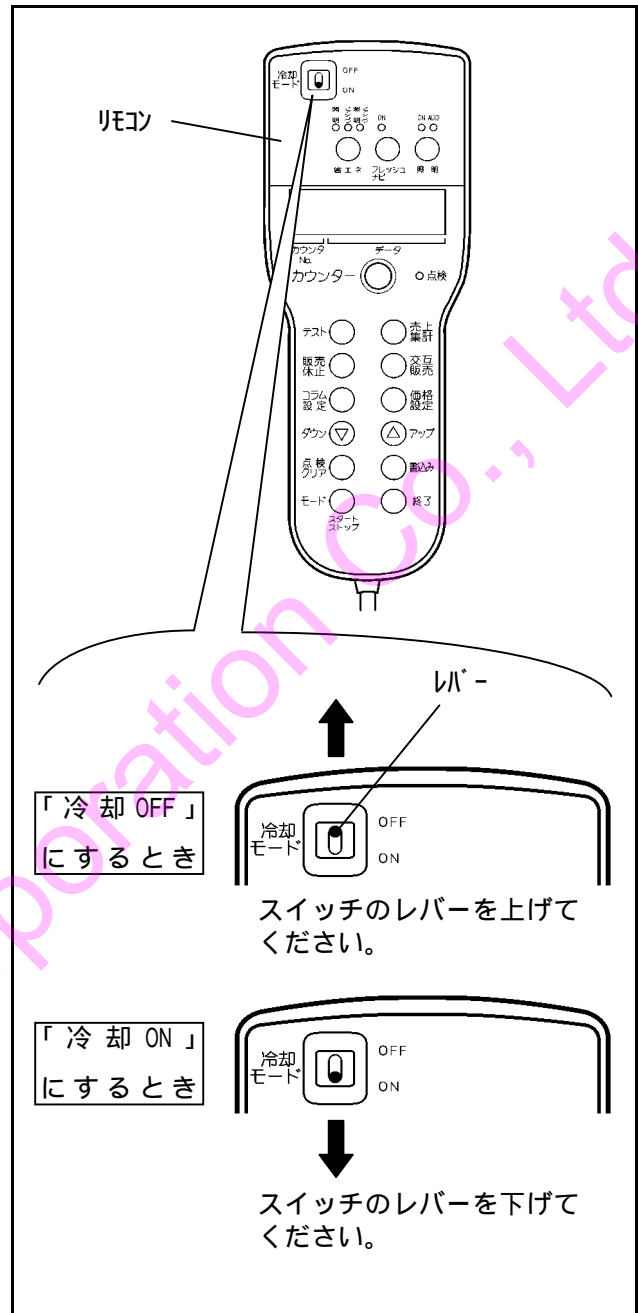


リモコンスイッチの使い方

(2)冷却モードスイッチの操作

庫内の冷却のON/OFFは、リモコン上部のモードスイッチにて行います。

モードスイッチは、スイッチのレバーを上げると「冷却OFF」になります。
下げると「冷却ON」になります。



(3)フレッシュナビ(賞味期限機能)スイッチ

賞味期限設定は、リモコンの[モード]0-08にてつぎの3種類を選択できます。
詳細は「賞味期限管理機能」をご覧ください。

- 1：一括フレッシュナビ設定
- 2：コラム別フレッシュナビ設定
- 3：1週間の期限管理設定

賞味期限管理機能

(1)賞味期限管理機能概略

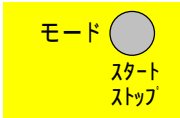








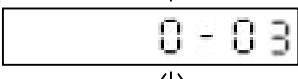

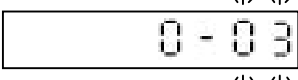

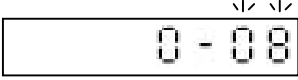

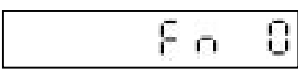

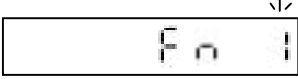

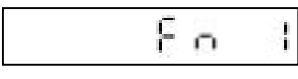


賞味期限管理機能とは、各コラム（各商品）に賞味期限を設定しておき、該当日・時刻に該当コラムの売切れランプを点灯させ、販売できなくする機能です。

賞味期限管理機能には以下の3仕様があります。運用方法に応じて選択御願います。

	一括フレッシュナビ	コラム別フレッシュナビ	1週間期限管理設定
賞味期限日付	月日（1日のみ）	月日（複数可）	曜日/時刻（複数可）
対象コラム	任意（複数可）	任意（複数可）	任意（複数可）
設定期間	最大180日間	最大180日間	最大7日間
動作	賞味期限日付を過ぎたら 該当コラムの商品を売切れ にします。	賞味期限日付を過ぎたら 該当コラムの商品を売切れ にします。	その曜日・時間になったら 該当コラムの商品を売切れ にします。

(2)初期設定

モード0 - 08にてどの機能を使用するか設定します。

<p>1  を押す。</p> <p>2  を押す。</p> <p>3   を押す。</p> <p>4  を押す。</p> <p>5   を押す。</p> <p>データが点滅し、変更可能になります。 確認のみを行う場合は終了キーを押してください。 出荷時は「0：設定しない」に設定されています。</p> <p>6  を押す。</p> <p>7  を押す。</p> <p>待機状態に戻ります。</p>	<p>デジタル表示 リモコン液晶表示</p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p>※：点滅表示</p>
--	--

- ・設定を切換た時は記憶しているフレッシュナビのデータ（日付・該当コラム）はクリアします。
このときに売切れ状態も解除します。

賞味期限管理機能

(3)一括フレッシュナビ

ルートマン巡回 扉開時に、設定された賞味期限日付を一体表示器に表示するとともに、リモコン上のフレッシュナビボタン上の設定完了ランプが点灯します。

賞味期限日付を設定します。（一日のみ）

対象コラムを設定します。（複数選択可能）

設定完了ランプが点灯します。

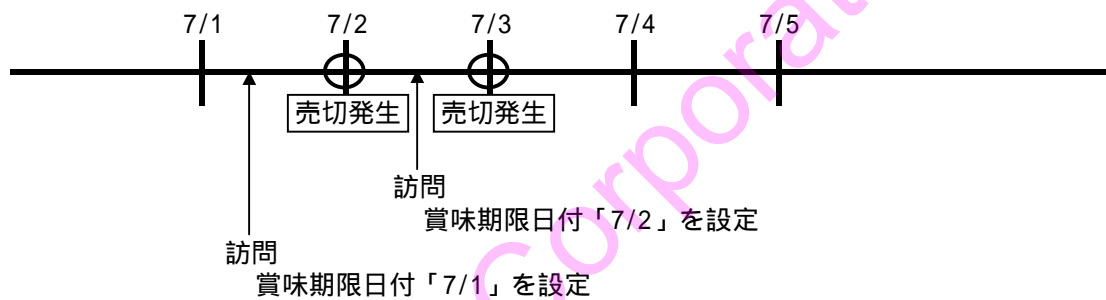
設定忘れや状態確認のために未設定で扉を閉めると、ブザーにてアラーム音を鳴らし、注意を促します。

既設定のデータで問題ない場合は、リモコン上のフレッシュナビボタンを押すだけで設定有効となります。

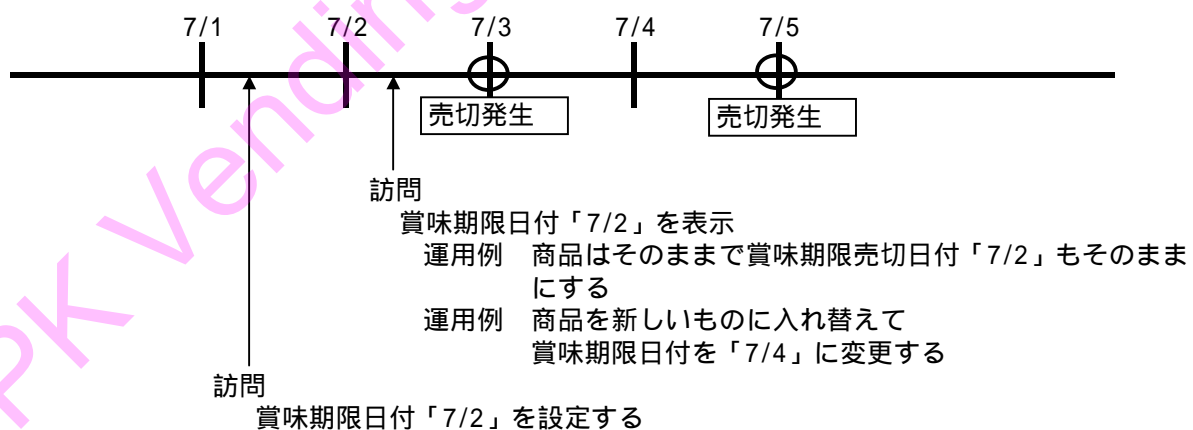
賞味期限日付を過ぎたら該当コラムの商品を売切れにします。

[販売休止]キー×4：「賞味期限前販売停止日数の設定・確認」で、賞味期限前販売停止日数を設定すると、賞味期限日付よりもその日数分だけ前で販売が停止します。

パターン 1



パターン 2




- ・設定を切換た時は記憶しているフレッシュナビのデータ（日付・該当コラム）はクリアします。このときに売切れ状態も解除します。

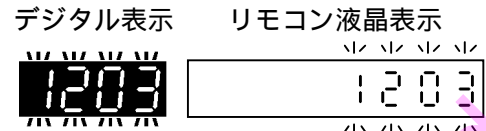
賞味期限管理機能

(4)一括フレッシュナビ設定手順

毎扉開時に期限日付（賞味期限間近になった商品を販売することを防止するため、売切表示させ販売停止する日付）を設定する機能です。


[モード]0 - 08にて「1」を設定していると実行される機能です。

- 1  自販機の扉が開 開すると、以前の一括フレッシュナビ設定が自動的に解除され、以前の設定日付表示が点滅します。



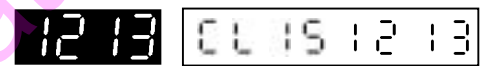
- 2  アップ  ダウン を押す。
日付を変更します。押し続けると早く変わります。



- 3  フレッシュナビ を押す。
期限日付が設定されます。



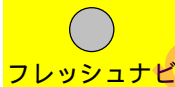
- 4  +  購入 を押す。
購入ボタン（例：15コラム）
テンキーボタン

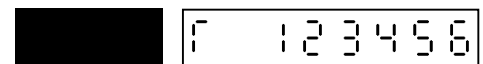


↑ 交互表示


テンキーボタン + 購入ボタンを押すことで対象コラムを設定します。手順4を繰り返すことにより複数のコラムを指定できます。また、全コラム一括設定の場合は「99」+購入ボタンで設定できます。
コラム と設定日付が表示されている内容を解除したい場合は「0」+購入ボタンで行います。複数コラム設定されている場合は購入ボタンを押すことで順番に設定内容の表示を切り替えて解除することもできます。



- 5  フレッシュナビ を押す。



※：点滅表示

-  フレッシュナビボタン上の設定完了ランプが点灯し、設定が完了します。

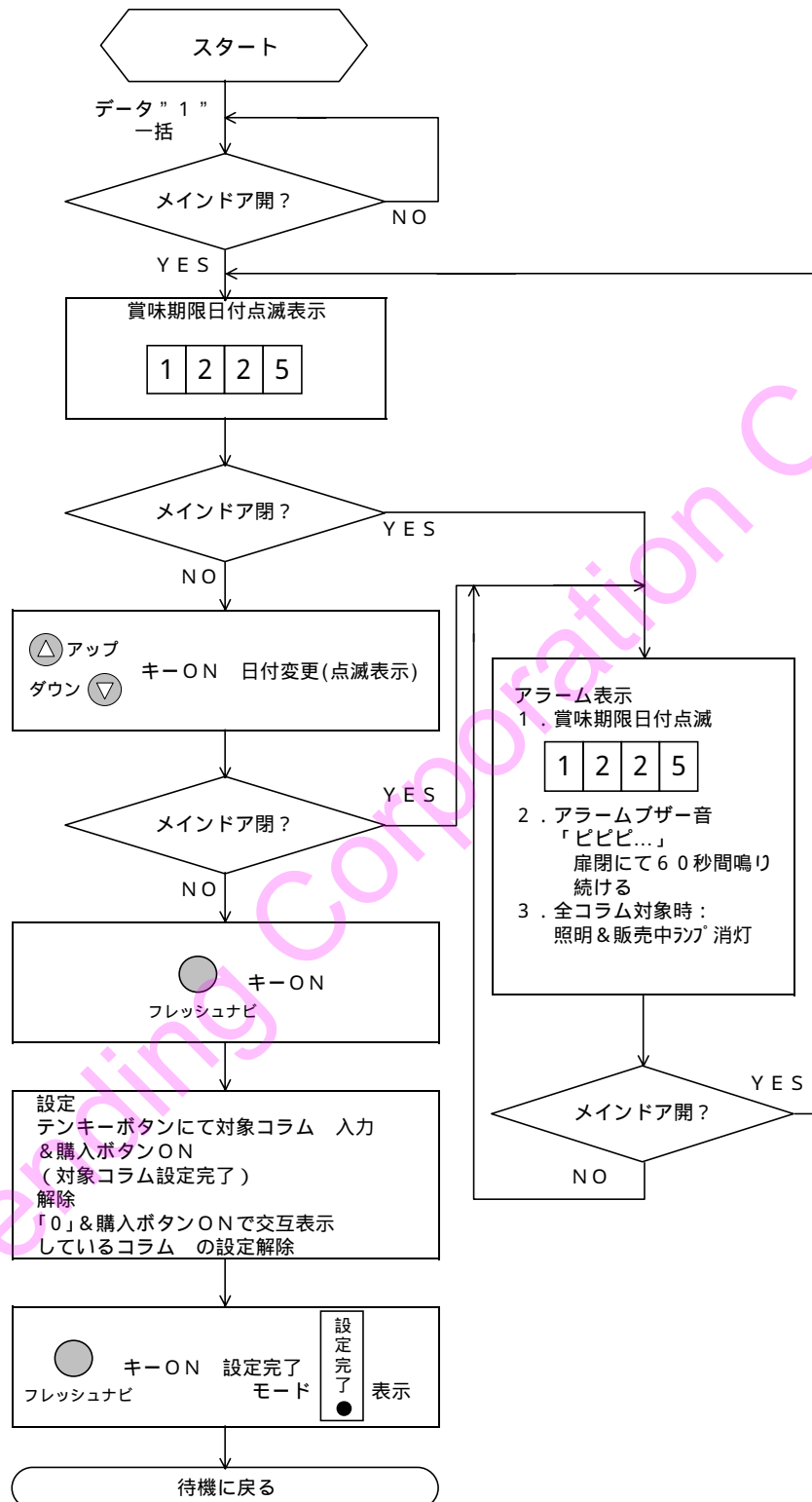
補 足

- 設定範囲 期限日付：1月1日から12月31日
 コ ラ ム：任意コラム
- [販売休止]キー×4：「賞味期限前販売停止日数の設定・確認」で、賞味期限前販売停止日数を設定すると、賞味期限日付よりもその日数分だけ前で販売が停止します。
- 設定を変更せずに確認する場合は手順3の後購入ボタンを押してください。
- 本設定が正常に行われずに扉開 閉した場合は、アラームとしてブザーを鳴らし、購入ボタンを押すごとにデジタル表示に対象コラム を表示します。
- 売切れ表示日付に現在日付がなった場合に該当コラム売切れ表示になります。
- 設定データは[モード]0 - 08が「1：一括フレッシュナビ設定」のときのみ有効です。

賞味期限管理機能

(5)一括フレッシュナビフローチャート

[モード]0 - 08:フレッシュナビの設定・・・「1」:一括フレッシュナビの場合



賞味期限管理機能

(6)コラム別フレッシュナビ

ルートマン巡回 扉開時に、各コラム毎の賞味期限売切日付（月，日）をリモコンにて入力します。

賞味期限日付を設定します。（複数可能）

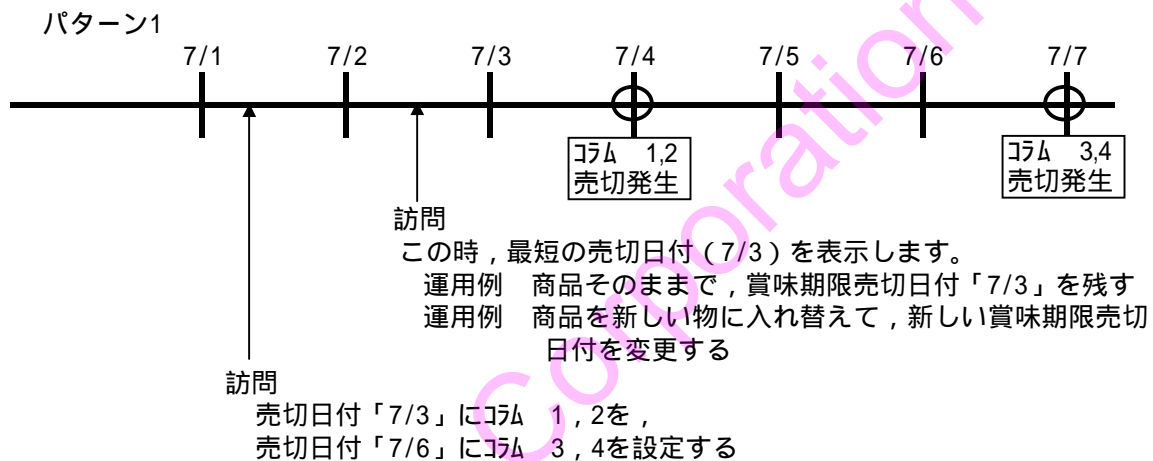
対象コラムを設定します。（複数選択可能）

設定完了ランプが点灯します。

設定忘れや状態確認のために未設定で扉を閉めると、ブザーにてアラーム音を鳴らし、注意を促します。

既設定のデータで問題ない場合は、リモコン上のフレッシュナビボタンを押すだけで設定有効となります。

賞味期限日付を過ぎたら該当コラムの商品を売切れにします。




[販売休止]キー×4：「賞味期限前販売停止日数の設定・確認」で、賞味期限前販売停止日数を設定すると、賞味期限日付よりもその日数分だけ前で販売が停止します。


賞味期限管理機能

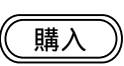
(7)コラム別フレッシュナビ設定手順



期限日付（賞味期限間近になった商品を販売することを防止するため、売切表示させ販売停止する日付）をコラム別に設定する機能です。



[モード]0 - 08にて「2」を設定していると実行される機能です。


- 0  設定完了ランプ点灯により、コラム別フレッシュナビ日付の設定状態が判別できます。
(点灯：設定有、消灯：設定無)



- 1  を押す。
フレッシュナビの日付の確認になります。
設定されている一番若い日付が表示されます。この状態で購入ボタンを押すと押すたびに設定されているコラム を表示します。
(未設定の場合は「- - - -」と表示されます。)

- 2  を押す。
購入ボタン
設定された日付とコラム が表示されます。
(未設定の場合は「- - - -」と「End」が表示されます。)

- 3  アップ  ダウン を押す。
フレッシュナビ日付を変更することができます。
この時点でフレッシュナビの設定モードになります。

- 4  +  を押す。
テンキーボタン 購入ボタン (例： 15コラム)
テンキーボタン+購入ボタンを押すことで対象コラムを設定します。手順4を繰り返すことにより複数のコラムを指定できます。また、全コラム一括設定の場合は「99」+購入ボタンで設定できます。
コラム と設定日付が表示されている内容を解除したい場合は「0」+購入ボタンで行います。複数コラム設定されている場合は購入ボタンを押すことで順番に設定内容の表示を切り替えて解除することもできます。
手順4で[点検/クリア]キーを2秒以上押すと、設定データが全てクリアされます。


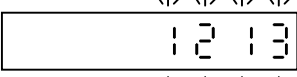
- 5  終了 を押す。
待機状態に戻ります。

デジタル表示 リモコン液晶表示
 

(例 12月3日)

 
↑ 交互表示


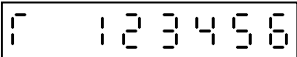


(例 12月13日)

 
↑ 交互表示



※：点滅表示

賞味期限管理機能

(7)コラム別フレッシュナビ設定手順(つづき)

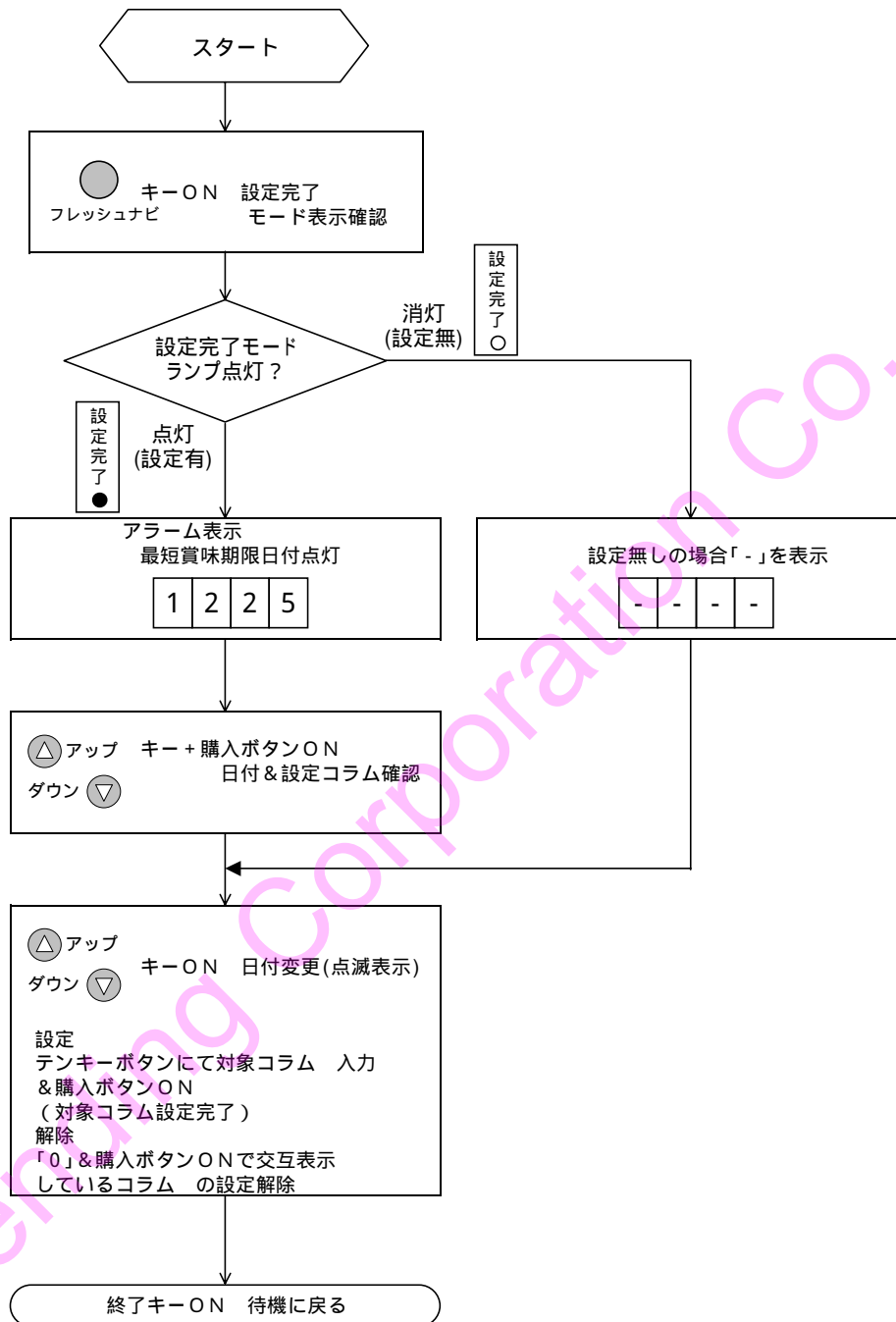
補 足

1. 設定範囲 期限日付：現在日付から180日後まで
コ ラ ム：任意コラム
2. [販売休止]キー×4：「賞味期限前販売停止日数の設定・確認」で、アラーム日数を設定すると、現在日付からアラーム日数後の日までの間に賞味期限日の来るコラムがあると、ドアを閉めたときにブザーが鳴り、そのコラムの売切ランプが点滅し、デジタルに賞味期限日が点滅します。
3. 設定をせずに確認する場合は、手順1の後に[アップ(ダウン)]キーで日付を選択し、購入ボタンを押してください。
4. 手順4で[点検/クリア]キーを2秒以上押すと設定データが全てクリアされます。
5. 設定データは[モード]0 - 08が「2：コラム別フレッシュナビ設定」のときのみ有効です。
6. 手順4で1つでもコラムを設定すると、リモコンのフレッシュナビボタン上の設定完了ランプが点灯します。逆に、コラムすべてを設定解除するとランプは消えます。

賞味期限管理機能

(8)コラム別フレッシュナビフローチャート

[モード]0 - 08:フレッシュナビの設定・・・「2」:コラム別フレッシュナビの場合



賞味期限管理機能

(9) 1週間期限管理設定

賞味期限(販売停止したい曜日・時間)を入力し、賞味期限に該当コラムの商品を売切れとします。

下表に販売状態やリモコンのランプやスイッチ操作の関係を例を使って示します。
(例：賞味期限設定を「5 - 2 3」(木曜日 2 3時)に設定した場合)

A：リモコンにて任意のコラムに賞味期限を「5 - 2 3」(木曜 2 3時)に設定する
設定後にリモコンの設定完了ランプが点灯

B：賞味期限が過ぎてからリモコンのフレッシュナビスイッチを押して売切を解除する
リモコンの設定完了ランプは点灯し、販売も可能になる
つぎの週の賞味期限に再設定される

下記操作は、賞味期限設定の一括クリアです。通常使用しません。

C：その後、リモコンのフレッシュナビスイッチを2秒間以上押し続ける
全てのコラムの賞味期限設定が解除され、設定完了ランプも消灯する
(全コラムを同一の期限設定にした場合、販売不可時は販売中ランプと蛍光灯が消灯し、
準備中ランプが点灯します)

曜 日	日	月	火	水	木	金	土	
操 作	A：賞味期限(木曜23時)を設定 通常のローディングで結構です					23:00	B	C
設定完了ランプ	消灯	点 灯				点滅	点灯	消灯
販売状態	販 売 可					販売不可	販売可	

木曜23時になったので売切になります

- ・リモコンのフレッシュナビスイッチを押して売切を解除した後に次に売切にしたい曜日と時間を設定します。
- ・解除のみの場合は、次の木曜23時が売切に設定されます。

全コラムを同一の賞味期限設定にした場合、販売不可時は販売中ランプと蛍光灯が消灯し、準備ランプが点灯します。

賞味期限管理機能

(10)1週間賞味期限設定手順



フレッシュナビの設定(モード0 - 08)にて、「3 : 1週間の期限管理」設定時に本設定が有効になります。
対象コラムと賞味期限(曜日 - 時)を設定します。

1 販売休止  を押す。

1週間賞味期限の設定項目になります。



2  書込み を押す。

期限の終りが表示されます。

3  アップ  ダウン を押す。

期限(日)の終りを変更することができます。
押し続けると早く変わります。

4  書込み を押す。

5  アップ  ダウン を押す。

期限(時)の終わりを変更することができます。
押し続けると早く変わります。

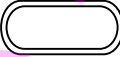
6  書込み を押す。

期限(日, 時)が設定され、表示します。

7  を押す。

テンキーボタン

対象コラムの番号を入力します。
訂正ボタンを押すと入力キャンセルし、手順6に戻ります。

8  購入 を押す。

購入ボタン

交互表示し、コラムは現在表示している賞味期限の曜日順に設定されます。

0 購入と押せばコラム表示が消え、そのコラムの賞味期限設定は解除します。液晶リモコン側はコラム番号と賞味期限の曜日順を同時に表示します。

9  終了 を押す。

待機状態に戻ります。

デジタル表示

FL

リモコン液晶表示

FL

0-00

0-00

2-00

2-00

{ 0:全曜日(毎日) 1:日曜日 } ↑
{ 2:月曜日 3:火曜日 4:水曜日 } ↑
{ 5:木曜日 6:金曜日 7:土曜日 }

2-00

2-00

2-02

2-02

{ 01~24:01~24時, } ↑
{ 00:未設定(売切にしない) }

2-02

2-02

CL 7

CL 7

CL 7

CL 7 2-02

↑ 交互表示

2-02

123456

※ : 点滅表示

賞味期限管理機能

(10)1週間賞味期限設定手順(つづき)

補 足

1. 設定範囲

曜日：0：全曜日 1：日曜日 2：月曜日 3：火曜日 4：水曜日 5：木曜日
6：金曜日 7：土曜日
時：00～24（01～24：01～24時，00：未設定（売切にしない））
コラム：任意のコラム
99：全コラム

2. 賞味期限が1週間を超えるものは設定できません。

3. 現在の内容を確認するときは、手順6の後に購入ボタンを押してください。

現在設定中のコラムの と賞味期限の時間が交互表示し、購入ボタンを押すたびに設定されている
コラム の若い方から表示します。（手順8のデジタル表示）
交互表示しているコラム 時の，0 購入で解除します。

4. 手順8の時に、[アップ(ダウン)]キーを押すと手順3に戻ります。

賞味期限の時間とコラムの両方を設定してください。

賞味期限の時間が0またはコラムを設定しないと賞味期限設定は行いません。

5. コラム入力時、99を入力すると全コラム一括で設定ができます。

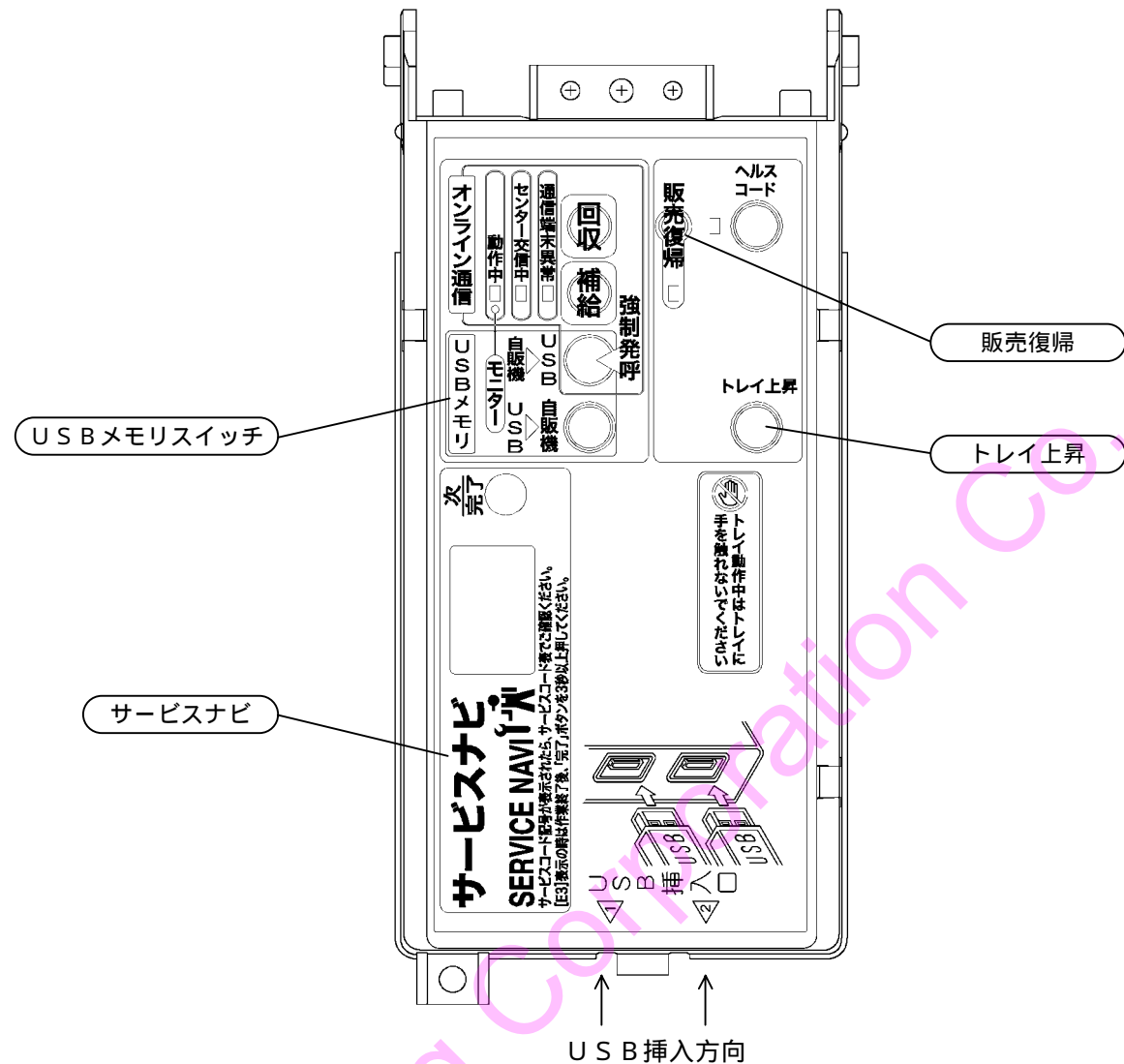
6. 設定データは売切れになっても消えません。設定データは保持します。

7. いずれかのコラムに設定有りの場合は、リモコンの設定完了ランプが点灯します。
全てのコラムに設定無しの場合は消灯します。8. 賞味期限により売切れが発生している時は、リモコンの設定完了ランプが点滅します。
売切れはフレッシュナビスイッチを押すと解除されます。

9. フレッシュナビスイッチを2秒間以上押し続けると全コラムの設定をクリアします。

メインコントロールボックスの名称とはたらき

(1)メインコントロールボックスの外観と各機能概要



機能項目	機能概要	参照ページ
サービスナビ	ナンセンスコールを減らし、簡単な故障はその場で対応してもらえるような、簡易ガイダンスを用意、そのため販売チャンスを逃しません。 表示画面の番号を早見表で調べれば故障の対応のしかたがすぐわかります。	4 - 36
USBメモリスイッチ	USBから自販機（メインコントロールボックス）へデータを書き込むまたは書き換える場合に使用します。 逆に自販機からUSBへの書き込みも可能です。	—
USB▷自販機	USBから自販機へデータを書き込みする場合に使用します。	—
自販機▷USB	自販機からUSBへデータを書き込みする場合に使用します。	—
販売復帰	搬送機構関連の異常が発生した場合(故障コード1292, 1295, 1297, 2403, 2499)に解除するためのスイッチです。 搬送機構が待機位置に戻っている状態で販売復帰スイッチを押すと1コラムの販売動作を行います。 必ず1コラムに商品を入れた後、本スイッチを押してから外扉を閉めてください。	4 - 35
トレイ上昇	本スイッチを押すと搬送機構の商品トレイが上限まで移動します。	—

メインコントロールボックスの名称とはたらき

(2)各機能の操作方法

プログラム書込操作

プログラムを書き換える場合は、電源をOFFにしてから、USBを正しい方向で完全に奥まで差し込んでください。

その後、電源をONしてください。
ブザーが鳴り、モニタが点滅したら書込みがスタートしています。

プログラムの種類によっては、自動的に書込みがスタートしないものもあります。
その際は、「USB▷自販機」スイッチを押してください。ブザーが鳴り、モニタが点滅し、書込みがスタートします。

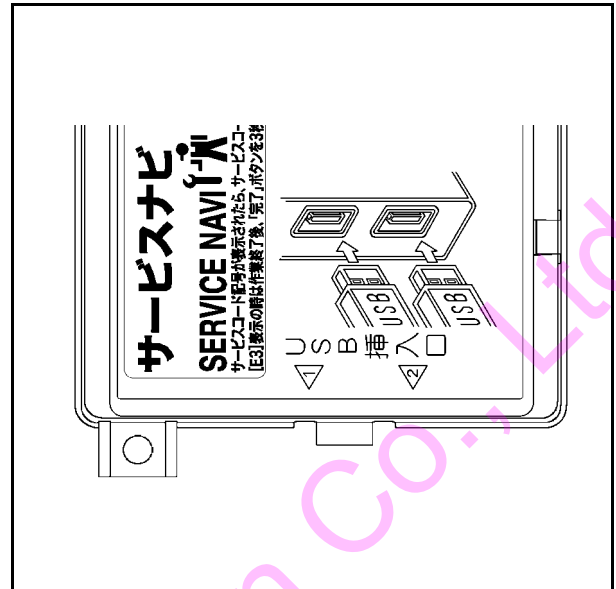
モニタが点灯し、ブザーが鳴ったら書き込み終了です。

電源をOFFして、USBを引き抜いてください。

販売復帰スイッチ

- ・販売系の故障が発生した時に、ランプが点灯します。
- ・スイッチを押す（連続押しはできません）と、故障解除を行います。
- ・複数コラムがある場合は、若いコラム順に故障解除を行います。
故障解除を行っている時（ランプ点滅時）は、スイッチは受け付けません。
- ・ランプが消灯している時に、スイッチを押すと受け付けますが動作しません。
- ・故障解除を行っても故障解除しなかった時は、再びランプを点灯させます。

状 態	ランプ
故 障 中	点灯
故障解除開始～終了まで	点滅
解除終了～待機(故障無)	消灯



メインコントロールボックスの名称とはたらき

(3) サービスナビ・サービスコード一覧表

サービスナビ

SERVICE NAVI

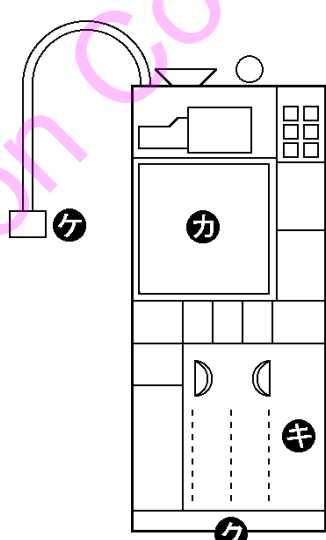
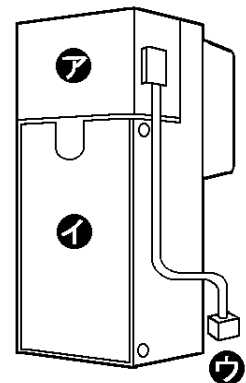









次
完了

サービスコード番号が表示されたら、サービスコード表でご確認ください。
[E3]表示の際は作業終了後、「完了」ボタンを3秒以上押ししてください。

表示画面

他のサービスコードを表示させるときに使用します。
冷却装置のフィン清掃後に押ししてください。

サービスナビに表示が出ている場合は、下記の内容をご確認ください。

画面表示	表示内容	確認・点検箇所
A0	設定不良です。リモコンの点検キーで故障コードを確認の上、サービスマンにご連絡ください。	<p style="text-align: center;">硬貨識別装置</p>  <p style="text-align: center;">紙幣識別装置</p> 
A1	ただいま販売休止中です。 しばらくすると販売可能となります。	
C0	硬貨検銭部にコインが詰まっていますか？  ⑧	
C1	硬貨払出部にコインが詰まっていますか？  ⑨	
C2	硬貨検銭部のコネクタが正しく装着されていますか？  ⑧	
C3	つり銭カセットが正しく装着されていますか？  ⑩	
C4	硬貨選別装置のコネクタが外れていませんか？  ⑦	
C5	紙幣識別装置にお札が詰まっていますか？  ⑪ または ①	
C6	紙幣識別装置にお札が満杯になっていませんか？  ①	
C7	紙幣識別装置のフタが外れていませんか？  ①	
C8	紙幣識別装置のコネクタが外れていませんか？  ⑦	
E0	一旦、電源スイッチを切ってからもう一度、電源を入れてください。再度表示する場合は、リモコンの点検キーで故障コードを確認の上、サービスマンにご連絡ください。	
E1	ハンディターミナル通信パスワードが間違っていないですか？	
E3	冷却装置のファン（凝縮器）が目詰まりしていませんか？ 〔清掃が終わりましたら「次/完了」ボタンを長押ししてください〕	
E4	搬出機構部に商品が詰まっていますか？ 商品搬送機構を点検下さい。	
F0	リモコンが通信異常です。	

自己診断機能

自己診断機能とは、自動的に通信確認・内部動作チェックを行い、故障内容をサービスナビに表示します。

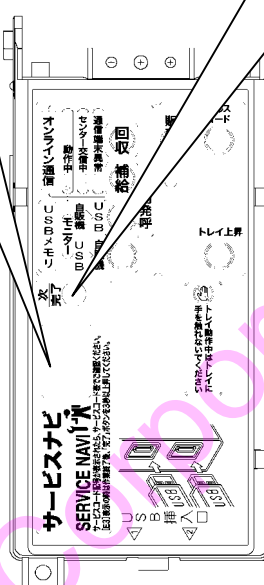
(但し、制御的にフィードバックがある範囲の診断を行います。)

診断中の大項目を十の位に表示
診断中の小項目を一の位に表示
(診断中は、2桁とも点滅)

診断結果 = OK】大項目点灯
小項目○(小さい丸)
診断結果 = NG】大項目点灯
小項目はNG項目点灯
(複数個の場合はオルタネート表示)

自己診断モード操作

次完了 ● スイッチを長押し2回(3秒ON)することにより、自己診断モードを開始します。
(ピッピ-----ッピッ!)
(再度ピッピ-----ッピッ!)



(1)診断開始操作

自己診断モードに入った後は、次完了 ● スイッチを1回押すごとに大項目(10桁目の数字)を進めることができます。

診断大項目に数字を合わせて、次完了 ● スイッチを長押し1回(3秒ON)することで診断開始になります。

フオン押で 項目切替		メインコントローラ診断 → チェックスタート 長押し1回(3秒ON) (ピッピ-----ッピッ!) メイン内部部品機能確認：通信I/F、メモリ、RTC等
		接続ボックス診断 → チェックスタート 長押し1回(3秒ON) (ピッピ-----ッピッ!) 通信スレーブ確認：接続されているスレーブ番号を表示します。
		商品選択ボタン診断 → チェックスタート 長押し1回(3秒ON) (ピッピ-----ッピッ!) テンキー押ボタン動作確認：4-39ページの動作を行います。 (リモコン、金額表示器が動かない場合でも確認可能)

診断項目については4-38ページを参照願います。

診断中は小項目の数字を1桁目に表示し、点滅させます。

小項目を1つ診断完了後、自動的に次の小項目のチェックを行います。

大項目の中に含まれる小項目を全て完了すると大項目診断完了となります。


自己診断機能

(1)診断開始操作(つづき)

診断項目一覧

サービスナビ表示	 点灯	 点灯	 点滅
	小項目	小項目	小項目
大項目(10桁目の表示) 小項目(1桁目の表示)	メインコントローラ	接続ボックス (通信チェック)	商品選択ボタン
0	SRAM	金額表示器	自己診断中
1	DRAM	リモコン	未定義
2	Flash	選択ボタン	未定義
3	RTC(時計)	本体スレーブ(搬出)	未定義
4	通信I/F	本体スレーブ(冷熱)	未定義
5	未定義	LED表示器	未定義
6	未定義	コインメカニズム	未定義
7	未定義	ビルバリデータ	未定義
8	未定義	プリンタ	未定義
9	未定義	カードスレーブ	未定義
A	未定義	ポイントカードスレーブ	未定義
b	未定義	音声スレーブ	未定義
C	未定義	未定義	未定義
d	未定義	未定義	未定義
E	未定義	未定義	未定義
F	未定義	ルーレットスレーブ	未定義
G	未定義	未定義	未定義
H	未定義	未定義	未定義
J	未定義	ACSスレーブ	未定義
L	未定義	未定義	未定義
n	未定義	未定義	未定義
P	未定義	未定義	未定義

(2)診断結果表示と処置

診断項目	判定	サービスナビ表示	表示説明
メインコントローラ	OK		大項目点灯 小項目は小さい丸が点灯します。
	NG		大項目点灯, 小項目はNG項目数字を表示します。 複数個ある場合はオルタネート表示します。
接続ボックス	OK		通信OKのスレーブ項目数字を表示します。
	NG		通信NGのスレーブは表示されません。
商品選択ボタン	OK	点滅 	販売可能ランプ, 売切/準備中ランプ共 全て点灯します。
	NG	点滅 	問題のある選択ボタンのランプは点灯しません。

サービスナビ表示は一例を示します。



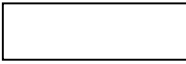


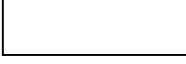

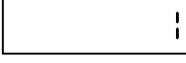
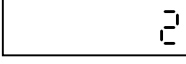



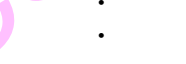
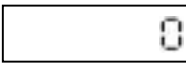

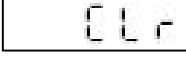




診断結果でNGとなった場合は, 下記処置をしてください。

- メインコントローラ「NG」時はメインコントロールボックス交換
- 接続ボックス「NG」時は接続ボックスの配線確認およびボックス交換
- 商品選択ボタン「NG」時は商品選択ボタンの配線確認および商品選択ボタン交換

自己診断機能

(3)テンキー押ボタンの動作確認(リモコン操作無しで確認可能)


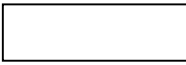


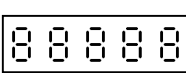

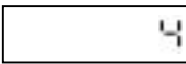



テンキーボタンユニット(シートボタン)の場合

手順	説明	サービス表示	デジタル(外部)	テンキーボタンユニット
1	<p>次 完了</p>  <p>3秒間長押しを2回</p>	 <p>(消灯)</p>		
2	<p>次 完了</p>  <p>チョン押しで十の位をGに設定後, 3秒間長押しで商品選択ボタン診断確認開始</p>	 <p>(点滅)</p>		
3	<p>イルミネーションランプを順に点灯させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イルミネーションランプ() ・売切ランプ 	 <p>(点滅)</p>	    <hr/>       <hr/> 	 <p>イルミネーションランプ</p> <p>イルミネーションランプ</p> <p>イルミネーションランプ</p> <p>イルミネーションランプ</p>
				 <p>売切ランプ</p>

自己診断機能

(3)テンキー押ボタンの動作確認(リモコン操作無しで確認可能)(つづき)


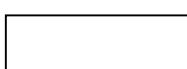

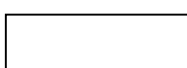

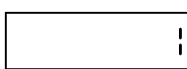
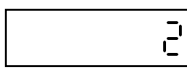


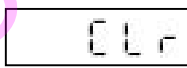
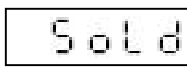













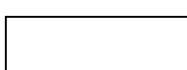







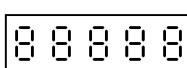

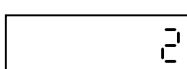


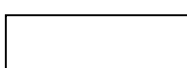
テンキーボタンユニット(シートボタン)の場合(つづき)

手順	説明	サービス表示	デジタル(外部)	テンキーボタンユニット
4	3秒間全ランプ点灯	 (点滅)		
5	金額表示機に「88888」表示を行う	 (点滅)		
6	手動で任意のボタンONにて押されたイルミネーションランプが点灯とランプ表示	 (点滅)		
7	30秒経過後 終了	 (消灯)		

自己診断機能

(3)テンキー押ボタンの動作確認(リモコン操作無しで確認可能)(つづき)

テンキーボタンユニット(ランプボタン)の場合

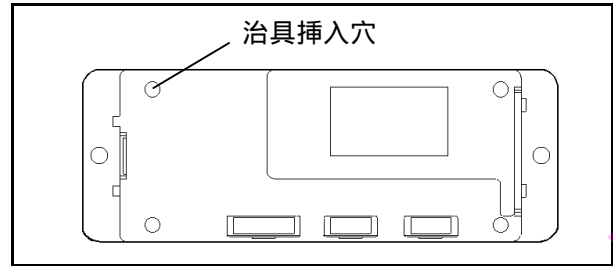
手順	説明	サービス表示	デジタル (外部)	テンキーボタンユニット
1	次 完了 ● 3秒間長押しを2回	 (消灯)		① ② ... ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 購入 訂正 売切
2	次 完了 ● チョン押しで十の位をGに設定後, 3秒間長押しで商品選択ボタン診断確認開始	 (点滅)		① ② ... ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 購入 訂正 売切
3	各ボタンのランプを順に点灯させる ・テンキーボタン (1 2..... 0) ・購入ボタン ・訂正ボタン ・売切ランプ	 (点滅)	  : :    	           
4	3秒間全ランプ点灯	 (点滅)		     
5	金額表示機に「88888」 表示を行う	 (点滅)		① ② ... ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 購入 訂正 売切
6	手動で任意のボタンONにて押されたボタンのランプ点灯とコラム表示	 (点滅)		① ② ... ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 購入 訂正 売切 
7	30秒経過後 終了	 (消灯)		① ② ... ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 購入 訂正 売切

自己診断機能

(4) デジタル表示器



・単独で動作確認ができます。



起動条件 電源ON状態でデジタル表示器裏面の右上穴に治具を挿入し、短絡します。
〔短絡回数によって下記動作を行います。〕
短絡したら「ピッ！」と鳴ります。

回数	内容
1	<p>表示確認</p> <p>7セグ「1.2.3.4.5.」点灯</p> <p>7セグ「8.8.8.8.8.」点灯</p> <p>釣り切れ 100円 点灯</p> <p>釣り切れ 100円 点灯</p> <p>お札中止 1000円 点灯</p> <p>予備</p> <p>円 点灯</p> <p>点灯</p> <p>予備</p> <p>販売中 点灯</p> <p>予備</p> <p>ブザー 小 700ms鳴動</p> <p>ブザー 大 700ms鳴動</p> <p>～を繰り返します。</p> <p>全点灯 (もう1回短絡)</p>
2	<p>フォトセンサ感度確認</p> <p>フォトセンサ感度部 フォトセンサ入力 アナログデータ表示</p> <p>フォトセンサ感度部を手などで覆い、徐々に遠ざけるとデジタル表示の数字が増加します。逆に近づけると数字が減少します。</p>
3	<p>通信確認</p> <p>デジタル表示器からメインコントロールボックスとの通信確認</p>

通信確認で「Good」が表示されない場合は、配線確認およびデジタル表示器の交換を行ってください。

LED照明対応

(1)適用機種

FNX115シリーズ

(2)必要な工具

プラスドライバ(2 × 1 5 0 mm)

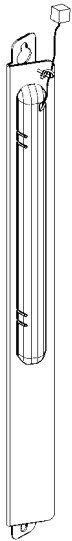
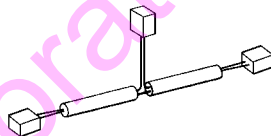
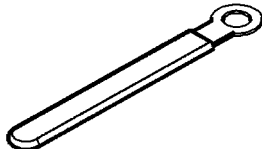
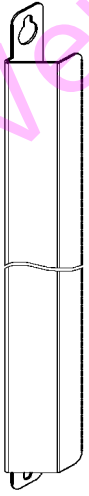
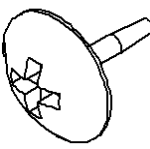
(3)必要な部品

一括手配番号：YDF58Z4A089 C01

ご注文の際はこの図番をご指示ください。

構成部品

あらかじめ、下記部品・個数がそろっていることをご確認ください。

	品名・形状	図面名称・番号	個数		品名・形状	図面名称・番号	個数
1.	LEDユニット 	取付金組立 (LED) YDF58X4A073 C01	2	3.	中間配線 	配線(LED照明) YDF52C4A047 C01	1
				4.	クランプ 	CLAMPER 0FE2E03500400	3
2.	カバー 	カバー(ハーネス) YDF58V4A088 C01	1	5.	ねじ 	XTTB1 4 × 10, S, ZN5CM2F	9

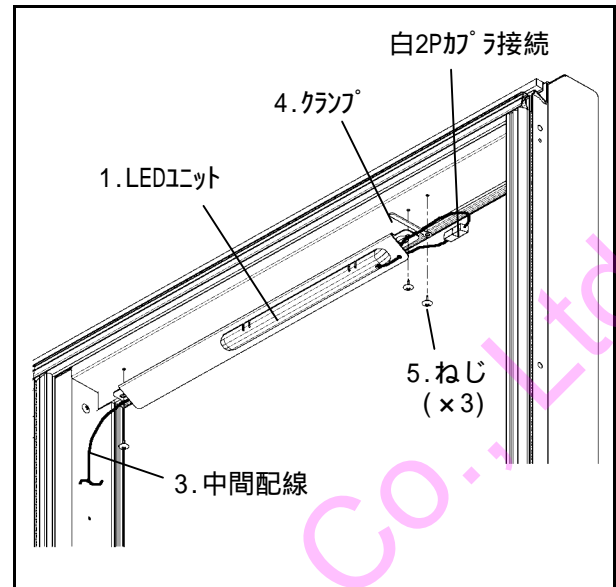
LED照明対応

(4) 部品の取付け～機能確認

本体スレーブボックスの漏電しゃ断器をOFFします。

1. LEDユニットの白2Pカプラを3. 中間配線と接続します。

右図のように扉裏側上部に1. LEDユニットと4. クランプを5. ねじ3本にて取付けます。取付けの際、3. 中間配線を1. LEDユニットの中を通して、外部より見えないようにします。また、外に出ている白2Pカプラや配線部分については4. クランプにてきれいにまとめ固定します。



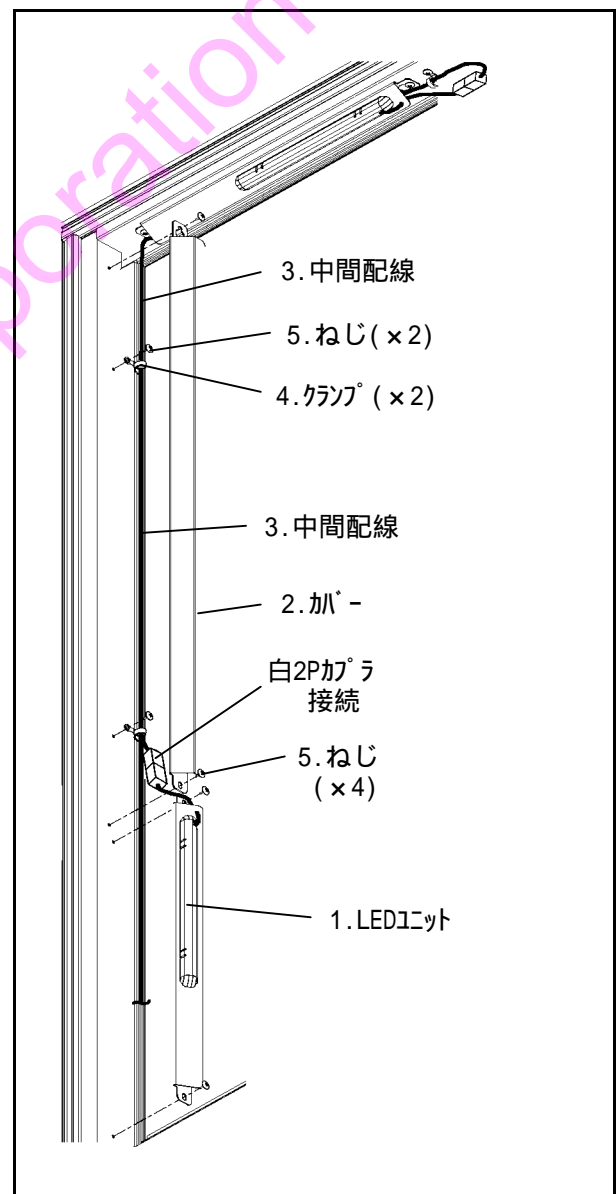
3. 中間配線のもう一方の白2Pカプラをもう1つの1. LEDユニットに接続します。

扉裏側側面に5. ねじ2本にて4. クランプ2個を共締めし、3. 中間配線を固定します。

1. LEDユニットと2. カバーをねじ各2本にて扉裏側側面に取付けます。その際、3. 中間配線および接続した白2Pカプラを中に収納し、外部から見えないようにまとめます。

[ご注意] 1. LEDユニットや2. カバー内に配線を収納する場合、かみ込まないようご注意ください。

[ご注意] カプラ接続部の防水カバーの開口部は、下向きになるようにして取付けてください。



LED照明対応

(4)部品の取付け～機能確認(つづき)

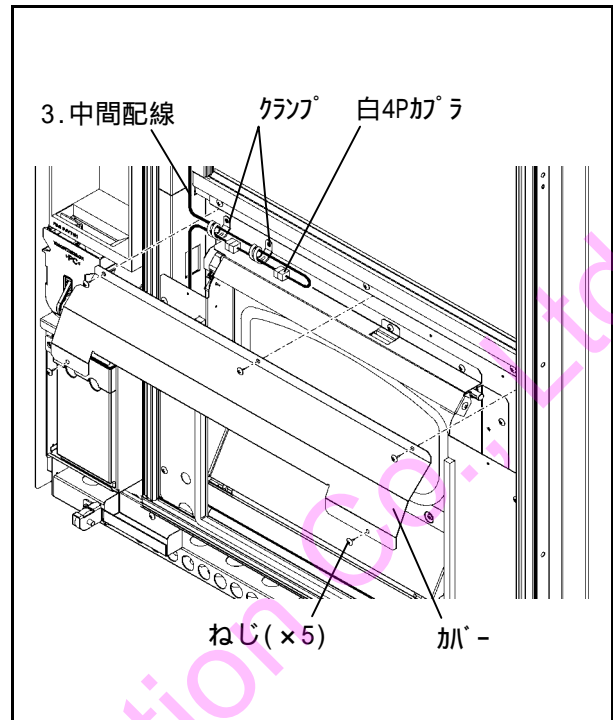
扉裏側のねじ5本をはずし、取出口上部カバーを取りはずします。

3. 中間配線と取出口上側にある白4Pカプラを接続します。

取出口左側にあるクランプを使用し、他の配線と合わせて3. 中間配線が近くのスイッチ類に接触しないようまとめます。

[ご注意] カプラ接続部の防水カバーの開口部は、下向きになるようにして取付けてください。

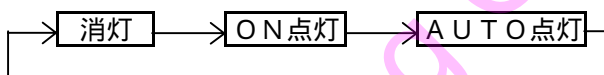
ねじ5本にて、再度カバーを取付けます。



本体スレーブボックスの漏電しゃ断器をONします。

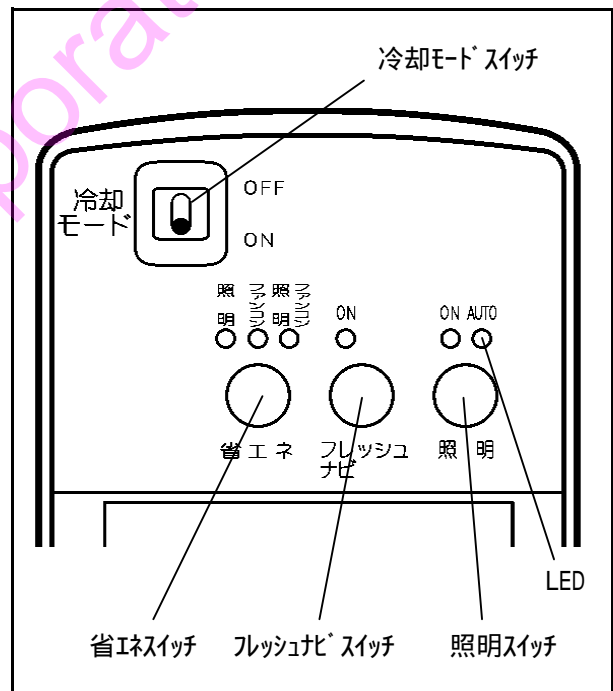
リモコンの照明スイッチを押してLED照明が点灯することを確認します。

- ・照明スイッチを押すとLED表示が下記のように変化します。



使用用途に合わせて下記項目の設定をおこないます。

- ・[モード] 0 - 7 8 : コイン投入照明ON機能
- ・[モード] 2 - 0 9 : 照明器具消灯条件設定
- ・[モード] 2 - 0 3 : 照明器具節電時間帯設定
- ・[モード] 2 - 1 1 : 照明器具消灯曜日の設定
- ・[モード] 1 - 3 8 : 照明器具年間カレンダー設定
- ・[モード] 2 - 2 0 : 照明器具年間カレンダー基準月確認



カバー(金銭部)対応

(1)適用機種

FNX115シリーズ

(2)必要な工具

プラスドライバ


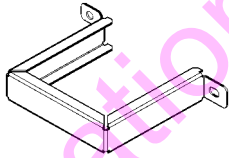
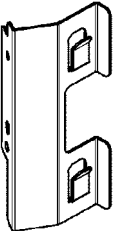
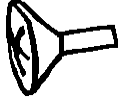

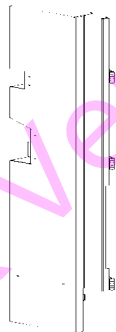
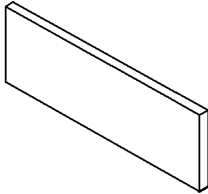

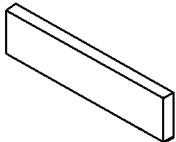
(3)必要な部品

一括手配番号：YDF58Z4A090 C01

ご注文の際はこの図番をご指示ください。

構成部品

あらかじめ、下記部品、個数がそろっていることをご確認ください。
南京錠については、別途準備ください。

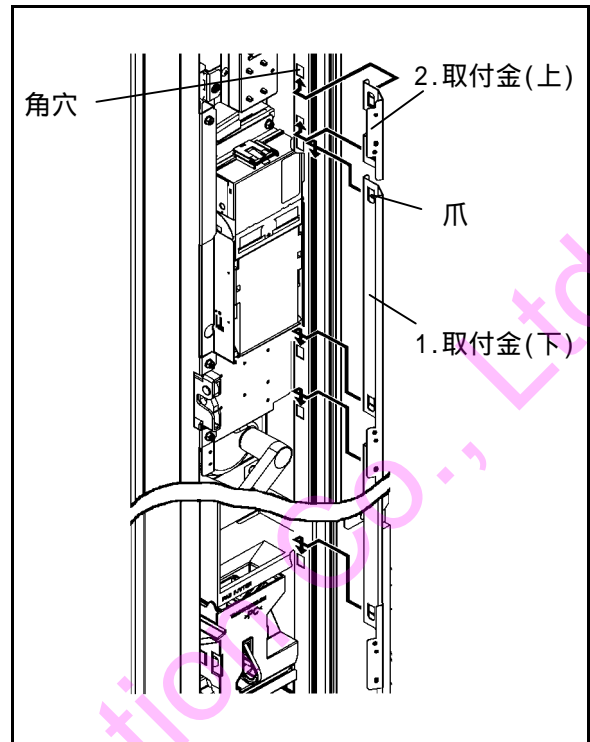
	品名・形状	図面名称・番号	個数		品名・形状	図面名称・番号	個数
1.	取付金(下) 	取付金組立 (溶接・下・CM) YDF08V4A148 C01	1	5.	当て板 	当て板 (コインメックカバー) YDF24V4A221 C01	1
2.	取付金(上) 	取付金組立 (溶接・上・CM) YDF08V5A146 C01	1	6.	ねじ(M3) 	XDB 3×6,S,ZN5CM2F	6
				7.	ねじ(M4) 	XTTB2 SLIT 4×8,S,ZN5CM2F	4
3.	カバー 	カバー組立(コインメック) YDF08X4A140 C01	1	8.	クッション(下) 	クッション(当て板・下) YDF24E5A223 C01	1
4.	取付金(錠) 	取付金(錠) YDF08V5A146 C01	1	9.	クッション(上) 	クッション(当て板・上) YDF24E5A222 C01	1

カバー(金銭部)対応

(4) 部品の取付け ~ 機能確認

扉裏側の金銭部にある角穴に1.取付金(下)の爪を差し込み、下にスライドさせます。

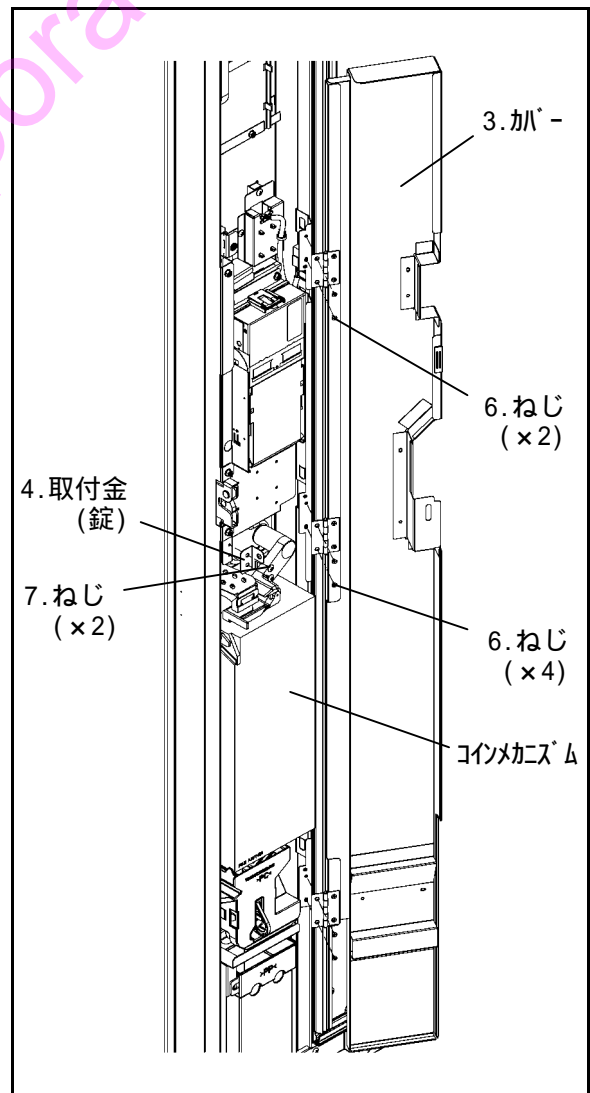
扉裏側の金銭部にある角穴に2.取付金(上)の爪を差し込み、上にスライドさせます。



右図のように1.取付金(下)に6.ねじ(M3)4本にて3.カバーを取付けます。

その後、2.取付金(上)に6.ねじ(M3)2本にて3.カバーを取付けます。

4.取付金(錠)を7.ねじ(M4)2本にて取付けます。



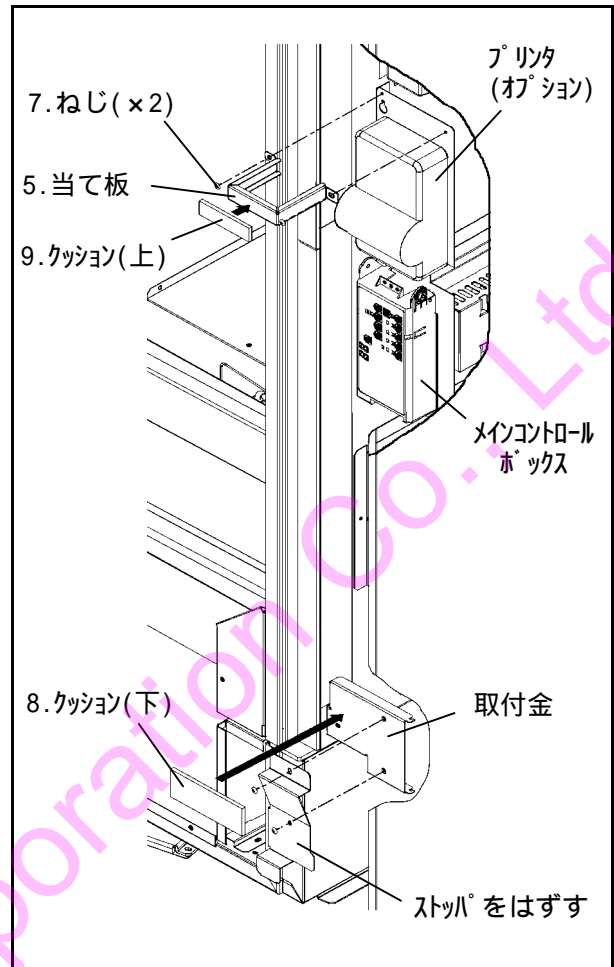
カバー(金銭部)対応

(4)部品の取付け～機能確認(つづき)

右図のように5.当て板に9.クッション(上)を貼付けます。
その際、5.当て板の左端と上端を基準に9.クッション(上)を貼付けてください。

本体側のメインコントロールボックスの上に7.ねじ(M4)2本にて5.当て板を取付けます。

本体下部のねじ2本をはずし、ストッパを取りはずし、代わりに8.クッション(下)を貼付けます。
8.クッション(下)は取付金上部に合わせて貼付けます。
その際、取付金上部の左端と上端を基準に8.クッション(下)を貼付けてください。



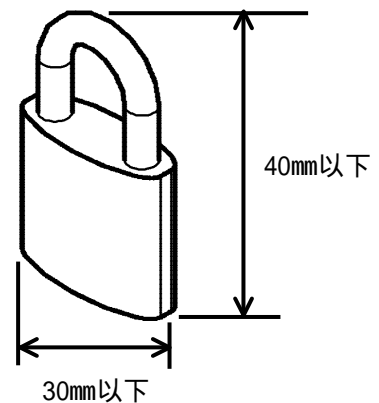
錠の取付け

3.カバーを閉め、角穴に4.取付金(錠)が挿入されることをご確認ください。

使用する南京錠については、右図の寸法のものをご使用ください。

[ご注意] 許容範囲を超える寸法の南京錠を使用しますと、扉を閉めた際に本体側部品を破損する恐れがあります。

使用できる南京錠の寸法



ランプボタンテンキー対応

(1)適用機種

FNX115シリーズ

(2)必要な工具

プラスドライバ(2 × 1 5 0 mm)

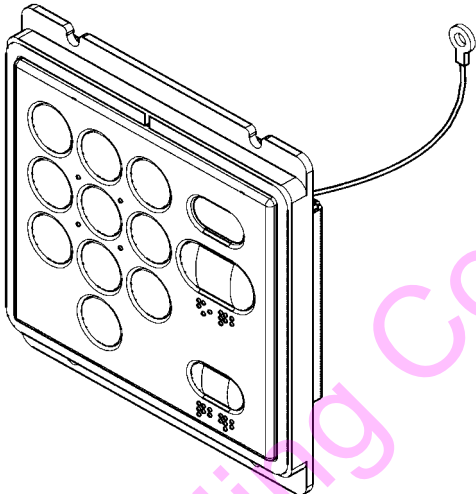
(3)必要な部品

一括手配番号：YDF58Z4A091 C01

ご注文の際はこの図番をご指示ください。

構成部品

あらかじめ、下記部品・個数がそろっていることをご確認ください。

	品名・形状	図面名称・番号	個数
1.	テンキーボタンユニット(ランプボタン) 	COVER 10 KEY ASSY 3FE0D86018600	1

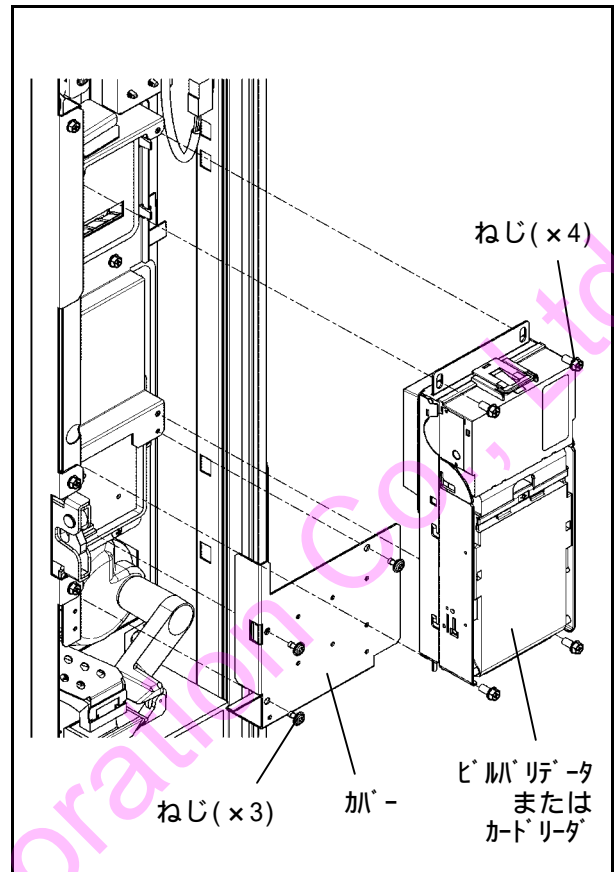
ランプボタンテンキー対応

(4) 部品の取付け～機能確認

本体スレーブボックスの漏電しゃ断器をOFFします。

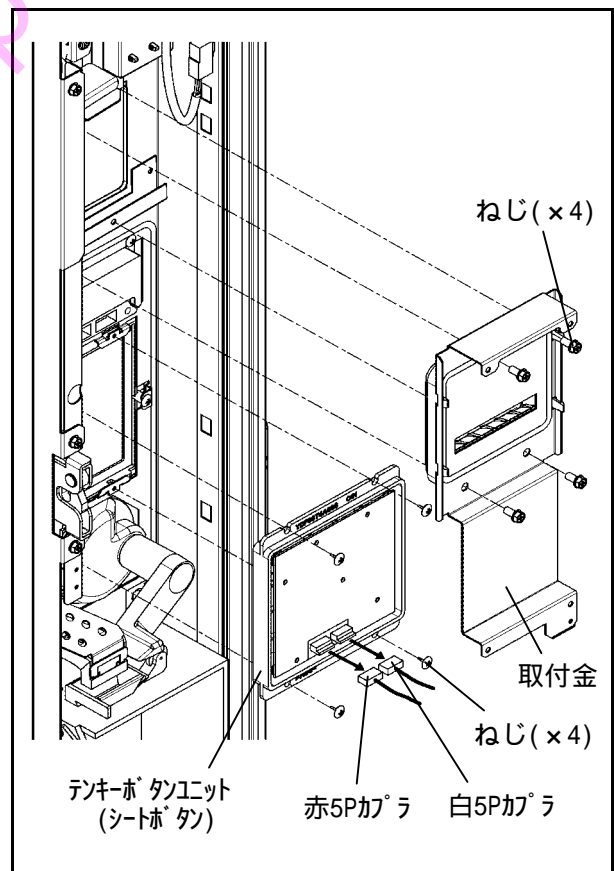
ねじ4本をはずし、テンキーボタン上のビルバリデータまたはカードリーダーを取りはずします。

ねじ3本にてカバーを取りはずします。



ねじ4本をはずし、取付金を取りはずします。

白5Pと赤5Pカブラを取りはずした後、ねじ4本をはずし、テンキーボタンユニット(シートボタン)をはずします。

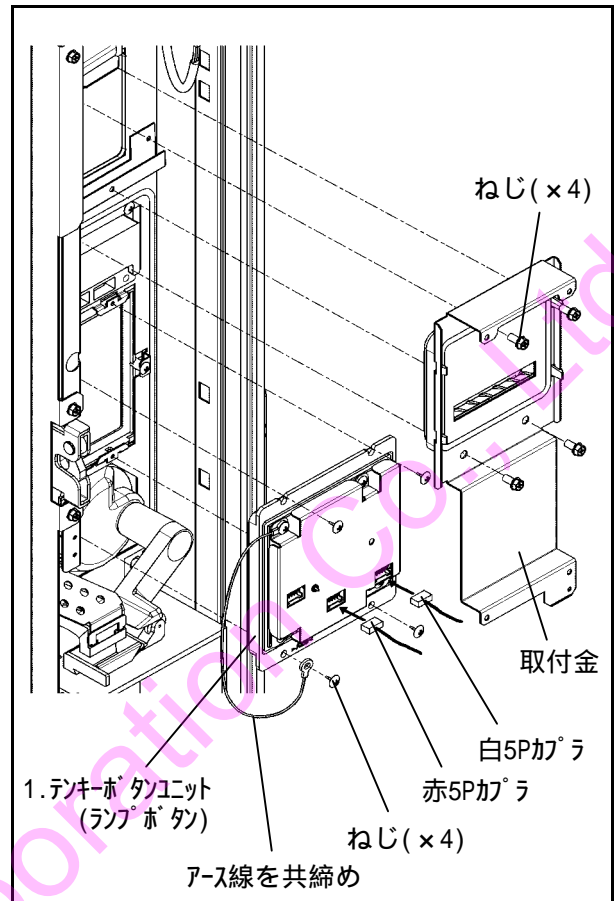


ランプボタンテンキー対応

(4) 部品の取付け～機能確認(つづき)

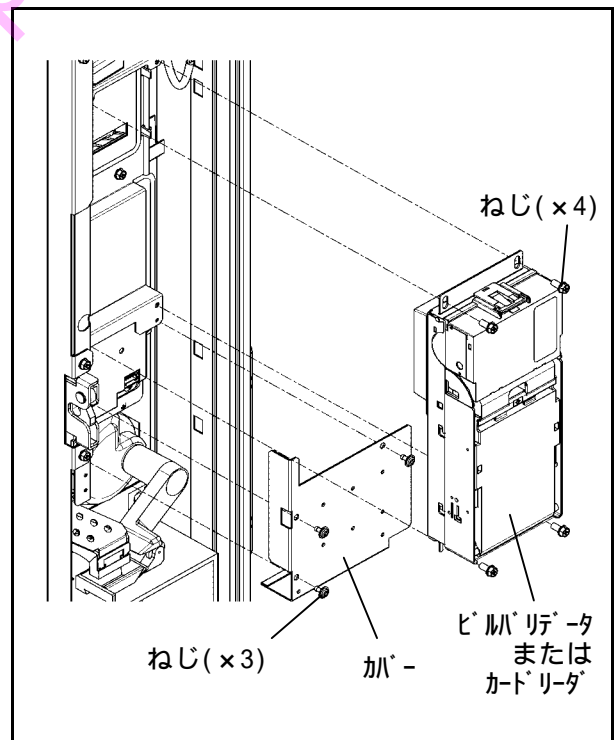
1. テンキーボタンユニット(ランプボタン)をねじ4本にて取付けます。
 その際、アース線の端子は右図のように左下のねじにて共締めします。
 その後、白5Pと赤5Pカプラを右図の位置に接続します。

ねじ4本にて取付金を元の位置に取付けます。



ねじ3本にてカバーを元の位置に取付けます。

ねじ4本にてビルバリデータまたはカードリーダーを元の位置に取付けます。



ランプボタンテンキー対応

(4) 部品の取付け～機能確認(つづき)

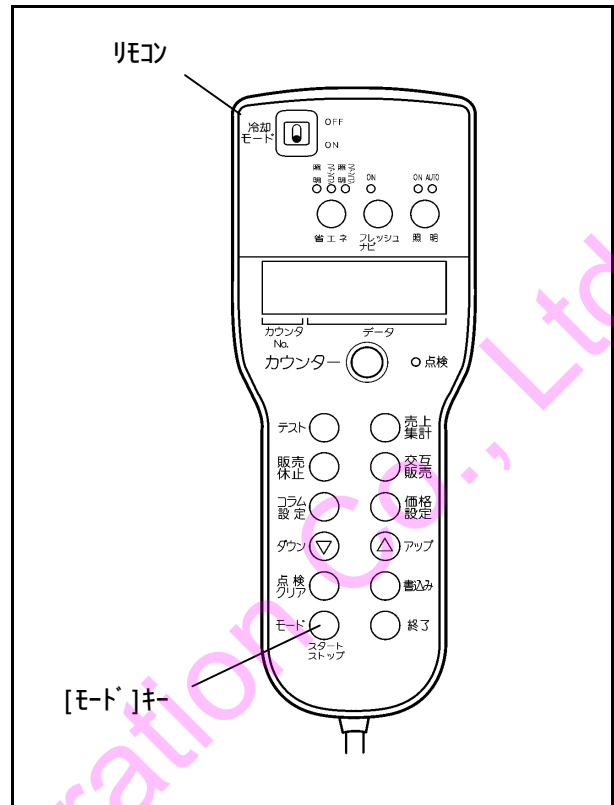
本体スレーブボックスの漏電しゃ断器をONします。

テンキーボタンによるイルミネーション設定を行う場合は、つぎの項目を設定します。

- ・ [モード] 0 - 3 8 : テンキーボタンイルミネーション設定

【設定範囲】

- 0 : しない
- 1 ~ 5 : する(シートボタン(各パターン))
- 6 ~ 1 0 : する(ランプボタン(各パターン))



ユニバーサル対応

(1)適用機種

- ・FNX115シリーズ

(2)必要な工具

- ・プラスドライバ

(3)必要な部品

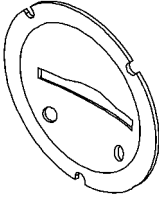
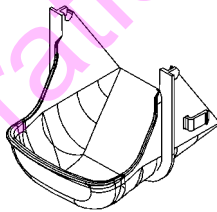
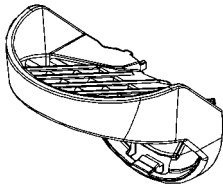
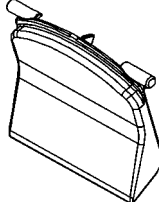
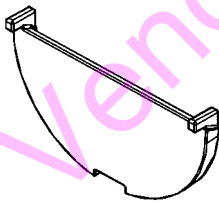

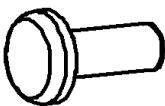
一括手配番号(コイン投入口部) : YDA08X42493C02

一括手配番号(コイン返却口部) : YDA08 42749C01

- ・ご注文の際はこの図番をご指示ください。

構成部品

- ・あらかじめ、下記部品個数がそろっていることをご確認ください。

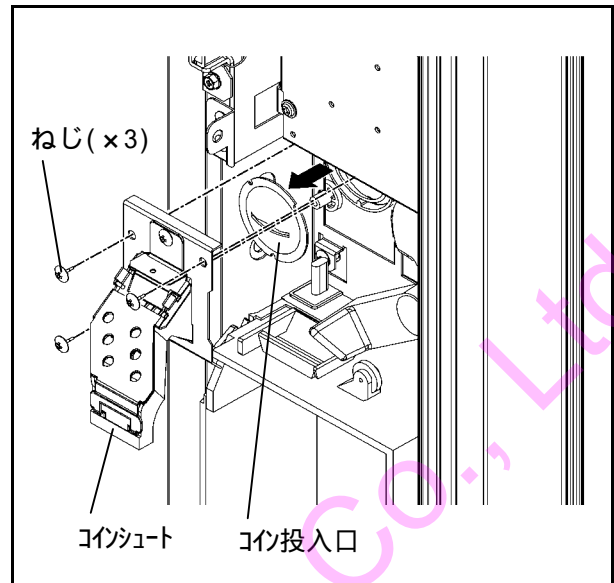
	品名・形状	図面名称・番号	個数		品名・形状	図面名称・番号	個数
コ イ ン 投 入 口 部	1 コイン投入口 	コイン投入口 YDA08V42444 C01	1	コ イ ン 返 却 口 部	5 コイン返却口 	コイン返却口 YDA08X42774 C01	1
	2 コイン投入シュート 	コイン投入口 YDA08T32439 C01	1		6 フラップ 	フラップ (コイン返却口) YDA08T32704 C01	1
	3 カバー 	カバー (コイン投入口) YDA08T42440 C01	1		7 ステッカ 	ステッカ (コイン返却口) YDA86H59587 C01	1
	4 ねじ 	FTXPB 4×10,SUS	2				

ユニバーサル対応

(4) 部品の取付け～機種確認

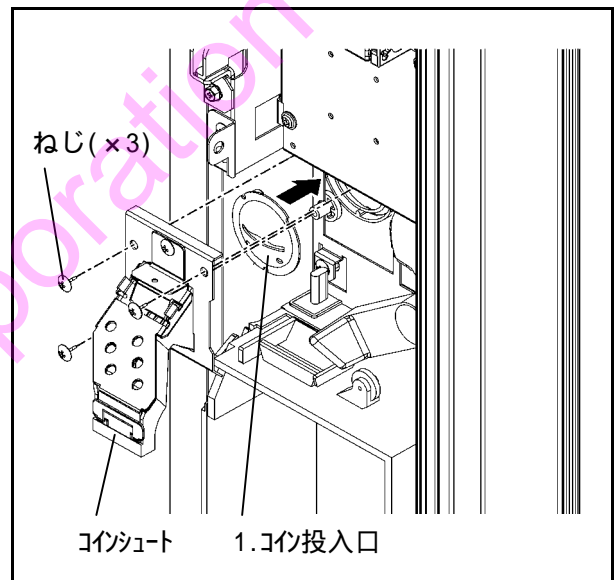
扉裏側よりねじ3本をはずしコインシュートを取りはずします。

コイン投入口を取りはずします。

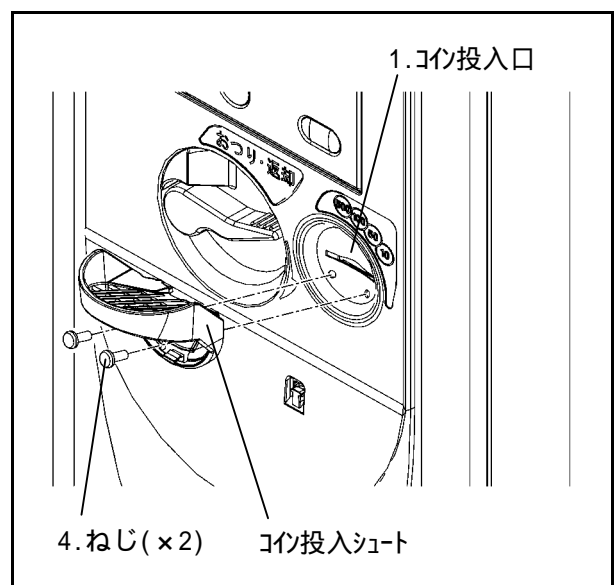


コイン投入口が取付けてあった位置に1. コイン投入口を取付けます。

ねじ3本にてコインシュートを元の位置に取付けます。



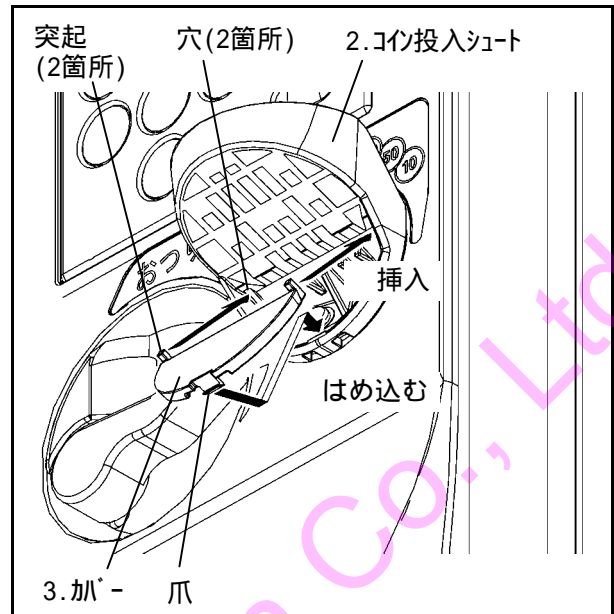
扉表側より1. コイン投入口に4. ねじ2本にて、コイン投入シュートを取付けます。



ユニバーサル対応

(4) 部品の取付け～機種確認(つづき)

2. コイン投入シュートの下部に3. カバーを取付けます。取付けの際には3. カバー上部の突起を2. コイン投入シュートの穴に斜め下方より挿入し、その後、下部の爪を確実にはめ込みます。



コインメカニズムのアクセプタラッチを操作し、硬貨識別装置 (アクセプタ) を手前に倒します。

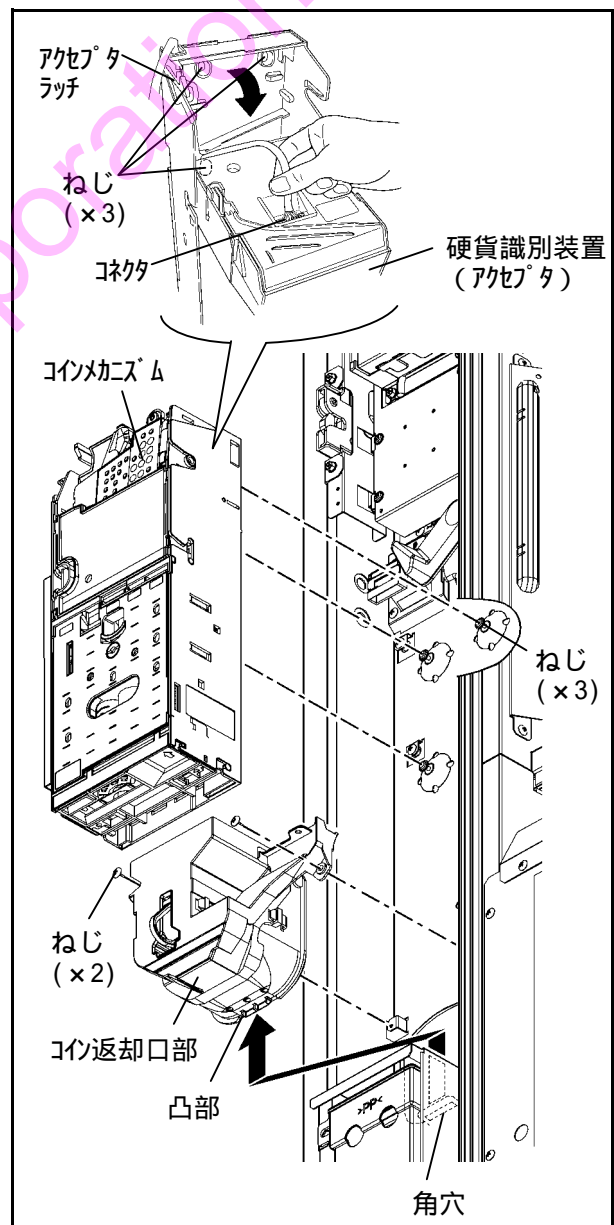
硬貨選別装置裏側のコネクタをはずします。

硬貨選別装置を約 45 度起こし手前に引き抜きます。

ねじ 3 本をゆるめ、少し持ち上げながらコインメカニズムをねじより取り外します。その際コインメカニズムの配線 (橙 8 P カプラ (ZL8P)) を取りはずします。

ねじ 2 本をはずします。

コイン返却口部を少し持ち上げて下部の凸部を角穴よりはずして取りはずします。

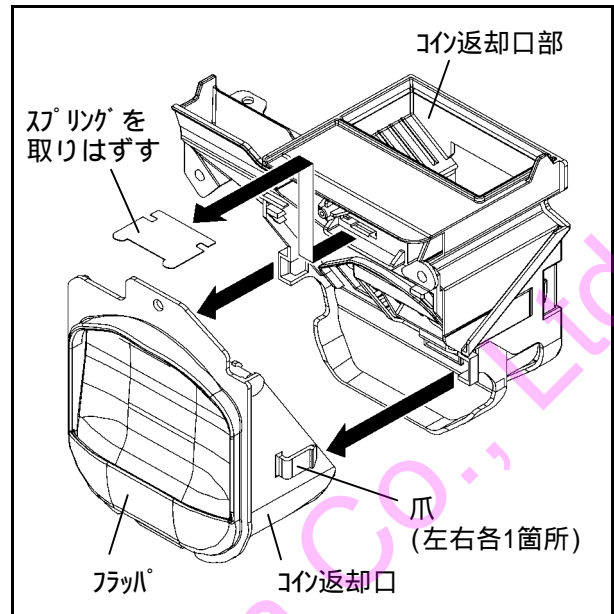


ユニバーサル対応

(4) 部品の取付け～機種確認(つづき)

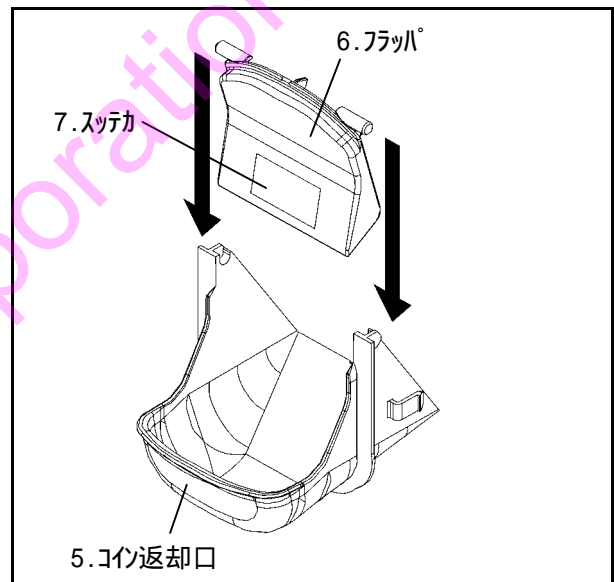
コイン返却口の左右の爪をはずし、コイン返却口部よりフラップと一緒に取りはずします。

コイン返却口部よりスプリングを取りはずします。

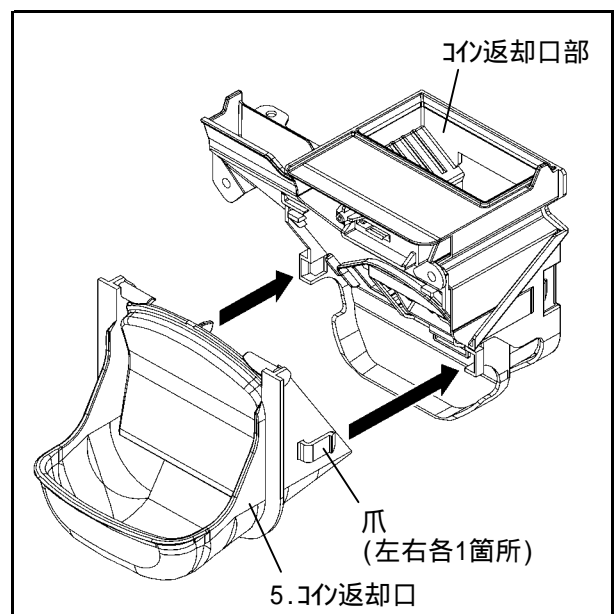


6. フラップ表面に7. ステッカを貼付けます。

右図のように5. コイン返却口に6. フラップを取付けます。



～ で組立てた5. コイン返却口をコイン返却口部に取り付けます。左右の爪が確実にセットされていることをご確認ください。



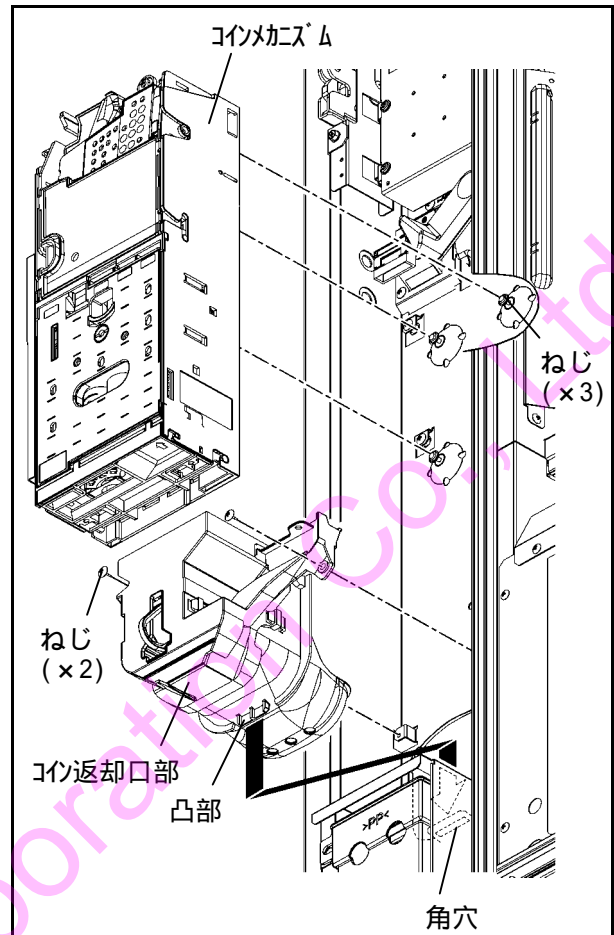
ユニバーサル対応

(4) 部品の取付け～機種確認(つづき)

コイン返却口部下部の凸部を角穴に差し込み、
ねじ2本にて固定します。

～ の逆手順でコインメカニズムを取り付けます。

コイン投入及びコイン返却部のテスト確認を
数回行い、支障が無いことを確認してください。



取出口ロック対応

(1)適用機種

FNX115NRAシリーズ

(2)必要な工具

プラスドライバ(2 × 150mm)
 カッターナイフ

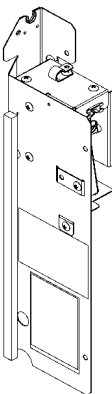
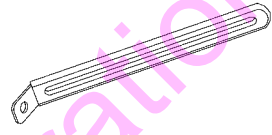
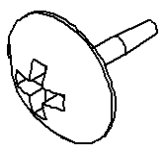
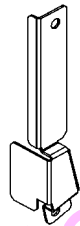
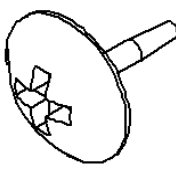
(3)必要な部品

一括手配番号 : YDF58Z4A092 C01

ご注文の際はこの図番をご指示ください。

構成部品

あらかじめ、下記部品・個数がそろっていることをご確認ください。

	品名・形状	図面名称・番号	個数		品名・形状	図面名称・番号	個数
1.	ユニット組立 	ユニット組立 (取出口スッパ) YDF58X4A093 C01	1	3.	アングルクランプ 	CRAMPER 0FE2E03500410	1
				4.	ねじ 	XTTB2 SLIT 4 × 8, S, ZN5CM2F	1
2.	ガイド板 	ガイド板(スッパ) YDF58V4A127 C01		5.	ねじ 	XTTB2 SLIT 4 × 10, S, ZN5CM2F	2

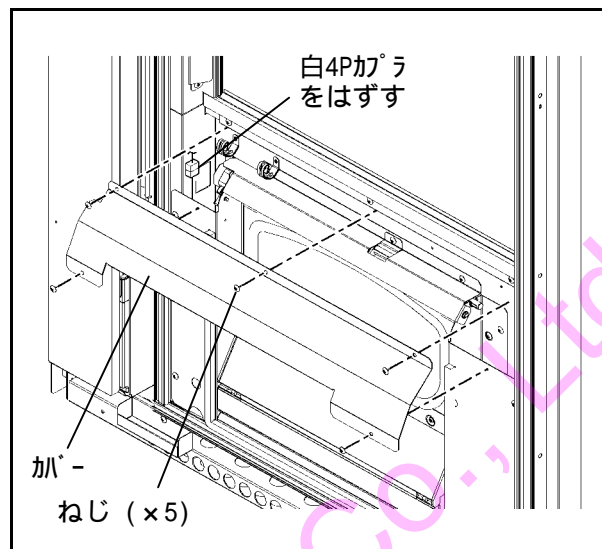
取出口ロック対応

(4) 部品の取付け～機能確認

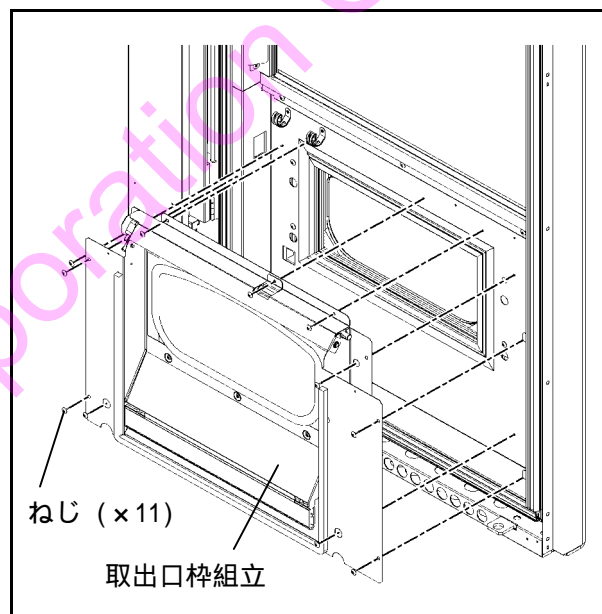
本体スレーブボックスの漏電しゃ断器をOFFします。

扉裏側のねじ5本をはずし、取出口上部カバーを取りはずします。

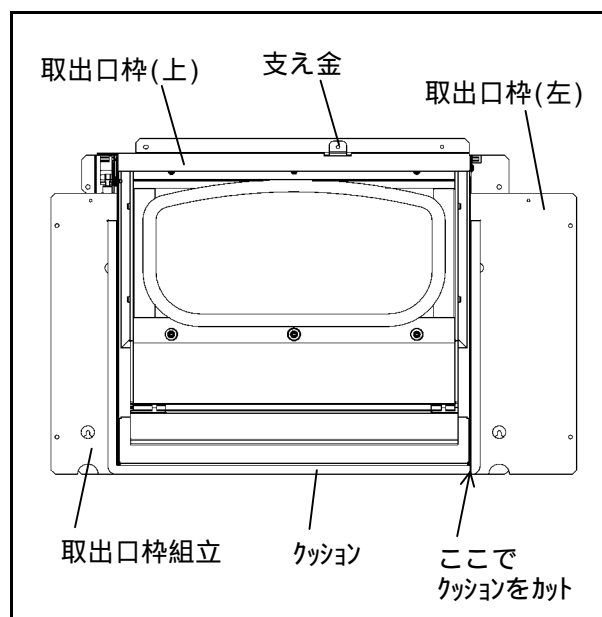
取出口枠組立のフラップスイッチよりの白4Pカプラをはずします。



ねじ11本をはずし取出口枠組立を取りはずします。



右図のようにクッションを取出口枠(左)の接合部分でカッターナイフ等でカットします。

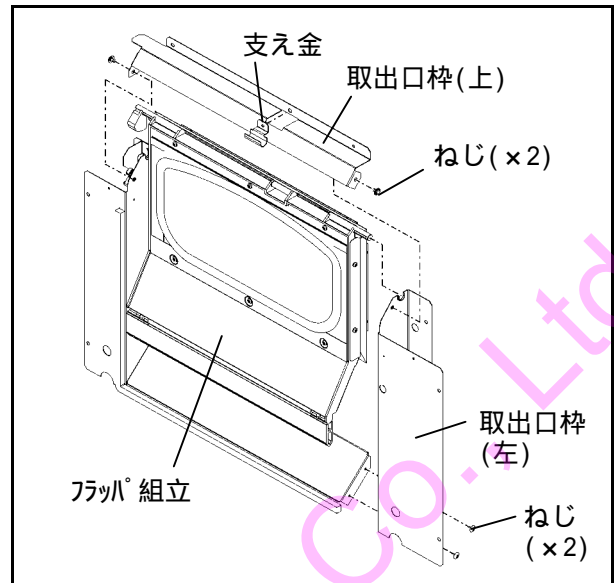


取出口ロック対応

(4) 部品の取付け～機能確認(つづき)

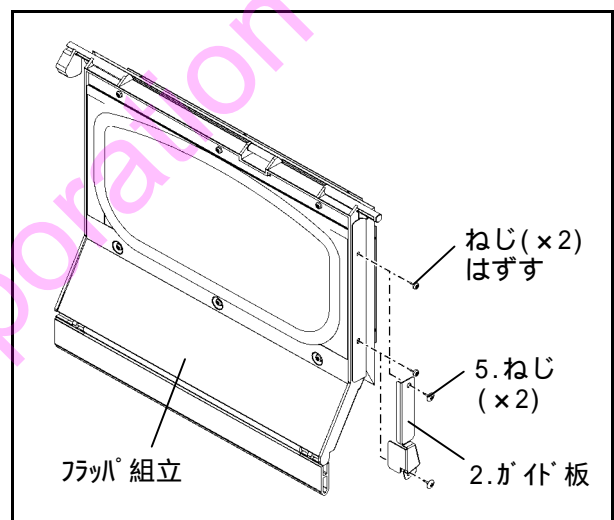
ねじ2本をはずし、取出口枠(上)、支え金、フラッパ組立を取りはずします。

ねじ2本をはずし、取出口枠(左)を取りはずします。



フラッパ組立の右側面のねじ2本をはずす。

2. ガイド板を5. ねじ2本にてストップ組立に取付けます。

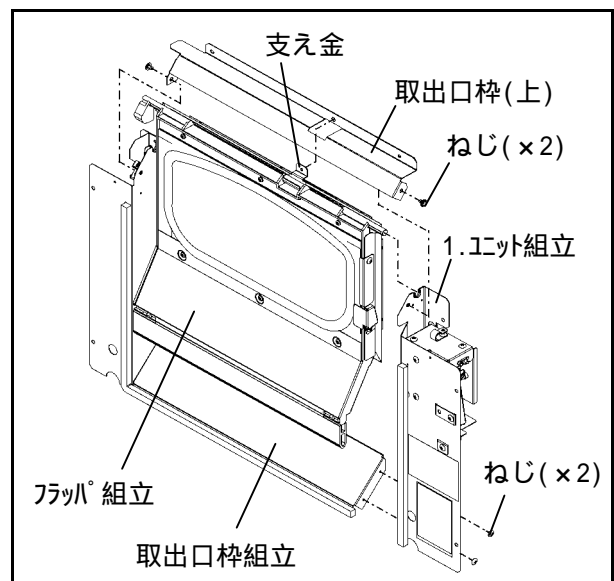


ねじ2本にて取出口枠組立に1. ユニット組立を取付けます。

右図のように組立てたフラッパ組立を取出口枠組立に取付けます。

フラッパ組立に支え金を取付けます。

取出口枠(上)をねじ2本にて取出口枠組立に取付けます。その際、支え金の上部が取出口枠(上)の角穴より出る様にして取付けます。



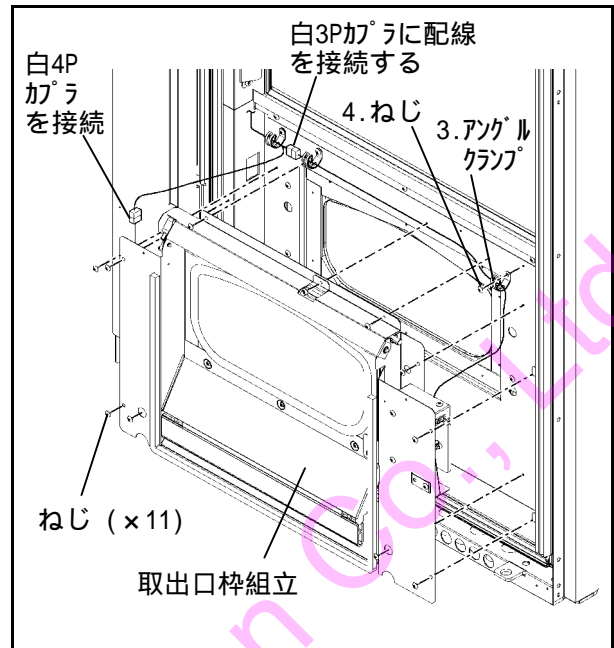
取出口ロック対応

(4) 部品の取付け～機能確認(つづき)

右図の様に4.ねじ 1本にて3.アングルクランプを取付けます

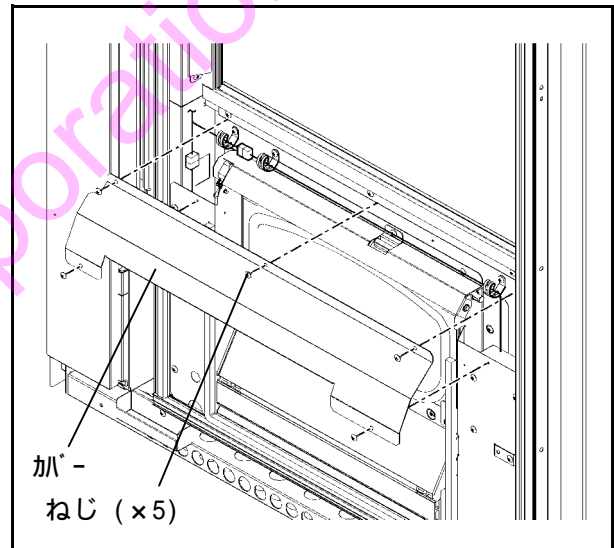
取出口左側にある白3Pカプラに先程組み立てた取出口枠組立右側よりの配線を接続します。その際右図の様にアングルクランプにて配線をまとめます。

取出口枠組立をねじ 11本にて扉裏側に取付けます。その際、取出口ロックソレノイドよりの白2Pカプラをフラップスイッチよりの白4Pカプラを扉側のカプラと接続します。



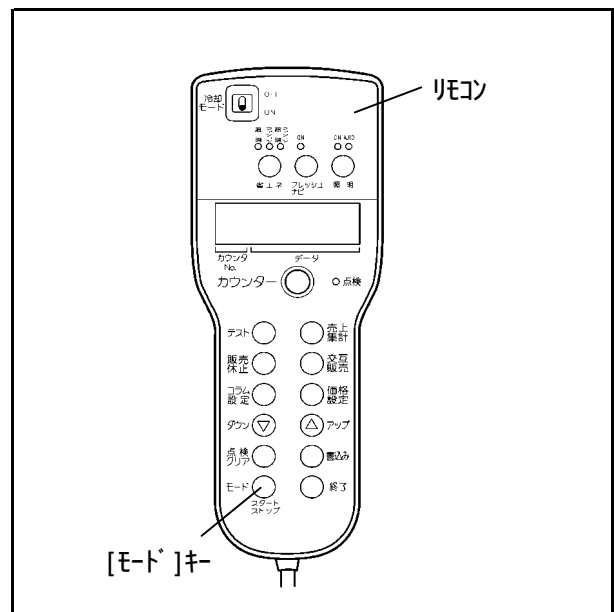
ねじ 5本にて取出口上部カバーを取付けます。

本体スレーブボックスの漏電しゃ断器をONします。



リモコンの[モード]0-68:取出口ロック無し販売を「1:使用する」に設定します。

数回販売テストを行い、販売に支障がないことをご確認ください。待機時に取出口扉のロックを行います。

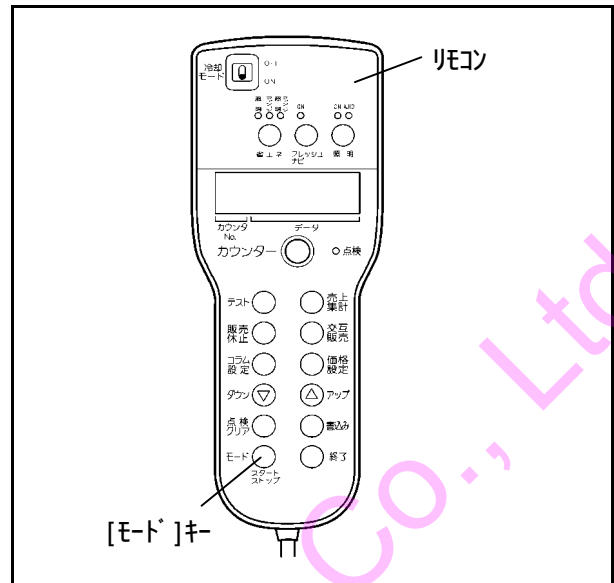


取出口ロック対応

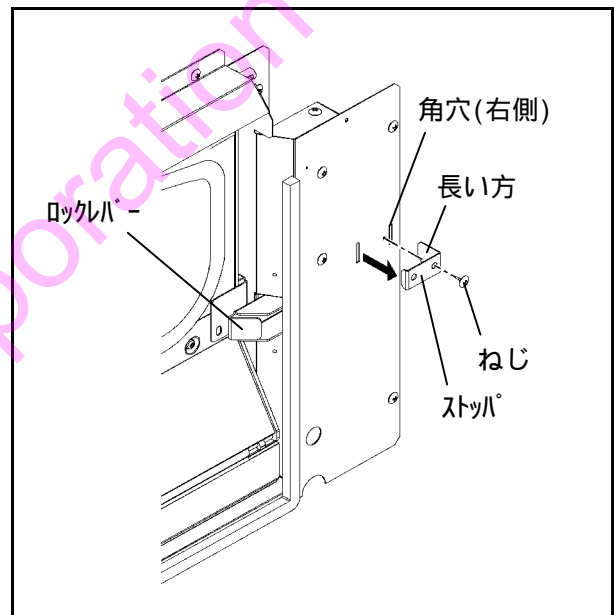
(5)取出口ロックを使用しない場合

取出口ロック対応を行ったのち、取出口ロックを使用しなくなったり、取出口ロックソレノイドの故障等でロック制御が行えない場合はつぎの方法でロック解除を行ってください。

リモコンの[モード]0-68:取出口ロック無し販売の設定を「0:しない」に設定します。



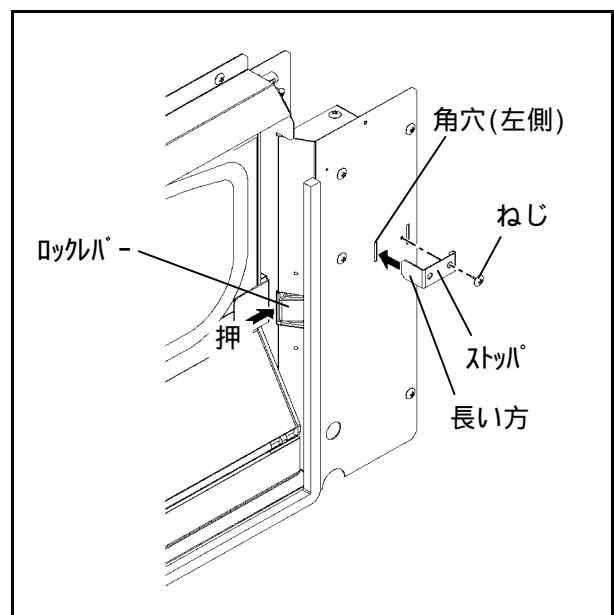
取出口枠組立右側のねじ1本をはずし、ストッパを取りはずします。
この時ストッパの長い方は右側の角穴に差し込まれています。



指などでロックレバーを押し込みます。

の状態です。ストッパの長い方を左側の角穴に差し込みねじにて固定します。

ロックレバーを押していた指をはずし、ロックレバーが固定され、取出口フラップが開くことを確認してください。



5 . 棚位置の変更

棚位置変更

本機では、5段 6段目または6段目 5段目に切替えることができます。

(1)使用工具

プラスドライバ

(2)電源をOFFする

漏電しゃ断器のレバーをOFF側にします。

(3)ラック棚の取りはずし

左端の仕切板を取りはずします。

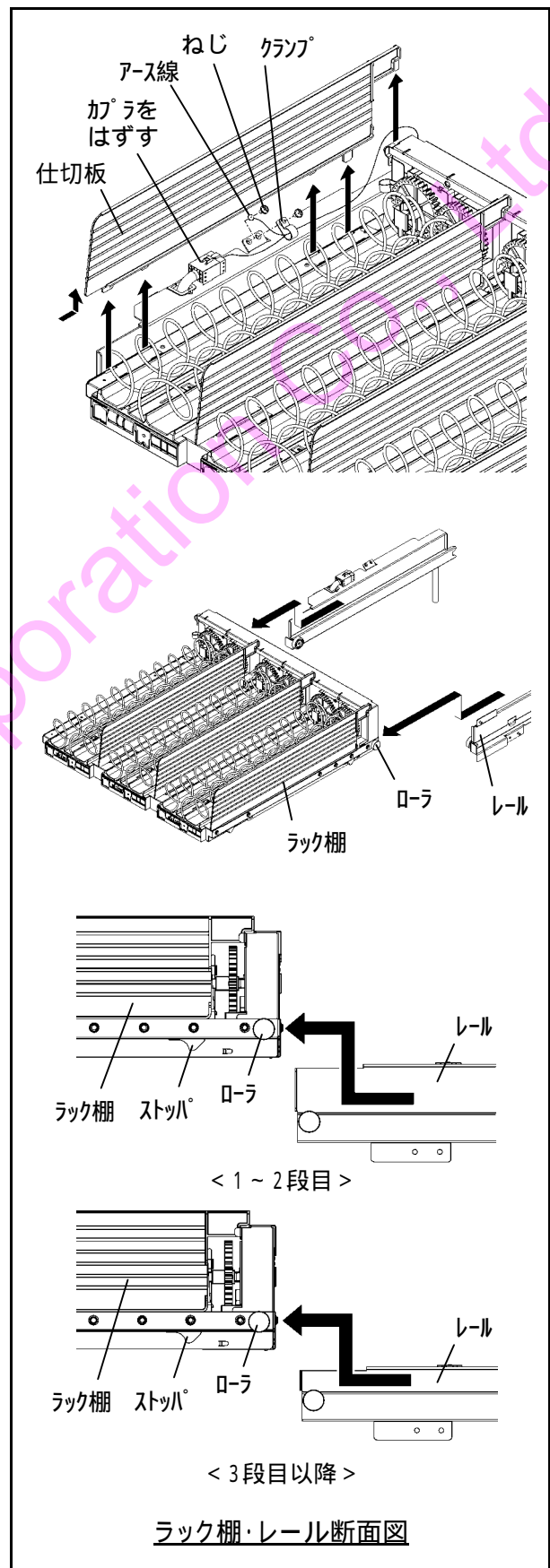
ラック棚の前面下側を持ち、前方を少し持ち上げながら、ラック棚全体を手前に引き出します。
〔 1段目と2段目ラック棚は引き出すと斜めに傾きます 〕

ラック棚からの配線をまとめているクランプをねじをはずして取りはずします。

ラック棚からの配線のカプラを取りはずします。

ねじ1本をはずし、ラック棚からのアース線をはずします。

一番手前まで引き出しますとラック棚のストッパがレール側のローラに当たり、停止します。ラック棚を少し持ち上げた状態で手前に取りはずします。



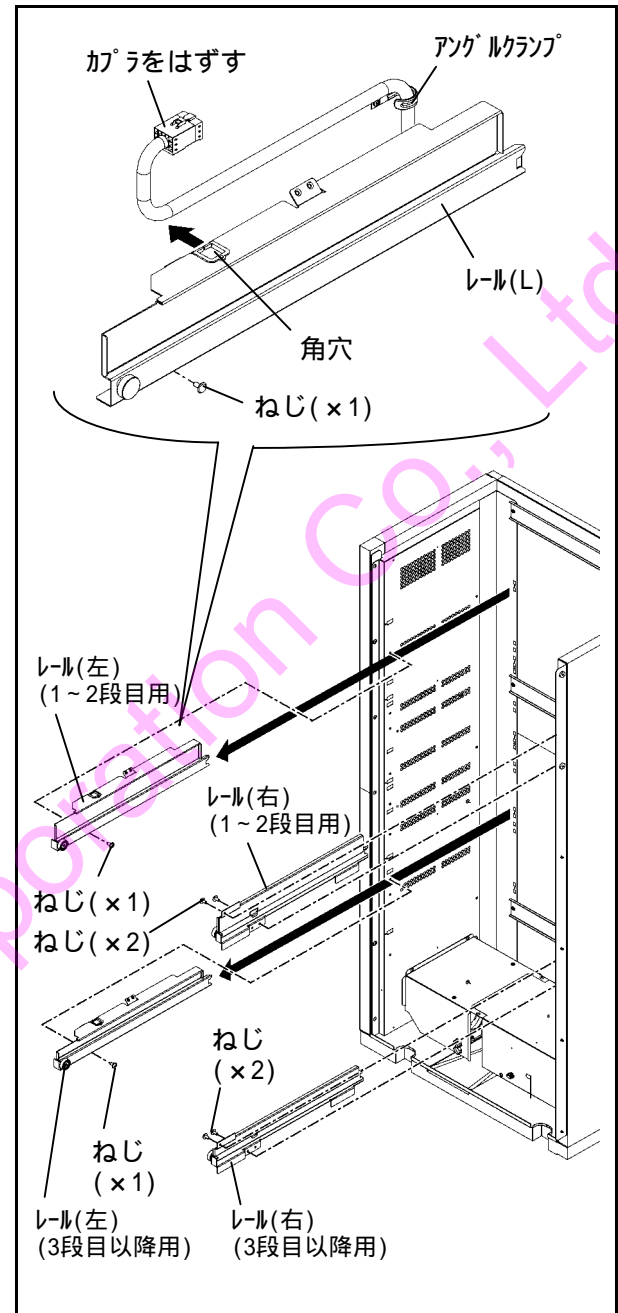
棚位置変更

(4) レールの取りはずし

ねじをはずし、移動したい棚位置の左右のレールをはずします。
 その際、左側のレールの角穴より配線を取りはずします。

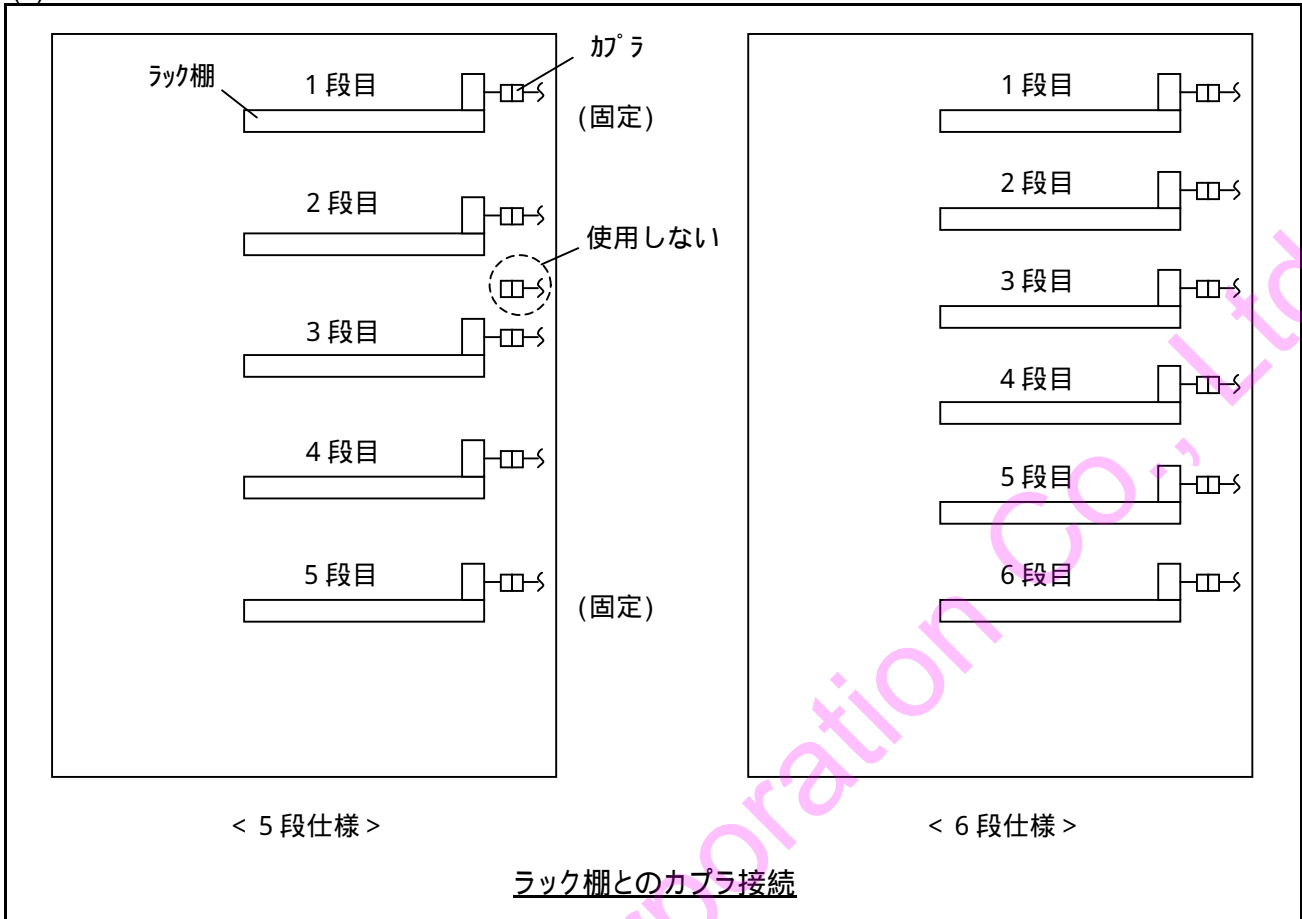
[!] レールの最上段(1段目)および最下段は位置変更を行いません。

[!] レールは、1～2段目と3段目以降で形状が異なりますのでご注意ください。



棚位置変更

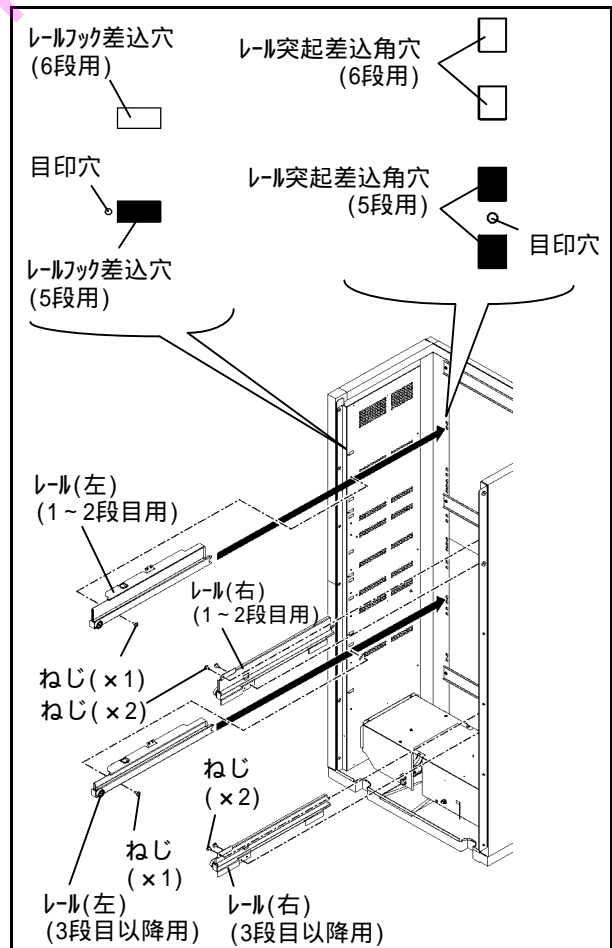
(5) レールの取付け



上図を参考に取りはずした配線を再度、左側のレールの角穴に差し込みます。

左右のレールの奥側にある突起やフックを移動したい棚位置の角穴に差し込み、ねじにて固定します。

5 段仕様のレール取付位置には右図のような小さな穴があいていますので目印にしてください。



棚位置変更

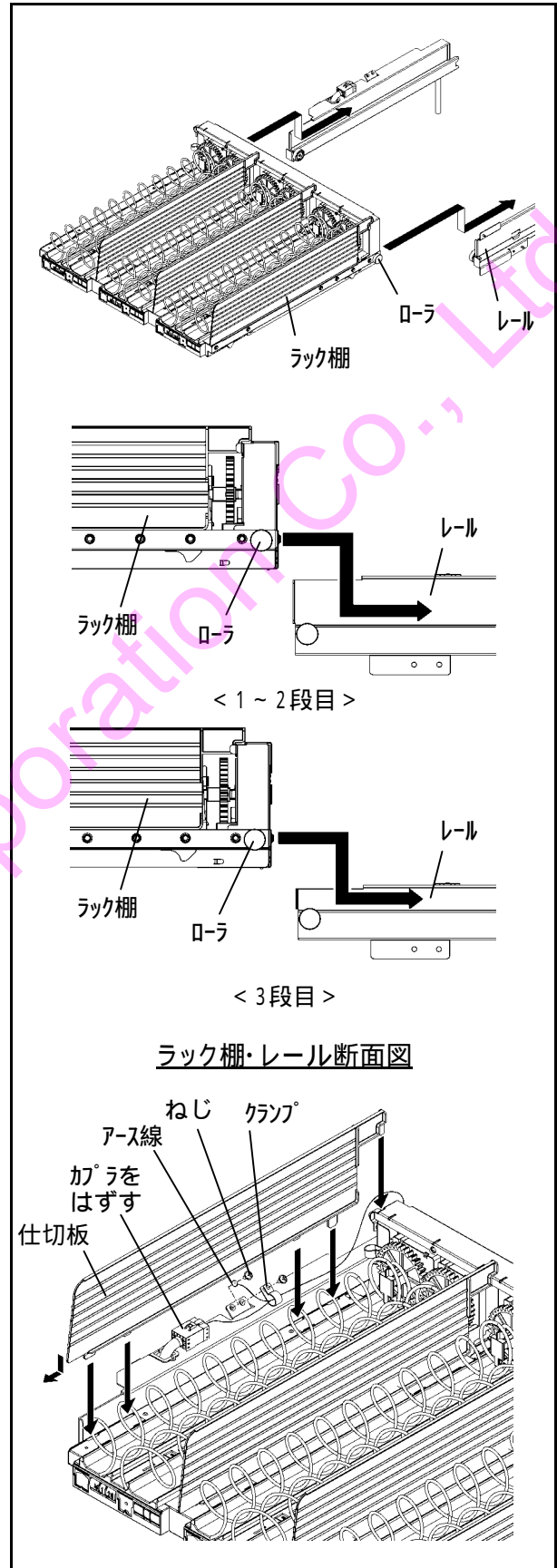
(6)ラック棚の取付け

ラック棚前方を少し持ち上げながらラック棚のローラを左右のローラの後に入れ奥に押し込みながら少しずつ降ろしていきます。

その後、ラック棚をゆっくりと奥いっぱいまで押し込みます。

ラック棚からの配線をレール(左)のカプラに接続し、配線はねじを使用し、クランプにて固定します。
またアース線はねじにてレール(左)に固定します。

左端の仕切板をラック棚に取付けます。



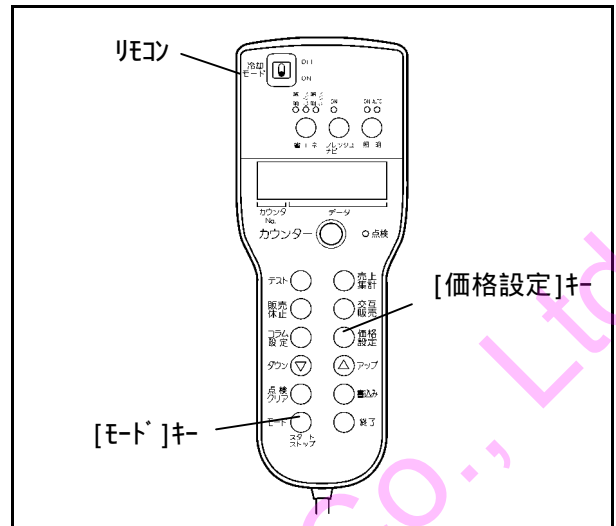
棚位置変更

(7) 棚段数設定

漏電しゃ断器のレバーをON側にし、一度外扉を閉めます。
(クリーニング動作が行われます)

再度扉を開け、リモコンの[モード] 0 - 77 : 「棚段数設定」にて棚の数を選択し、設定します。
設定後、棚数構成検出動作を行います。

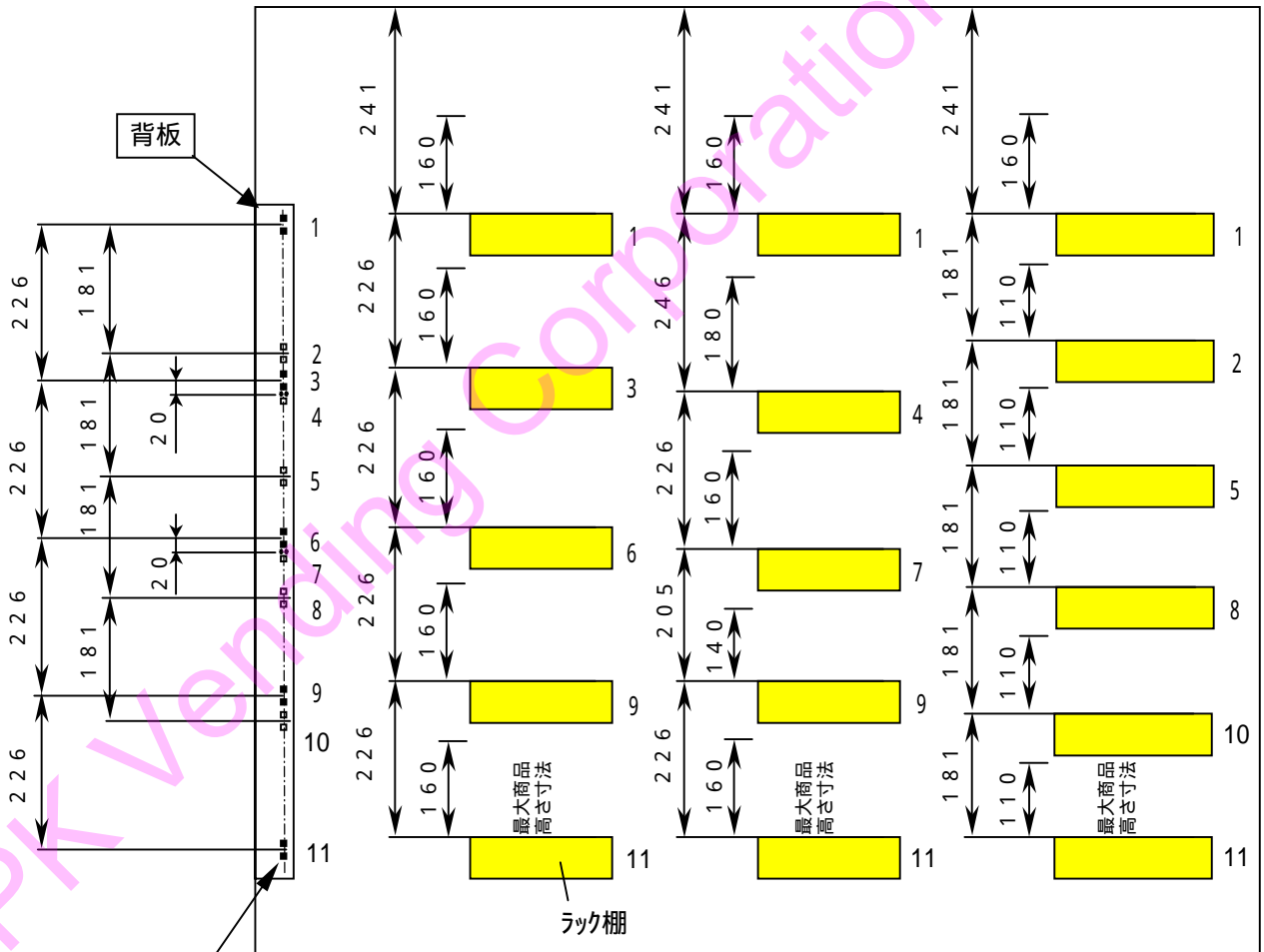
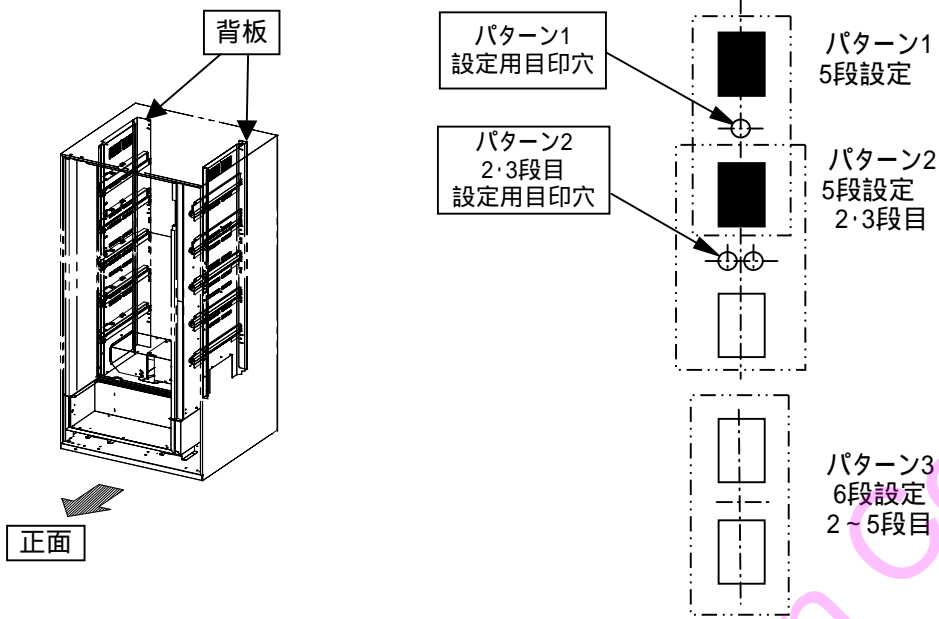
コラム数が追加された場合などは、必要に応じて[価格設定] × 1 : 「現金価格設定」や[モード] 3 - 03 : 「搬出メカコードの設定」等を実施します。



TPK Vending Corporation Co., Ltd.

棚位置変更

(8)ラック棚設定例



塗りつぶした箇所は右の<パターン1>棚設定で使用する位置を示す

<パターン1>
5段設定
(全5段)

<パターン2>
5段設定
(全5段)

<パターン3>
6段設定
(全6段)

注意

- 各棚における最大商品高さ寸法を必ず守ってください。搬出不良の原因となります。
- 5段と6段の本体側ラック配線は共通です。
<パターン3>棚設定における、「5」の位置の配線が5段時の余り配線になります。

6 . 定期的清掃と点検

保守・点検時期と内容

各部の保守・点検時期と内容を次に説明します。

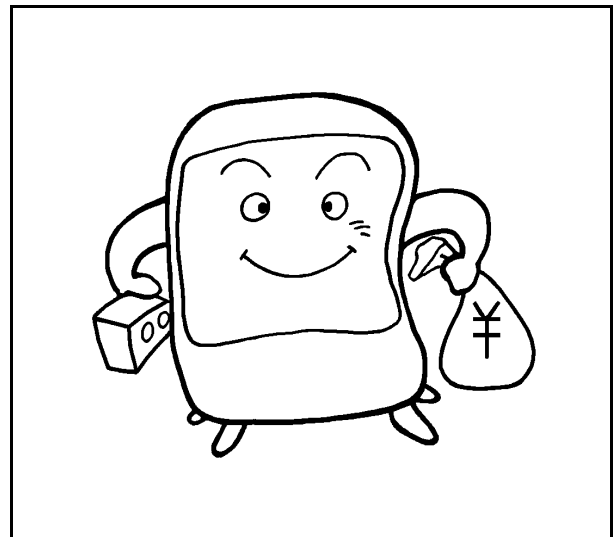
内 容	保守・点検の時期		
	訪問時	毎月1回	6ヶ月毎
回収	金庫内のお金		
清 掃	商品取出口部		
	本体の内外部		
	ラック		
	搬送機構		
	コインメカニズム		
	ビルバリ		
	ラック棚		
	蒸発皿		
	凝縮器		
	シュータ		
点 検	表示		
	漏電しゃ断器		
	蛍光灯		
	据付け		

お金の回収

商品を補充するたびに、金庫内の売上金を回収してください。

[!] 防犯のため、できるだけ売上金を金庫内におかないようにしてください。

売上金を回収した後は、金庫を元の位置に正しく置いてください。



訪問時の清掃

(1)商品取出口部

[!] 直接ホース等からの水洗いは避けてください。

商品取出口部内に落ちているパンくず等は、付属のブラシで外にはき出します。

水または湯をふくませた布でよく拭き取る。

その後、乾いた布で水分を拭き取る。

(2)本体の内外部の汚れ

内外部の汚れがあれば、湯を含ませた布でよく拭き取る。

その後、乾いた布で水分を拭き取る。

搬送機構を移動させて下部も拭き取る。

[!] 外装の汚れがひどいときは、ワックスを基材としてクリーナー(例:昭和石油製オートポリッシュなど)をお試しください。

(3)ラック

ラックを引き出します。

スパイラルの後先端の差し込み位置が上になる様、スパイラルを回転させます。

ストッパーを図のように手前にはずします。

スパイラルを上には抜きます。

ラックの内側(商品を充てんしている所)を水または湯をふくませた布でよく拭き取る。

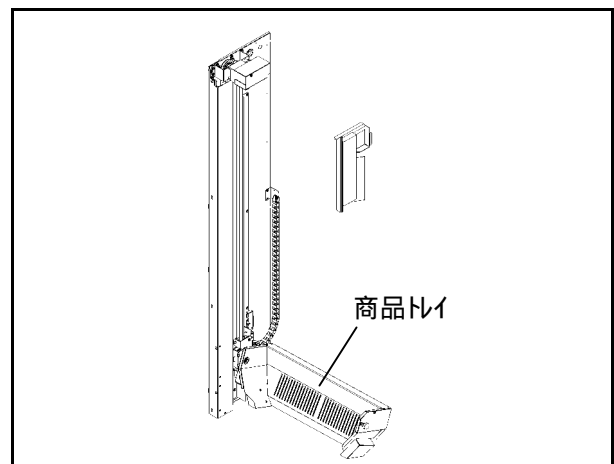
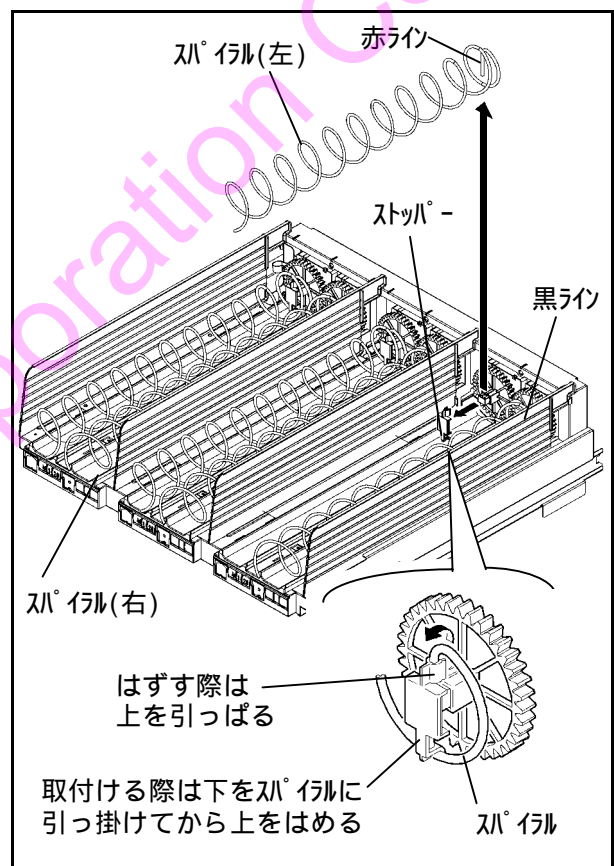
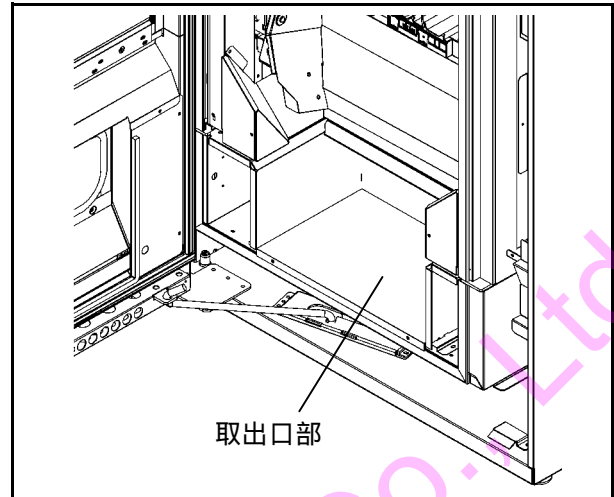
その後、乾いた布で水分を拭き取る。

元の様にスパイラルを差し込み、図のようにストッパーを取付けます。

[!] アルコールやシンナー等での清掃はやめてください。破損の恐れがあります。

(4)搬送機構

搬送機構の商品トレイ部を乾いた布で拭き取る。



1ヶ月毎の清掃

(1) 蒸発皿

メインコントロールボックスのトレイ上昇スイッチを押し、商品トレイを上に移動させます。

化粧ねじ2本をはずして、断熱材組立をはずします。

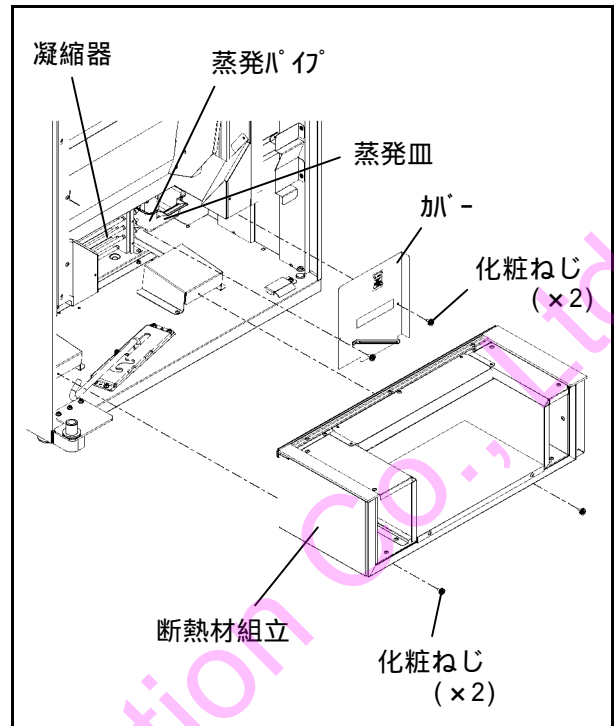
化粧ねじ2本をはずして、カバーを取りはずします。

蒸発皿を少し持ち上げてフックをはずし、降ろしながら手前に引き出します。蒸発皿に水がたまっている場合は捨てる。

蒸発皿を水道水で水洗いする。

水気を拭き取ってから、元の位置に戻す。

[!] 作業時蒸発パイプを変形させないようにご注意ください。



(2) 凝縮器

ブラシまたは掃除機でゴミやホコリを取る。

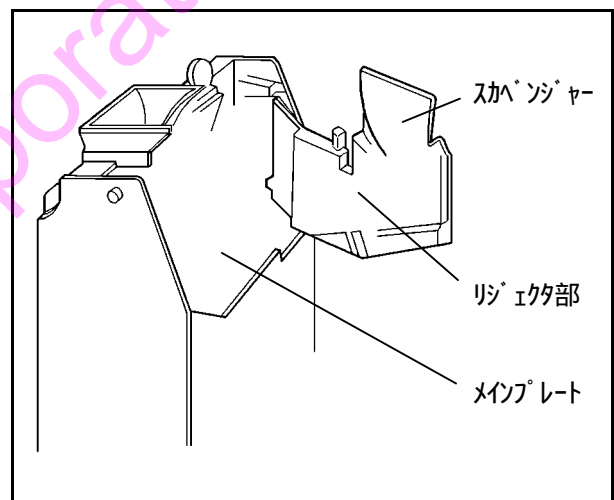
[!] 清掃をせず、ごみやほこりがついたまま放置しますと、冷却効果が低下したり、冷却装置が故障する恐れがあります。

(3) コインメカニズムの汚れ

[!] 汚れがひどいと硬貨を受け付けない原因になりますので、1ヶ月に1度程度の清掃周期で実施ください。

リジェクタ部を開け、スカベンジャー、メインプレート等の硬貨通路面を、水またはぬるま湯を含ませたガーゼ等の布で拭く。

その後、乾いた布で水分を拭き取る。



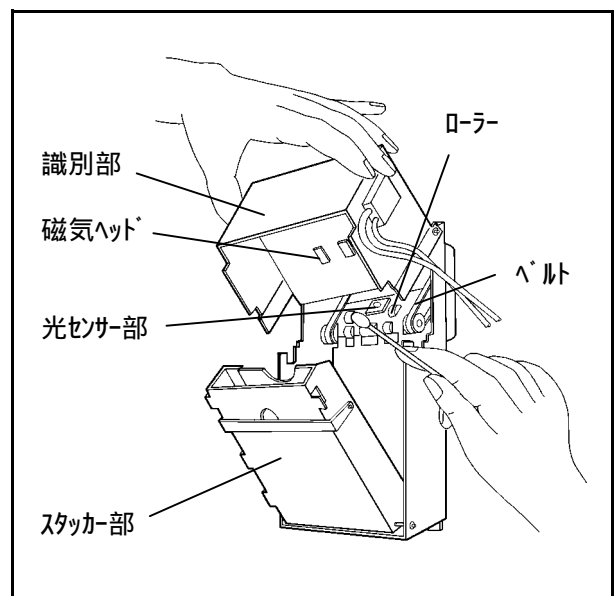
(4) ビルバリの汚れ

[!] 汚れがひどいと紙幣を受け付けない原因になりますので1ヶ月に1度程度の清掃周期で実施ください。

[!] 汚れがひどい場合は、市販品のヘッドクリーナーやアルコールを付けて拭き取ってください。

スタッカー部と識別部を開け、ローラーやベルトの汚れを綿棒等で拭き取る。

識別部の磁気ヘッドや光センサー部を綿棒等で拭き取る。



点検のしかた

(1)表示

商品を補充するたびに、自動販売機に取付けられている各種「警告表示銘板」および「自動販売機統一ステッカ」が損傷していないか調べてください。

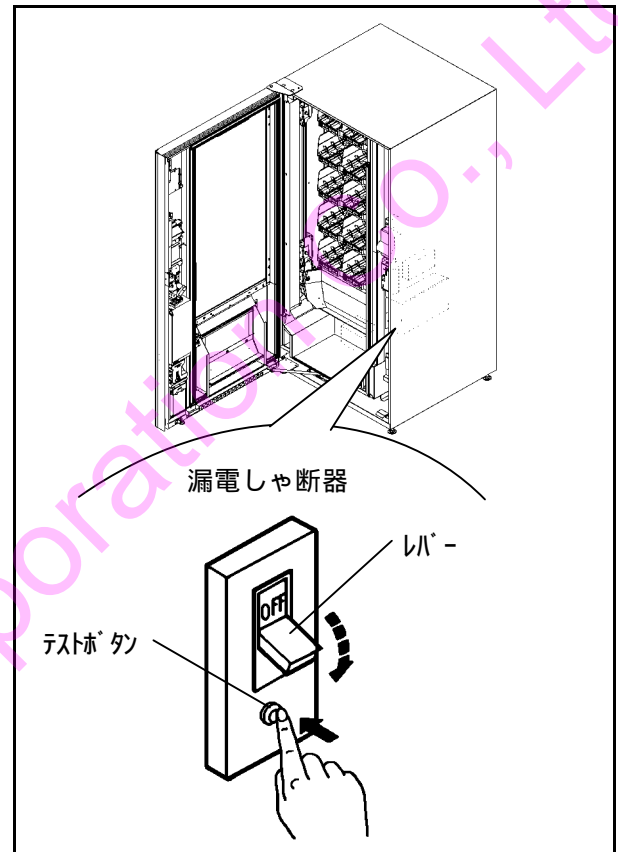
損傷している場合は、補修または交換をしてください。

[!] 交換の際は、お買上げの販売店またはサービス機関にご連絡ください。

(2)漏電しゃ断器

テストボタンを押してレバーが「OFF」になれば正常です。

電源の再投入は、テストボタンで動作確認後、約3分してから、レバーを上へ倒して「ON」にしてください。



(3)設置場所の安全確認

設置場所の据付け面のがたつきや固定金具のゆるみなどを6ヶ月に1度および震度5以上の地震が発生した場合は必ず点検してください。異常がある場合は専門の自動販売機設置業者またはお買上げ先へ修繕を依頼してください。

[!] 不完全な設置状態のまま使用すると、転倒事故の原因になります。

長期間ご使用にならないときは

自動販売機を長期間ご使用にならないときは、つぎの方法で保管してください。

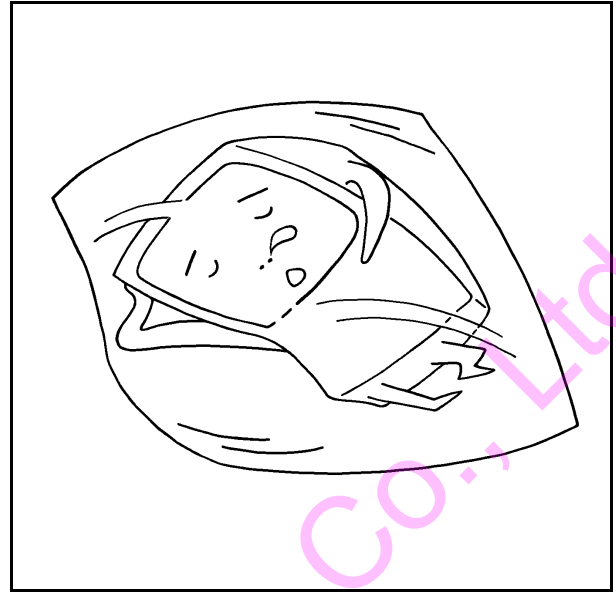
[!] 保管するときは自動販売機を積み上げないでください。転倒事故、けがの原因になります。

漏電しゃ断器を「OFF」にし、電源プラグを抜いてください。

ラックに収納してある部品をすべて取出してください。

自動販売機の内部・外部の汚れをきれいにふきとってください。

ビニールカバーなどを本体にかけて保存してください。



7. リモコン

リモコン各部の名称とはたらき

このリモコンのキーには、1または複数の項目を操作する機能があります。名称とはたらきはつぎの通りです。

冷却モード

庫内の冷却モードを切り替えます。

カウンター

プライス毎、グループ毎の販売本数を確認するときに使います。

テスト

各種テストをおこなうときに使います。

販売休止

販売休止時間、コラム販売休止モードを設定・確認するときに使います。

コラム設定

商品日付の設定、確認および一括コピーするときに使います。

ダウン

各種項目、モード、データなどを変更します。
1回押すごとにデータが1減少

点検/クリア

故障内容の確認
各種データのクリア、コピーをするときに使います。

モード スタート/ストップ

専用キー以外の項目の設定や確認をするときに使います。
テスト販売の開始または停止をします。

液晶表示部

コラム/項2桁、データ6桁の全8桁で表示します。データ部は6桁の交互表示もできます。扉開放時は、トータルカウンタを表示します。

点検

故障が発生すると点滅します。

売上集計

売上データを確認するときに使います。

交互販売

交互販売コラムの設定、確認をするときに使います。

価格設定

現金またはカードの価格設定や確認をするときに使います。

アップ

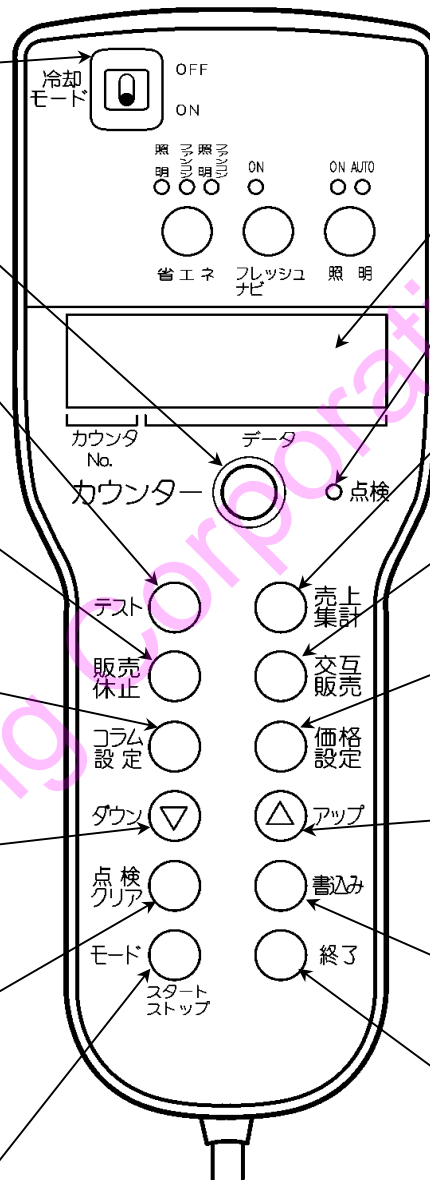
各種項目、モード、データなどを変更します。
1回押すごとにデータが1増加

書込み

リモコンを操作して、デジタル表示器に表示させたデータを確定します。

終了

リモコン操作を終了し、販売待機状態に戻ります。



テンキーボタンによる設定データの確認

- ・外扉が開いている状態でテンキーボタンを使って各コラムの価格設定ならびに搬出メカコードを簡単に確認することができます。



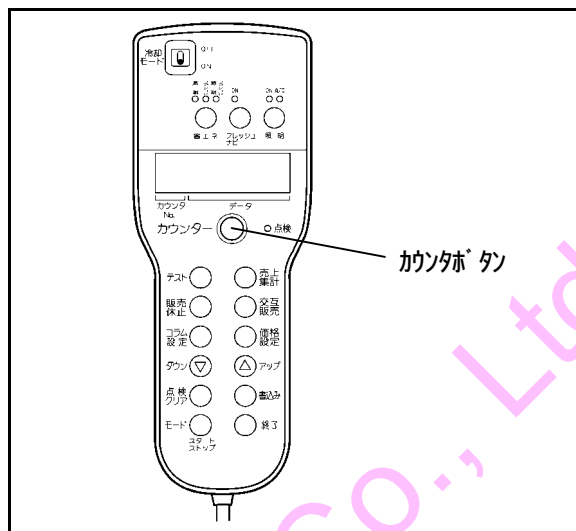
(例) テンキーボタン「1」の設定内容を確認したい場合

操作手順	テンキーボタン操作	デジタル表示部	内容
1	外扉が開いている状態で ① 購入 (押釦テンキー)	CL	コラム を表示
2		120	現金設定価格を表示
3		100	カード付機のみカード設定価格を表示
4		11	搬出メカコードを表示
5		操作手順 2 ~ 4 を 繰り返し表示	

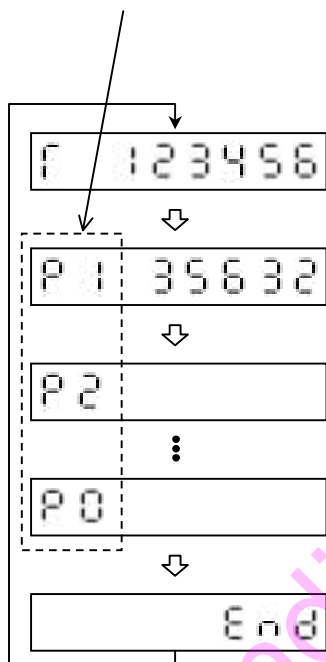
カウンタ値の確認のしかた

カウンタボタンを押してプライス別またはグループ別のカウンタ値を確認します。

- (1) カウンタ値はトータルカウンタのつぎにプライスカウンタまたはグループカウンタ、価格固定カウンタを表示します。
モード3 - 06で切換を行うことができます。
プライスカウンタ、グループカウンタ、価格固定カウンタも、10個まで表示します。
- (2) カウンタボタンを押す毎に表示が変わります。
- (3) 最後まで表示すると「End」を表示し、もう一度カウンタボタンを押すと、トータルカウンタ表示に戻ります。



モード3 - 06「3」「4」時は「G1～G0」と表示。
「1」「2」「5」時は「P1～P0」と表示。



モード3 - 06 の設定		
「1」「2」設定時	「3」「4」設定時	「5」設定時
トータルカウンタ表示	トータルカウンタ表示	トータルカウンタ表示
1番高い価格帯	グループ1	設定価格1
2番目に高い価格帯	グループ2	設定価格2
1番低い価格帯	グループ0	設定価格0


* 「5」設定時の設定価格は[価格設定]キーの「プライス別カウンタ設定」にて設定します。

基本的な操作のしかた


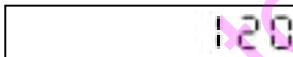
キーを操作して自動販売機の機能設定、確認、販売テストや故障内容の確認をおこないます。ここではキーの基本的な操作方法について説明します。操作の内容はリモコンの液晶表示部およびメインドアにあるデジタル表示器に表示されます。

(1)機能の設定をする

1 設定する機能項目を選択する(例:販売価格の設定)




 価格設定 を押す。


設定の項目表示になるまで専用キーを押します。



デジタル表示 リモコン液晶表示
 

(例:120円初期設定)

2 データを入力する

 アップ  ダウン  を押す。

 アップ を1回押すごとにデータが1増加

 ダウン  を1回押すごとにデータが1減少

3 入力したデータを確定する

 +  購入 を押す。

テンキーボタン 購入ボタン

(設定によっては  書込み を押す場合もあります。)

↑ ↓ 交互表示



4 販売待機状態に戻る

 終了 を押す。

(2)設定されている機能内容を確認する

1 確認する機能項目を選択する(例:販売休止モードの確認)


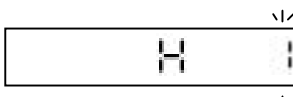
 販売休止 を押す。

確認の項目表示になるまで専用キーを押します。

2 項目内容を選択する

 アップ  ダウン  を押す。

3 販売待機状態に戻る

 終了 を押す。

基本的な操作のしかた

(3) データをクリアする

1 データをクリアする機能項目を選択する (例: トータル売上個数のクリア)

 売上集計 を押す。


データをクリアする項目表示になるまで専用キーを押します。

デジタル表示

リモコン液晶表示



2 項目内容を選択する

 点検クリア を 2 秒以上押し続ける。

点検/クリアキーを 2 秒以上押し続けると、データがクリアされます。



3 販売待機状態に戻る

 終了 を押す。



(4) 設定データをテストする

1 テストする項目を選択する (例: 連続テスト販売)

 テスト を 2 回押す。

テストする項目表示になるまで専用キーを押します。



2 項目内容を選択する

 アップ ( ダウン) を押す。

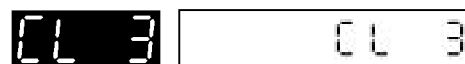
または  3 +  購入 を押す。
テンキーボタン 購入ボタン



(例: コラム 3)

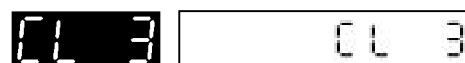
3 テストを開始する

 モード を押す。
スタート
ストップ



4 テストを停止する

 モード を押す。
スタート
ストップ



5 販売待機状態に戻る

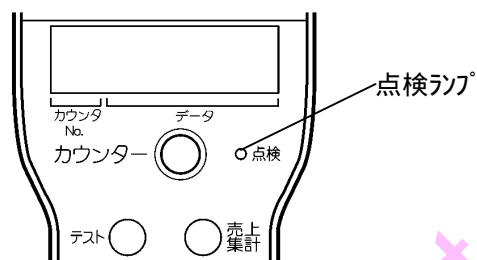
 終了 を押す。




基本的な操作のしかた

(5)故障コードを確認する

1 点検ランプが点滅する

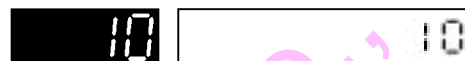


2 故障コードを表示する

点検
クリア  を押す

デジタル表示

リモコン液晶表示



(例:故障コード 10)

3 故障の対処をする

故障コード一覧表をごらんになって故障の内容を確認し、対処します。

(6)操作を終了する

 終了 を押す。



販売待機状態に戻ります。液晶表示部にトータルカウンタ値を表示します。
[終了] キーを押す以外にもつぎの方法で操作を終了することができます。

何もせずにそのまま30秒以上置く。
返却レバーを操作する(自動解除)。

専用キーの機能項目とデータ範囲

テスト，売上集計，販売休止，交互販売，コラム設定，価格設定，点検/クリアをまとめて専用キーと呼びます。

専用キーには，1または複数の項目が操作できる機能があります。

ここでは，専用キーの機能項目とその有効データ範囲について説明します。

複数の項目機能を有するキーを操作するときは，キーを押した回数で項目を選ぶことができます。ひとつの項目の操作中に同じ専用キーを押すと，つぎの項目に移ります。別の専用キー操作に移るときは，現在の操作を終了し，あらためてつぎの操作に移ります。

キーを押すごとに機能項目の内容，データ範囲とデジタル表示器に表示される文字が替わります。

テスト ● キー

操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時
1回目	r5f1	単品テスト販売 コインテスト販売(コイン投入時)		—
2回目	r5f2	連続テスト販売(テンキーボタン/リモコン)	搬出メカはシングルバンド	—
3回目	r5f4	順送りテスト販売(テンキーボタン/リモコン)		—
4回目	r5f5	コラムモータ単品テスト	Yメカは移動せずに コラムモータのみ動作	—
5回目	r5f6	コラムモータ順送りテスト	コラムモータを少しづつ 起動をずらして同時動作	—
6回目	r5f8	Yメカテスト販売	ホームポジションから 指定コラム位置までの 縦移動のみ	—
7回目	r5fE	バンドエンドセンサーテスト		—
8回目	r5fF	取出口扉スイッチテスト		—
9回目	r5fH	仕切板スイッチテスト (本機は仕様上，使用できません)	仕切板スイッチの異常 を確認	—

専用キーの機能項目とデータ範囲

● 売上集計 キー

操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時
1回目	FC CL	トータル売上個数の確認・クリア コラム別売上個数の確認・クリア	0 ~ 999,999個 0 ~ 999,999個	0個
2回目	FP CL	トータル売上金額の確認・クリア コラム別売上金額の確認・クリア	0 ~ 999,999円 0 ~ 999,999円	0円
3回目	GC : (Gr)	グループ別売上個数の確認・クリア	0 ~ 999,999個	0個
4回目	GP : (Gr)	グループ別売上金額の確認・クリア	0 ~ 999,999円	0円
5回目	PC : (プライス)	価格別売上個数の確認・クリア	0 ~ 999,999個	0個
6回目	PP : (プライス)	価格別売上金額の確認・クリア	0 ~ 999,999円	0円
7回目	X	テスト販売個数の確認・クリア	0 ~ 999,999個	0個
8回目	RC	ルーレット当たり個数確認	0 ~ 999,999個	0個
9回目	RP	ルーレット当たり金額確認	0 ~ 999,999円	0円
10回目	dc	割引合計個数の確認・クリア	0 ~ 999,999個	0個
11回目	dp	割引合計金額の確認・クリア	0 ~ 999,999円	0円
12回目	rc	累計売上個数の確認・クリア	0 ~ 999,999個	継続
13回目	bc	現金累計売上個数の確認	0 ~ 999,999個	継続
14回目	cc	現金以外累計売上個数の確認	0 ~ 999,999個	継続
15回目	rp	累計売上金額の確認	0 ~ 999,999円	継続
16回目	bp	現金累計売上金額の確認	0 ~ 999,999円	継続
17回目	cp	現金以外累計売上金額の確認	0 ~ 999,999円	継続
18回目	fc	フリーバンド合計本数の確認・クリア	0 ~ 999,999個	継続
19回目	fp	フリーバンド合計金額の確認・クリア	0 ~ 999,999円	継続
20回目	fg	時間帯別売上個数の印字操作		—

専用キーの機能項目とデータ範囲

販売休止 ● キー

操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時
1回目	FL	1週間賞味期限の設定・確認	曜日 (0:全曜日,1:日,2:月, 3:火,4:水,5:木, 6:金,7:土) 0~24時間 任意のコラム 99:一括設定	クリア
2回目	H	設置時の販売休止時間/コラムの設定・確認	0~24時間 任意のコラム 99:一括設定	クリア
3回目	HE	ヘルスコード有効コラムの設定・確認 (本機は仕様上、使用できません)	任意のコラム 99:一括設定 クリアキー:一括解除	クリア
4回目	F	賞味期限前販売停止日数設定・確認	任意のコラム 99:一括設定 クリアキー:一括解除	クリア

交互販売 ● キー

操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時
1回目	Gr	交互販売コラム設定・確認	任意のコラム (1~30Gr) クリアキー:一括解除	全コラム:0
2回目	AG	販売不可コラム設定・確認	任意のコラム クリアキー:一括解除	全コラム:0

コラム設定 ● キー

操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時
1回目	880E	品質保持期限の設定・確認	任意のコラム 99:一括設定	全コラム:0

価格設定 ● キー

操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時
1回目	120	販売価格の設定・確認	0~9,990円 10円単位 初期値120円表示 99:一括設定	0円
2回目	120 (点滅)	カード価格の設定・確認 (カード付時のみ表示)	0~9,999円 1円単位 初期値120円表示	0円
* 3回目	CnF0) CnF9	プライス別カウンタの設定・確認	各コラムに設定してあ る価格の中から選択 0円:価格設定なし	—

* 自動販売機の仕様によって表示されない場合があります。

専用キーの機能項目とデータ範囲

点検
クリア ● キー

操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時
1回目	E7-コード	現在故障の確認	最大16項目	継続
2回目	32	過去故障の確認	最大16項目	継続
3回目	33	故障時の投入金額確認	0 ~ 9,990円 10円単位	クリア
4回目	34	故障時の販売金額確認	0 ~ 9,990円 10円単位	クリア
5回目	35	故障時の残金金額確認	0 ~ 9,990円 10円単位	クリア
6回目	36	故障時の月日確認	01-01 ~ 12-31	クリア
7回目	37	故障時の時分確認	00-00 ~ 23-59	クリア
8回目	38	ヘルスコード動作時の月日確認 (本機は仕様上、使用できません)	01-01 ~ 12-31 (過去3回分)	クリア
9回目	39	ヘルスコード動作時の時分確認 (本機は仕様上、使用できません)	00-00 ~ 23-59 (過去3回分)	クリア
10回目	312	異常発生時の詳細コード確認		クリア
11回目	313	異常内容の印字操作		クリア
12回目	314	異常発生時のコラム確認		クリア
13回目	315	設定データの印字操作		—
14回目	316	検査データの印字操作		—
15回目	317	販売口扉異常発生時の月日時分の確認	月日：01-01 ~ 12-31 時分：00-00 ~ 23-59 (過去15回分)	クリア
16回目	CL	過去故障クリア	過去故障	—

モードキーの機能項目とデータ範囲

モードには、統一、選択、タイマ、機種固有設定、釣銭合わせ、ルーレット、カード、プリンタ、メンテナンスの9種類があり、それぞれモードには更に機能の操作項目番号があります。モードの操作項目番号を入力して機能の設定や確認をします。

(1) モードキー操作の基本

- | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|---|--|---|
| 1  を押す。
モード番号入力待ちの状態になります。 |  |  |
| 2   を押す。
モード番号を入力します。入力したモード番号が点滅します。 |  |  |
| 3  を押す。
手順2で入力したモード番号が確定し、操作項目番号入力待ちの状態になります。1・2桁目を点滅表示します。 |  |  |
| 4   を押す。
操作項目番号を入力します。 |  |  |
| 5  を押す。
モードと操作項目が確定し、選択した項目の設定または確認の手順になります。 |  |  |
| 6 手順に従って操作をする。 |  |  |
| 7  を押す。
操作を終了し、待機状態に戻ります。
[終了]キーを押すかわりに返却レバーを操作するかまたは30秒間そのまま放置しても販売待機状態に戻ります。 |  |  |
- ※：点滅表示


補足

- 手順3, 4で[モード/スタート/ストップ]キーを押すと、手順2に戻ります。
- 手順5, 6で[モード/スタート/ストップ]キーを押すと、手順4に戻ります。

ただし、釣銭合わせの確認や払出し動作等のモードでスタート・ストップとして[モード/スタート/ストップ]キーを使用する場合は除きます。

モードキーの機能項目とデータ範囲

(2)機能項目とデータ範囲

モード  キー
 スタート
 ストップ

モード	操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時
統一	1回目	0-01	コラム別補給数の確認・クリア	任意コラム	クリア
	2回目	0-02	コラム別残数の確認・クリア	任意コラム	クリア
	3回目	0-05	メカカウンタごまかし対策の設定・確認	0:しない 1:する	継続
	4回目	0-06	庫内温度確認	1:庫内温 2:外気温 3:エバ温 4:予備	—
	5回目	0-08	フレッシュナビ(一括orコラム別)の設定・確認	0:設定しない 1:一括フレッシュナビ設定 2:コラム別フレッシュナビ設定 3:1週間の期限管理	0
	6回目	0-23	販売不可コラム設定	1:設定する (販売不可)	全コラム 販売可
	7回目	0-24	購入ボタン操作待ち時間の設定・確認	0:無限 5~30:秒待ち	0
	8回目	0-30	ラック構成の確認	1~6(棚数) 0~10(各棚のラック数)	継続
	9回目	0-38	テンキーボタンイルミネーション設定	0:しない 1~5:する (シートボタン(各パターン)) 6~10:する (ランプボタン(各パターン))	0
	10回目	0-49	テンキー仕様の設定	0:テンキーモード 1:ダイレクトモード	0
	11回目	0-52	ダミーコラムの設定・確認	任意コラム	0
	12回目	0-53	OCM切換え設定・確認	0:ラック数設定 1:マルチOCM設定	継続
	13回目	0-59	スクールタイマ対象設定・確認	0:照明+販売動作 1:販売動作のみ 2:照明のみ	0
	14回目	0-60	Yメカ停止位置の設定・確認	1~6(各棚の列数) 0~999パルス	継続
	15回目	0-61	自由落下販売の設定・確認	1~50(ラック数) 99:全ラック自由落下	0 (設定なし)
	16回目	0-62	Yメカモータロック時の販売可否設定・確認	0:全売切 (最下段も含む) 1:自由落下販売	1
	17回目	0-63	ベンドエンドセンサ設定・確認	1:センサ有り(センサ不良時,無仕様で販売継続) 2:センサ有り(センサ不良時,全売切れ)	継続
	18回目	0-64	ベンドエンドセンサ無効設定・確認	1~50(ラック数) 99:全てセンサ無効	0 (設定なし)
	19回目	0-65	コラムモータ押込み時間の設定・確認	1~50(ラック数) 1~20(100ms単位)	全て1
	20回目	0-66	防露ヒータ制御の設定・確認	0:常時ON 1:自動 2:常時OFF	0

[E-ト]0-79: Yメカ待機時上昇設定が「1:上昇位置で待機」に設定されている場合は[E-ト]0-61:自由落下販売の設定は表示しません。また、[E-ト]0-79: Yメカ待機時上昇設定が「1:上昇位置で待機」に設定された場合は、自由落下販売が設定されていたコラムも全て解除されます。

モードキーの機能項目とデータ範囲

モード	操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時
統一	2 1 回目	0-67	商品歯抜け時の売切回避の設定・確認	0:売切にする 1:1回だけ売切回避する	0
	2 2 回目	0-68	取出口ロック販売の設定・確認	0:使用する 1:使用しない	1:使用しない
	2 3 回目	0-69	2室設定の際のYメカ異常時の自由落下販売棚の設定・確認 (本機は仕様上、使用できません)	0:下庫内のみ自由落下販売 1:全棚自由落下販売	1
	2 4 回目	0-77	段変更の設定	0:6段にしない (5段仕様) 1:6段にする (6段仕様)	継続
	2 5 回目	0-78	コイン投入照明ON機能	0:コイン投入機能無し 1:コイン投入機能有り 2:ウェイクアップ機能	継続
	2 6 回目	0-79	Yメカ待機時上昇設定	0:標準位置で待機 1:上昇位置で待機 (いたずら防止)	0:上昇しない
選択	1 回目	1-04	グループ集計コラムの設定・確認	任意コラム(1~20Gr)	クリア
	2 回目	1-05	つづけ買い個数の設定・確認	1~9個, 0:無制限	1:1個
	3 回目	1-06	交互販売コラムの設定・確認	任意コラム(1~30Gr) クリア:-一括解除	クリア
	4 回目	1-08	設置時販売休止時間/コラムの設定・確認	0~24時間任意コラム 99:-一括設定	クリア
	5 回目	1-09	満杯収容数の設定・確認	0~999個	継続
	6 回目	1-10	外部表示の設定・確認	0:表示しない 1:補給数 2:品質保持期限 3:品質保持期限 4:品質保持期限 +累計売上数 5:品質保持期限 +累計売上数 6:累計売上数 7:設定価格	0:表示しない
	7 回目	1-11	割引対象個数/コラムの設定・確認	1~9個, 0:しない 任意コラム	0:しない
	8 回目	1-12	割引金額の設定・確認	0~90円	0円
	9 回目	1-13	自動返金時間の設定・確認	1~30秒 0:無制限	0:無制限
	10 回目	1-14	フリーバンドの設定・確認	0:しない, 1:する	継続
	11 回目	1-15	過去故障の確認・クリア	最大16件	継続
	12 回目	1-16	補給数リセット操作		—
	13 回目	1-17	庫内温度表示の設定・確認 (本機は仕様上、使用できません)	0:表示しない 1:表示する	1:表示する

[モード]0-79:Yメカ待機時上昇設定が「1:上昇位置で待機」に設定されている場合は[モード]0-61:自由落下販売の設定は表示しません。また、[モード]0-79:Yメカ待機時上昇設定が「1:上昇位置で待機」に設定された場合は、自由落下販売が設定されていたコラムも全て解除されます。

モードキーの機能項目とデータ範囲

モード	操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時
選	14回目	1-18	扉開閉日時の確認	過去15回分	クリア
	15回目	1-19	販売履歴の確認・クリア	過去20回販売時の 「年月日時分」 「投入金額」 「販売金額」「残金」	クリア
	16回目	1-24	ポイント合計数の確認・クリア	0～999,999	クリア
	17回目	1-25	ポイントカード発行枚数の確認・クリア	0～999,999	クリア
	18回目	1-26	ポイント数のクリア		—
択	19回目	1-28	出荷時データへのプリセット操作		—
	20回目	1-34	デジタル表示器のスクリーンセーバ 設定・確認	0：しない 1～4：パターン1～4	0：しない
	21回目	1-35	売切ランプ点灯原因の確認	4桁	—
	22回目	1-36	販売可能ランプ消灯原因の確認	4桁	—
	23回目	1-38	照明器具年間カレンダーの設定・確認	0：しない 1：する	継続
	24回目	1-43	コラム別フリーバンド設定・確認		クリア
	*25回目	1-99	オールクリア操作		—

*本操作を行いますと価格設定もクリアされ、全売切れの状態になります。
再度、価格設定を行ってください。

モードキーの機能項目とデータ範囲

モード	操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時
マ イ タ	1回目	2-01	スクールタイム時間帯の設定・確認	0～23時, 0～59分 (A～Cの各パターン に最大一日7回)	全て
	2回目	2-02	スクールタイム曜日別パターンの 設定・確認	A～C(各曜日に対して) 0:パターン設定なし	0:パターン 設定なし
	3回目	2-03	照明器具節電時間帯の設定・確認	0～23時, 0～59分	0000～0000
	4回目	2-05	現在時刻の設定・確認	0～23時, 0～59分	——
	5回目	2-06	現在月日の設定・確認	1～12月, 1～31日	——
	6回目	2-07	現在年の設定・確認	50～49(1950～2049)	——
	7回目	2-09	照明器具消灯条件の設定・確認	0:フォセサ, タイどちらか OFF 1:フォセサ, タイ両方OFF 2:フォセサOFF 3:タイ OFF 4:フォセサON (暗くなったら消灯) の条件で消灯する	継続
	8回目	2-10	ビルバリデータ禁止時間帯の設定・ 確認	0～23時	クリア (00～00)
	9回目	2-11	照明器具消灯曜日の設定・確認	1～7(日～土) 設定曜日数:最大4	クリア(----)
	10回目	2-12	割引時間帯の設定・確認	0～23時	クリア (00～00)
	11回目	2-13	インベントリー禁止時間帯の設定・ 確認	0～23時	クリア (00～00)
	12回目	2-15	調光時間帯の設定・確認 (本機は仕様上, 未対応です。)	0～23時	クリア (00～06)
	13回目	2-20	照明器具年間カレンダーの基準月の確認	1～12月	

モードキーの機能項目とデータ範囲

モード	操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時
機種固有設定	1回目	3-01	2本売り防止スイッチ指定コラムの設定・確認	任意コラム	継続
	2回目	3-03	搬出メカコードの設定・確認	11:スパイラル式ラック 12~15:コンパア式ラック 16:スパイラル式ラック (井型商品) 19:[モード]3-16による	1 1
	3回目	3-04	マルチOCMの設定・確認(モード0-53の設定により入力方法が異なります)	ラック数: 1~20 コラム: 任意コラム	継続
	4回目	3-06	オプションカウンタ仕様の設定・確認	0: カウントなし 1: プライスカウンタ/ テストカウントする 2: プライスカウンタ/ テストカウントしない 3: グループカウンタ/ テストカウントする 4: グループカウンタ/ テストカウントしない 5: 価格固定カウンタ (プライスカウンタ/ テストカウントしない)	4: グループ カウンタ/ テストカウン しない
	5回目	3-07	庫内温度レベルの設定・確認	0~10	継続
	6回目	3-12	構造モードの設定・確認 (設定値は9-03ページ参照)	0: 中型(弱冷)	継続
	7回目	3-13	出荷時データのセット操作	0~9(9で書込みで データセット)	—
	8回目	3-14	売上データクリア操作切換モードの設定・確認	0: コラム別売上 クリア操作不可 1: コラム別売上 クリア操作可能	継続
	9回目	3-15	通信速度の設定・確認	1: 1200 bps 2: 4800 bps 3: 9600 bps 4: 19.2 Kbps	継続
	10回目	3-16	搬送コンベア停止時間の設定・確認	0~99(×100msec)	0
	11回目	3-18	室外ファン逆転制御可能の設定・確認	0: 逆転しない 1: 逆転する	0
	12回目	3-20	2000円札機能の設定・確認	0: 制御しない 1: 制御する	継続
	13回目	3-21	フォトセンサ感度/ブザー音量の設定・確認	1桁目: フォトセンサ感度 (0:遅い 1:標準 2:早い) 2桁目: ブザー音量 (0:切 1:小 2:大)	継続
	14回目	3-22	メニュー表図番(製品コード)の設定・確認	8桁 0~9, A~H	継続
	15回目	3-26	プライス別カウンタの設定価格の確認	プライスカウンタ 1~10	クリア
	16回目	3-28	トータル・コラム別キーカウンタ売上個数の確認・クリア	0~999,999	0
	17回目	3-33	トークン別コラム設定・確認	1: メダルA 2: メダルB	継続
	18回目	3-34	トークン別売上確認	JA, JB: 0~999,999	クリア

3-33, 34 は、メダル対応C/M接続時のみ項目の表示を行います。

モードキーの機能項目とデータ範囲

モード	操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時
釣 銭 合 わ せ	1回目	4-01	釣銭合わせ枚数の確認・払出し動作 自動チューブ不足枚数：0～98 手動チューブ不足枚数：0～99	「0」：釣銭合わせ未設定 下2桁表示 「--」：増加チューブ有 4桁表示 「----」：過不足なし 各金種表示： 不足チューブ有	0：釣銭合 わせなし
	2回目	4-02	釣銭合わせ枚数の設定・確認	【自動チューブ】 金種毎：0～98 釣銭合わせなし：99 【手動チューブ】 金種毎：0～998 釣銭合わせなし：999	「自動チュー ブ」釣銭合 わせなし ：99 「手動チュー ブ」釣銭合 わせなし ：999
	3回目	4-03	釣銭合わせモードの設定・確認	0：釣銭合わせなし 1：自動釣銭 合わせモード 2：自動チューブ 残量モード	0：釣銭合 わせなし
ルー レ ット	*1回目	5-01	押釦テンキールレット当たり確率/ コラムの設定・確認	0：当たり無し 1：1/2テストモード 10～990：1/10～1/990 999：ルーレット無し	999
カ ド	1回目	6-01	現金/カード同時投入可否の設定・確認	0：同時投入不可 1：同時投入可	0：不可
	2回目	6-02	カード返却モードの設定・確認	0：カード排出 1：カード取込み	0：排出
	3回目	6-03	IDカード発行月の設定・確認	1～12月	クリア(--)
	4回目	6-04	IDカード発行年の設定・確認	50～49(1950～2049)	2000
	5回目	6-05	テストIDカード有効 の設定・確認	101～110 (3桁目は1固定)	クリア(----)
	6回目	6-06	無効部署別IDカード の設定・確認	01～110	クリア(--)
	7回目	6-07	テンキーボタン先選択有効時間の設定・ 確認	0～255 (0sec～255sec)	20
	8回目	6-08	モバイル決済履歴のプリンタ印字 出力起動		—
	9回目	6-11	現金グループ別売上個数の確認・クリア	0～999,999個 20Gr	0
	10回目	6-12	現金以外グループ別売上個数の確認・ クリア	0～999,999個 20Gr	0
	11回目	6-13	現金グループ別売上金額の確認・クリア	0～999,999円 20Gr	0

☞ カードについては自販機に接続されていない場合は、項目の表示を行いません。

* 本設定を行う場合は、テンキーボタンユニットはランプボタンを使用ください。

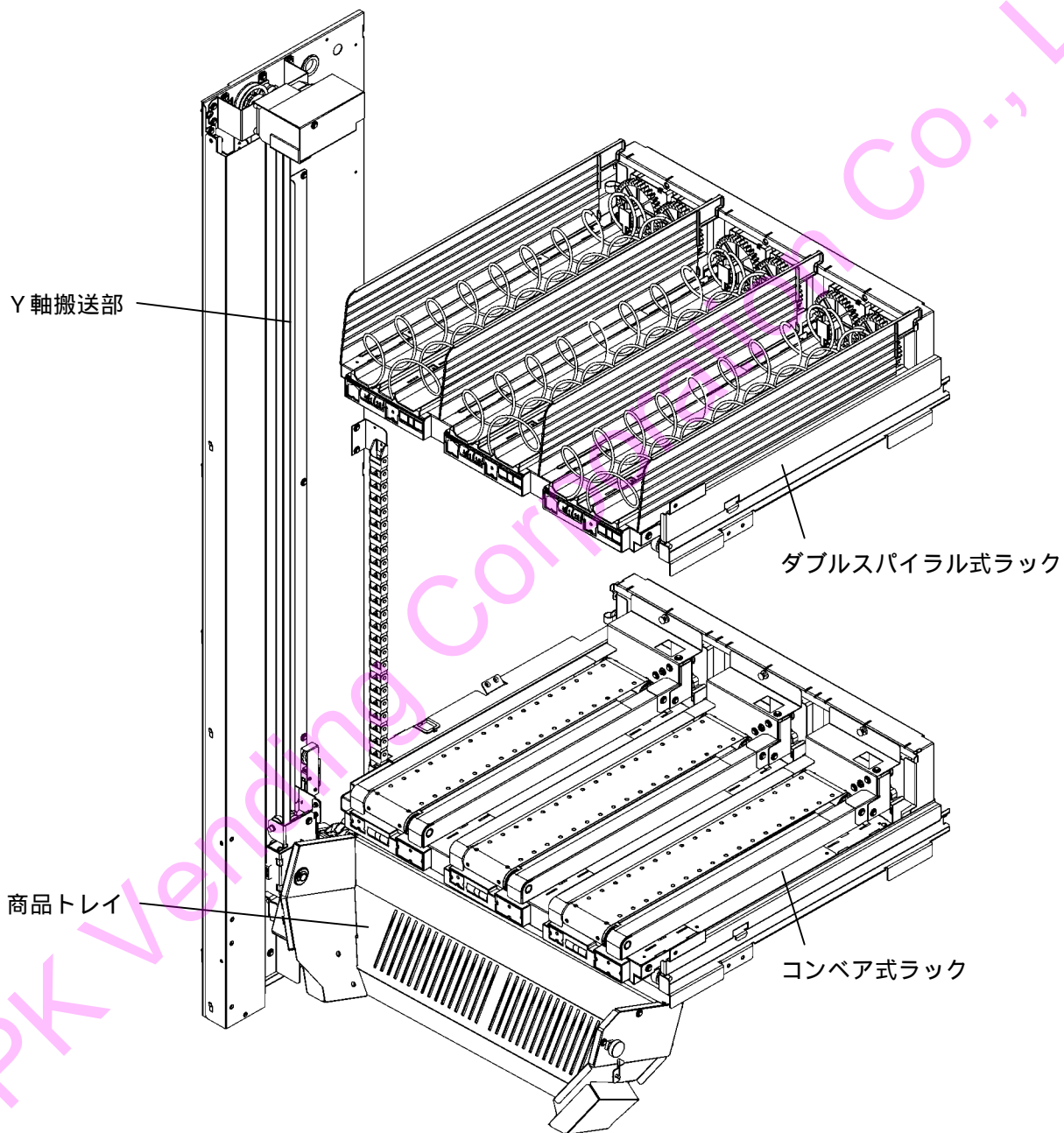
モードキーの機能項目とデータ範囲

モード	操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時
カ ド	1 2 回目	6-14	現金以外グループ別売上金額の確認・クリア	0 ~ 999,999円 20Gr	0
	1 3 回目	6-15	現金価格別売上個数の確認・クリア	0 ~ 999,999個	0
	1 4 回目	6-16	現金以外価格別売上個数の確認・クリア	0 ~ 999,999個	0
	1 5 回目	6-17	現金価格別売上金額の確認・クリア	0 ~ 999,999円	0
	1 6 回目	6-18	現金以外価格別売上金額の確認・クリア	0 ~ 999,999円	0
	1 7 回目	6-19	現金投入時の先選択解除の設定・確認	0 : 先選択解除しない 1 : 先選択解除する	1
	1 8 回目	6-20	モバイル再タッチ時間の設定・確認	0 ~ 255 : 0 ~ 255秒	20
	プ リ ン タ	1 回目	7-01	プリンタ印字切換え設定	0 : 印字しない 1 : 補給数印字 2 : 売切 / 売上 / 稼動
2 回目		7-02	機種番号の設定・確認	8桁	継続
3 回目		7-03	商品コードの設定・確認	6桁	クリア
4 回目		7-04	トータル売上のクリア操作		
5 回目		7-05	コラム別売上の一括クリア操作		
6 回目		7-20	集計印字切換えの設定・確認	0 : 通常印字 1 : グループ別印字	継続
メ ン テ ナ ン ス	1 回目	9-01	コンプレッサ稼動時間の確認・クリア	0 ~ 999,999時間	クリア
	2 回目	9-03	コインメカニズムの投入 / 排出枚数の確認	6桁	クリア
	3 回目	9-04	B / Vの識別回数の確認	6桁	クリア
	4 回目	9-05	バンドメカ動作回数の確認・クリア	0 ~ 999,999回	クリア
	5 回目	9-09	オフライン通信履歴の確認	交信年 : 1950 ~ 2049年 交信月日 : 1月1日 ~ 12月31日 交信時分 : 00時00分 ~ 23時59分 交信コード : 0000 ~ 9999 I7-内容 : 0000 ~ 9999 (0が読めない)	
	6 回目	9-10	オフライン収集履歴の確認	交信年 : 1950 ~ 2049年 交信月日 : 1月1日 ~ 12月31日 交信時分 : 00時00分 ~ 23時59分 収集内容 : 0000 ~ 9999	

☐ カードについては自販機に接続されていない場合は、項目の表示を行いません。

8 . 主要機構

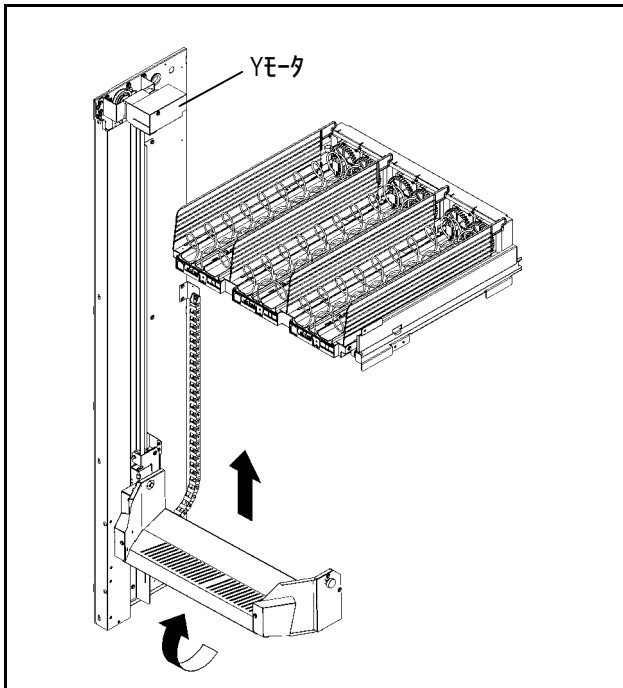
搬送機構全体構成図



動作ステップ

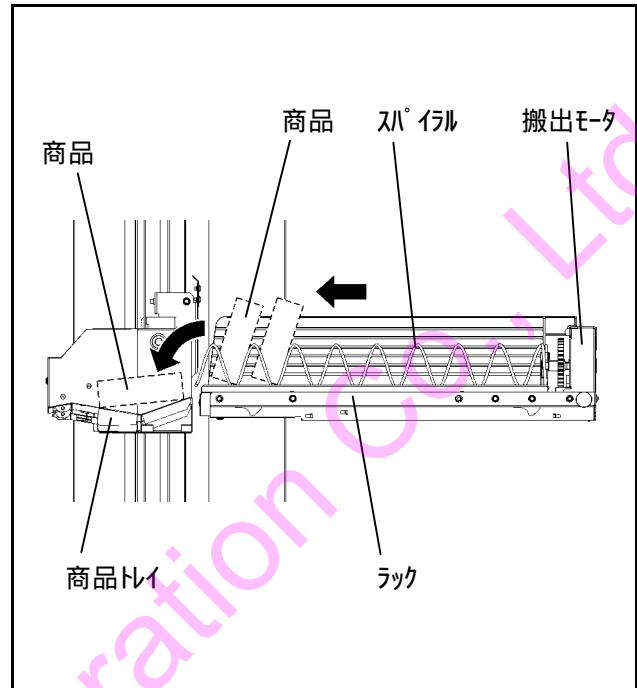
ダブルスパイラル式ラック

1 Yメカ動作



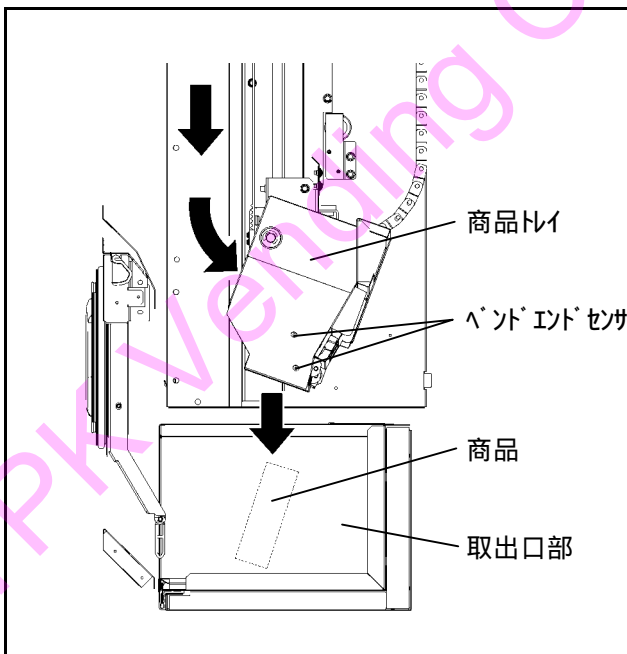
Yモータが駆動し、チェーンを伝わって商品トレイがY軸を移動し、選択商品のあるラックの前で停止します。

2 商品トレイ搬入動作



搬出モータの駆動により、スパイラルが1回転し商品トレイに商品を搬入します。

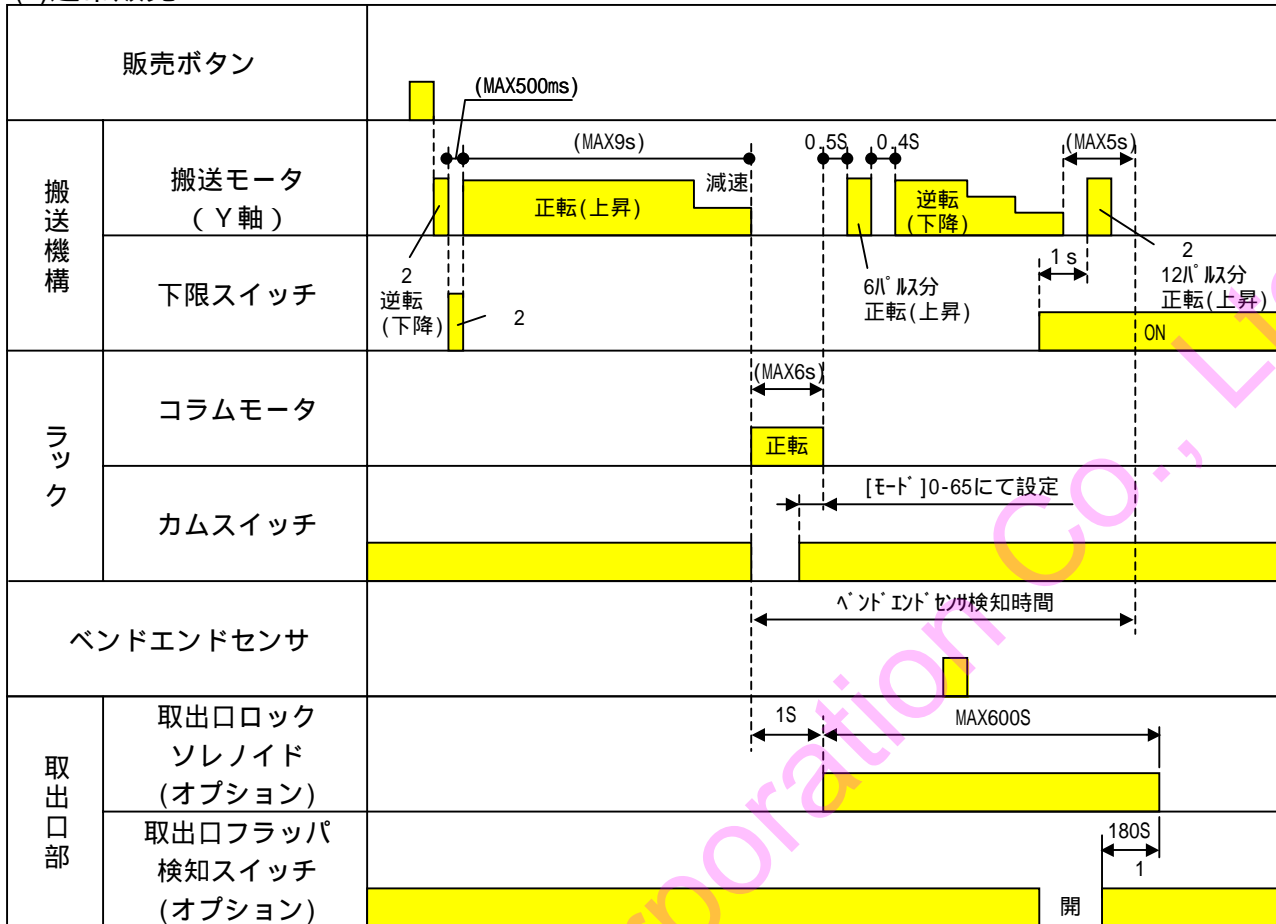
3 商品トレイ搬出動作



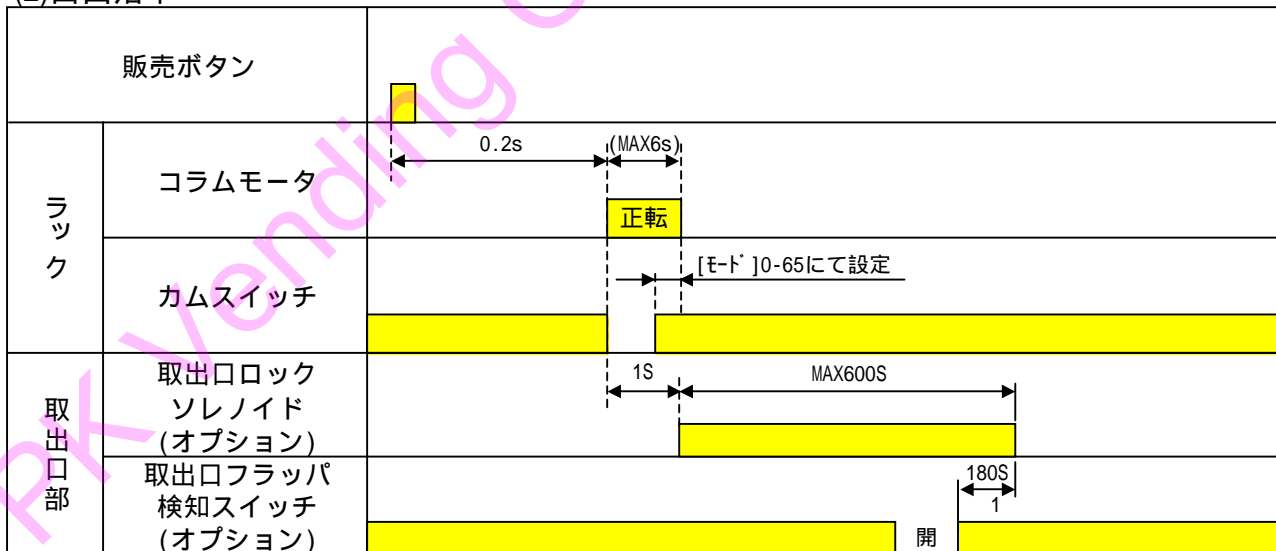
Yモータが駆動し、商品トレイが取出口部の上に移ると同時に、トレイが倒れ、商品を取出口部へ搬出します。
この時、バンドエンドセンサが商品の有無を検知します。

販売タイムチャート

(1)通常販売



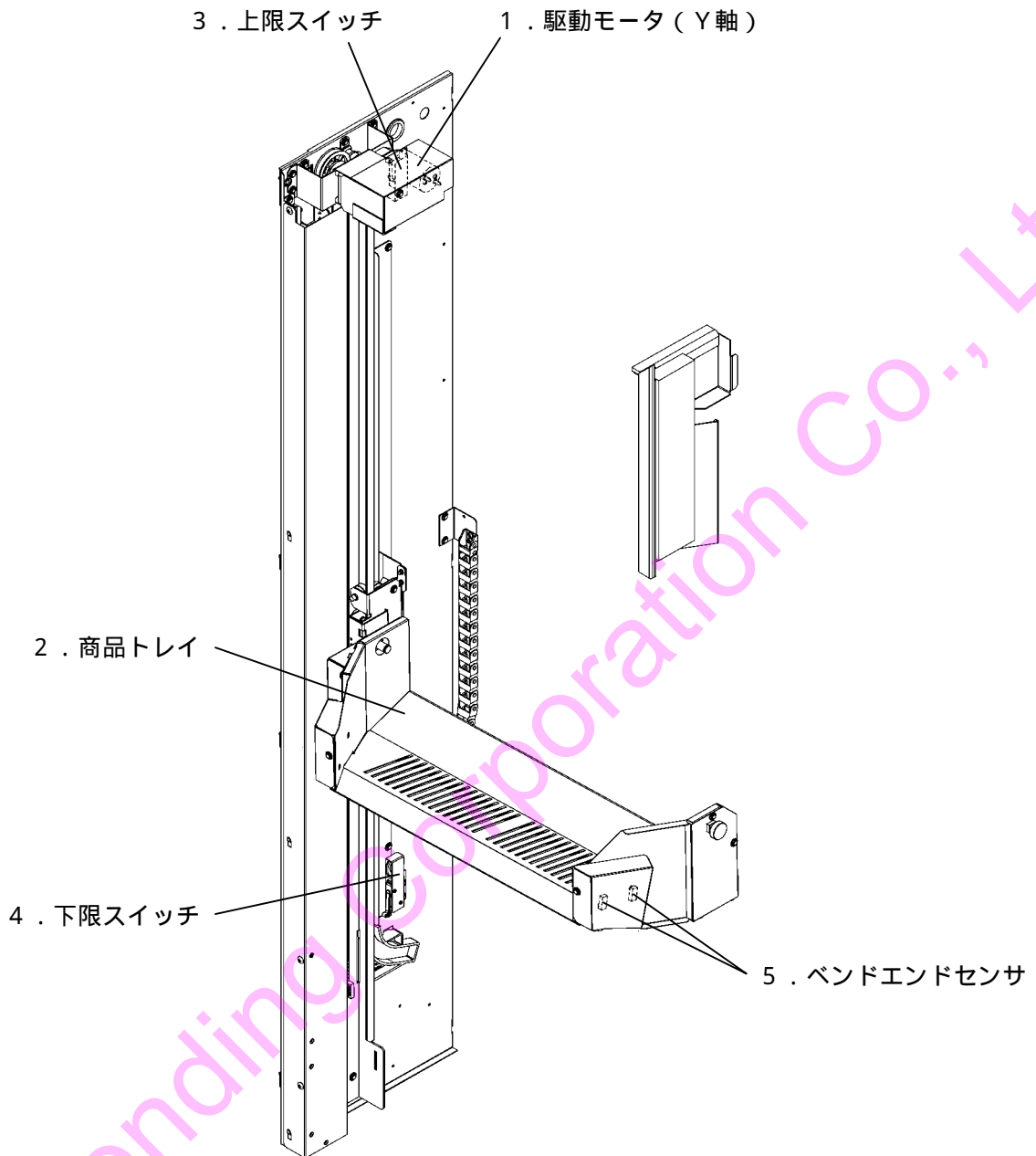
(2)自由落下



- 1 [終了]長押し 4 3 : 取出口ロック遅延時間の設定にて設定変更可能 (設定範囲: 0 ~ 600秒)
- 2 [E-D] 0-79: Yメカ待機時上昇設定にて「1 : 上昇する」に設定している際に動作します。

搬送機構部

(1)構造図

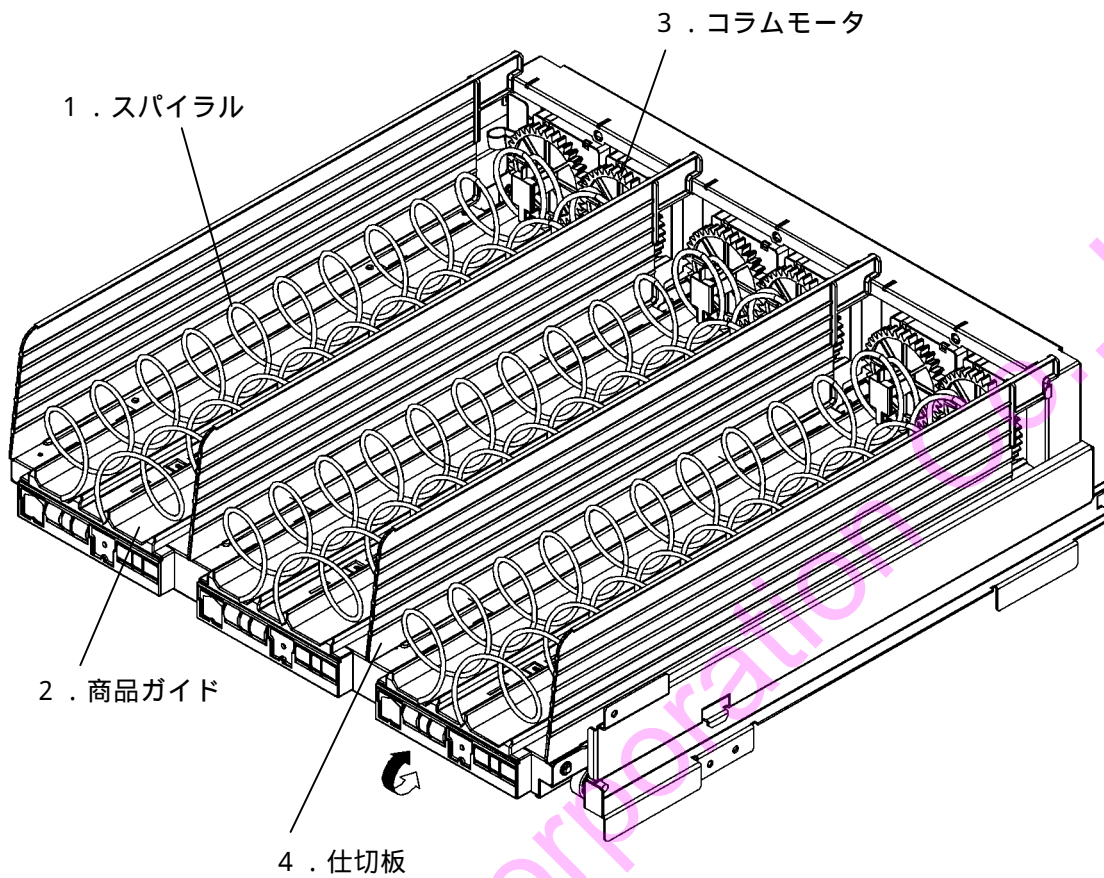


(2)名称とはたらき

名 称	はたらき
1 駆動モータ (Y軸)	商品トレイ部をY軸方向 (上下) に移動させるモータ
2 商品トレイ	ラックから搬出された商品を受け取るトレイ
3 上限スイッチ	商品トレイが上限にあるのを検知するスイッチ
4 下限スイッチ	商品トレイが下限にあるのを検知するスイッチ
5 ベンドエンドセンサ	取出口部への商品の搬出を検知するセンサ

ダブルスパイラル式ラック

(1) 構造図

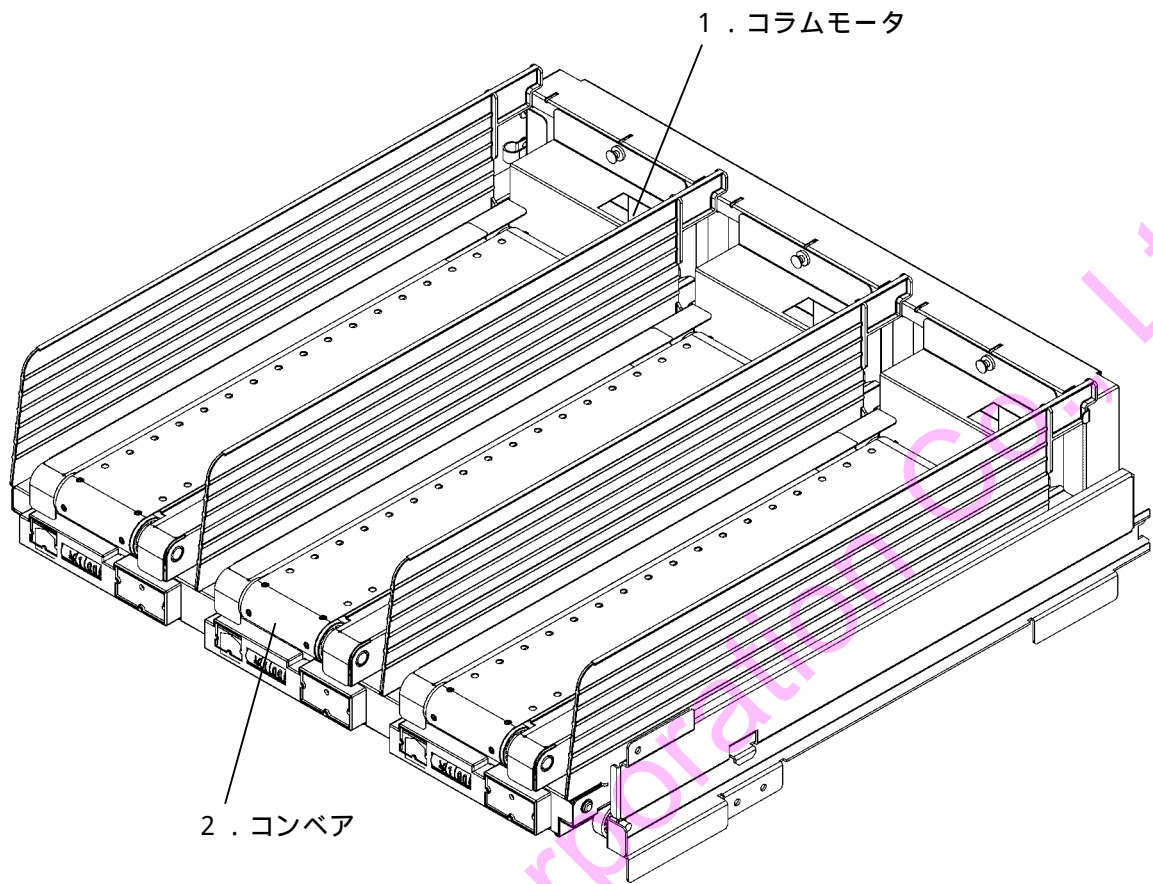


(2) 名称とはたらき

名 称	はたらき
1 スパイラル	回転し、商品を搬出します
2 商品ガイド	商品販売時の向きの規制をします
3 コラムモータ	スパイラルを回転させるモータです
4 仕切板	販売商品の幅に合わせてコラム毎に分割する仕切りです

コンベア式ラック

(1)構造図

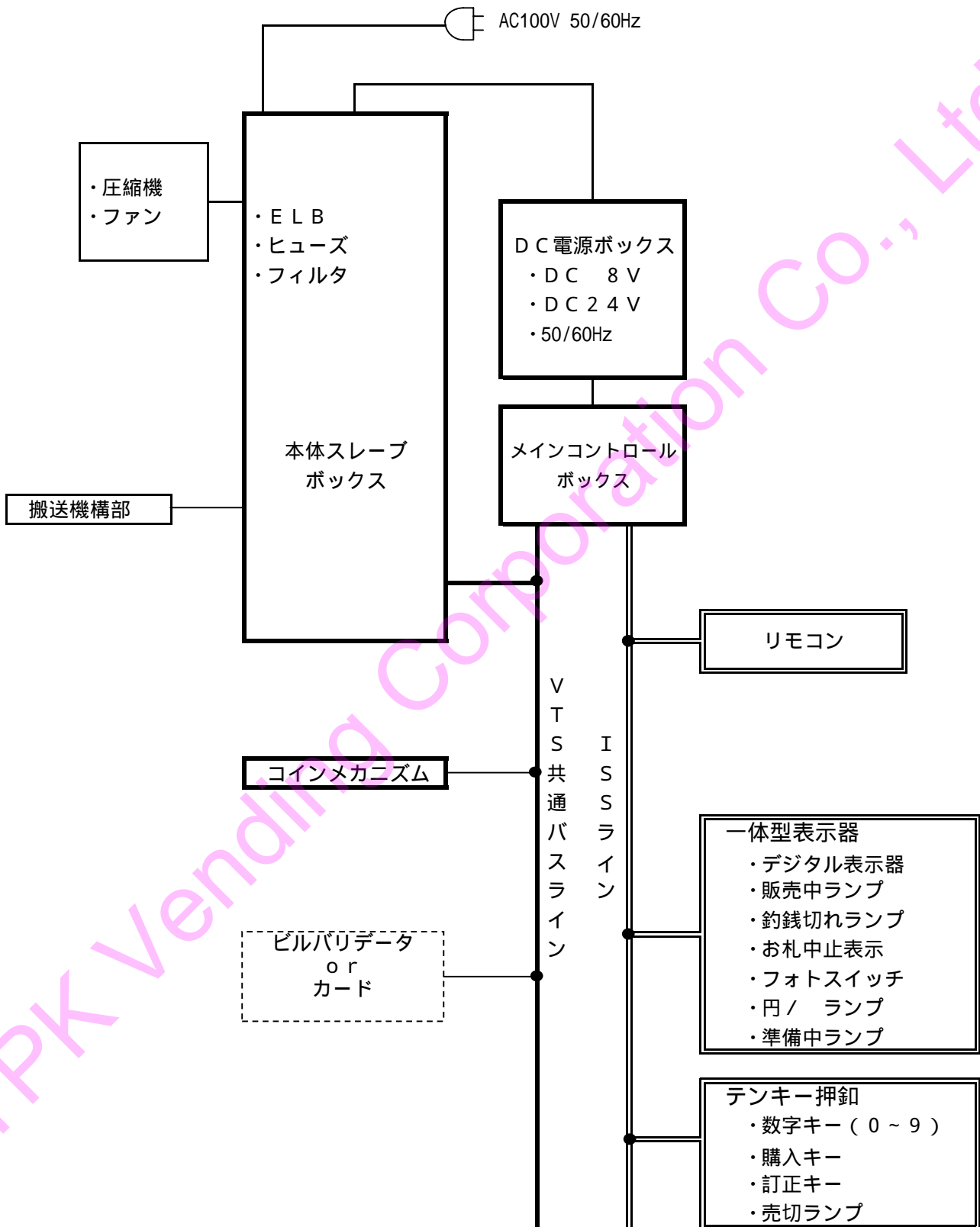


(2)名称とはたらき

	名 称	はたらき
1	コラムモータ	コンベアを回転させるモータです
2	コンベア	商品を前方へ移動させるベルトです

9 . 制御関連

制御部構成図



各制御部概要

1	メインコントロール ボックス	各スレーブの制御を集中管理する。 各種設定データの記憶を行う。 各種売上データの演算処理及び記憶を行う。 時計機能を持つ。 各種販売データの演算処理を行う。 I S S (テンキー押釦, 一体表示器, キーボード) の制御を行う。
2	キーボード	各種設定, 確認をキーの操作により行うもので, 設定, 確認項目の多くは 扉前面の選択ボタンを併用する。 各種設定, 確認項目のデータは, 扉前面のデジタル表示器に表示される。 蛍光灯・庫内ファン省エネ, フレッシュナビスイッチの入力をマスタボッ クスへ送信する。 蛍光灯の設定を行う。
3	本体スレーブボックス	売切れの変化状態を入力データとしてマスタボックスに送信する。 マスタボックスからの販売指令に従い, 搬出機構の制御を行う。 電子サーモ (温度センサ) の変化状態を管理する。 M C , 庫内ファンの制御を行う。 マスタボックスからの指令に従い, 省エネモード機能の制御を行う。 動作モニタを持ち, 正常 / 異常の識別が出来る。
4	電源ボックス	V T S の各制御ボックスに電源 (DC8V, 24V) を供給する。 (DC24Vはモータ駆動用と共用する場合もある。) A C の停電検知用のパルス信号 (50Hz / 60Hz) をマスタボックスへ送信す る。
5	コインメカニズム	各種コインの投入枚数を整理し, マスタボックスへ送信する。 各種コインの払い出しをマスタボックスの指令に従い制御する。 C R E M , 投入金のクリアをマスタボックスの指令に従い制御する。
6	ビルバリデータ	札の投入枚数を整理し, マスタボックスへ送信する。 札の払い出しをマスタボックスの指令に従い制御する。 C R E M , 投入金のクリアをマスタボックスの指令に従い制御する。

互換性一覧

部品名称	図面番号	形名		
		F N X 1 1 5 N R	F N X 1 1 8 N R	F N X 1 2 1 N R
リモコン[モード]3 - 1 2 : 構造モード設定		0	0	0
メインコントロールボックス	YDF51X3A113 C01			
リモコン	YDF51X3A115 C01			
本体スレーブボックス	YDF51X2A114 C01			
	YDF51X2A114 C02			
D C 電源ボックス	YDF51X4A116 C01			

10. 故障診断

点検 / クリアキーによる操作

(1) 現在故障の確認

現在故障している箇所を故障コードで表示します。

1  を押す。

故障がある場合は、故障コードを表示します。
故障がない場合は、「End」を表示します。

2   を押す。

[アップ]キーを押すと、つぎの故障コードを表示します。
[ダウン]キーを押すと戻ります。
全ての故障コードを表示すると、「End」を表示します。

3  を押す。

待機状態に戻ります。

補足

・故障修理後、故障前の状態に復帰している場合は、故障コードは自動クリアされます。

デジタル表示 リモコン液晶表示

2780	2780
------	------

↑
故障コード表示

2780	2780
------	------

(例 2780:故障コード 2780)

End	End
-----	-----

	123456
--	--------

(2) 過去故障の確認

過去に故障している箇所を故障コードで表示します。

1  を2回押す。

過去故障確認モードに入ります。

2   を押す。

[アップ]キーを押すと、最新の故障コードを表示します。
[ダウン]キーを押すと戻ります。

過去故障がない場合は、「End」を表示します。

3  を押す。

待機状態に戻ります。

補足

・手順2にてダウンキーを操作した場合は、「End」表示を行い、再度ダウンキー操作にて故障内容を表示します。

デジタル表示 リモコン液晶表示

32	32
----	----

51	51
----	----

(例 51:故障コード 51)

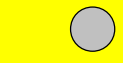
End	End
-----	-----

	123456
--	--------

点検 / クリアキーによる操作

(3) 異常発生時コラムの確認

搬送機構に関する異常が発生したときに故障コードとコラム を表示します。

1  を12回押す。

異常発生時のコラム確認モードに入ります。

デジタル表示

314

リモコン液晶表示

314

2  アップ  を押す。

故障コードを表示します。

故障時のコラム番号と故障コードを交互表示します。

但し、搬送機構異常以外の故障の場合は、表示しません。(最大10件、最大4桁)

液晶リモコン側はコラム番号と故障コードを同時に表示します。

1296

1296CL7

↑ 交互表示

CL7

3 故障コード最後の次にアップキーの場合は「End」表示をします。
故障コード最初の次のダウンキーも同様です。

End

End

4  を押す。

待機状態に戻ります。

123456

補足

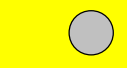
- ・同一搬送機構関連の故障の場合でコラム番号が同じ場合は、全て故障コード・コラム番号は別々に記録(表示)します。
- ・最大10項目です。
- ・コラム番号に関係ない故障の場合は、コラム番号はCL 0を表示します。

点検 / クリアキーによる操作

詳細コード内容を確認するには2種類の方法があります。

(4) 異常内容印字の操作方法

搬送機構に関する異常が発生したときに故障コードと発生月日時分等をプリンタに表示します。

1  を11回押す。



異常内容の印字モードに入ります。

デジタル表示 リモコン液晶表示

2  を押す。

異常内容がプリンターに印字されます。
自動的に待機に戻ります。

補足

- ・搬送機構の異常内容をプリンターに印字します。
- ・印字途中で再度印字操作(上記)もしくはプリンターのいずれかのキーを操作した場合印字は中止されます。

【印字フォーマット】

印字フォーマット案	
マスター	AAAA - BCDD
ホントイ	aaaa - b - dd
	2001年 08月31日 17:30
イシ ヨウリレキ	
No.	01
ハッセイ:	1999年 08月31日 17:00
フッキ:	9999年 99月99日 99:99
コート:	-
ラック:	
テイシ	
Cモータ:	/
Yメカ:	/
ナイヨウ:	
}	
No.	10
ハッセイ:	1999年 08月31日 17:00
フッキ:	9999年 99月99日 99:99
コート:	-
ラック:	
テイシ	
Cモータ:	/
Yメカ:	/
ナイヨウ:	

← A: マスターのプログラム番号

← B: マスターの年度

D: マスターのバージョン

a: 本体スレーブのプログラム番号

b: 本体スレーブの年度

d: 本体スレーブのバージョン

← ハッセイ(故障発生) / フッキ(故障復帰)の年月日を印字。

コード(故障コード)

コラム: 異常発生時のコラム番号。

ナイヨウ: 異常発生内容を印字(最大4行)

停止位置(ラック): 左が販売時の停止 / 右が設定されている停止位置

販売口位置: 左が販売時の停止 / 右が設定されている停止位置












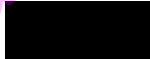

その他: 左が停止位置

・過去50件分の異常内容を印字

点検 / クリアキーによる操作

(5) 異常発生時の詳細コード確認

搬送機構に関する異常が発生したときに故障コードと詳細コードを表示します。

- | | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|----------|--|--|--|
| 1 |  を 10 回押す。
異常発生時の詳細コード確認モードに入ります。 |  |  |
| 2 |  アップ  ダウン を押す。
故障コードを表示します。
故障時の詳細コードと故障コードを交互表示します。
但し、搬送機構異常以外の故障の場合は表示しません。
(最大 10 件) | 
↓ 交互表示
 |  |
| 3 | 故障コード最後の次にアップキーの場合は「End」
表示をします。
故障コード最初の次のダウンキーも同様です。 |  |  |
| 4 |  終了 を押す。
待機状態に戻ります。 |  |  |

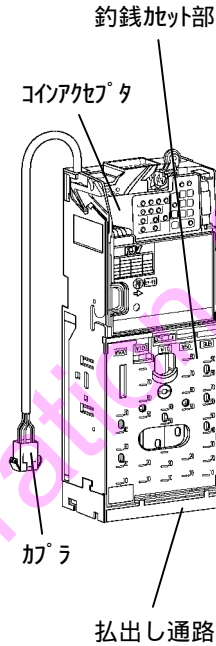
補足

- ・同一搬送機構関連の故障の場合でコラム番号が同じ場合は、全て故障コード・コラム番号は別々に記録（表示）します。
- ・最大 10 項目です。
- ・詳細コードがない故障の場合は、詳細コードは 00 を表示します。
- ・点検ランプを点灯させないコードの場合は、故障コードは 0000 を表示します。

故障コード一覧表

故障コード一覧表(その1)

故障コード	詳細コード	故障内容	対処方法
10	—	コインメカニズム通信異常 マスタボックスとコインメカニズムの通信が異常 無応答 受信異常	<ul style="list-style-type: none"> コネクタの接続をチェックする コインメカニズムを交換する
11	—	¥10コイン 信号出力し	<ul style="list-style-type: none"> コインアクセプタのコイン詰まりをチェックする コインアクセプタを点検交換する(信号消滅後、自動復帰)
12	—	電源投入時または販売動作終了後、信号入力しつ放し	
13	—	¥50コイン 信号出力し	
14	—	¥100コイン 信号出力し	
15	—	返却スイッチ異常 投入金なしで30秒以上返却スイッチが入り放しになっている	<ul style="list-style-type: none"> コインメカニズムを点検交換する
16	—	コイン払出し不良 ・コイン払い出し機構異常(コイン詰まり・モータ回らず) ・釣銭リフトモータロック	<ul style="list-style-type: none"> コイン詰まりをチェックし、電源を再投入する
17	—	セーフティスイッチ異常 釣銭カセット部が正しく装着されていない(EZX, EZSの場合のみ)	<ul style="list-style-type: none"> 釣銭カセット部を正しく装着する
18	—	払い出し確認スイッチ異常 コイン払出し確認スイッチの異常(EZX, EZSの場合のみ)	<ul style="list-style-type: none"> コイン詰まりをチェックする
19	—	アクセプタ異常 ・コインアクセプタに異常がある ・コインアクセプタの装着が正しくない	<ul style="list-style-type: none"> コインアクセプタの装着状態をチェックする コインアクセプタを交換する
20	—	¥10エンプティ スイッチ異常	<ul style="list-style-type: none"> コインメカニズムを交換する
21	—	¥50エンプティ スイッチ異常	
22	—	¥100エンプティ スイッチ異常	



故障コード一覧表

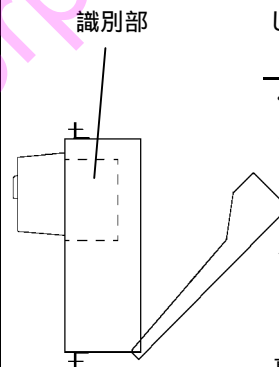
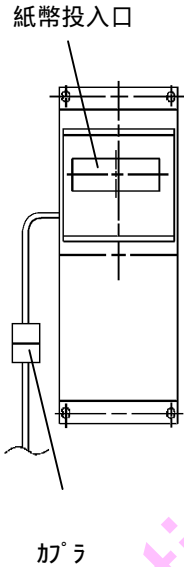
故障コード一覧表(その2)

故障コード	詳細コード	故障内容	対処方法
コインメカニズムに関する異常	23	¥500エンブティスイッチ異常 コインが20枚以上あるのに1回投入しても釣銭無しを表示(EZX, EZSの場合, 表示せず)	コインメカニズムを交換する
	24	金庫満杯信号開放し 金庫満杯信号がコイン詰まりで異常になっている	コイン詰まりをチェックし, 電源を再投入する
	25	¥10キャッシュオーバーフロー信号開放し ¥10オーバーフローセンサでコイン詰まりを検知している	
	26	¥50キャッシュオーバーフロー信号開放し ¥50オーバーフローセンサでコイン詰まりを検知しています。	
	27	¥100キャッシュオーバーフロー信号開放し ¥100オーバーフローセンサでコイン詰まりを検知しています。	
	28	¥500キャッシュオーバーフロー信号開放し ¥500オーバーフローセンサでコイン詰まりを検知しています。	
自販機制御機構に関する異常	34	テンキーボタン故障 テンキーボタンが押し放しになっている	テンキーボタンを点検交換する
	50	時計データ異常 時計データが正規でない (電源投入時, 待機中)	現在時刻(年・月・日・時分)を再設定する
	51	メモリデータ異常 メモリデータが正規でない (停電時, メモリデータのバックアップができない)	・設定データをチェックし, 異常データがあれば再設定する ・電池の電圧をチェックし, 低いときは交換する
	52	メカ指定モード未設定 搬出機構モードが全コラム未設定または正しく設定されていない	搬出機構モードを正しく再設定する
	60	通信ラインショート マスタ側送信ラインが1秒以上“LOW”になる	マスタボックスを交換する (通信回復により自動復帰)
	61	扉スレーブボード通信異常 扉スレーブの交信が正常に行われない (無応答, 受信データ異常)	VTS信号ライン(8Pカブラ)と扉スレーブの接続を点検し, 尚異常がある場合は, 扉スレーブボードを交換する
	62	搬出スレーブボード通信異常 搬出スレーブの交信が正常に行われない (無応答, 受信データ異常)	VTS信号ライン(8Pカブラ)と搬出スレーブの接続をチェック, または搬出スレーブを交換する
	63	ルーレットスレーブ異常 ルーレットスレーブの交信が正常に行われない(無応答, 受信データ異常)	VTS信号ライン(8Pカブラ)とルーレットスレーブの接続を点検し, 尚異常がある場合は, 搬出スレーブを交換する
	64	プリンタスレーブ通信異常 プリンタスレーブの交信が正常に行われない (無応答, 受信データ異常)	VTS信号ライン(8Pカブラ)とプリンタスレーブの接続をチェック, またはプリンタスレーブを交換する
	65	ACSスレーブ通信異常 ACSスレーブの交信が正常に行われない (無応答, 受信データ異常)	VTS信号ライン(8Pカブラ)とACSスレーブの接続を点検し, 尚異常がある場合は, ACSスレーブを交換する
	67	キーボード通信異常 キーボードの交信が正常に行われない (無応答, 受信データ異常)	ISS信号ライン(5Pカブラ)とキーボードの接続をチェック, またはキーボードを交換する
79	一体表示器通信異常 一体表示器の交信が正常に行われない (無応答, 受信データ異常)	ISS信号ライン(5Pカブラ)と一体表示器の接続をチェック, または一体表示器を交換する	

故障コード一覧表

故障コード一覧表(その3)

故障コード	詳細コード	故障内容	対処方法
ビルバリデータに関する異常	71	ビルバリデータ部通信異常 ビルバリデータの通信が正常に行われない (無応答, 受信データ異常)	V T S 信号ライン (8 P カブラ) とビルバリデータの接続をチェック, またはビルバリデータを交換する
	73	カード部通信異常 カードスレーブの通信が無応答または受信データの異常で正常に行われない	V T S 信号ライン (8 P カブラ) とカードスレーブが正しく接続されているか点検し, 尚異常がある場合はカードスレーブを交換する
	78	ポイントカードリーダ通信異常 ポイントカードリーダの通信が無応答または受信データ異常で正常に行われない	V T S 信号ライン (8 P カブラ) とポイントカードリーダが正しく接続されているか点検し, 尚異常がある場合はポイントカードリーダを交換する
	80	紙幣詰まり 紙幣が詰まっている	紙幣詰まりをチェックする
	81	紙幣払い出し異常 紙幣払い出し機構異常	紙幣詰まりをチェックし, 電源を再投入する
	82	紙幣金庫満杯 紙幣収納金庫が満杯になっている	紙幣を回収する
	83	スタッカ異常 紙幣詰まり等でスタッカ部の収金動作が出来ない	スタッカ部の紙幣詰まりをチェックし, 電源を再投入する
	84	識別部異常 (ビルバリデータ) 紙幣が詰まっている, または紙幣識別部が故障している	<ul style="list-style-type: none"> 紙幣詰まりをチェックする ビルバリデータを交換する
	85	セーフティスイッチ異常 (ビルバリデータ) ビルバリデータ内部の故障	<ul style="list-style-type: none"> ビルバリデータ内部を点検する ビルバリデータを交換する
	86	紙幣金庫開きっ放し (ビルバリデータ) 裏ボタンが開きっ放しになっている	裏ボタンを閉める
87	紙幣引き抜き異常 紙幣引き抜きが発生したことをビルバリデータが検知した時	電源を再投入する	



故障コード一覧表

故障コード一覧表(その4)

故障コード	詳細コード	故障内容	対処方法
冷却・加熱機構に関する異常	251	温度センサ1異常(庫内/下庫内) 庫内温度センサがショート/オープンしているか、または庫内温度が異常(80以上または-20以下)になっている	・庫内/下庫内の温度を確認する ・庫内/下庫内の温度センサを交換する
	252	温度センサ2異常(庫内/上庫内) 庫内温度センサがショート/オープンしているか、または庫内温度が異常(80以上または-20以下)になっている	・庫内/上庫内の温度を確認する ・庫内/上庫内の温度センサを交換する
	255	温度センサ異常(蒸発器) 蒸発器の温度センサがショート/オープンしている、または蒸発器部の温度が異常になっている	・蒸発器部の温度を確認する ・庫内/下庫内の温度センサを交換する
	506	庫外ファンのロック 庫外ファンがロックしている	原因を取り除き、庫外ファンを交換する
	1278	外気温度センサ異常 外気温度センサーがショート/オープンしている	外気温度センサーを交換する
カードに関する異常	1000	カード部異常 カードスレーブ内に異常が発生している	カードスレーブを点検し、尚異常がある場合はカードスレーブを交換する
	1001	カード詰まり カードリーダ内部でカードが詰まっている	カードが詰まっていないか点検する
	1002	カードリーダ異常 カードリーダ部のヘッドが汚れているかまたはカードリーダ部に異常が発生している	クリーニングカードを使ってヘッドクリーニングを行う 尚異常がある場合はカードリーダを交換する
	1004	カード返却スイッチ異常 カード返却スイッチが押したままの状態になっている	カード返却スイッチを点検し、尚異常がある場合は交換する
	1006	カード引き抜き異常 カード引き抜きが発生したことをカードリーダが検知している	電源を再投入する
	1020	ポイントカード詰まり ポイントカードがカードリーダの搬送ユニット	カードリーダの搬送ユニットで詰まっているポイントカードを取り除く
	1021	ポイントカード書込み不良 ポイントカードの汚れや折れ等でカードにポイント数が書き込めない	カードを交換する
	1022	ポイントカードパンチ機構不良 ポイント数を示すパンチ機構に異常がある	・ポイントカードのパンチ機構部の汚れを清掃する ・ポイントカードリーダライタを交換する
	1025	ポイントカード発行ユニットカード詰まり ポイントカードが発行ユニットで詰まっている	発行ユニットに詰まっているポイントカードを取り除く
冷却ユニットに関する異常	151	ICテンキーボタン異常 テンキーボタンが異常になっている	テンキーボタンの点検、交換し、再設定する
	1030	プリンタ異常 プリンタ機構異常	プリンタスレーブを点検交換する
	1031	プリンタ紙詰まり プリンタ用紙が詰まっている	詰まったプリントを取り除く
	1032	プリンタ紙切れ プリンタ用紙が無くなっている	プリンタ用紙を補充する

：この故障が発生した場合、お金を返金します。売上にはカウントしません。

故障コード一覧表

故障コード一覧表(その5)

故障コード	詳細コード	故障内容	対処方法
1292	10	上限スイッチ異常 上限スイッチが故障している	上限スイッチを交換する
	11	下限スイッチ異常 下限スイッチが故障している	下限スイッチを交換する
1295	01	Yメカ異常 Y軸下降動作ロック異常 (クリーニング動作)	各原因を取り除き、1コラムに商品を充てんして、販売復帰ボタンを押す
	02	Y軸上昇動作ロック異常 (クリーニング動作)	
	03	Y軸下降動作ロック異常 (商品販売前), (販売動作(テスト動作))	
	04	Y軸上昇動作ロック異常 (商品販売前), (販売動作(テスト動作))	
	05	Y軸下降動作ロック異常 (商品販売後), (販売動作(テスト動作))	
	06	Y軸上昇動作ロック異常 (商品販売後), (販売動作(テスト動作))	
	07	Y軸上昇動作ロック異常 (ローディングスイッチ動作)	
	08	Y軸上昇動作ロック異常 (販売動作)	
1297	70	エンコーダ異常 クリーニング動作時、Yメカの待機位置移動中に下限スイッチがONになった	エンコーダを交換し、1コラムに商品を充てんして、販売復帰ボタンを押す
	71	販売動作時にYメカが待機位置からラックへの下降動作中に下限スイッチがONになった	
	72	販売動作時にYメカが待機位置からラックへの上昇動作中に上限スイッチがONになった	
	73	販売動作時にYメカのリトライ上昇動作中に上限スイッチがONになった	
	74	販売動作時にYメカが下限から待機位置移動中に上限スイッチがONになった	
	75	クリーニング動作時にYメカが下限から待機位置移動中に上限スイッチがONになった	
2362	—	構造モード異常 正しい構造モードが設定されていない	正しい構造モードを設定する
2403	20	ベンドエンドセンサ クリーニング動作前にセンサが異物を検知した	各原因を取り除き、1コラムに商品を充てんして、販売復帰ボタンを押す
	21	異常 販売動作前にセンサが異物を検知した	
2451	—	取出口ロックスイッチ異常 1時間経過しても取出口ロックスイッチが検知しない	取出口ロックスイッチを交換する
2499	30	コラムモータ異常 コラムモータがロックしている	各原因を取り除き、1コラムに商品を充てんして、販売復帰ボタンを押す

■ : この故障が発生した場合、お金を返金します。売上にはカウントしません。

プリンタによる異常内容印字の内容

(1) 印字内容一覧表(その1)

故障コード	故障名	詳細コード	故障内容	印 字 内 容
1295	Y効異常	01	Y軸下降動作ロック異常 (クリーニング動作)	クリーニング Yメカカコウ モータロック
		02	Y軸上昇動作ロック異常 (クリーニング動作)	クリーニング Yメカジ ヨウシヨウ モータロック
		03	Y軸下降動作ロック異常 (商品販売前), (販売動作(テスト販売))	ツウジ ヨウド ウサ Yメカカコウ モータロック
		04	Y軸上昇動作ロック異常 (商品販売前), (販売動作(テスト販売))	ツウジ ヨウド ウサ Yメカジ ヨウシヨウ モータロック
		05	Y軸下降動作ロック異常 (商品販売後), (販売動作(テスト販売))	ツウジ ヨウド ウサ Yメカカコウ モータロック
		06	Y軸上昇動作ロック異常 (商品販売後), (販売動作(テスト販売))	ツウジ ヨウド ウサ Yメカジ ヨウシヨウ モータロック
		07	Y軸上昇動作ロック異常 (ローディングスイッチ動作)	ローディング Yメカジ ヨウシヨウ モータロック
		08	Y軸上昇動作ロック異常 (販売動作)	エンコーダ イジ ヨウド ウサ Yメカジ ヨウシヨウ モータロック
1297	エンコーダ異常	70	クリーニング動作時、Y効の 待機位置移動中に下限 スイッチがONになった	クリーニング Yメカカコウ エンコーダ イジ ヨウ
		71	販売テスト動作時にY効が 待機位置からラックへの 下降動作中に下限 スイッチがONになった	ツウジ ヨウド ウサ Yメカカコウ エンコーダ イジ ヨウ
		72	販売テスト動作時にY効が 待機位置からラックへの 上昇動作中に上限 スイッチがONになった	ツウジ ヨウド ウサ Yメカジ ヨウシヨウ エンコーダ イジ ヨウ
		73	販売テスト動作時にY効の リトライ上昇動作中に 上限スイッチがONになっ た	ツウジ ヨウド ウサ Yメカジ ヨウシヨウ エンコーダ イジ ヨウ
		74	販売テスト動作時にY効が 下限から待機位置 移動中に上限スイッチが ONになった	ツウジ ヨウド ウサ Yメカジ ヨウシヨウ エンコーダ イジ ヨウ
		75	クリーニング動作時にY効が 下限から待機位置移動 中に上限スイッチがON になった	クリーニング Yメカジ ヨウシヨウ エンコーダ イジ ヨウ

プリンタによる異常内容印字の内容

(1) 印字内容一覧表(その2)

故障コード	故障名	詳細コード	故障内容	印 字 内 容
2403	バンドエンドセンサ異常	20	クリーニング動作前にセンサが異物を検知した	クリーニング ベ ンド エンド センサイジ ヨウ
		21	販売動作前にセンサが異物を検知した	ツウジ ヨウド ウサ ベ ンド エンド センサイジ ヨウ
2451	取出口ロックスイッチ異常	--	1時間経過しても取出口ロックスイッチが検知しない	ツウジ ヨウド ウサ ハンバ イコウロックSWイジ ヨウ
2499	コラムモータ異常	30	コラムモータがロックしている	ツウジ ヨウド ウサ コラムモータ モータロック

11. 電気部品の定格

販売装置

(1)搬送機構

名 称	個数	種 別	形 式 名	定格仕様	図 番	備考
搬送モータ (Y軸)	1	DCE-タ	SGM-D124G -105D	DC24V	0FE4M13002030	
エンコーダ (Y軸)	1	フォトインタラプタ	KI669	DC5V 20mA	DCKI669-----N	
上限スイッチ	1	マイクロスイッチ	D2VW-01L2-1M (仏印)		0FE4S11000380	
下限スイッチ	1	マイクロスイッチ	D2VW-01L2-1M (仏印)		0FE4S11000380	
ペンドエンドセンサ	2	分離型光センサ	PIE-310 (発光) PIE-310L (受光)	DC5V(変調型)	0FE0V25300290 (発光) 0FE0V4200510 (受光)	

(2)表 示

名 称	個数	種 別	形 式 名	定格仕様	図 番	備考
一体表示器	1	発光ダイオード	DH-5L-8C		0FE0E08501770	販売中・ つり銭切れ ランプ一体型

(3)選択ボタン

名 称	個数	種 別	形 式 名	定格仕様	図 番	備考
売切ランプ	1	発光ダイオード			押釦組立(テンキー) 3FE0D86018600	テンキーの エント(ランプ ボタ)の 場合
押釦テンキー (0~9,購入,訂正)	12	発光ダイオード タクトスイッチ				
売切ランプ	2	発光ダイオード			押釦組立(テンキー) YDF06X4A007 C01	テンキーの エント(シート ボタ)の 場合
イルミネーション	4	発光ダイオード				

(4)電 源

名 称	個数	種 別	形 式 名	定格仕様	図 番	備考
漏電しゃ断器	1	漏電しゃ断器	FV32Y	AC100V/200V 30A 感度電流 15mA	0FE4S21000250	
サービソコンセント	1	コンセント	S-16498 (SMK)	AC125V 15A	コンセント 0FE4J10000690	
DC電源	1	直流安定化 電源	PS-A221 (四変テック)	定格電圧 DC8V, 24V 定格電流 2.35A, 2.50A ピーク電流 3.00A, 5.00A	YDF51X4A119 C01	

販売装置

(5)ラック

名 称	個数	種 別	形 式 名	定格仕様	図 番	備考
コラムモータ	15	DCモータ	NF213G -1020389B (ジョイント)	DC24V	YDF40X5A761 C01	
カムスイッチ	15	マイクロスイッチ	D3M-01K2-3 (仏印)		0FE4S11000880	

(6)その他

名 称	個数	種 別	形 式 名	定格仕様	図 番	備考
扉スイッチ	1	プッシュスイッチ	J-P8013-S (SMK)	DC30V 0.1A	0FE4S10002360	
販売口扉スイッチ	1	マイクロスイッチ	D2VW-01L2-1M (仏印)		0FE4S11000380	

冷却装置

(1)冷却ユニット

名 称	個数	種 別	形 式 名	定格仕様	図 番	備考
圧縮機用モータ	1	分相起動型	SB43C90RA00 -MOMS	AC100V 50/60Hz 75W	電動圧縮機 5FE0U03000100	
起動リレー	1	無接点リレー	4R7MD			
モータプロテクタ	1	温度・電流 動作型	STM762NFBYY -53			
運転コンデンサ	1	フィルムコンデンサ		180V 15 μ F	0FE4C10000070	
凝縮器用 ファンモータ	1	DCモータ	DR-738-519	DC24V 7W	YDC22Y4A840 C01	

(2)庫内風洞

名 称	個数	種 別	形 式 名	定格仕様	図 番	備考
庫内ファンモータ	2	軸流ファンモータ	3610KL-05W -B57-EQ2	DC24V	YDF71T4A091 C01	

(3)電子サーモ

名 称	個数	種 別	形 式 名	定格仕様	図 番	備考
庫内温度センサ	1	サーミスタ	NTCDP4AF 533GADCBCW98	使用温度 -40 ~ 130	YDC22C4C072 C01	

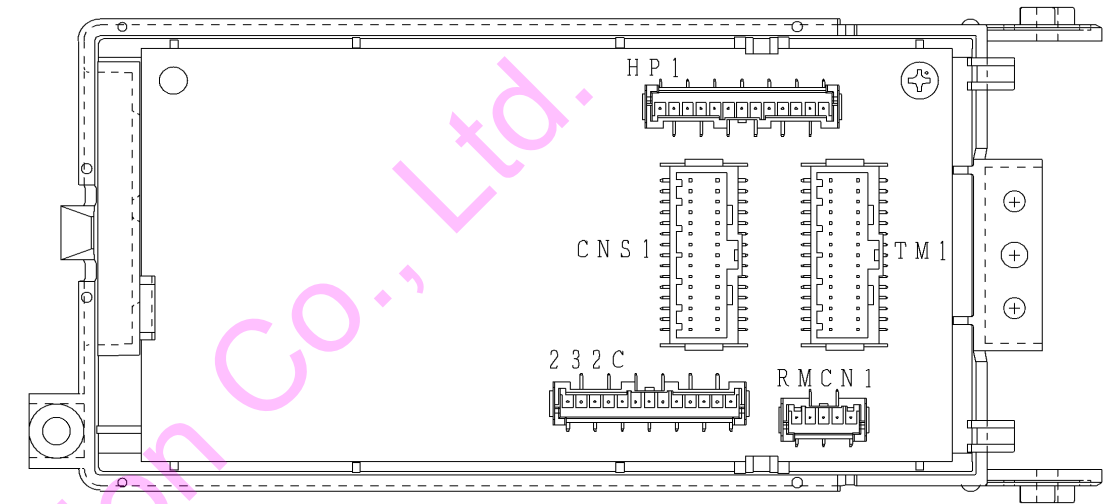
リレーボード

名 称	個数	形式名	コイル定格	コイル抵抗	接点	図 番	備考
Y モータドライバ	1	TB6549FG				YDM09C46040 C01	本体スレブ ボックス内 IC4
M C リレー	1	G4A-1A-E	DC24V 37.5mA	640	AC250V 20A	YDM09C42001 C01	本体スレブ ボックス内 RY1
防露ヒータリレー	1	G5NB-1A	DC24V 8.3mA	2880	AC100V 3A	YDM09C42000 C01	本体スレブ ボックス内 RY2

12. 電気回路図

端子早見表

(1)メインコントロールボックス



CNS1カプラ (白30P:51242-3000モレックスカプラ)

No.	待機	動作	信号名
1	0.0	0.0	GND
2	24.0	24.0	24V
3	13.5	-	SYN
4	14.5	-	TXD
5	14.3	-	RXD
6	-	-	未使用
7	-	-	未使用
8	1.6	-	BUS(-)
9	1.6	-	BUS(+)
10	-	-	未使用
11	-	-	未使用
12	-	-	未使用
13	8.0	8.0	8V
14	-	-	未使用
15	5.0	5.0	5V
16	-	-	未使用
17	-	-	未使用
18	-	-	未使用
19	-	-	未使用
20	-	-	未使用
21	-	-	未使用
22	-	-	未使用
23	-	-	未使用
24	-	-	未使用
25	-	-	未使用
26	-	2.7	光受光部のTXD
27	-	2.7	光受光部のRXD
28	11.1	-	AC断検知 50/60Hz入力
29	-	-	未使用
30	-	-	未使用

RMCN1カプラ (赤5P:XA) 【未接続】

No.	待機	動作	信号名
1	5.0	5.0	5V
2	8.0	8.0	8V
3	1.6	-	BUS(-)
4	1.6	-	BUS(+)
5	0.0	0.0	GND

TM1カプラ (赤30P:51242-3002モレックスカプラ) 【未接続】

No.	待機	動作	信号名
1	0.0	0.0	GND
2	0.0	0.0	GND
3	24.0	0.0	2本売り防止スイッチ
4	24.0	0.0	残数プリセットスイッチ
5	24.0	0.0	本数確認/搬出スイッチ入力
6	-	-	アキ
7	24.0	0.0	キースイッチ入力
8	-	-	アキ
9	24.0	0.0	キーカウンタ出力
10	24.0	0.0	取出口ランプ
11	8.0	0.0	登録信号出力
12	8.0	0.0	登録信号出力
13	24.0	24.0	24V
14	24.0	24.0	24V
15	0.0	0.0	GND
16	0.0	0.0	GND
17	24.0	24.0	24V
18	24.0	24.0	24V
19	-	-	アキ
20	24.0	0.0	ブザー出力
21	-	-	アキ
22	5.0	0.0	リセット
23	-	-	MDB TXD
24	-	-	MDB RXD
25	-	-	オンライン用
26	-	-	オンライン用
27	-	-	オンライン用
28	-	-	オンライン用
29	-	-	オンライン用
30	-	-	オンライン用

232Cカプラ (赤12P:XA) 【未接続】

No.	待機	動作	信号名
1	5.0	5.0	5V
2	-	-	SD
3	-	-	RD
4	-	-	RS
5	-	-	CS
6	-	-	DR
7	-	-	SG
8	-	-	CD
9	-	-	ER
10	-	-	Ci
11	-	-	リセット
12	-	-	SG

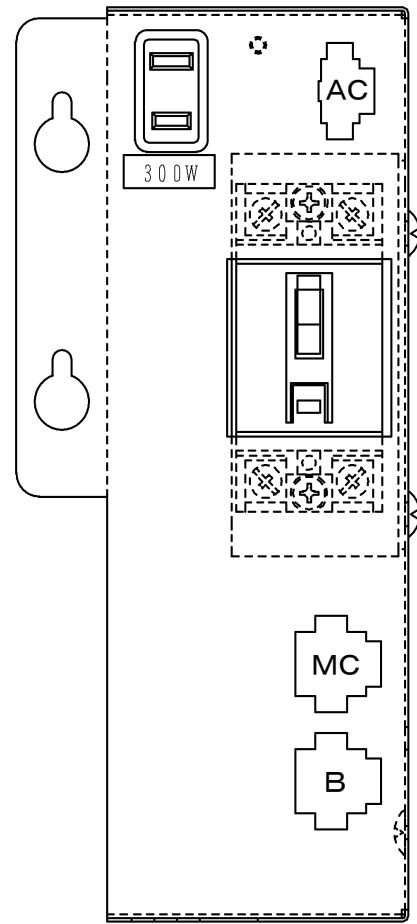
HP1カプラ (白13P:XA) 【未接続】

No.	待機	動作	信号名
1	0.0	0.0	GND
2	24.0	0.0	仕向け切替1入力
3	-	-	アキ
4	-	-	アキ
5	24.0	24.0	24V
6	-	-	アキ
7	-	-	アキ
8	-	-	アキ
9	-	-	アキ
10	-	-	アキ
11	24.0	0.0	クリアスイッチ入力
12	-	-	アキ
13	0.0	0.0	GND

端子早見表

(2)本体スレーブボックス

ボックスパネル部



コネクタ AC:VL2P(白)

No.	待機	動作	信号名
1	100.0	100.0	AC100V-N
2	100.0	100.0	AC100V-L

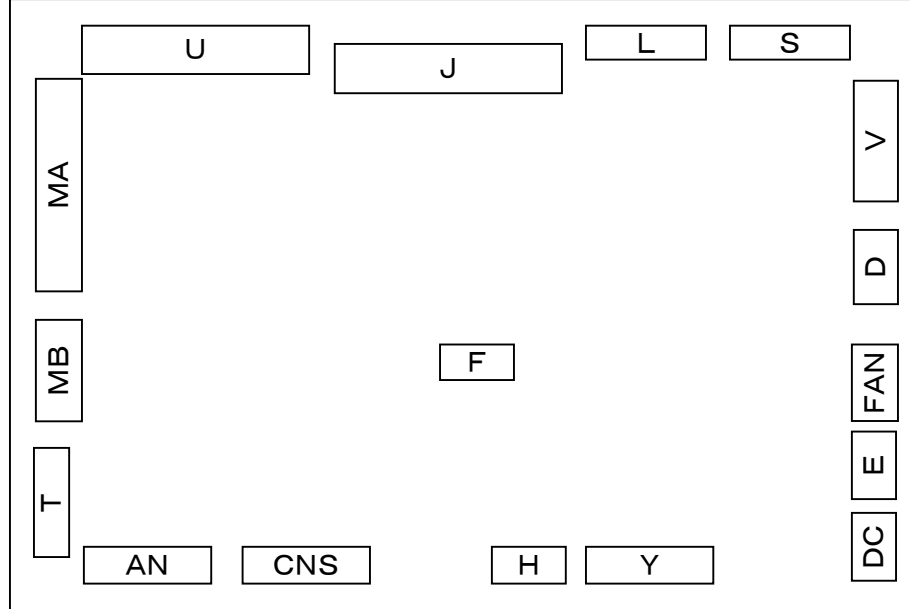
コネクタ MC:VLR4P(白)

No.	待機	動作	信号名
1	100.0	100.0	AC100V-N
2	0.0	100.0	コンプレッサリレー
3	-	-	未使用
4	-	-	未使用

コネクタ B:VLR4P(黒)

No.	待機	動作	信号名
1	100.0	100.0	AC100V-N
2	100.0	100.0	AC100V-L
3	100.0	100.0	AC100V-N
4	0.0	100.0	フィルタ基板B-7販売口ヒータ

搬出基板



コネクタ MA:XAD40P(白)

No.	待機	動作	信号名
1	-	0.0	コラムモータ1
2	-	0.0	コラムモータ2
3	-	0.0	コラムモータ3
4	-	0.0	コラムモータ4
5	-	0.0	コラムモータ5
6	-	0.0	コラムモータ6
7	-	0.0	コラムモータ7
8	-	0.0	コラムモータ8
9	-	0.0	コラムモータ9
10	-	0.0	コラムモータ10
11	-	0.0	コラムモータ11
12	-	0.0	コラムモータ12
13	-	0.0	コラムモータ13
14	-	0.0	コラムモータ14
15	-	0.0	コラムモータ15
16	-	0.0	コラムモータ16
17	-	0.0	コラムモータ17
18	-	0.0	コラムモータ18
19	-	0.0	コラムモータ19
20	-	0.0	コラムモータ20
21	-	0.0	コラムモータ21
22	-	0.0	コラムモータ22
23	-	0.0	コラムモータ23
24	-	0.0	コラムモータ24
25	-	0.0	コラムモータ25
26	-	0.0	コラムモータ26
27	-	0.0	コラムモータ27
28	-	0.0	コラムモータ28
29	-	0.0	コラムモータ29
30	-	0.0	コラムモータ30
31	-	-	未使用
32	-	-	未使用
33	-	-	未使用
34	-	-	未使用
35	0.0	24.0	コラムモータ CM1
36	0.0	24.0	コラムモータ CM2
37	0.0	24.0	コラムモータ CM3
38	0.0	24.0	コラムモータ CM4
39	0.0	24.0	コラムモータ CM5
40	0.0	24.0	コラムモータ CM6

コネクタ V:XAD18P(白)

No.	待機	動作	信号名
1	0.0	5.0	5V
2	-	-	未使用
3	-	-	未使用
4	-	-	未使用
5	0.0	2.5	ヘッドエンドセンサ1
6	0.0	2.5	ヘッドエンドセンサ2
7	0.0	0.0	ヘッドエンドセンサ3(無)
8	-	-	未使用
9	-	-	未使用
10	-	-	未使用
11	-	-	未使用
12	-	-	未使用
13	-	-	未使用
14	-	-	未使用
15	-	-	未使用
16	-	-	未使用
17	0.0	0.0	GND
18	0.0	0.0	GND

コネクタ D:VH3P(白)

No.	待機	動作	信号名
1	24.0	24.0	24V
2	-	-	未使用
3	0.0	0.0	GND

コネクタ E:XA4P(白)

No.	待機	動作	信号名
1	8.0	8.0	8V
2	0.0	24.0	庫内ファン1
3	0.0	24.0	庫内ファン2
4	0.0	0.0	GND

コネクタ DC:XA6P(白)

No.	待機	動作	信号名
1	24.0	24.0	24V
2	-	0.0	リレー1
3	-	0.0	リレー2
4	-	-	未使用
5	-	-	未使用
6	-	-	未使用

コネクタ L:XA7P(白)

No.	待機	動作	信号名
1	-	-	未使用
2	-	-	未使用
3	-	-	未使用
4	-	-	未使用
5	-	-	未使用
6	-	0.0	LED照明
7	23.0	23.0	LED用電源

コネクタ FAN:XA5P(白)

No.	待機	動作	信号名
1	0.0	0.0	GND
2	24/0	0/24	庫外ファン正逆転
3	0.0	パルス	庫外ファンロック検知
4	24.0	24.0	24V
5	0.0	24.0	庫外ファン

コネクタ Y:XA8P(赤)

No.	待機	動作	信号名
1	0.0	24/0	Yモータ(正転)
2	0.0	0/24	Yモータ(逆転)
3	0.0	18.5	上限SW
4	18.5	0.0	下限SW
5	0.0	パルス	エンコーダ
6	-	-	未使用
7	0.0	5.0	エンコーダ用電源
8	0.0	0.0	GND

コネクタ U:XAD36P(白)

No.	待機	動作	信号名
1	パルス	パルス	カムSW1
2	パルス	パルス	カムSW2
3	パルス	パルス	カムSW3
4	パルス	パルス	カムSW4
5	パルス	パルス	カムSW5
6	パルス	パルス	カムSW6
7	パルス	パルス	カムSW7
8	パルス	パルス	カムSW8
9	パルス	パルス	カムSW9
10	パルス	パルス	カムSW10
11	パルス	パルス	カムSW11
12	パルス	パルス	カムSW12
13	パルス	パルス	カムSW13
14	パルス	パルス	カムSW14
15	パルス	パルス	カムSW15
16	パルス	パルス	カムSW16
17	パルス	パルス	カムSW17
18	パルス	パルス	カムSW18
19	パルス	パルス	カムSW19
20	パルス	パルス	カムSW20
21	パルス	パルス	カムSW21
22	パルス	パルス	カムSW22
23	パルス	パルス	カムSW23
24	パルス	パルス	カムSW24
25	パルス	パルス	カムSW25
26	パルス	パルス	カムSW26
27	パルス	パルス	カムSW27
28	パルス	パルス	カムSW28
29	パルス	パルス	カムSW29
30	パルス	パルス	カムSW30
31	パルス	パルス	カムSW COM1
32	パルス	パルス	カムSW COM2
33	パルス	パルス	カムSW COM3
34	パルス	パルス	カムSW COM4
35	パルス	パルス	カムSW COM5
36	パルス	パルス	カムSW COM6

コネクタ H:XA5P(白)

No.	待機	動作	信号名
1	24.0	24.0	24V
2	-	0.0	販売口扉ソレノイド
3	18.5	0.1	扉SW
4	18.5	0.1	販売口フラップパSW
5	0.0	0.0	GND

コネクタ CNS:ZLP8P(白)

No.	待機	動作	信号名
1	24.0	24.0	24V
2	8.0	8.0	8V
3	-	-	未使用
4	13.5	-	SYN
5	14.5	-	TXD
6	14.3	-	RXD
7	-	-	未使用
8	0.0	0.0	GND

コネクタ AN:XA9P(白)

No.	待機	動作	信号名
1	5.0	5.0	温度センサ電源
2	任意	任意	冷蔵用庫内温度センサ
3	-	-	未使用
4	任意	任意	外気温度センサ
5	任意	任意	Ev温度センサ
6	-	-	未使用
7	-	-	未使用
8	-	-	未使用
9	-	-	未使用

コネクタ S:7P(緑) 未接続

No.	待機	動作	信号名
1	-	-	未使用
2	-	-	未使用
3	-	-	未使用
4	-	-	未使用
5	-	-	未使用

コネクタ F:5P(白) 未接続

No.	待機	動作	信号名
1	-	-	未使用
2	-	-	未使用
3	-	-	未使用
4	-	-	未使用
5	-	-	未使用
6	-	-	未使用
7	-	-	未使用

コネクタ V:XAD18P(黒) 未接続

No.	待機	動作	信号名
1	-	-	未使用
2	-	-	未使用
3	-	-	未使用
4	-	-	未使用
5	-	-	未使用
6	-	-	未使用
7	-	-	未使用
8	-	-	未使用
9	-	-	未使用
10	-	-	未使用
11	-	-	未使用
12	-	-	未使用
13	-	-	未使用
14	-	-	未使用
15	-	-	未使用
16	-	-	未使用
17	-	-	未使用
18	-	-	未使用

コネクタ T:9P(赤) 未接続

No.	待機	動作	信号名
1	-	-	未使用
2	-	-	未使用
3	-	-	未使用
4	-	-	未使用
5	-	-	未使用
6	-	-	未使用
7	-	-	未使用
8	-	-	未使用
9	-	-	未使用

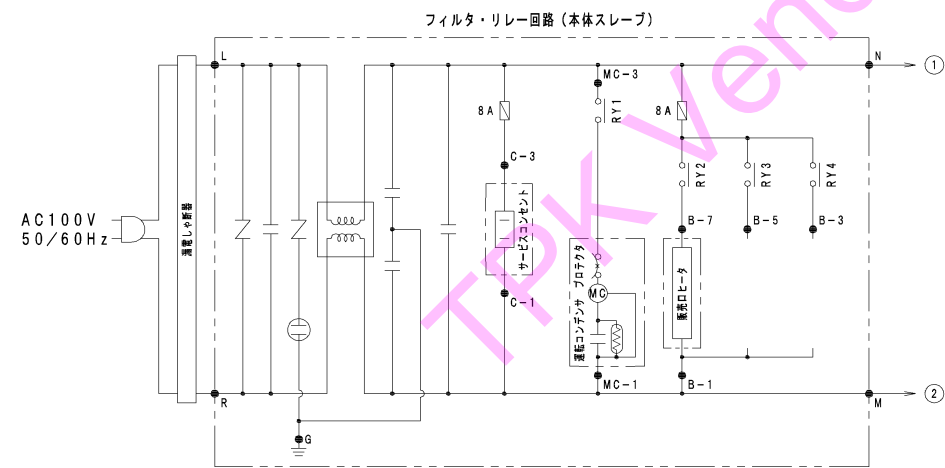
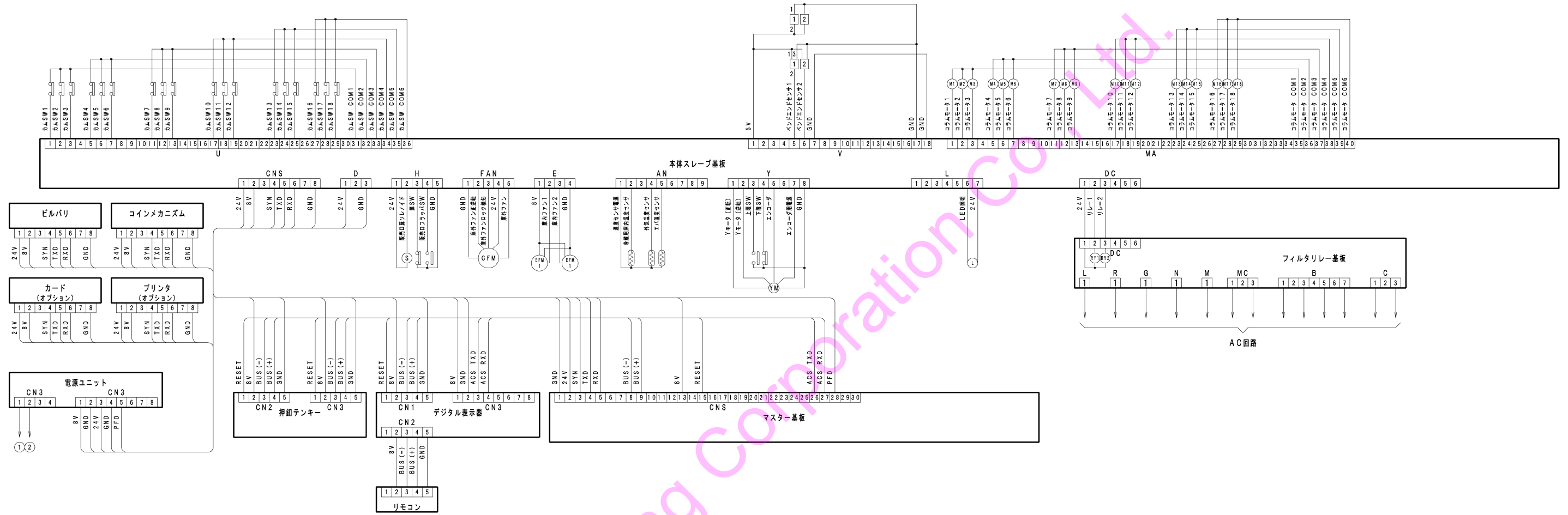
コネクタ J:30P(白) 未接続

No.	待機	動作	信号名
1	-	-	未使用
2	-	-	未使用
3	-	-	未使用
4	-	-	未使用
5	-	-	未使用
6	-	-	未使用
7	-	-	未使用
8	-	-	未使用
9	-	-	未使用
10	-	-	未使用
11	-	-	未使用
12	-	-	未使用
13	-	-	未使用
14	-	-	未使用
15	-	-	未使用
16	-	-	未使用
17	-	-	未使用
18	-	-	未使用
19	-	-	未使用
20	-	-	未使用
21	-	-	未使用
22	-	-	未使用
23	-	-	未使用
24	-	-	未使用
25	-	-	未使用
26	-	-	未使用
27	-	-	未使用
28	-	-	未使用
29	-	-	未使用
30	-	-	未使用

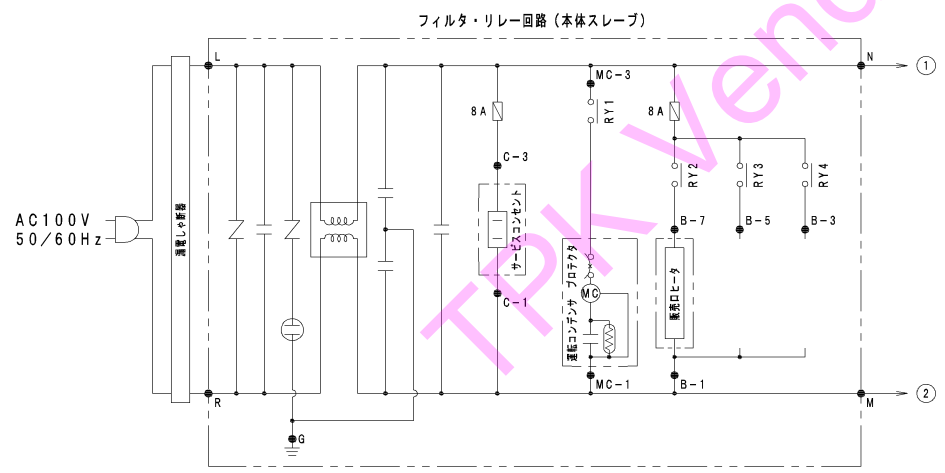
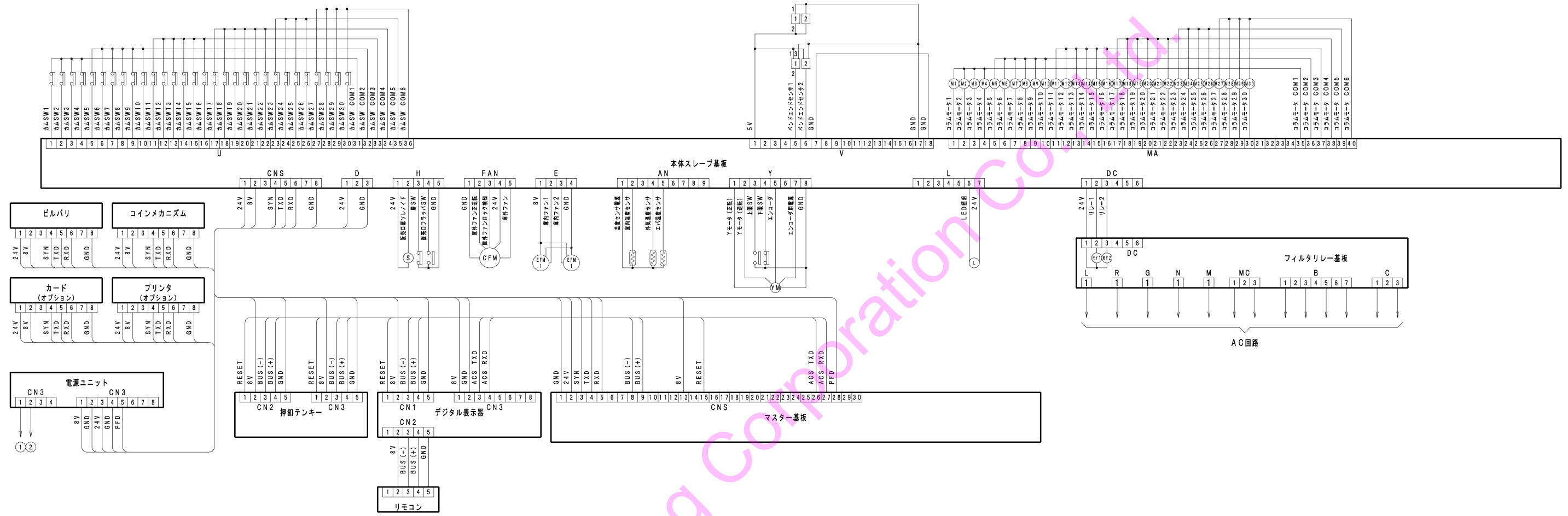
シーケンス

YDF55Z2A116 C01

シングルスパイラル対応無時

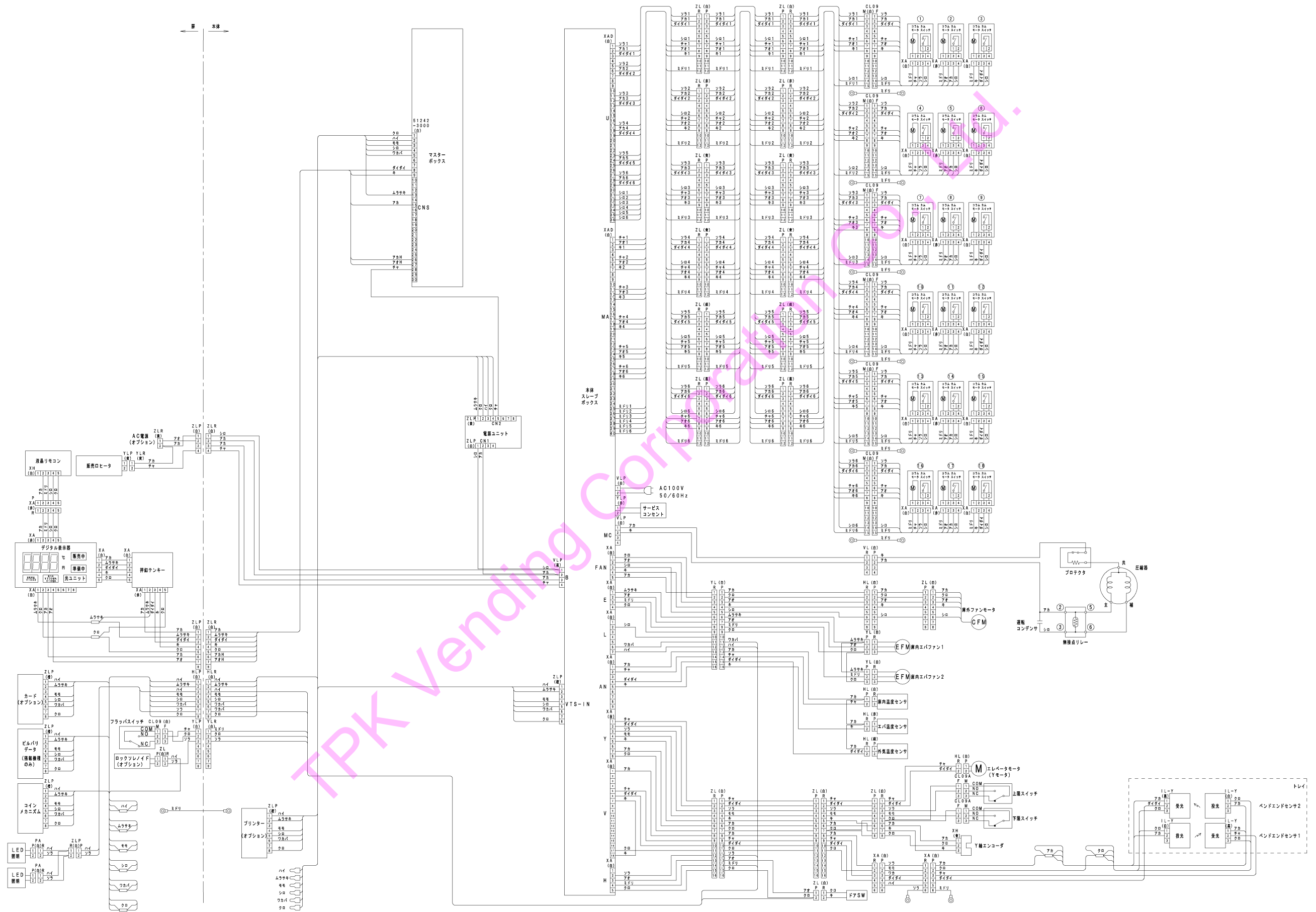


シングルスパイラル対応有時

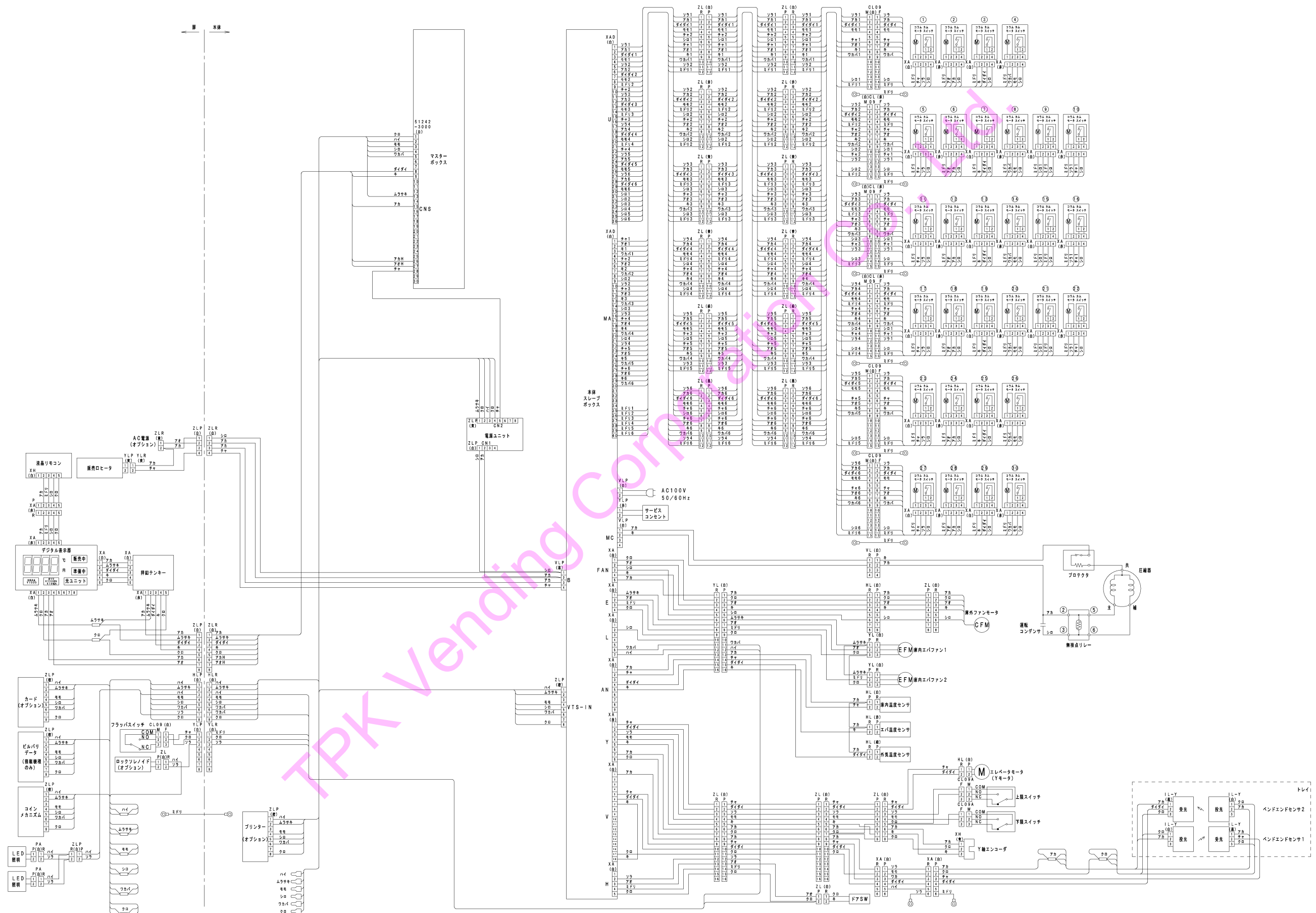


結線図

シングルスパイラル対応無時



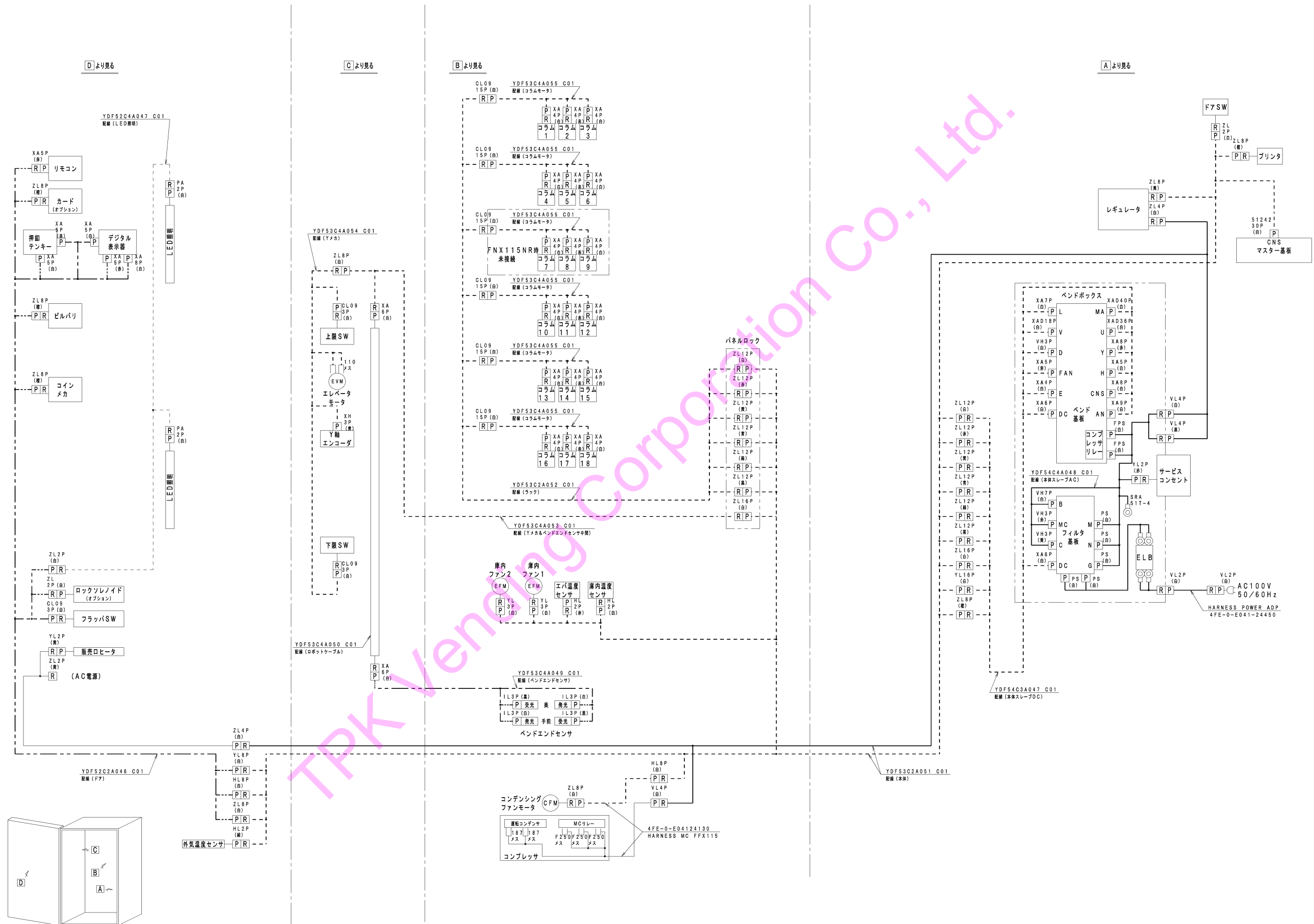
シングルスパイラル対応有時



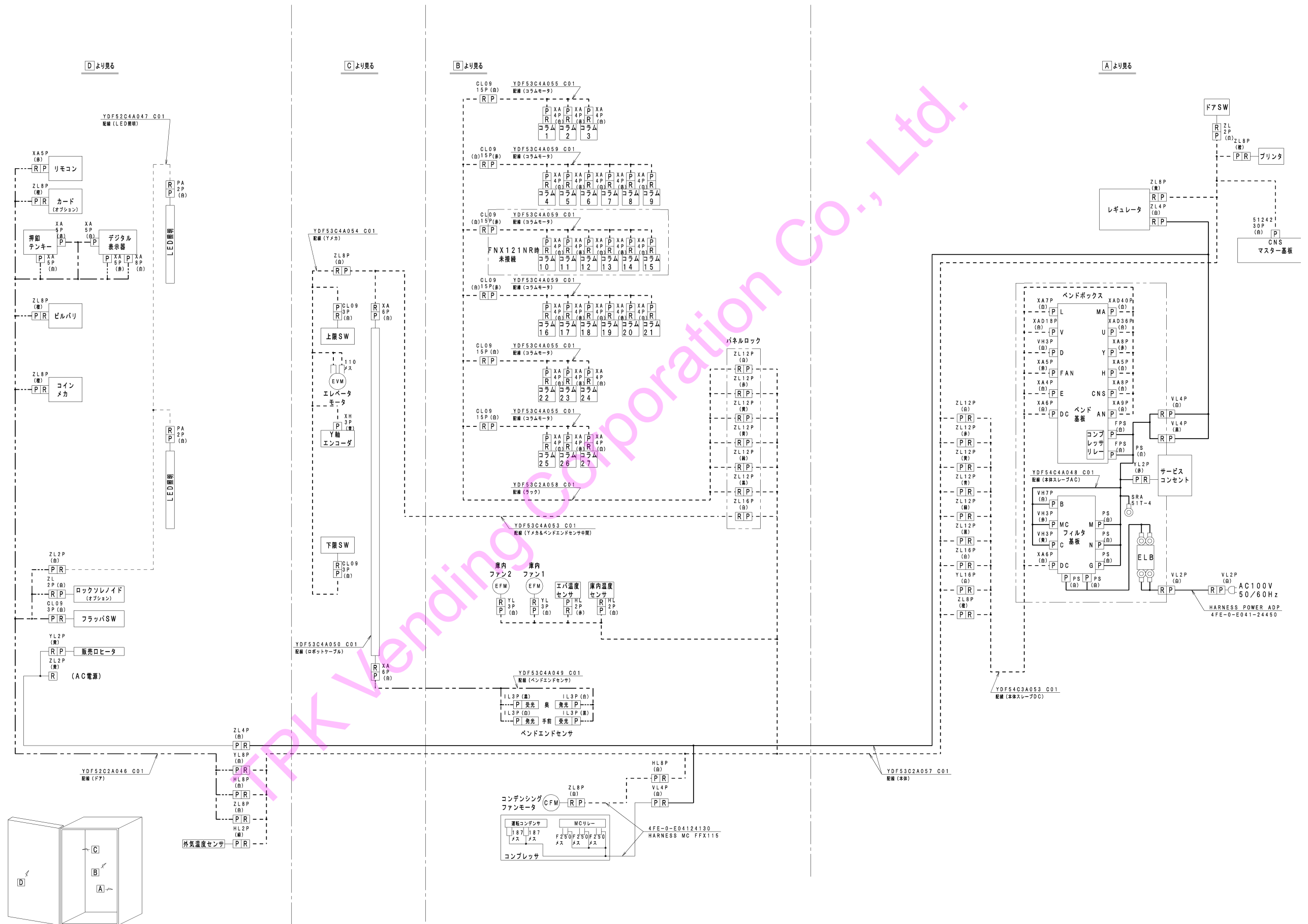
配線系統図

YDF55Z2A115AC01

シングルスパイラル対応無時



シングルスパイラル対応時



富士電機汎用食品自動販売機

FNX115NR

FNX118NR

FNX121NR

富士電機リテイルシステムズ株式会社

自動化機器事業本部 企画本部 商品企画部
東京都千代田区外神田 6-15-12

4版発行 / 印刷 '10-9

仕様等の変更により本資料の内容が機械と一致しない場合がありますのでご了承ください。
お問い合わせ、ご相談は裏表紙の全国サービスネットへお願いいたします。
本資料を無断で複製転載することを禁じます。

MZ09-005c



富士電機リテイルシステムズ株式会社

自動化機器事業本部 全国サービス網住所

修理受付のご用命は全国共通ナビダイヤル 0570-056022 へご連絡下さい。
(コールはフジ)

東日本コールセンター (北海道・東北・関東・甲信越・静岡)	〒101-8625	東京都千代田区外神田 6-15-12	03-5818-2371
西日本コールセンター (東海・北陸・近畿・中国・四国・九州)	〒533-0031	大阪府大阪市北区中津 5-2-14	06-6458-1511
沖縄サービスステーション	〒900-0005	沖縄県那覇市銘苅 2-4-51 (ジェイ・ツビル3階)	098-863-1220

自動化機器事業本部 全国支社・営業所網住所

北海道支社	〒003-0029	北海道札幌市白石区平和通2丁目北 5-16	011-861-1411
東北支社	〒980-0011	宮城県仙台市青葉区上杉 3-3-30 (東北富士電機ビル2階)	022-261-1616
青森営業所	〒030-0812	青森県青森市堤町 2-1-7 (TAP堤町ビル)	017-775-8071
盛岡営業所	〒020-0823	岩手県盛岡市門 2-22-34	019-626-0157
福島営業所	〒963-0111	福島県郡山市安積町荒井字六角田 9-1	024-945-8947
東京支社	〒101-8625	東京都千代田区外神田 6-15-12	03-3832-7171
長野支店	〒399-0852	長野県松本市島立 943 (ハモネトビル)	0263-40-3471
関東支店	〒330-0843	埼玉県さいたま市大宮区吉敷町 4-261-1 (キャピタルビル4階)	048-600-3655
千葉支店	〒260-0032	千葉県千葉市中央区登戸 1-26-1 (朝日生命千葉登戸ビル10階)	043-301-7575
新潟営業所	〒950-0965	新潟県新潟市中央区新光町 16-4 (荏原新潟ビル6階)	025-283-1265
神奈川支社	〒222-0033	神奈川県横浜市港北区新横浜 3-20-8 (ハネックス-3ビル5階)	045-474-2271
静岡支店	〒422-8036	静岡県静岡市駿河区敷地 2-9-10	054-238-7620
中部支社	〒453-0041	愛知県名古屋市中村区本陣通 3-55	052-481-7301
北陸支社	〒921-8001	石川県金沢市高島三丁目 192番地	076-291-8830
関西支社	〒531-0071	大阪府大阪市北区中津 5-2-14	06-6458-1951
中国支社	〒733-0003	広島県広島市西区三篠町 1-3-15	082-230-5561
岡山営業所	〒700-0921	岡山県岡山市東古松 1-3-20	086-224-8088
山陰営業所	〒690-0007	島根県松江市御手船場町 585番地 (たちきビル)	0852-22-0700
四国支社	〒760-0078	香川県高松市今里町 1-28-10	087-862-2176
松山営業所	〒791-8044	愛媛県松山市西垣生町 801-1	089-972-3671
九州支社	〒812-0024	福岡県福岡市博多区綱場町 8-23 (朝日生命福岡昭通ビル2階)	092-283-6111
南九州営業所	〒862-0976	熊本県熊本市九品寺 2-1-24 (熊本九品寺ビル6階)	096-375-6155
沖縄営業所	〒900-0005	沖縄県那覇市銘苅 2-4-51 (ジェイ・ツビル3階)	098-867-3999
三重部品センター	〒510-0013	三重県四日市市富士町 1-27 (ナビダイヤル)	0570-011022 059-330-0170
埼玉部品センター	〒369-0198	埼玉県鴻巣市前砂 160-1 (ナビダイヤル)	0570-077022 048-547-1481
本社	〒101-8625	東京都千代田区外神田 6-15-12 (大代表) 〔メンテナンス営業本部 カスタマーサービス部〕 〔自動化機器事業本部 企画本部 商品企画部〕	03-3832-1251 03-5818-2071 03-5818-2067

'09.06.02現在